目　　次

病院の概要

組織図…… 1
幹部名簿…… 2
病院概要（病院完成への道）…… 4
収支状況表（2018 年度）…… 7
科別請求額前年比（2018 年度）…… 8
市町村別レセプト件数（2018 年度）…… 9
診療実績（2018 年度）…… 10
講演会などへの講師派遣一覧（2018 年度）…… 11
健康づくり支援委員会出前講座実施一覧（2018 年度）…… 17

医療統計

医療実績（クリニカルインディケーター）…… 19
退院患者数の動向…… 20
地区別退院患者数の動向（二次保健医療圏）（2018 年度）…… 23
退院患者平均在院日数の動向…… 24
退院患者科別平均在院日数（2018 年度）…… 25
入院患者数（2018 年度）…… 27
退院患者数（2018 年度）…… 29
科別・年齢別・性別退院患者数（2018 年度）…… 31

疾病分類別統計

全科疾病分類別集計（2018 年度）…… 35
全科疾病分類別上位頻度表（2018 年度）…… 36

悪性新生物統計

部位別退院患者件数（2018 年度）…… 43
年齢別患者件数（2018 年度）…… 44
部位順位表　性別・年齢（2018 年度）…… 45
悪性新生物による死亡患者数（2018 年度）…… 49

死亡患者統計

科別死亡率（2018 年度）…… 51
死亡患者数（2018 年度）…… 52
死亡患者数の割合（2018 年度）…… 53
年齢別死亡患者数（2018 年度）…… 54
死亡患者における疾病順位表　性別・年齢（2018 年度）…… 55

DPC統計

全科 MDC2 別退院患者数（2018 年度）……59
全診療科　診断群分類別（MDC6）上位頻度表（2018 年度）……60
入院科別　診断群分類別（MDC6）上位頻度表（2018 年度）……66

クリニカル・パスの統計

クリニカル・パスの使用件数（2018 年度）……75

臨床指標

全体臨床指標……81
科別臨床指標……82

診療局

内　科（2018 年度）……103
消化器内科（2018 年）……103
循環器内科（2018 年度）……104
血液内科（2018 年度）……106
腎臓内科（2018 年）……107
呼吸器内科（2018 年度）……109
糖尿病代謝内科（2018 年度）……109
総合診療内科（2018 年度）……110
アレルギー・膠原病内科（2018 年度）……111
化学療法センター（2018 年度）……113
透析センター（2018 年）……114
外　科（2018 年）……115
呼吸器外科（2018 年）……117
乳腺センター（2018 年度）……119
小児科（2018 年度）……120
新生児科（2018 年）……122
心臓外科（2018 年度）……122
整形外科（2018 年度）……123
リハビリテーション科（2018 年度）……125
脳神経外科（2018 年）……130
形成外科（2018 年）……130
産婦人科（2018 年）……131
眼　科（2018 年度）……132
耳鼻咽喉科（2018 年度）……133
皮膚科（2018 年度）……135
麻酔科・中央手術室（2018 年度）……136
歯科・歯科口腔外科（2018 年度）……138
泌尿器科（2018 年）……140
神経精神科（2018 年度）……141
救命救急センター（2018 年度）……143
緩和ケアセンター（2018 年度）……146
集中治療科（2018 年度）……148
臨床病理科（2018 年）……149

看護局

看護局（2018 年度）……155
スキンケア相談室（2018 年度）……166
訪問看護室（2018 年度）……170
中央洗浄滅菌室（2018 年度）……171

薬剤局

薬剤局（2018 年度）……173

診療技術局

中央検査科（2018 年度）……181
放射線科（2018 年度）……184
臨床工学室（2018 年度）……185
神経精神科（2018 年度）……187
臨床栄養科（2018 年度）……192
医療連携福祉相談室（2018 年度）……195

センター等

健診センター（2018 年度）……207
PET 画像診断センター（2018 年度）……215
入退院センター（2018 年度）……216
周術期センター（2018 年度）……218

企画情報局

経営企画室（2018 年度）……221
医療情報室（2018 年度）……222

事務局

総務人事課（2018 年度）……225
経理課（2018 年度）……225
医事課（2018 年度）……225
施設課（2018 年度）……226
契約課（2018 年度）……227
広報患者相談課（2018 年度）……227

医療安全管理推進室

医療安全管理推進室（2018 年度）……229

TQMセンター

TQM センター（2018 年度）……235

地域医療支援センター

地域医療支援センター（2018 年度）……245

附属施設・併設施設

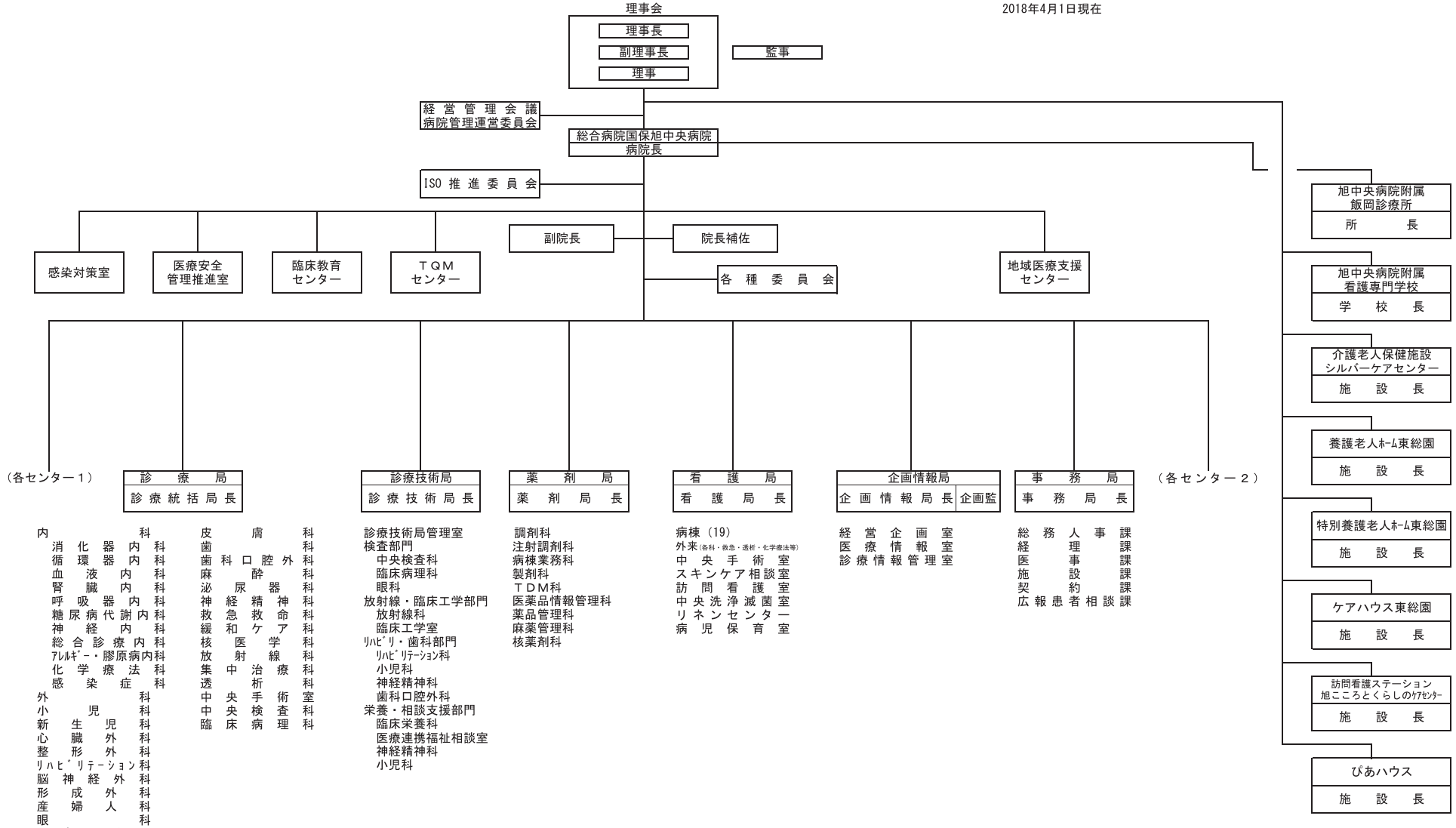
旭中央病院附属飯岡診療所（2018 年度）……255
旭中央病院附属看護専門学校（2018 年度）……255
介護老人保健施設シルバーケアセンター（2018 年度）……259
養護老人ホーム東総園・特別養護老人ホーム東総園（2018 年度）……264
ケアハウス東総園（2018 年度）……267
訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター（AKK）（2018 年度）……269

病院の概要

●組織図

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

2018年4月1日現在



※（各センター１）
- 救命救急センター
- 健診センター
- こころの医療センター
- 乳腺センター
- 透析センター
- ＰＥＴ画像診断センター
- 化学療法センター
- 地域周産期母子医療センター
- 循環器センター
- 緩和ケアセンター

（各センター２）
- 職員健康相談センター
- 地域医療連携センター
- 総合患者支援センター

●幹部名簿

2019年３月１日現在

役員

役　職	氏　名	備　考
理事長	吉田　象二	
副理事長	齊藤　陽久	副院長
理　事	野村　幸博	病院長
理　事	渡邉　三郎	副院長
理　事	塩尻　俊明	副院長
理　事	川副　泰成	院長補佐
理　事	大塚　玲子	看護局長
理　事	菅谷　敏之史	事務局長
理　事（非常勤）	高林　克日己	千葉大学名誉教授
理　事（非常勤）	増田　雅男	元旭市副市長
監　事	向後　剛	弁護士
監　事	髙根　雅人	税理士

病院幹部（部長職以上）

氏　名	役　職
野村　幸博	病院長
齊藤　陽久	副院長　兼診療統括局長 兼内科主任部長　兼呼吸器内科主任部長 兼救命救急センター部長　兼企画情報局長 兼医療連携福祉相談室長　兼医療情報室長 兼診療情報管理室長　兼総合患者支援センター長
渡邉　三郎	副院長　兼脳神経外科主任部長　兼救命救急センター部長 兼臨床研究支援センター長
塩尻　俊明	副院長　兼総合診療内科部長　兼教育研修部長 兼臨床教育センター長
中津　裕臣	副院長　兼泌尿器科主任部長　兼感染対策室長　兼中央手術室長
神田　順二	副院長　兼循環器内科主任部長 兼循環器センター長
本多　昭仁	院長補佐　兼小児科主任部長
岡　龍弘	院長補佐　兼麻酔科主任部長
古屋　隆俊	院長補佐　兼血管外科部長　兼スキルセンター長
鈴木　良夫	院長補佐　兼臨床病理科部長
志村　謙次	院長補佐　兼消化器内科主任部長　兼救命救急センター部長
糸林　詠	院長補佐　兼消化器画像診断部長　兼医療安全管理推進室長
宮内　義浩	院長補佐　兼腎臓内科部長　兼透析センター部長
紫村　治久	院長補佐　兼飯岡診療所長 兼消化器内視鏡部長　兼健診センター長
北澤　克彦	院長補佐　兼小児科小児総合診療部長
平野　稔	院長補佐　兼乳腺外科部長　兼乳腺センター長
髙橋　功	院長補佐　兼救急救命科主任部長　兼救命救急センター長
小早川　晶	院長補佐　兼緩和ケア科主任部長　兼緩和ケアセンター長
川副　泰成	院長補佐　兼地域精神保健センター長
青木　勉	院長補佐　兼神経精神科主任部長　兼ぴあハウス施設長
杉山　宏	院長補佐　兼整形外科主任部長　兼救命救急センター部長
小林　康祐	院長補佐　兼産婦人科主任部長　兼地域周産期母子医療センター長
松本　弘	院長補佐　兼新生児科主任部長　兼地域周産期母子医療センター部長
磯貝　純	院長補佐　兼放射線科（診断部門）　主任部長 兼PET画像診断センター長
中村　朗	院長補佐　兼化学療法科部長　兼化学療法センター長 兼感染症科部長　兼救命救急センター部長

氏　名	役　職
渡　邊　　隆	院長補佐　兼透析科部長　兼透析センター長
永　井　元　樹	院長補佐　兼外科主任部長
村　上　信　乃	名誉院長　兼介護老人保健施設長　兼ケアハウス施設長
浅　田　　学	老人ホーム施設長
伊良部　徳　次	附属看護専門学校長　兼内科顧問　兼透析センター顧問 兼診療報酬担当顧問
古　川　恵　一	感染症センター長
本　田　亮　一	呼吸器内科　部長
櫛　田　俊　一	循環器内科　部長　兼循環器センター部長
加々美　新一郎	アレルギー・膠原病内科部長　兼アレルギー・リウマチセンター長
小　林　　誠	神経内科　部長
窪　田　　学	消化器内科　部長
小　林　一　貴	糖尿病代謝内科　部長
宮　地　浩太郎	循環器内科　部長
田　中　宏　明	血液内科　部長
山　本　哲　史	心臓外科　部長
新　籾　正　明	整形外科　部長
山　内　友　規	整形外科　部長
川　村　剛　以	リハビリテーション科　部長
大　屋　　滋	脳神経外科　部長
持　田　英　俊	脳神経外科　部長
小　俣　　渡	皮膚科　部長
大　戸　弘　人	耳鼻咽喉科　部長
鈴　木　規　之	泌尿器科　部長
島　　敬　之	泌尿器科　部長
佐々木　　真	泌尿器科　部長
網　谷　兆　康	泌尿器科　部長
八重樫　優　子	産婦人科　部長　兼地域周産期母子医療センター部長
大　塚　祐　司	神経精神科　部長
磯　野　友　厚	神経精神科　部長
仙　田　昌　義	小児科　部長
小　林　宏　伸	小児科　部長
野　本　洋　平	眼科　部長
大　江　恭　司	麻酔科　部長　兼集中治療科部長　兼救命救急センター部長
小　銭　健　二	麻酔科　部長
青　野　光　夫	麻酔科　部長
平　林　和　也	麻酔科　部長
太　田　さや子	放射線科（治療部門）　部長
秋　葉　正　一	歯科口腔外科　部長
糟　谷　美有紀	救急救命科　部長　兼救命救急センター副センター長
伊　藤　史　生	救急救命科　部長　兼救命救急センター副センター長
石　井　昭　広	輸血部　部長
羅　　智　靖	中央検査科　管理監
浅　井　秀　樹	診療技術局長
菅　谷　　誠	薬剤局長
大　塚　玲　子	看護局長
柏　木　　嶺	企画監
菅　谷　敏之史	事務局長
河　口　成　富	訪問看護ステーション旭こころとくらしのケアセンター施設長

●病院概要（病院完成への道）

――我が病院のあゆみとめざすもの――

地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院理事長

1 ［病院の歴史］

地域住民の健康を自らの手で守り、国の皆保険制度実現に協力するため、旭町他８ヶ町村（現旭市）は1953（昭和28）年３月１日､国保旭中央病院を開院した。2005（平成17）年７月１日の旭市･飯岡町･海上町･干潟町の合併により、旭市立病院となった。2016（平成28）年４月１日より地方独立行政法人へ移行した。

開院当時は、病床数113床（一般35／結核78)、診療科目４科（内科／外科／産婦人科／小児科)、全職員45名、うち医師８名、敷地面積6,600㎡、建物面積2,375㎡であった。

その後、増改築工事を重ね、近年では1993（平成５）年９月、各病棟・外来棟の大改造、1996（平成８）年11月、救命救急センター増築、1999（平成11）年3月、１号館（１～４Ｆ外来棟／５～７Ｆ病棟／屋上庭園）完成、11月、基幹災害医療研修センター（１Ｆ資料館／２～４Ｆ診療録管理室／５Ｆ災害医療研修施設）完成、2002（平成14）年３月、附属飯岡診療所移転新築、2004（平成16）年10月、PET画像診断センターの新築を行ってきた。

こうした拡張の結果、①患者動線悪化 ②老朽建物の増加 ③耐震性の確保の問題 が生じ、新本館の建設を含む再整備事業（2006～2012年度）に着手した。2009（平成21）年12月には、放射線治療棟がオープンした。2011（平成23）年３月に、地上12階建ての免震構造による待望の新本館が完成した。2012（平成24）年３月には、地域医療再生計画に基づき、地域医療支援センターが開設された。現在の病床数は989床、全職員2,096名（常勤職員)、うち医師254名（研修医を含む)・看護師913名（人員2019年３月１日現在)、敷地面積191,086㎡、建物延床面積168,172㎡となっている。

2 ［診療科目・40科］

内科	消化器内科	循環器内科	呼吸器内科	血液内科	腎臓内科	糖尿病代謝内科	神経内科
感染症内科	化学療法内科	人工透析内科	アレルギー科	リウマチ科	緩和ケア内科	消化器内視鏡内科	小児科
新生児内科	外科	血管外科	乳腺外科	呼吸器外科	消化器外科	心臓外科	整形外科
脳神経外科	形成外科	産婦人科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	リハビリテーション科
麻酔科	歯科	歯科口腔外科	神経精神科	放射線科	救急科	臨床検査科	病理診断科

3 ［病床数／患者数］患者数：2019年２月実績

（許可） 病床数 ９８９床	一般　７６３床	内　ＮＩＣＵ（新生児特定集中治療室管理施設）　９床 小児入院医療管理病棟（２）　４５床 救命救急センター（救命救急入院施設）　３０床 特定集中治療室　４床 緩和ケア病棟　２０床
	精神　２２０床	内　精神科救急病棟　４２床
	感染　６床	第二種感染症指定医療機関

	外　来	入　院	
１日平均患者数	２，５００名	７９９名	外来：日帰りドック７名／日含む
１ヶ月新患者数	８，３８６名	１，５０３名	

	一　般	精　神	感　染	全　科
平均在院日数	１３．３日	５３．０日	０日	１３．９日
（除外有）	１４．１日	４１．７日	０日	１４．４日
稼動病床利用率	９８．４％	９８．７％	０％	９７．５％

□ 入院基本料　　（一般病棟：７対１）

□ 稼動病床数　一般７６３床　精神４２床　感染６床

4 ［診療圏］

千葉県東部及び茨城県鹿島地区を含む東南部の13市７町。　診療圏人口 約100万人。

5 ［地理的環境］

千葉県東部（東総地区）にあり、上記13市７町は病院を中心に半径30ｋｍ以内に入る。病院は東京駅より特急又は高速バスで約１時間半、千葉駅からは特急で１時間。総武本線旭駅より1,500m、病院正面玄関前に高速バス・千葉交通バス･各市町のコミュニティバス･病院シャトルバス（旭駅と病院間に１日16往復の専用無料バス）の停留所がある。

6 ［病院の特徴］

⑴ 専門医・認定医の教育病院、施設認定等

□内科学会	□消化器病学会	□呼吸器学会	□外科学会	□消化器外科学会	□麻酔科学会
□整形外科学会	□形成外科学会	□脳神経外科学会	□リウマチ学会	□産科婦人科学会	□小児科学会
□泌尿器科学会	□眼科学会	□耳鼻咽喉科学会	□皮膚科学会	□緩和医療学会	□核医学会
□歯科麻酔学会	□ペインクリニック学会	□病理学会(Aランク)	□救急医学会	□医学放射線学会	□アレルギー学会
□透析医学会	□消化器内視鏡学会	□腎臓学会	□循環器学会	□精神神経学会	□神経学会
□集中治療医学会	□臨床細胞学会	□胆道学会	□乳癌学会	□口腔外科学会	□顎顔面インプラント学会
□超音波医学会	□脳卒中学会	□血液学会	□静脈経腸栄養学会	□リハビリテーション医学会	□心血管インターベンション治療学会
□糖尿病学会	□内分泌外科学会	□甲状腺外科学会	□人間ドック学会	□不整脈心電学会	□周産期・新生児医学会
□消化管学会	□肝胆膵外科学会	□認知症学会	□急性血液浄化学会	□有病者歯科医療学会	

□心臓リハビリテーション学会 □呼吸器外科専門医合同委員会 □心臓血管外科専門医認定機構 □栄養療法推進協議会
□がん治療認定医機構 □ステントクラフト実施基準管理委員会 □マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 □乳房オンコプラスティックサージャリー学会
□地域がん診療連携拠点病院 □基幹災害医療センター □ＤＭＡＴ指定医療機関 □救命救急センター
□小児救急医療拠点病院 □救急告示病院 □第二種感染症指定医療機関 □エイズ治療拠点病院
□地域医療支援病院 □地域周産期母子医療センター □地域難病相談支援センター
□認知症疾患医療センター □地域リハビリテーション支援センター □生活保護法指定医療機関
□結核予防法指定医療機関 □原子爆弾被爆者一般疾病医療機関 □未熟児養育医療担当機関
□難病患者指定医療機関 □千葉県肝炎治療特別促進事業指定医療機関 □千葉県肝疾患専門医療機関
□指定小児慢性特定疾病医療機関 □千葉県特定不妊治療実施医療機関 □精神科指定通院医療機関
□精神科指定病院（措置入院･応急入院） □身体疾患合併症対応協力病院 □地域包括医療･ケア認定施設
□精神科救急医療機関（基幹病院･輪番病院） □千葉県精神障害者地域移行･地域定着協力病院 □難病医療協力病院
□千葉県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関 □母体保護法指定医師研修機関
□外国医師・歯科医師の臨床修練指定病院 □厚生労働省臨床研修指定・協力病院（医科／歯科） □ＮＣＤ施設
□透析療法従事職員研修実習指定施設 □人間ドック健診施設機能評価（Ver3.0認定第374号）
□日本医療機能評価機構認定：(3rdG:ver.1.1)・救急・緩和ケア（認定第GB24−3号） □ISO9001:2015 □ISO15189:2012

□ポジトロン断層撮影	□精神科作業療法・脳血管等,運動器,呼吸器,心大血管疾患リハビリテーション（Ⅰ）	
□マンモグラフィ検診施設	□高エネルギー放射線療法	□重症者等療養環境特別加算
□体外受精	□体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	□補助人工心臓
□高度難聴指導	□薬剤管理指導	□診療録管理体制　等

医師の生涯教育研修の場として地域医療研修センター、研修医の為の研修医センターを持ち、医学・病院関係の資料を多数展示する医学資料館を有する。

⑵ この65年間当院で研修し、東大・千葉大・医歯大・筑波大・自治医大等の教授になった方や、病院長になった方も多数輩出している。

⑶ 中央手術室は2011年５月より15室に増室（～４月までは12室）。手術室内での手術件数は、年間8,468件。

⑷ 看護基準は一般「７対１」を取得している。

⑸ 大部屋の病室でも全て１床当り８㎡以上ありアメニティーのよいこと。

⑹ 臨床と病理の照合、結びつきを重視している。

2014年度　99体　8.9%	2015年度　107体　8.9%
2016年度　95体　7.1%	2017年度　120体　8.7%

⑺ 医師については学閥がない。多数の国立・公私立大学より人材を得ている。

⑻ 一次～三次の救急患者（2017年度47,559名／即時入院月平均601名／うち開業医等よりの紹介依頼3,143名）に対して、常時24時間応需の救命救急センター（Aランク）を持ち、敷地内にヘリポートあり。

⑼　駐車場が広い、外来者用1,251台（身体障害者用21台含む）。

⑽　患者さんからの贈り物、お礼を戴かない。

⑾　看護専門学校（３年制180名）、養護・特別養護老人ホーム（各50名収容）、ケアハウス（40名収容）、介護老人保健施設（100名収容）を併設。

⑿　地域周産期母子医療センター、循環器センター、PET画像診断センター、健診センター、附属飯岡診療所、訪問看護ステーション、院内病弱小・中学級をもつ。

⒀　全医師が病院の敷地内又は近接地に居住。（医師367名、看護師302名、看護学生95名収容の宿舎あり）

⒁　労働組合はないが労使協調している。

7［医療に対するビジョン］～初代諸橋芳夫病院長が掲げた以下のような目標を私共職員一同は今後も継承してゆきます～

⑴　経済性と公共性をともに発揮し、医学的にも経済的にも社会的にも適正な、云わばその地域での模範的包括医療をする。

⑵　病を治すのではなく、病人を癒す。温かさ、思いやりの心が必要。

⑶　医学的に正しく、早く、安く、親切に治療する。

⑷　病気は治って喜ばれ、不幸にして亡くなってもそのご家族によい病院を選んだと感謝される病院、更に死後剖検をさせて頂き死因を究明し、医学医術の進歩に寄与し、医師の反省、研修の糧にさせて頂く。また、ご家族に死因を正しくお伝えし満足して頂く事のできる病院でありたい。

―医師及び看護師を始めとする全職員と患者さん側との信頼関係が良くてはじめて可能―

⑸　国内、国際学会に参加し、論文の発表に努める。

⑹　日進月歩の医学を身につけ、医の倫理の高揚に努める。

⑺　医師を始めとする病院職員は患者さんの為、国民の為にあるのであって病院及び職員の為に患者さんがあるのではない。

⑻　医師を始めとする病院職員は健康な人を一層健康にし、病気の早期発見に努め、病気又は怪我の人を一日も早く治し社会復帰させてあげることに生き甲斐を感ずる。

⑼　公的医療機関は民間の医療機関の対応できない高度・不採算医療、土日祭日、年末年始を含め24時間無休の救急医療等を受け持つ事は当然。

⑽　経営主体は違っても全ての医療機関と協力し、患者さんを中心に有機的に結びつくよう病診・病々連携に力を入れる。

⑾　病院の医療評価を高めるよう、また安全管理に努め地域住民に信頼される病院になるよう全職員が努力する。

⑿　地域の方々より選ばれ、且つ職員の働き甲斐のある病院とする。

⒀　日本の移植医療の発展に積極的に寄与する。

【2019年３月１日現在】

●収支状況表（2018年度）

（単位：千円）

	A)平成29年度決算	B)平成30年度予算	C)平成30年度決算	執行率 C)/B)	C)H30決算 −A)29年度決算	C)H30決算 −B)30年度予算
総収益	37,069,836	37,406,865	38,068,888	101.8%	999,052	662,023
営業収益	35,963,358	36,480,814	37,222,920	102.0%	1,259,562	742,106
医業収益	31,699,402	32,284,863	32,986,959	102.2%	1,287,557	702,096
入院収益	18,728,490	19,161,853	19,480,349	101.7%	751,859	318,496
外来収益	12,081,169	12,218,912	12,615,874	103.2%	534,705	396,962
その他医業収益	992,260	1,015,163	972,929	95.8%	▲ 19,331	▲ 42,234
介護保険事業収益	23,313	22,790	23,635	103.7%	322	845
保険等査定減	▲ 125,830	▲ 133,855	▲ 105,828	79.1%	20,002	28,027
運営費負担金収益（営業）	1,885,795	1,856,437	1,873,861	100.9%	▲ 11,934	17,424
運営費交付金収益（営業）	545,421	613,341	613,547	100.0%	68,126	206
補助金等収益（営業）	114,192	98,300	128,345	130.6%	14,153	30,045
資産見返負債戻入	612,147	511,390	511,630	100.0%	▲ 100,517	240
寄附金収益（営業）	0	0	0	--	0	0
看護学校事業収益	150,948	144,384	154,348	106.9%	3,400	9,964
老人保健施設事業収益	516,366	531,326	520,974	98.1%	4,608	▲ 10,352
養護老人ホーム事業収益	104,263	104,695	100,266	95.8%	▲ 3,997	▲ 4,429
特別養護老人ホーム事業収益	215,002	216,628	211,307	97.5%	▲ 3,695	▲ 5,321
ケアハウス事業収益	63,365	59,281	64,023	108.0%	658	4,742
訪問看護ステーション事業収益	56,457	59,623	57,660	96.7%	1,203	▲ 1,963
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ事業収益	0	546	0	0.0%	0	▲ 546
営業外収益	654,912	712,485	632,402	88.8%	▲ 22,510	▲ 80,083
運営費負担金収益（営業外）	324,679	323,600	301,701	93.2%	▲ 22,978	▲ 21,899
寄附金収益（営業外）	0	0	0	--	0	0
財務収益	459	1,139	1,811	159.0%	1,352	672
その他営業外収益	329,774	387,746	328,890	84.8%	▲ 884	▲ 58,856
臨時利益	451,566	213,566	213,566	100.0%	▲ 238,000	0
引当金戻入益	238,000	0	0	--	▲ 238,000	0
その他臨時利益	213,566	213,566	213,566	100.0%	0	0

	A)平成29年度決算	B)平成30年度予算	C)平成30年度決算	執行率 C)/B)	C)H30決算 −A)29年度決算	C)H30決算 −B)30年度予算
総費用	35,501,613	36,810,030	36,077,886	98.0%	576,273	▲ 732,144
営業費用	34,957,884	36,388,389	35,657,844	98.0%	699,960	▲ 730,545
医業費用	30,267,654	31,601,493	30,858,727	97.6%	591,073	▲ 742,766
給与費（医業）	14,262,238	14,747,538	14,238,133	96.5%	▲ 24,105	▲ 509,405
材料費（医業）	9,485,036	9,536,200	9,928,076	104.1%	443,040	391,876
経費（医業）	3,523,602	4,107,466	3,714,923	90.4%	191,321	▲ 392,543
減価償却費（医業）	2,683,343	2,816,409	2,653,319	94.2%	▲ 30,024	▲ 163,090
資産に係る控除対象外消費税償却	161,830	154,270	156,828	101.7%	▲ 5,002	2,558
研究研修費	151,605	239,610	167,448	69.9%	15,843	▲ 72,162
一般管理費	3,491,256	3,552,242	3,616,162	101.8%	124,906	63,920
給与費（一般）	2,016,124	2,014,958	2,086,218	103.5%	70,094	71,260
経費（一般）	1,181,384	1,288,820	1,278,231	99.2%	96,847	▲ 10,589
減価償却費（一般）	293,615	248,330	251,579	101.3%	▲ 42,036	3,249
時の経過による資産除去債務の調整額	133	134	134	100.0%	1	0
看護学校事業費用	202,707	243,688	172,557	70.8%	▲ 30,150	▲ 71,131
老人保健施設事業費用	515,130	498,997	541,178	108.5%	26,048	42,181
養護老人ホーム事業費用	135,043	155,468	129,876	83.5%	▲ 5,167	▲ 25,592
特別養護老人ホーム事業費用	232,801	219,017	234,405	107.0%	1,604	15,388
ケアハウス事業費用	49,971	55,926	50,662	90.6%	691	▲ 5,264
訪問看護ステーション事業費用	63,322	57,256	54,277	94.8%	▲ 9,045	▲ 2,979
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ事業費用	0	4,302	0	0.0%	0	▲ 4,302
営業外費用	453,686	421,641	418,572	99.3%	▲ 35,114	▲ 3,069
財務費用	451,347	421,631	417,975	99.1%	▲ 33,372	▲ 3,656
雑損失	2,339	10	597	5970.0%	▲ 1,742	587
臨時損失	90,043	0	1,470	--	▲ 88,573	1,470
固定資産除却損	1,379	0	1,470	--	91	1,470
減損損失	0	0	0	--	0	0
過年度損益修正損	88,664	0	0	--	▲ 88,664	0
その他臨時損失	0	0	0	--	0	0
当期純損益	1,568,223	596,835	1,991,002	333.6%	422,779	1,394,167

営業損益	1,005,474	92,425	1,565,076	1693.3%	559,602	1,472,651
医業損益	1,431,748	683,370	2,128,232	311.4%	696,484	1,444,862

	A)平成29年度決算	B)平成30年度予算	C)平成30年度決算	執行率 C)/B)	C)H30決算 −A)29年度決算	C)H30決算 −B)30年度予算
資本的収入	204,320	1,301,080	1,211,700	93.1%	1,007,380	▲ 89,380
長期借入金	200,000	1,300,000	1,209,000	93.0%	1,009,000	▲ 91,000
その他資本的収入	0	0	0	--	0	0
補助金	4,320	1,080	2,700	250.0%	▲ 1,620	1,620

	A)平成29年度決算	B)平成30年度予算	C)平成30年度決算	執行率 C)/B)	C)H30決算 −A)29年度決算	C)H30決算 −B)30年度予算
資本的支出	3,319,774	4,739,406	4,540,802	95.8%	1,221,028	▲ 198,604
工事費	59,879	486,433	367,531	75.6%	307,652	▲ 118,902
工事費	59,879	486,433	367,531	75.6%	307,652	▲ 118,902
建設改良費	1,374,721	2,504,000	2,424,298	96.8%	1,049,577	▲ 79,702
土地	600	0	54,631	--	54,031	54,631
建物	0	0	24,739	--	24,739	24,739
構築物	0	0	2,700	--	2,700	2,700
器械備品	1,067,407	1,400,000	1,272,805	90.9%	205,398	▲ 127,195
車両運搬具	2,781	4,000	3,660	91.5%	879	▲ 340
開発費（ソフトウエア）	303,933	1,100,000	1,065,763	96.9%	761,830	▲ 34,237
その他	0	0	0	--	0	0
償還金	1,794,729	1,658,369	1,658,369	100.0%	▲ 136,360	0
移行前地方債償還金	1,794,729	1,537,387	1,537,387	100.0%	▲ 257,342	0
長期借入金償還金	0	120,982	120,982	100.0%	120,982	0
その他資本的支出	90,445	90,604	90,604	100.0%	159	0
リース債務	90,445	90,604	90,604	100.0%	159	0

●科別請求額前年比（2018年度）

（単位：千円）

科別	外・入別	2017 年度計	2018 年度計	%	科別	外・入別	2017 年度計	2018 年度計	%
内科	外来件数	139,445	138,845	99.57%	新生児科	外来件数	5	0	0.00%
	入院件数	11,090	11,531	103.98%		入院件数	583	630	108.06%
	外来金額	6,097,995	6,646,247	108.99%		外来金額	161	4	2.60%
	入院金額	8,043,720	8,622,110	107.19%		入院金額	490,454	521,086	106.25%
	合計金額	14,141,716	15,268,357	107.97%		合計金額	490,615	521,090	106.21%
外科	外来件数	21,563	19,985	92.68%	脳神経外科	外来件数	8,795	8,407	95.59%
	入院件数	2,926	2,726	93.16%		入院件数	1,254	1,277	101.83%
	外来金額	909,683	707,012	77.72%		外来金額	197,747	190,693	96.43%
	入院金額	2,423,704	2,400,851	99.06%		入院金額	1,163,417	1,234,401	106.10%
	合計金額	3,333,387	3,107,862	93.23%		合計金額	1,361,164	1,425,094	104.70%
産婦人科	外来件数	27,321	27,140	99.34%	麻酔科	外来件数	1,057	1,444	136.61%
	入院件数	2,670	2,758	103.30%		入院件数	0	2	
	外来金額	312,388	323,431	103.54%		外来金額	9,606	14,826	154.33%
	入院金額	1,104,206	1,138,296	103.09%		入院金額	0	2,727	
	合計金額	1,416,593	1,461,727	103.19%		合計金額	9,606	17,552	182.72%
眼科	外来件数	19,170	17,687	92.26%	心臓外科	外来件数	1,803	1,861	103.22%
	入院件数	987	836	84.70%		入院件数	174	199	114.37%
	外来金額	497,330	486,970	97.92%		外来金額	33,748	36,925	109.41%
	入院金額	413,468	348,010	84.17%		入院金額	595,001	656,464	110.33%
	合計金額	910,798	834,980	91.68%		合計金額	628,749	693,390	110.28%
皮膚科	外来件数	12,791	13,018	101.77%	形成外科	外来件数	5,432	6,229	114.67%
	入院件数	124	204	164.52%		入院件数	366	448	122.40%
	外来金額	124,506	160,916	129.24%		外来金額	76,652	97,888	127.71%
	入院金額	60,910	78,867	129.48%		入院金額	297,823	335,164	112.54%
	合計金額	185,416	239,782	129.32%		合計金額	374,474	433,053	115.64%
耳鼻咽喉科	外来件数	12,458	13,316	106.89%	リハビリ科	外来件数	2,636	2,831	107.40%
	入院件数	563	542	96.27%		入院件数	0	1	
	外来金額	173,446	183,599	105.85%		外来金額	88,090	87,968	99.86%
	入院金額	272,405	262,962	96.53%		入院金額	0	6	
	合計金額	445,851	446,561	100.16%		合計金額	88,090	87,974	99.87%
整形外科	外来件数	16,000	16,683	104.27%	歯科	外来件数	19,736	21,122	107.02%
	入院件数	1,297	1,189	91.67%		入院件数	152	122	80.26%
	外来金額	262,478	276,980	105.53%		外来金額	244,334	245,902	100.64%
	入院金額	1,191,309	1,251,352	105.04%		入院金額	59,851	49,436	82.60%
	合計金額	1,453,787	1,528,332	105.13%		合計金額	304,185	295,339	97.09%
精神科	外来件数	22,824	22,455	98.38%	合計	外来件数	360,552	359,157	99.61%
	入院件数	703	694	98.72%		入院件数	27,759	27,718	99.85%
	外来金額	312,830	312,978	100.05%		外来金額	12,315,178	12,842,675	104.28%
	入院金額	406,248	395,288	97.30%		入院金額	18,765,074	19,589,737	104.39%
	合計金額	719,078	708,266	98.50%		合計金額	31,080,252	32,432,412	104.35%
泌尿器科	外来件数	17,754	17,888	100.75%	※放射線科（※再掲）	外来件数	2,855	3,469	121.51%
	入院件数	2,502	2,331	93.17%		外来金額	301,350	332,406	110.31%
	外来金額	771,348	908,972	117.84%			0	0	
	入院金額	1,066,801	1,063,539	99.69%	診療所	外来件数	4,848	4,677	96.47%
	合計金額	1,838,148	1,972,511	107.31%		外来金額	28,114	27,024	96.12%
透析	外来件数	4,776	4,744	99.33%	その他	差額室料	590,293	587,632	99.55%
	入院件数	752	871	115.82%					
	外来金額	1,653,863	1,633,194	98.75%					
	入院金額	556,359	690,817	124.17%		その他外	258,086	248,631	96.34%
	合計金額	2,210,222	2,324,010	105.15%					
小児科	外来件数	26,986	25,502	94.50%	総合計		**31,956,745**	**33,295,699**	**104.19**
	入院件数	1,616	1,357	83.97%					
	外来金額	548,974	528,171	96.21%					
	入院金額	619,399	538,360	86.92%					
	合計金額	1,168,373	1,066,531	91.28%					

●市町村別レセプト件数（2018年度）

項目 / 市町村名	人口データ			レセプト件数		比率	
	2018年4月	2019年3月	増減率	外来	入院	外来	入院
旭市	66,156	64,584	97.6%	108,217	6,854	31.1%	25.1%
銚子市	62,482	60,026	96.1%	53,165	4,499	15.3%	16.5%
匝瑳市	36,969	35,519	96.1%	34,946	2,964	10.0%	10.9%
香取市	77,536	73,904	95.3%	37,998	3,066	10.9%	11.2%
香取郡東庄町	14,206	13,485	94.9%	13,863	1,129	4.0%	4.1%
香取郡多古町	14,877	14,115	94.9%	7,240	548	2.1%	2.0%
香取郡神崎町	6,170	5,901	95.6%	440	29	0.1%	0.1%
山武郡横芝光町	24,088	22,766	94.5%	17,813	1,721	5.1%	6.3%
山武市	52,386	49,712	94.9%	13,341	1,130	3.8%	4.1%
東金市	59,119	58,729	99.3%	3,812	411	1.1%	1.5%
成田市	132,943	132,756	99.9%	1,828	131	0.5%	0.5%
山武郡芝山町	7,461	7,108	95.3%	1,176	81	0.3%	0.3%
山武郡九十九里町	16,235	15,319	94.4%	2,742	263	0.8%	1.0%
茨城県神栖市	95,246	95,229	100.0%	34,179	2,875	9.8%	10.5%
茨城県鹿嶋市	67,560	67,482	99.9%	6,716	450	1.9%	1.7%
茨城県潮来市	28,201	28,114	99.7%	2,750	170	0.8%	0.6%
その他				8,137	943	2.3%	3.5%
合計	761,635	744,749	97.78%	348,363	27,264	100.0%	100.0%

※人口データは県・市のホームページより

●診療実績（2018年度）

旭中央病院診療実績　（2018年度）

科別	外来 1日平均 診療日数	外来 1日平均 2017年度	外来 1日平均 診療日数	外来 1日平均 2018年度	外来 1年延数 2017年度	外来 1年延数 2018年度	入院 1日平均 診療日数	入院 1日平均 2017年度	入院 1日平均 診療日数	入院 1日平均 2018年度	入院 1年延数 2017年度	入院 1年延数 2018年度	救命救急各科内訳	緩和ケア各科内訳
内科	244	718	244	705	175,302	172,138	365	340	365	360	124,241	131,338	(5,053)	(2,985)
感染							365	0	365	0	0	0	0	0
心臓外科	96	24	107	23	2,317	2,465	365	8	365	9	2,784	3,258	(938)	0
麻酔科	244	9	244	11	2,297	2,781	365	0	365	0	87	6	0	0
外科	244	126	244	119	30,841	28,988	365	80	365	73	29,125	26,633	(1,008)	(884)
形成外科	244	43	244	47	10,455	11,458	365	11	365	10	4,108	3,758	(58)	0
脳神経外科	244	44	244	43	10,799	10,558	365	39	365	43	14,366	15,628	(394)	(110)
整形外科	244	105	244	109	25,645	26,567	365	45	365	44	16,254	16,127	(399)	(8)
産婦人科	244	143	244	141	34,993	34,496	365	40	365	40	14,466	14,428	(23)	(469)
耳鼻咽喉科	244	78	244	83	18,918	20,344	365	12	365	11	4,536	4,189	(42)	(565)
皮膚科	244	102	244	104	24,872	25,343	365	3	365	4	1,161	1,547	(21)	(28)
泌尿器科	244	106	244	108	25,909	26,242	365	48	365	43	17,643	15,783	(120)	(669)
眼科	244	131	244	119	31,981	28,966	365	15	365	13	5,515	4,666	0	0
歯口科	244	145	244	162	35,439	39,414	365	3	365	2	1,012	724	(9)	(10)
小児科	244	116	244	111	28,299	27,042	365	28	365	24	10,402	8,643	0	0
透析	313	192	311	191	60,135	59,521	365	27	365	36	9,980	13,006	(300)	0
周産期医療センター							365	17	365	19	6,158	6,754	0	0
救命救急センター	365	130	365	128	47,559	46,741	365	(21)	365	(23)	(7,616)	(8,365)	0	0
緩和ケア							365	(15)	365	(16)	(5,431)	(5,728)	0	0
リハビリ科	244	40	244	42	9,776	10,129	365	(216)	365	(239)	(78,967)	(87,122)	0	0
人間ドック	244	11	244	10	2,571	2,500								
放射線科	246	65	245	67	16,005	16,307								
ＰＥＴ	244	1	244	1	220	244								
訪問診療	244	1	245	1	259	229								
一般計	－	2,330	－	2,325	594,592	592,473	365	716	365	731	261,838	266,488	(8,365)	(5,728)
前年度比				99.8%		99.6%				102.1%		101.8%		
神経精神科	244	182	244	175	44,331	42,788	365	38	365	37	13,727	13,682		
前年度比				96.2%		96.5%				97.4%		99.7%		
合計		2,512		2,500	638,923	635,261		754		768	275,565	280,170	(8,365)	(5,728)
前年度比				99.5%		99.4%				101.9%		101.7%		
ドック（外泊）							243	10	244	10	2,518	2,468		
飯岡診療所	148	35	152	33	5,134	5,077								
シルバーケア	310	20	308	19	6,312	5,967	365	90	365	91	32,910	33,131		
養護老人ホーム							365	34	365	33	12,254	11,918		
特別養護老人ホーム							365	49	365	48	18,059	17,614		
ケアハウス							365	40	365	40	14,600	14,600		

			2017年度	2018年度
外来患者数	一般	新患者数	108,341	108,085
		（新患者数※）	32,695	32,792
		最高患者数	2,683	2,750
		最低患者数	1,845	1,751
	精神	新患者数	685	643
		最高患者数	300	292
		最低患者数	100	89
入院患者数	一般	新患者数	19,521	19,436
		（1日平均）	(53.5)	53.2
		最高患者数	794	800
		最低患者数	550	594
	精神	新患者数	278	269
		最高患者数	46	44
		最低患者数	30	29

		2017年度	2018年度
救急患者数	総数	47,559	46,741
	即時入院	7,206	7,098
	救急車搬送	7,563	7,731
剖検	死亡数	1,380	1,286
	剖検数	120	96
	剖検率	8.7%	7.5%
稼動病床利用率	一般病床	93.3%	94.9%
	精神病床	89.5%	89.2%
平均在院日数（一般）	除外（無）	12.4	12.7
	除外（有）	13.2	13.6
平均在院日数（精神）	除外（無）	48.8	49.8
紹介患者数		20,081	20,796
逆紹介患者数		32,442	30,393

		2017年度	2018年度
放射線科	治療人数	12,382	11,912
	検査人数	175,255	180,319
PET検査総件数		1,793	1,750
検査科	検査件数	5,720,056	5,790,528
中央手術室手術件数		8,469	8,417
透析件数		59,875	59,504
分娩件数		933	933
ドクターズカー件数		59	53
レセプト件数（一般）	外来	380,299	378,105
	入院	26,600	26,549
レセプト件数（精神）	外来	24,901	24,645
	入院	697	689
紹介率		61.4%	63.4%
逆紹介率		99.2%	92.7%

※　平均在院日数　除外（有）

2018年度より短期滞在手術基本料3に該当・緩和ケア・NICU・GCU・精神科救急入院料・自費・労災の患者を除く（前年度についても同様に再計算）

※　稼働病床利用率 … 稼働病床内訳　2014年4月～（一般763床、精神42床）

※　病床利用率＝月延患者数÷（稼動病床数×月日数）　一般病床利用率には感染6床を含む

※　（新患者数※）…初診料算定の患者数

2019/4/9-2　総務人事課

●講演会などへの講師派遣一覧（2018年度）

派遣日	依　頼　元	講師名	依頼内容(演題等)	場　所	対　象　者
2018年 4月23日 5月14日	千葉県総合企画部男女共同参画課長 千葉県健康福祉部児童家庭課長	仙田 昌義 医師	「児童虐待・DVの医学的な診断方法」	千葉市文化センター5階セミナー室	市町村、県警、千葉県男女共同参画センター、女性サポートセンター等の新任職員
5月2日	千葉県総合企画部男女共同参画課長 千葉県健康福祉部児童家庭課長	仙田 昌義 医師	DV・児童虐待相談新任職員研修「児童虐待・DVの医学的な診断方法」	千葉県庁中庁舎	市町村、DV・児童虐待相談関係施設職員、他
5月22日	医療法人社団　中條医院	大西 俊一郎 医師	地域における糖尿病教育・指導、特にコメディカルによる生活指導・介入について	中條医院	同医院職員
5月24日	千葉科学大学	金芳 佳子 がん化学療法看護認定看護師	「成人慢性期看護援助論Ⅱ」	千葉科学大学看護学部棟	同大学看護学部学生
5月29日 5月30日 5月31日	千葉県消防学校長	神田 順二 医師 中津 裕臣 医師 伊藤 史生 医師	救急の医学の基礎「解剖生理」（循環器）（泌尿器系） 病態別応急措置「心肺停止」	千葉県消防学校	同消防学校学生74名
5月30日	香取市立佐原第五中学校	綿貫 美恵 助産師	思春期講演会「考えよう！生命とあなたの夢・行動」	香取市立佐原第五中学校　体育館	同校3年生80名
6月以降月1回年4回	千葉県立大網白里特別支援学校	宇井 円 言語聴覚士	児童生徒のコミュニケーション等に関する指導及び助言	千葉県立大網白里特別支援学校	同校教職員
6月6日	千葉科学大学	加瀬 昌子 皮膚・排泄ケア認定看護師	「成人慢性期看護援助論Ⅱ」	千葉科学大学看護学部棟	同大学看護学部学生
6月8日	社会福祉法人ロザリオの聖母会	中村 朗 医師	ＨＩＶを含む感染症対策について	ロザリオの聖母会中沢ホール	同病院職員
6月18日 7月 2日	千葉県立銚子特別支援学校	平津 千恵 理学療法士	幼児児童生徒の指導場面と指導助言	千葉県立銚子特別支援学校	同校職員
6月19日	千葉科学大学	川島 美智子 薬剤師 鈴木 裕人 薬剤師 岩田 佳之 薬剤師	事前実習講義	千葉科学大学マリーナキャンパス講義棟	同大学薬学部薬学科4年次生90名
6月20日	茨城県立波崎高等学校	五十嵐 礼子 感染管理認定看護師	「性教育講和」	茨城県立波崎高等学校　体育館	同校2年生185名 教職員15名
6月21日	国際医療福祉大学保健医療学部	藤田 圭一 放射線技師	診療放射線特論　医療の現場から	国際医療福祉大学	同大学 放射線・情報学科４年生
6月21日	千葉県立東金高等学校	中津 裕臣 医師	エイズ感染症を含めた性感染症の防止について	千葉県立東金高等学校	同校学生、関係者
6月21日 10月 4日 11月21日 12月 4日 2019年 2月 5日	千葉県立飯高特別支援学校	宇井 円 言語聴覚士	自立活動（認知　コミュニケーション）の指導	千葉県立飯高特別支援学校	同校学生
6月27日	山武郡市行政組合立　養護老人ホーム坂田苑	佐々木 優子 感染管理認定看護師	ノロウィルス感染予防対策研修会	山武郡市広域行政組合立養護老人ホーム坂田苑	同施設看護師、生活相談員、支援員15名
6月27日	国保小見川総合病院付属看護専門学校　学校長	出口 文比呂 ピアサポート専門員	精神看護援助論演習	国保小見川総合病院付属看護専門学校	同校看護学生29名
6月28日	東京慈恵会医科大学	加藤 基 医師	小児リンパ外科　乳び胸腹水、リンパ浮腫、リンパ管種	東京慈恵医科大学大学1号館	同大学小児科学講座医局員
7月4日	国保小見川総合病院付属看護専門学校	河口 成富 看護師	「精神看護援助論」地域における訪問看護の実際	国保小見川総合病院付属看護専門学校	同校看護学生29名

派遣日	依　頼　元	講師名	依頼内容(演題等)	場　所	対　象　者
7月4日	東庄町立東庄中学校	中津 裕臣 医師	性教育（思春期と心と体の成長・エイズ等）	香取市青馬の里	同校３年生
7月6日	千葉県香取健康福祉センター	中津 裕臣 医師 五十嵐 礼子 感染管理認定看護師、ピアサポーター7名	「エイズ・性感染症の予防について」 「ピアエデュケーション」	千葉県立佐原高等学校	同校定時制全学年45名
7月7日	公益社団法人　日本放射線技術学会東北支部	五十嵐 隆元 放射線技師	「ディジタルマンモグラフィの被ばく管理」	コラッセ福島（福島市）	同学会会員
7月10日	香取市立山田中学校	中津 裕臣 医師	思春期講演会「尊い命、性感染症予防」	香取市立山田中学校	同校３年生61名
7月17日	多古町立多古中学校	中津 裕臣 医師	エイズ・性感染症予防と命の大切さ	多古町立多古中学校体育館	同校３年生生徒・保護者
7月18日 10月21日	一般社団法人　旭市歯科医師会	秋葉 正一 歯科医師	平成30年度第1回・第2回院内感染防止に係る研修会	旭匝瑳医師会館会議室 ホテルサンモール別館６階	旭市歯科医師会 会員
7月21日	旭市教育委員会	宇井 円 言語聴覚士	３歳児わくわく子育て学級「成長と発達」	海上公民館	3歳児の保護者
7月30日	公益財団法人日本看護協会看護研修学校	加瀬 昌子 皮膚・排泄ケア認定看護師	演習　創傷管理関連<創傷の管理と実際>	公益社団法人日本看護協会看護研修学校	同校研修生30名
8月2日	東総ブロック難聴・言語障害教育研究協議会	金屋 麻衣 言語聴覚士	授業を含む事例検討会「口唇口蓋裂のある児童への指導」 講話「口唇口蓋裂とは」	東総教育会館	海匝香取管内の難聴特別支援学級担任　言語障害特別・通級指導教室担当者　37名
8月7日	千葉県特別支援教育研究連盟知的障害教育研究部会	宇井 円 言語聴覚士	「言語コミュニケーションの理解と支援」	千葉県立飯高特別支援学校	知的障害教育研究部会夏季研修会受講者
8月7日	香取市教育研究協議会会長同保健研究部部長	池田 裕樹 臨床心理士 吉田 崇一郎 臨床心理士	「自己表現が少ない子へのかかわり方」	香取市佐原中央公民館	香取市小・中学校養護教諭44名
8月19日	千葉県地域医療支援センター長	大西 俊一郎 医師	ちば地域医療魅力発見セミナー 2018夏	ホテルポートプラザちば	千葉県医師修学資金受給者
8月23日	千葉市養護教育センター長	仙田 昌義 医師	虐待事例から学ぶ子供理解や支援の仕方について	千葉市教育会館大ホール	千葉市小・中・特別支援学校教員等　199名
8月25日	実践能力強化型チーム医療加速プログラム	五十嵐 隆元 放射線技師	「放射線科被ばくに関する知識の再習得と被ばく相談への対応」	九州大学　病院キャンパス	第10回医療従事者臨地実習指導者講習会受講者
8月26日	第28回日本外来小児科学会年次集会	仙田 昌義 医師	虐待講習会	東京国際フォーラム	小児科学会年次集会参加者
8月27日	千葉県立安房特別支援学校	宇井 円 言語聴覚士	「言語・コミュニケーションの理解と支援」	安房特別支援学校中里本校	同校本校職員40名
8月28日	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研修所長	名雪 和美 精神保健福祉士	「実例から学ぶ地域づくり②」	国立精神・神経医療研究センター	同センター精神保健技術者
8月28日	千葉県香取健康福祉センター長	中津 裕臣 医師 五十嵐 礼子 感染管理認定看護師 ピアサポーター看護師７名	「エイズ・性感染症の予防について」 ピアエデュケーション ピアサポーター	学校法人早稲田学園わせがく高等学校	同校生徒55名
8月31日	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所長	片倉 知雄 精神保健福祉士	「アウトリーチチームと地域連携/グループワーク」	国立精神・神経医療研究センター	同研究所精神保健技術者
9月1日	公益社団法人　日本放射線技術学会	五十嵐 隆元 放射線技師	マンモグラフィにおける放射線防護	名古屋市立大学病院講堂	同学会放射線技師100名

派遣日	依　頼　元	講師名	依頼内容(演題等)	場　所	対　象　者
9月2日	一般社団法人全国地域で暮らそうネットワーク	名雪 和美 精神保健福祉士	「次世代セッション、さあ皆さんの出番です」	武蔵野大学有明キャンパス	精神科医療従事者
9月16日	一般社団法人日本プライマリケア連合学会	仙田 昌義 医師	気になる子ども・家族に出会ったら～子ども虐待対応ワークショップ～	大阪科学技術センター	第16回日本プライマリケア連合学会秋季生涯教育セミナー受講者
9月20日 10月12日 11月 7日 12月 6日	千葉県立銚子特別支援学校	平津 千恵 理学療法士	幼児児童生徒の指導場面の観察と指導助言	千葉県立銚子特別支援学校	同校職員
9月21日	独立行政法人国立病院機構下志津病院	中村 朗 医師	「抗菌薬適正使用と多剤耐性菌関連等について」	国立病院機構下志津病院	同病院職員
9月23日	国立大学法人筑波大学　医学群長	五十嵐 隆元 放射線技師	メディカルスタッフの被ばく管理	筑波大学健康医科学イノベーション棟	医療放射線リスクコミュニケーションセミナー出席者
9月27日	千葉県健康福祉部児童家庭課長	仙田 昌義 医師	医療機関における児童虐待対応～DVと性虐待を見落とさないために～	千葉県庁本庁舎	児童虐待対応関係者
9月27日 9月28日	第54回日本胆道学会学術集会	志村 謙次 医師	第54回日本胆道学会学術集会一般演題口演36座長	幕張メッセ　国際会議場	同学会総会参加者
9月30日	東邦大学医療センター佐倉病院	磯野 友厚 医師	緩和ケア研修会「精神症状・コミュケーションロールプレイ・コミュニケーション講義」	東邦大学医療センター佐倉病院	がん診療関係医師、看護師、薬剤師、他
9月～3月	公益社団法人日本看護協会会長	髙橋　功　医師	2018年度「特定行為研修」	eラーニング	日本看護協会2018年度秋期入学コース受講生　看護研修学校70名神戸研修センター 11名
10月～12月	国保小見川総合病院付属看護専門学校	岡田 和樹 医師	精神看護援助論講義	国保小見川総合病院付属看護専門学校	同校看護学生28名
10月6日	埼玉県総合医局機構地域医療教育センター	浅見 貴弘 医師	日本内科学会JMECC	埼玉県地域医療教育センター	医師、看護師、他
10月7日	一般社団法人京都府医師会	塩尻 俊明 医師	研修会「京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～」	京都府医師会館3階	医師、看護師（訪問看護師）など
10月10日	千葉県歯科医師会	秋葉 正一 歯科医師	口腔粘膜の診かた、口腔の視診・触診（相互実習）	旭中央病院	千葉県歯科医師会会員、県内開業・勤務の歯科医師・歯科衛生士
10月10日	茨城県立波崎高等学校	綿貫 美恵 助産師	「性教育講和」	茨城県立波崎高等学校体育館	同校1年生188名
10月11日	銚子市立銚子高等学校	岩田 佳之 薬剤師 内匠 李奈 理学療法士	平成30年度職業人講話	銚子市立銚子高等学校	同校１年生
10月13日	千葉県立東部図書館館	臨床栄養科	「はつらつ世代の栄養管理」	千葉県立東部図書館	一般県民40名
10月17日	国際医療福祉大学	今野 和成 作業療法士	「先端作業療法特論」災害支援での作業療法士の役割	国際医療福祉大学	同大学成田保健医療学部作業療法学科学生
10月19日	千葉県保育協議会海匝支会	仙田 昌義 医師	保育士研修会	飯岡ユートピアセンター	保育士120名
10月20日	第31回日本新生児慢性肺疾患研究会	加藤 基 医師	シンポジウム「難治性リンパ感性乳び胸水の治療」	埼玉県立小児医療センター	日本慢性肺疾患研究会参加者
10月24日	香取市立佐原中学校	中津 裕臣 医師	エイズを含めた性感染症の予防	香取市立佐原中学校	同校３年生219名
10月24日	学校法人　旭鈴木学園　認定こども園　あさひこひつじ幼稚園	仙田 昌義 医師	「地域医療の役割・子どもの病気と発達について」	あさひこひつじ幼稚園	同園児の保護者、就園前児保護者

派遣日	依　頼　元	講師名	依頼内容(演題等)	場　所	対　象　者
10月24日	旭市消防長	救急指導医、救命救急センター看護師	救助多傷病事故訓練	旭市消防本部	旭市消防本部、当院救急指導医師、救急看護師
10月25日 ～27日	特定非営利活動法人言語発達障害研究会	宇井 円 言語聴覚士	言語発達障害訓練プログラム講習会	国立オリンピック記念青少年総合センター	言語発達遅滞児療育・臨床関係者
10月30日	千葉県グループホーム等連絡協議会海匝地区第54回世話人会	川副 泰成 医師	てんかんについて	ロザリオの聖母会	世話人会会員
10月30日	千葉県立松尾高等学校	中津 裕臣 医師 五十嵐 礼子 感染管理認定看護師	平成30年度性教育講座	千葉県立松尾高等学校	同校生徒
11月3日	千葉県糖尿病看護研究会 船橋市立医療センター	宮原 孝子 糖尿病看護認定看護師	第23回千葉県糖尿病看護研究会	京成ホテルミラマーレ	千葉県糖尿病看護研究会会員、非会員
11月5日	千葉県健康福祉部障害者福祉推進課	名雪 和美 精神保健福祉士	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて～国の方向性と今後の取り組みについて～	千葉県庁南庁舎	精神障害者圏域連携コーディネーター
11月5日	群馬大学医学部附属病院	仙田 昌義 医師	群馬県児童虐待防止医療ネットワーク事業医療従事者研修	太田記念病院 太田高等看護学院講堂	群馬県児童虐待防止関係者
11月9日	武田薬品工業	中津 裕臣 医師	平成30年度千葉県医師会医学会第19回学術大会泌尿器科分科会学術講演会	京成ホテルミラマーレ	泌尿器科医師、他　50名
11月10日	千葉県がん診療連携協議会	高山 美津子 社会福祉士	平成30年度地域相談フォーラムin東京　神奈川　埼玉　千葉	千葉商工会議所	がん診療支援拠点病院業務相談員100名
11月12日	淑徳大学大学院　総合福祉研究科	吉田 崇一郎 臨床心理士	臨床心理配属実習Ⅱ報告会	淑徳大学千葉キャンパス	同大学大学院実習生
11月14日	銚子市歯科医師会	大西 俊一郎 医師	銚子市三師会合同研修会	銚子プラザホテル2階	医師会会員、歯科医師会会員、薬剤師会会員
11月15日	印旛郡市保健指導者研究会	坂本 泰樹 作業療法士	「行動変容が促せる面接法からさまざまな保健指導の場面での活用～」について	酒々井町保健センター	印旛管内９市町村保健師・看護師　他
11月16日	千葉特別支援学校教育研究会長	大西 俊一郎 医師	千葉県特別支援学校学校給食研究部会研修「栄養指導におけるコーチングについて」	千葉総合教育センター本館３階	千葉県内特別支援学校栄養教諭、学校栄養職員38名
11月17日	一般社団法人日本血液製剤機構首都圏第二統括部	北澤 克彦 医師	第11回千葉小児救命治療研究会　世話人会	京成ホテルミラマーレ	千葉小児救命集中治療研究会世話人
11月18日	千葉科学大学	礒部 良徳 臨床検査技師	細胞診講習会　鏡検実習	千葉科学大学	同大学学生
11月20日	株式会社エージ―ピー	坂井厚夫 管理栄養士	栄養管理の運営、運用状況	東京ビッグサイト東ホール	病院経営、栄養管理従事者
11月24日	千葉大学医学部附属病院長	櫻橋 信行 社会福祉士	平成30年度　第３回千葉県HIV拠点病院SW部門会議	千葉大学医学部附属病院	HIV拠点病院ソーシャルワーカー
11月27日	鹿島労災病院	中村 朗 医師	抗菌薬適正使用について	鹿島労災病院	同病院職員
11月30日	旭市地域自立支援議会	櫻井 孝二 精神保健福祉士	第３回精神障害者支援部会	さわやかホール	精神障害者支援者、関係者
12月6日	国立障害者リハビリテーションセンター総長	大屋 滋 医師	平成30年度リハビリテーション看護研修会「医療のバリアフリーを考える　自閉症や知的障害のある人の医療機関受診の問題点」	国立障害者リハビリテーションセンター	リハビリテーション看護師 知的障害　発達障害看護師
12月7日	旭市立中和小学校	高根 直美 栄養士 大西 俊一郎 医師	「家庭でできる生活習慣病の予防について」	旭市立中和小学校	同校生徒保護者、教諭

派遣日	依　頼　元	講師名	依頼内容(演題等)	場　所	対　象　者
12月9日	千葉医師研修支援ネットワーク	加々美 新一郎 医師 戸田 陽介 医師	第3回Chiba Clinical Skills Boot Camp2018	ホテルサンルート千葉	初期臨床研修医等50名
12月10日	千葉県香取健康福祉センター長	吉田 崇一郎 臨床心理士	医療機関でピアサポート講座講師	千葉県香取合同庁舎	精神保健福祉ピアサポート活動希望者
12月11日	東庄町長	木脇 和利 社会福祉士	東庄町母子保健推進員研修会「子どもの虐待予防について」	東庄町保健総合センター	保健推進委員32名
12月18日	仙台市知的障害者関係団体連絡協議会	大屋 滋 医師	「発達障害のある方への医療機関受診時のよりよい支援と対応について」	エル・ソーラ仙台	知的障害者家族、施設役職員60名
12月19日	千葉県海匝健康福祉センター	中津 裕臣 医師	エイズ・性感染症の予防について	銚子市立銚子中学校	同中学校２年生151名　教員10名
12月20日	千葉県健康福祉部長	木脇 良枝 管理栄養士	平成30年度第４回糖尿病性腎症重症化予防における保健指導従事者研修会「糖尿病性腎症重症化予防のための食事管理と保健指導のポイント	成田国際文化会館国際会議室	保健指導従事者
12月20日	匝瑳市保育士研修会	仙田 昌義 医師	「虐待について」	匝瑳市市民ふれあいセンター	匝瑳市立公立正規保育士 臨時保育士40名
2019年 1月10日	千葉県健康福祉部長	仙田 昌義 医師	八街市要保護児童対策地域協議会実務者会議	八街市役所敷地内総合保健福祉センター	八街市要保護児童対策地域協議会構成員
1月16日	公益社団法人千葉県国民健康保険直営診療施設協会	石井 明菜 看護師	看護部会研修会	オークラ千葉ホテル	看護部会員
1月28日	旭市民生委員児童委員連絡協議会	神田 順二 医師	高齢者を訪問する際の注意点	ヒューマンプラザ黄鶴	民生委員、児童委員
2月1日	銚子市社会福祉協議会	大屋 滋 医師	第55回銚子市社会福祉大会 第48回銚子市精神保健大会 記念講演	銚子市保健福祉センター	民生委員、児童委員、他
2月7日	千葉県健康福祉障害者福祉推進課長	大屋 滋 医師	障害者医療受診サポートセミナー	銚子市保健福祉センター	銚子市医師会会員 千葉県歯科医師会会員、他
2月13日	旭市歯科医師会	秋葉 正一 歯科医師	旭市歯科医師会第16回臨床研修会	旭中央病院	同会員
2月15日	日本血液製剤機構　北海道東北統括部	髙橋 功 医師	道北救命セミナー	旭川市星野リゾートOM07	医師、薬剤師、看護師、救命救急士
2月19日	東総産婦人科医会	古川 恵一 医師	第61回東総産婦人科医会講演会	旭中央病院　大講堂	東総地区医師、助産師、他
2月19日	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長	加藤 基 医師	指導、助言２時間、講演１時間	鹿児島大学病院総合研修セミナー室	鹿児島大学大学院歯学総合研究科
2月19日	株式会社エージ―ピー	坂井 厚夫 管理栄養士	第40回フード・ケータリングショーニュークックチル事例紹介と試食会	東京ビッグサイト	病院経営、栄養管理従事者
2月20日	千葉県保険医協会	中村 朗 医師	医療安全研修会「開業医に求められる院内感染・AMR対策」	ホテルサンモール	同協会香取海匝地域医師 歯科医師、他
2月20日	富里市長	持田 英俊 医師	平成30年度富里市在宅医療・介護連携推進事業「多職種による顔の見える研修会」	富里中央公民館	在宅医療・介護関係者
2月21日	国保直営総合病院君津中央病院	小俣 渡 医師	第52回上総がんフォーラム	君津中央病院４階講堂	君津保健医療圏医療従事者
2月21日	旭市立富浦小学校	旭中央病院 食育チーム	保健指導、食と生活習慣病について 、他	富浦小学校	同校１年～４年生

派遣日	依　頼　元	講師名	依頼内容(演題等)	場　所	対　象　者
2月24日	日本がん看護学会教育・研究活動委員会	金芳 佳子 がん化学療法看護認定看護師	第33回日本がん看護学会学術集会　教育セミナー 11	福岡サンパレス	同協会看護師
2月26日	銚子市公共職業安定所長	宮内 出口ピアサポート専門員	障害者の就職・仕事について	銚子公共職業安定所	雇用企業
2月27日	香取健康福祉センター長	大島 誠 小児救急看護認定看護師 伊藤 亜寿華 社会福祉士	平成30年小児慢性特定疾病児童等自立支援事業に係る研修会「病院での取り組みと学校・園との連携に望むこと」	香取市合同庁舎	小・中・高　特別支援学校養護教諭 市町・健康福祉センター保健師、他
3月6日	千葉県病院薬剤師会	川島 美智子 薬剤師	平成30年度千葉県病院薬剤師会東部支部研修会	旭中央病院　地域医療支援センター	千葉県病院薬剤師会会員30 〜 40名
3月7日	全国健康保険協会千葉支部	渡邉 三郎 医師	ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー	京成ホテルミラマーレ	県内薬剤師
3月9日	千葉県国民健康保険直営診療施設協会	大木 雅貴 薬剤師	薬剤部会研修会	オークラ千葉ホテル	同協会薬剤部会員
3月12日	山武市介護支援専門員連絡会	中村 朗 医師 髙橋 由起子 看護師 櫻橋 信行 社会福祉士	HIV研修会	山武市役所	介護支援専門員
3月13日	埼玉医科大学国際医療センター	加藤 基 医師	小児に対するリンパ管静脈吻合術の実施	埼玉医科大学国際医療センター	同センター小児心臓外科
3月15日	日本看護協会看護研修学校	加瀬 昌子 皮膚・排泄ケア認定看護師	特定行為研修	日本看護協会看護研修学校	同校研修生30名
3月23日	地域精神保健福祉機構	青木 勉 医師	「これからの地域精神医療・福祉の発展をめざして」	長崎ウエスレヤン大学	精神医療従事者、患者家族、患者100名
3月23日 24日	東邦大学医療センター佐倉病院	小早川 晶 医師 磯野 友厚 医師	緩和ケア研修会	東邦大学医療センター佐倉病院	がん診療に携わる医師、看護師、薬剤師
3月26日	千葉県立佐原病院	中村 朗 医師 髙橋 由起子 看護師 櫻橋 信行 社会福祉士	HIV研修会	千葉県立佐原病院	病院、居宅サービス事業所 居宅介護支援事業所
3月27日	旭市長	今野 和成 作業療法士	個別地域ケア会議 「訪問介護における生活援助回数が多いケアプランの検証」	旭市役所	訪問介護関係者

●健康づくり支援委員会出前講座実施一覧（2018年度）

依頼者	人数	開催日	会　場	講　師	演　題
旭市すみれ会	55	４月22日（日）	旭市市民会館	臨床栄養科 岡本　莉奈　管理栄養士	No.59「生活習慣病を予防する食事」
旭市消防友の会	26	5月11日（金）	旭市消防本部	神経精神科部長 大塚　祐司　医師	No.31「物忘れと認知症」
ＪＡちばみどり匝瑳年金友の会	31	5月16日（水）	旭市新町　よし野	臨床病理科臨床検査副技師長 佐藤　良重　技師	No.8「がん検診と細胞診」
旭市東町悠々会	18	5月26日（土）	旭市東町青年館	脳神経外科部長 持田　英俊　医師	No.24「脳卒中について」
西小笹いきいきげんき倶楽部	23	7月5日（木）	西小笹青少年健全育成会館	救急救命科部長 伊藤　史生　医師	No.41「熱中症について」
宮本わかばクラブ	23	7月12日（木）	鎌数宮本区コミュニティセンター	臨床栄養科 岡本　莉奈　管理栄養士	No.59「生活習慣病を予防する食事療法」
香取市油田お茶会	28	7月14日（土）	香取市油田青年館	臨床栄養科 木脇　良枝　管理栄養士	No.60「高血圧症の食事療法」
袋ことぶき会	40	10月6日（土）	にわ国道店	リハビリテーション科 塙　恵太　理学療法士	No.48「介護を必要とする体にならないために」
ＮＰＯ法人ＮＡＬＣ銚子	40	10月16日(火)	銚子市市民センター会議室	歯科口腔外科 網中　克恵　歯科衛生士	No.50「高齢者の口腔ケアについて」
旭市豊畑地区社会福祉協議会	36	11月4日（日）	旭市豊畑小学校体育館	神経精神科部長 大塚　祐司　医師	No.31「物忘れと認知症」
野田つくし会	80	11月10日（土）	香取市野田青年館	認知症疾患医療センター長 持田　英俊　医師	No.31「物忘れと認知症」
西小笹いきいきげんき倶楽部	20	11月15日（木）	西小笹青少年健全育成会館	歯科口腔外科 飯島　由希子　歯科衛生士	No.50「高齢者の口腔ケアについて」
鎌数りんどうクラブ	20	11月26日（月）	旭市鎌数神西コミュニティセンター	認知症疾患医療センター長 持田　英俊　医師	No.31「物忘れと認知症」
匝瑳市須賀区社会福祉協議会	28	11月30日（金）	匝瑳市須賀地区コミュニティセンター	神経精神科部長 大塚　祐司　医師	No.31「物忘れと認知症」
旭市東町悠々会	16	12月15日（土）	旭市東町青年館	臨床病理科部長 鈴木　良夫　医師	No.6「腫瘍とは」
西小笹いきいきげんき倶楽部	22	1月31日（木）	匝瑳市西小笹青少年健全育成会館	リハビリテーション科 大塚　早也佳　理学療法士	No.48「介護を必要とする体にならないために」
瀬道あじさいクラブ	28	2月13日（水）	旭市瀬道区民館	循環器内科主任部長 神田　順二　医師	No.14「高血圧の話」
匝瑳市須賀区社会福祉協議会	28	2月28日（木）	匝瑳市須賀地区コミュニティセンター	認知症疾患医療センター長 持田　英俊　医師	No.31「物忘れと認知症」
匝瑳年金友の会三栄支部	22	3月15日（金）	旭市新町　よし野	糖尿病代謝内科医長 大西　俊一郎　医師 臨床栄養科 木脇　良枝　管理栄養士	No.25「生活習慣病の治療」

医療統計

●医療実績（クリニカルインディケーター）

項　目		2017年度	2018年度	計算方式
退院患者数		19,704人	19,474人	
1日平均在院患者数		755人	768人	在院患者延べ数 / 365
平均在院日数	一般	13.5日	13.9日	在院患者延べ数 / 退院患者数
	精神	52.2日	51.4日	在院患者延べ数 / 退院患者数
院内粗死亡率		6.1%	5.9%	死亡患者数 / 退院患者数 × 100
院内精死亡率		5.3%	5.1%	入院48時間以後死亡数 / 退院患者数 × 100
剖検率		9.8%	8.3%	剖検数 / 死亡患者数
新生児死亡率		0.0‰	1.1‰	新生児死亡数 / 出生数 × 1000
帝王切開率		21.9%	22.8%	帝切件数 / 分娩件数 × 100

分類及び集計方法

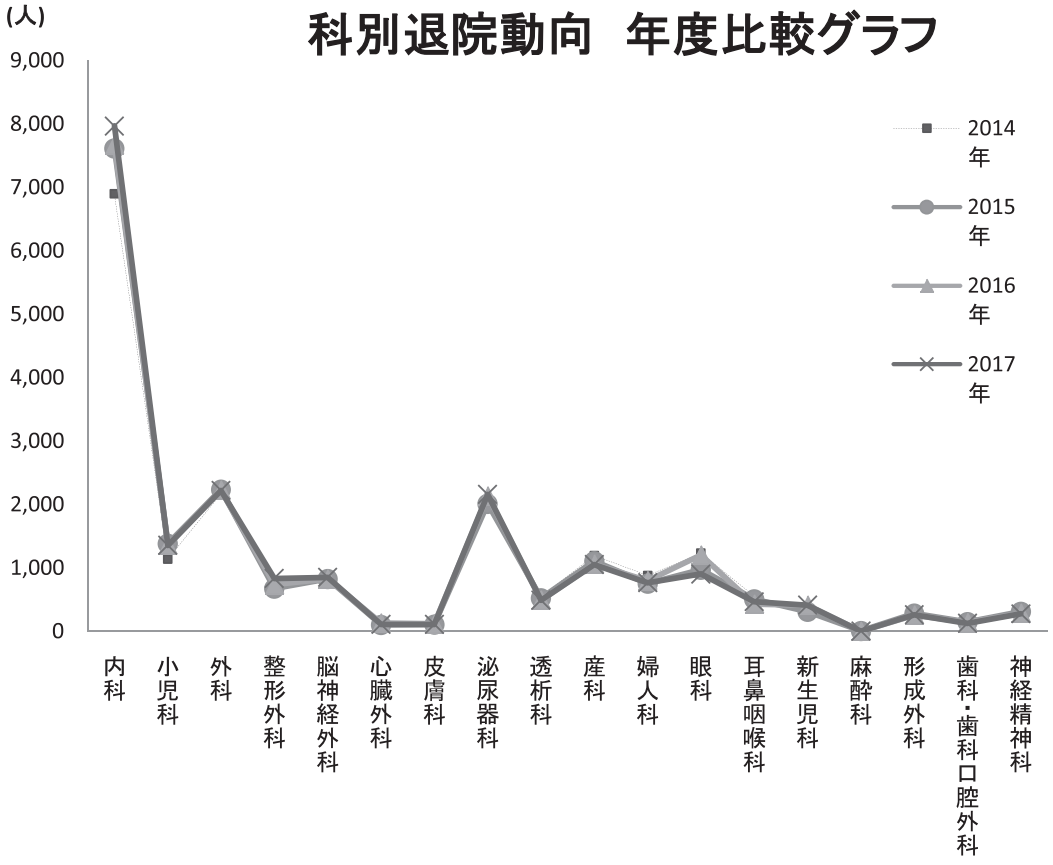
1.対象期間は2018/04/01～2019/03/31とする。
2.国際疾病分類（International Classification of Diseases 略号：ICD-10）は、
　厚生省大臣官房統計情報部編　「疾病、傷害および死因統計分類提要」を使用した。
3.病名に関する統計は、筆頭主病名を対象とした。
4.手術分類（International Classification of Diseases, 9th Revision,
　Clinical Modification, Volume3, Procedures, fifth-edition 略号：ICD-9-CM）を使用した。
5.内科詳細科の分類は、診療実績を把握するため主治医で判断する。
　内科で救急救命科医師が主治医の場合、救急救命科として表記する。
　内科以外の診療科で救急救命医が主治医の場合は、（　）で表示する。
6.退院患者と病名に関する統計件数の誤差は、産科を省いたために生じたもの。

統計表の見方

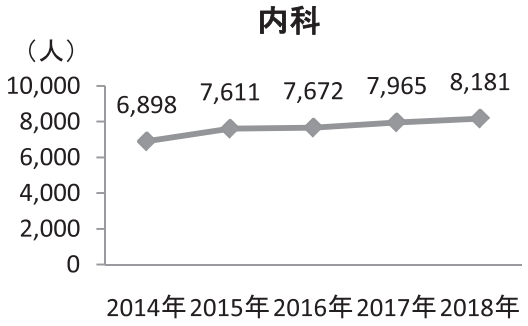
転科を行った場合
1.退院患者に関する統計
　診療科が関係する統計表では、各々の診療科で集計（延人数）
　診療科が関係しない統計表では、1件として集計（実人数）
2.病名に関する統計
　各々の診療科で集計（延べ数）

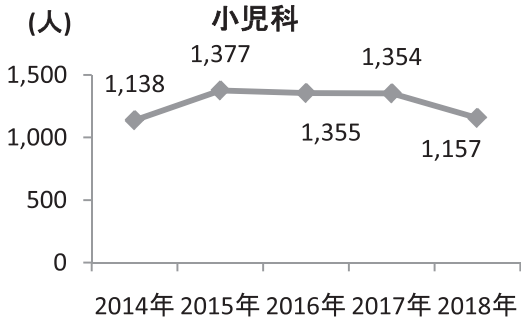
●退院患者数の動向

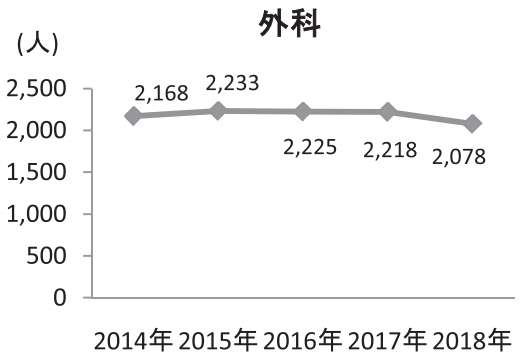
科名＼年度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
内科	6,898	7,611	7,672	7,965	8,181
小児科	1,138	1,377	1,355	1,354	1,157
外科	2,168	2,233	2,225	2,218	2,078
整形外科	747	672	733	832	709
脳神経外科	783	823	826	849	849
心臓外科	101	101	129	106	115
皮膚科	104	104	119	105	185
泌尿器科	2,037	2,008	2,132	2,158	2,037
透析科	547	522	490	488	545
産科	1,193	1,106	1,057	1,050	1,056
婦人科	878	752	799	764	802
眼科	1,230	968	1,200	901	811
耳鼻咽喉科	552	503	427	464	433
新生児科	284	304	410	410	453
麻酔科	2	3	0	0	1
形成外科	319	280	255	257	354
歯科・歯科口腔外科	132	145	138	122	111
神経精神科	288	309	283	273	270
合　計	19,401	19,821	20,250	20,316	20,147

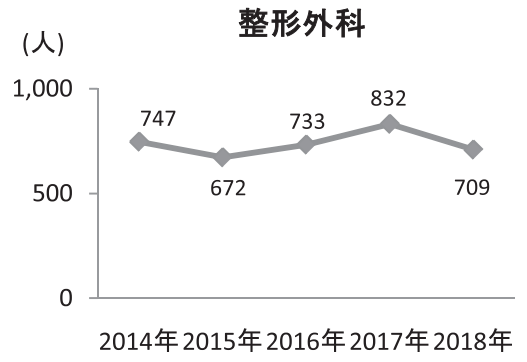


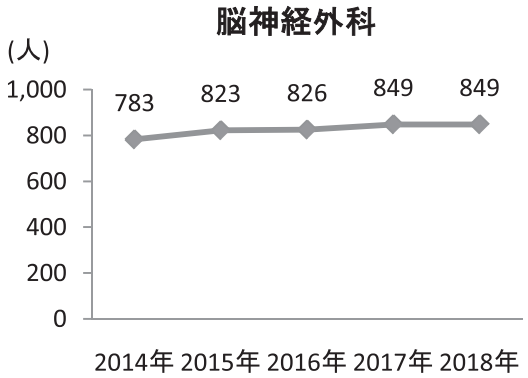
科別退院患者数 年度比較グラフ

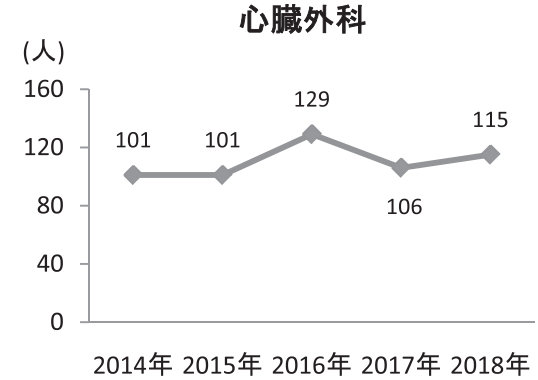


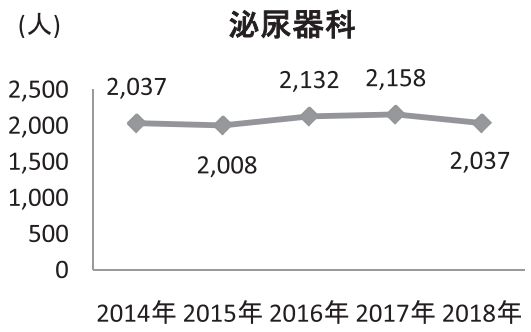


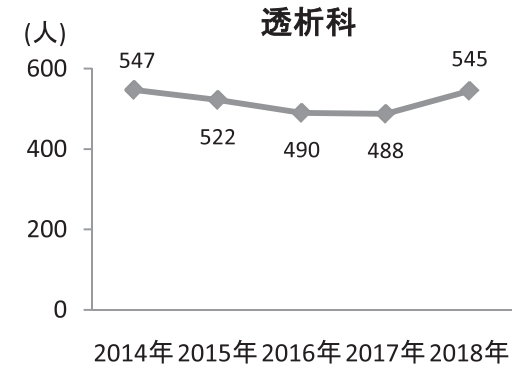




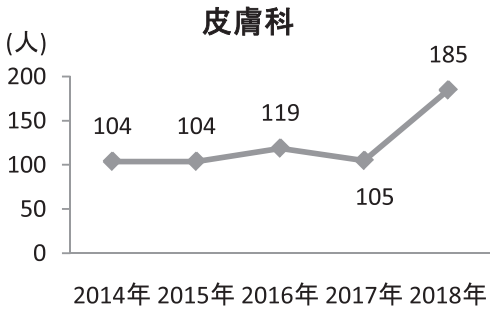


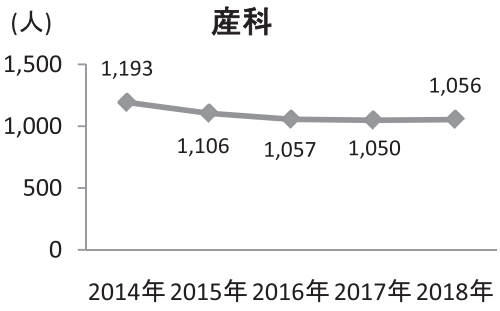


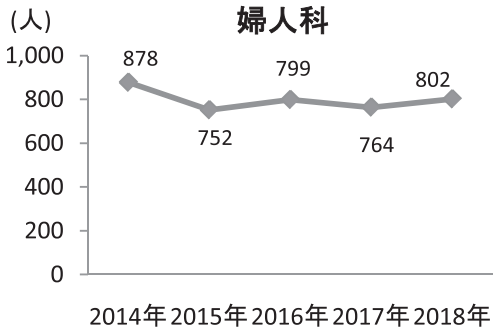


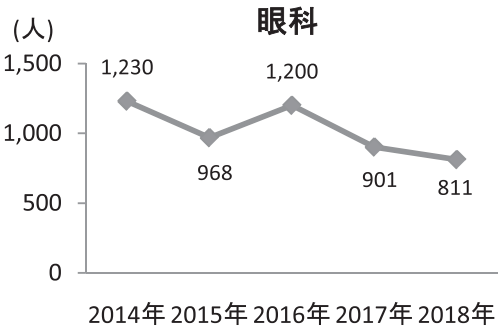


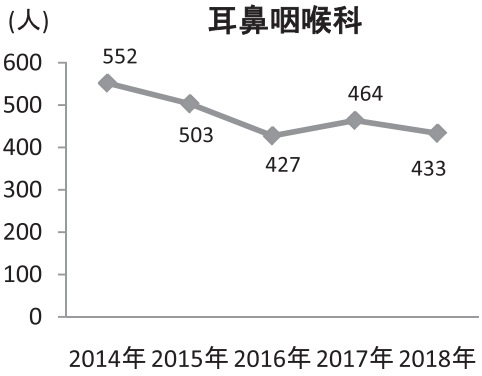
科別退院患者数 年度比較グラフ

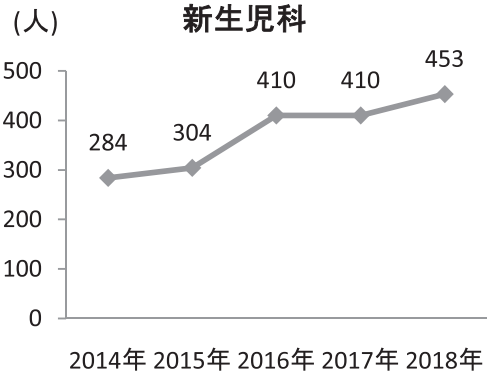


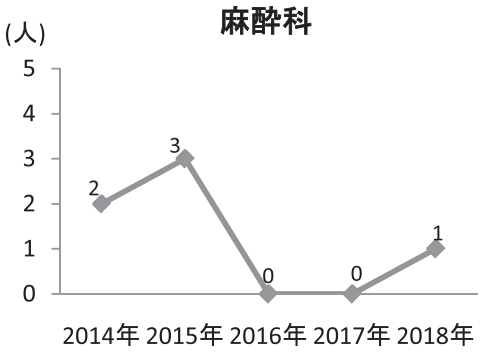


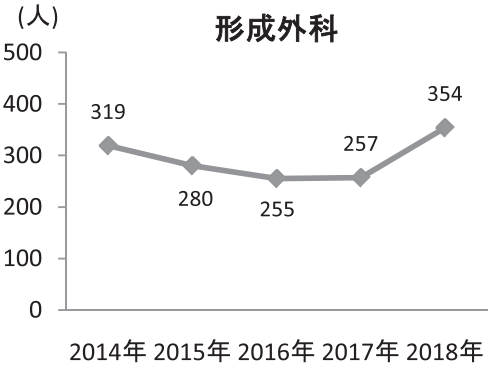


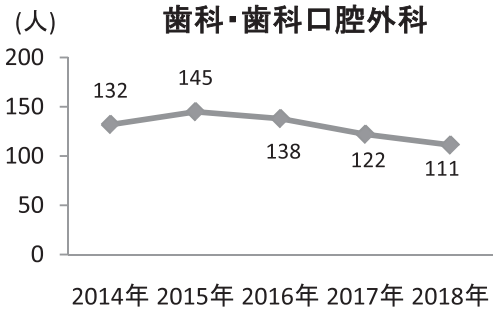


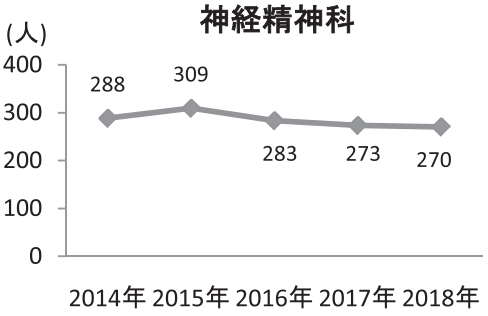












●地区別退院患者数の動向（二次保健医療圏）（2018年度）

性別＼地区		香取海匝	山武長生夷隅	鹿行	その他（診療圏外）	印旛	千葉	東葛南部	取手・竜ヶ崎
男女計	（人）	13,483	2,733	2,549	280	192	73	68	28
	%	69.2	14.0	13.1	1.4	1.0	0.4	0.3	0.1
男	（人）	7,397	1,622	1,381	101	99	22	30	15
	%	69.2	15.2	12.9	0.9	0.9	0.2	0.3	0.1
女	（人）	6,086	1,111	1,168	179	93	51	38	13
	%	69.3	12.7	13.3	2.0	1.1	0.6	0.4	0.1

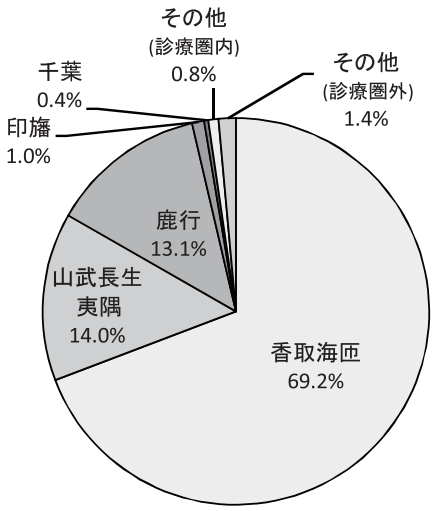
性別＼地区		東葛北部	市原	君津	水戸	つくば	安房	常陸太田・ひたちなか	古河・坂東
男女計	（人）	29	11	9	6	3	4	1	0
	%	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男	（人）	10	5	5	1	1	2	1	0
	%	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女	（人）	19	6	4	5	2	2	0	0
	%	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0

性別＼地区		土浦	筑西・下妻	日立	海外	合　計
男女計	（人）	3	0	2	0	19,474
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
男	（人）	1	0	1	0	10,694
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
女	（人）	2	0	1	0	8,780
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

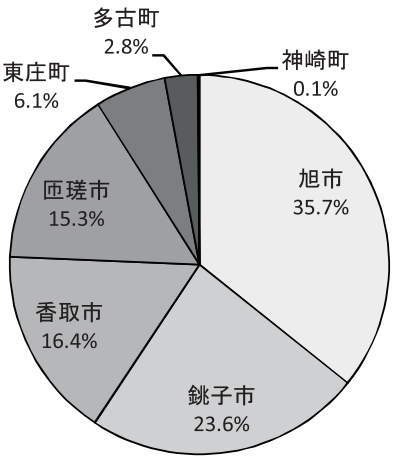
香取海匝地区詳細

性別＼地区		旭市	銚子市	香取市	匝瑳市	東庄町	多古町	神崎町	合　計
男女計	（人）	4,818	3,178	2,207	2,067	816	377	20	13,483
	%	35.7	23.6	16.4	15.3	6.1	2.8	0.1	100.0
男	（人）	2,536	1,710	1,284	1,163	457	237	10	7,397
	%	34.3	23.1	17.4	15.7	6.2	3.2	0.1	100.0
女	（人）	2,282	1,468	923	904	359	140	10	6,086
	%	37.5	24.1	15.2	14.9	5.9	2.3	0.2	100.0

地区別患者退院割合

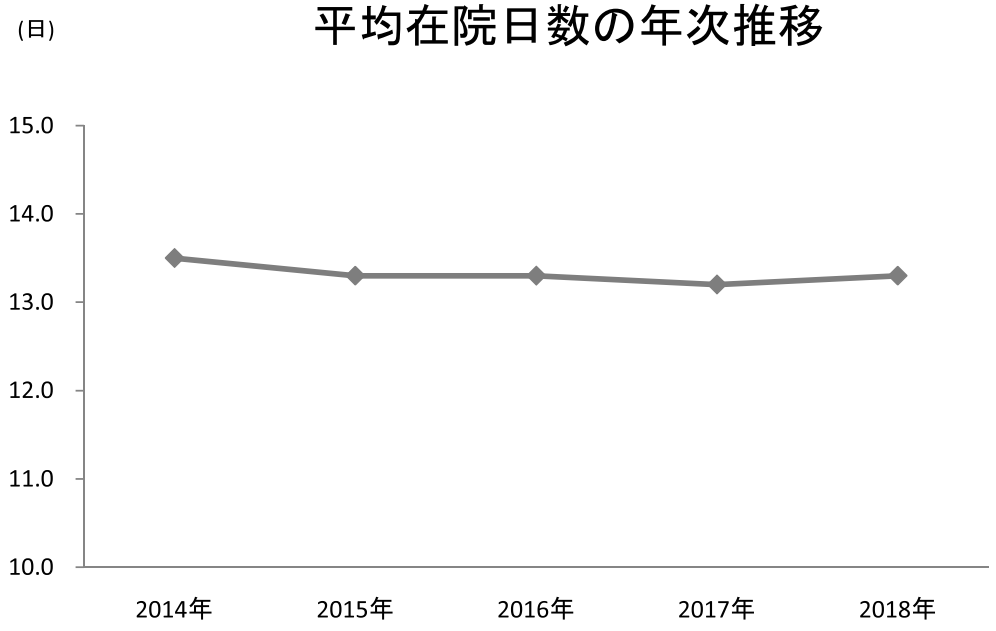


香取海匝地区退院患者割合



●退院患者平均在院日数の動向

期間＼年度		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
0-8日	件数	10,861	10,940	11,313	11,262	11,262
	%	56.8	56.1	56.7	56.2	56.7
9-15日	件数	3,958	4,086	4,124	4,065	4,065
	%	20.7	20.9	20.7	20.3	20.5
16-22日	件数	1,526	1,555	1,543	1,729	1,729
	%	8.0	8.0	7.7	8.6	8.7
23-31日	件数	1,060	1,122	1,135	1,135	1,135
	%	5.5	5.8	5.7	5.7	5.7
32-61日	件数	1,205	1,294	1,359	1,374	1,374
	%	6.3	6.6	6.8	6.9	6.9
62-91日	件数	332	345	323	317	317
	%	1.7	1.8	1.6	1.6	1.6
3-6ヶ月	件数	147	151	139	142	142
	%	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7
6ヶ月-1年	件数	17	15	21	17	17
	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
1-2年	件数	3	4	8	1	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2年-	件数	4	0	2	1	1
	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計		19,113	19,512	19,967	20,043	19,877
平均在院日数		13.5	13.3	13.3	13.2	13.3

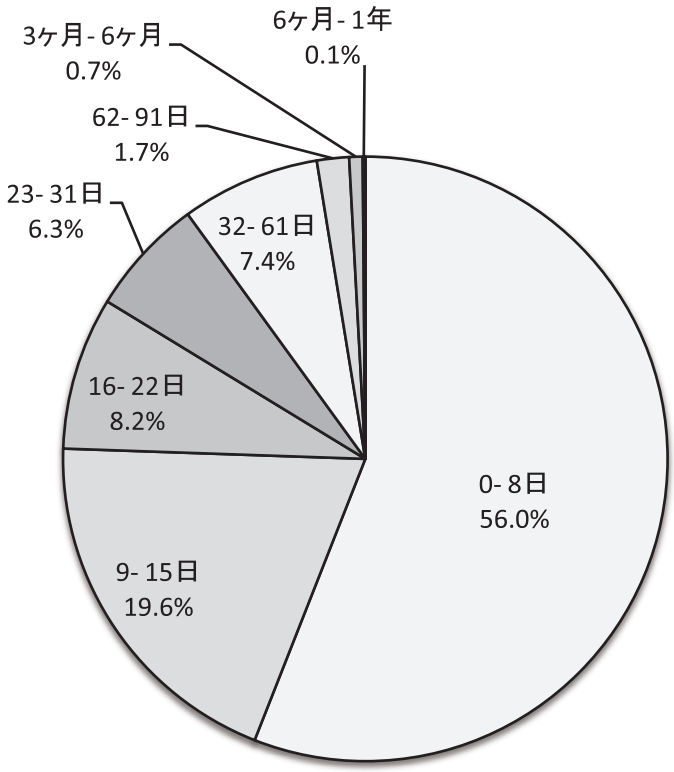


＊一般科のみの表記とする

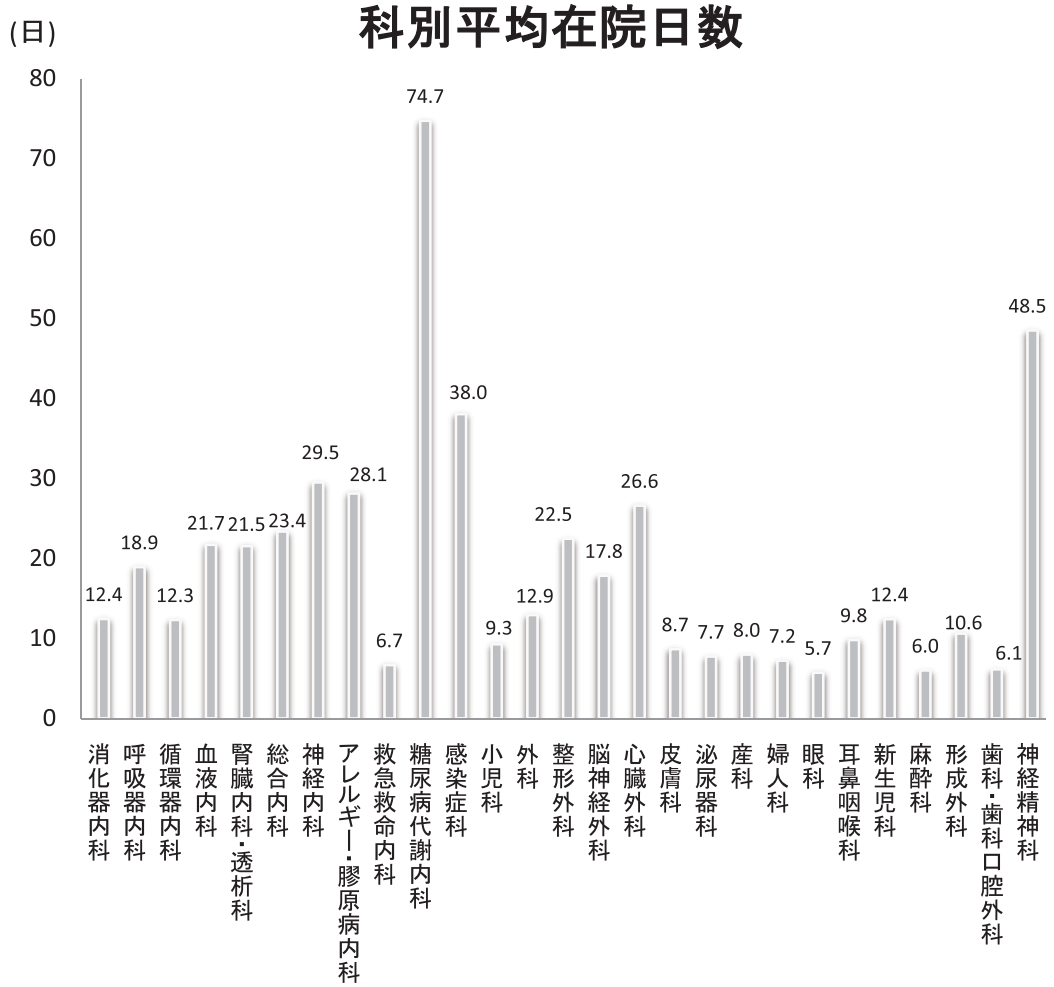
●退院患者科別平均在院日数（2018年度）

期間 / 科名	0−8日	9−15日	16−22日	23−31日	32−61日	62−91日	3ヶ月−6ヶ月	6ヶ月−1年	1−2年	2年−	合　計	平均在院日数
消化器内科	1,610	694	244	168	161	35	14	−	−	−	2,926	12.4
呼吸器内科	250	201	90	90	125	16	4	1	−	−	777	18.9
循環器内科	1,287	459	222	147	153	22	13	2	−	−	2,305	12.3
血液内科	165	89	62	58	65	22	7	1	−	−	469	21.7
腎臓内科・透析科	181	98	65	85	88	20	8	−	−	−	545	21.5
総合内科	241	286	145	138	176	47	18	1	−	−	1,052	23.4
神経内科	30	25	21	18	33	13	3	1	−	−	144	29.5
アレルギー・膠原病内科	41	76	50	38	67	20	7	1	−	−	300	28.1
救急救命内科	131	24	4	2	7	1	−	−	−	−	169	6.7
糖尿病代謝内科	−	6	2	1	1	−	3	−	1	−	14	74.7
感染症科	4	3	4	2	6	5	1	−	−	−	25	38.0
小児科	971	121	30	12	16	5	1	−	−	1	1,157	9.3
外科	1,072	562	170	111	122	26	12	2	1	−	2,078	12.9
整形外科	154	116	169	133	115	13	9	−	−	−	709	22.5
脳神経外科	427	121	59	64	137	34	6	1	−	−	849	17.8
心臓外科	3	24	35	26	20	6	1	−	−	−	115	26.6
皮膚科	131	30	10	8	5	−	1	−	−	−	185	8.7
泌尿器科	1,519	293	103	62	47	9	4	−	−	−	2,037	7.7
産科	804	203	18	14	12	3	2	−	−	−	1,056	8.0
婦人科	548	192	22	20	15	4	1	−	−	−	802	7.2
眼科	650	125	26	7	2	1	−	−	−	−	811	5.7
耳鼻咽喉科	358	43	7	5	12	3	4	1	−	−	433	9.8
新生児科	300	60	30	24	23	11	3	2	−	−	453	12.4
麻酔科	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	6.0
形成外科	218	69	30	11	22	3	1	−	−	−	354	10.6
歯科・歯科口腔外科	96	7	5	2	1	−	−	−	−	−	111	6.1
神経精神科	84	17	24	21	64	27	21	10	1	1	270	48.5
合 計	11,276	3,944	1,647	1,267	1,495	346	144	23	3	2	20,147	13.8
構成比（%）	56.0	19.6	8.2	6.3	7.4	1.7	0.7	0.1	0.0	0.0	100.0	−

在院日数分布



科別平均在院日数



●入院患者数（2018年度）

科名＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消化器内科	242	243	259	282	254	253
	9	9	8	6	10	4
呼吸器内科	61	58	65	64	71	70
	1	2	−	1	−	1
循環器内科	180	201	181	177	189	169
	3	10	6	4	2	6
血液内科	37	34	37	41	40	34
	−	−	−	−	−	−
総合内科	77	70	106	82	115	104
	4	1	6	5	6	1
神経内科	15	13	12	11	10	10
	3	1	1	−	−	2
アレルギー・膠原病内科	19	28	28	26	23	25
	−	1	−	−	−	−
救急救命内科	15 (15)	21 (21)	15 (15)	18 (18)	11 (11)	7 (6)
	1	3	1	3	−	1
糖尿病代謝内科	1	2	1	−	1	2
	−	−	−		−	−
感染症科	2	3	3	1	1	2
	−	−	−	−	−	−
腎臓内科・透析科	45 (1)	41	42	54	51	43
	2	2	1	3	4	4
小児科	93	119	84 (1)	137	125 (2)	94
	−	−	−	−	1	−
外科	166 (2)	176 (3)	182 (3)	178 (5)	195 (4)	164 (6)
	4	10	8	7	6	6
整形外科	50 (1)	65 (2)	61 (3)	55 (3)	62 (1)	61 (1)
	2	3	4	4	1	1
脳神経外科	64 (4)	80	58 (2)	67	66	60 (3)
	1	2	4	2	3	3
心臓外科	11	9	10	13	9	11
	1	2	−	1	1	5
皮膚科	20	16	12	24	20	16
	2	−	1	2	1	1
泌尿器科	174	167	169	179	187	175
	2	2	1	1	2	3
産科	89	67	88	94	82	90
	−	−	−	1	1	−
婦人科	60	53	58	54	70	71
	1	1	1	1	−	−
眼科	70	78	78	81	77	78
	−	−	−	−	−	−
耳鼻咽喉科	49	42	37	39	43	32
	2	1	2	1	2	2
新生児科	29	22	35	33	41	42
	18	9	17	12	15	17
麻酔科	−	−	−	1	−	−
	−	−	−	−	−	−
形成外科	23	17 (1)	16	32	33	38 (1)
	3	1	2	1	−	2
歯科・歯科口腔外科	8	14	12	4	11	7
	−	−	1	−	−	−
神経精神科	19	25	25	25	22	22
	−	1	−	−	−	−
*正常出生児	72	56	71	64	67	67
	4	3	9	6	6	8
入院患者数	1,619 (23)	1,664 (27)	1,674 (24)	1,772 (26)	1,809 (18)	1,680 (17)
転科入院数	59	61	64	55	55	59
合 計	1,678 (23)	1,725 (27)	1,738 (24)	1,827 (26)	1,864 (18)	1,739 (17)

（注）上段は入院患者数、下段は転科入院患者数
*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
　内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、()に表記する
*2 正常出生児は入院患者数、転科入院数及び%に含めず

科名＼月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	構成比（%）
消化器内科	260	254	236	209	204	225	2,921	14.5
	11	8	13	3	3	7	91	13.2
呼吸器内科	69	51	66	86	50	68	779	3.9
	1	1	−	2	1	1	11	1.6
循環器内科	203	205	183	202	194	201	2,285	11.3
	3	5	5	4	6	7	61	8.8
血液内科	49	35	37	52	36	46	478	2.4
	−	−	−	−	−	1	1	0.1
総合内科	89	83	81	101	98	75	1,081	5.4
	5	4	5	1	3	3	44	6.4
神経内科	9	8	8	17	8	13	134	0.7
	1	1	2	1	−	2	14	2.0
アレルギー・膠原病内科	21	25	25	27	28	27	302	1.5
	1	−	−	−	−	1	3	0.4
救急救命内科	10 (10)	14 (13)	15 (15)	15 (15)	12 (12)	13 (13)	166 (164)	0.8
	−	1	1	4	3	−	18	2.6
糖尿病代謝内科	1	−	−	3	−	1	12	0.1
	−	−	−	−	−	−	−	0.0
感染症科	5	1	4	−	−	2 (1)	24	0.1
							0	0.0
腎臓内科・透析科	46	48	43	53 (2)	58	40	564 (3)	2.8
	2	4	1	4	3	3	33	4.8
小児科	108	92	80	87	79	56	1,154	5.7
	−	1	−	−	−	−	2	0.3
外科	174 (3)	169 (1)	179 (4)	173 (4)	141 (1)	174 (2)	2,071 (38)	10.3
	8	5	11	7	2	3	77	11.2
整形外科	61	69 (1)	61 (3)	54	54	66	719 (15)	3.6
	2	−	1	1	1	4	24	3.5
脳神経外科	78 (2)	79 (4)	92 (4)	84	60 (4)	65 (4)	853 (27)	4.2
	−	3	3	3	1	3	28	4.1
心臓外科	12	11	7	8	6	8	115	0.6
	1	2	1	1	1	−	16	2.3
皮膚科	17	12	13	10	12	11	183	0.9
	1	−	1	2	1	−	12	1.7
泌尿器科	191	159	166	158	144	171	2,040	10.1
	3	−	5	2	−	−	21	3.0
産科	105	81	98	89	84	85	1,052	5.2
	−	−	−	−	−	−	2	0.3
婦人科	86	71	73	78	66	60	800	4.0
	−	−	−	−	−	−	4	0.6
眼科	75	60	56	46	57	57	813	4.0
	1	−	1	−	1	1	4	0.6
耳鼻咽喉科	27	32	37	30	33	35 (2)	436 (2)	2.2
	1	−	1	−	1	−	13	1.9
新生児科	41	37	43	43	41	44	451	2.2
	19	22	15	15	14	17	190	27.5
麻酔科	−	−	−	−	−	−	1	0.0
	−	−	−	−	−	−	−	0.0
形成外科	42 (1)	41 (3)	32	23	25 (1)	36	358 (7)	1.8
	1	2	2	−	1	1	16	2.3
歯科・歯科口腔外科	9	5	7	11	11	13	112	0.6
	−	−	−	−	−	−	1	0.1
神経精神科	21	19	22	22	22	24	268	1.3
	−	−	1	1	−	1	4	0.6
*正常出生児	76	70	80	68	65	71	827	4.1
	6	4	18	15	12	11	102	14.8
入院患者数	1,809 (16)	1,661 (22)	1,664 (26)	1,681 (21)	1,523 (18)	1,616 (22)	20,172 (260)	100.0
転科入院数	61	59	69	51	42	55	690	100.0
合 計	1,870 (16)	1,720 (22)	1,733 (26)	1,732 (21)	1,565 (18)	1,671 (22)	20,862 (260)	−

（注）上段は入院患者数、下段は転科入院患者数
*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
　内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、()に表記する
*2 正常出生児は入院患者数、転科入院数及び%に含めず

●退院患者数（2018年度）

科名＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消化器内科	232	226	278	251	273 (1)	256
	9	7	12	7	8	5
呼吸器内科	70	57	60	65	73	68
	1	1	1	1	−	−
循環器内科	203	175	203	165	202	164
	4	8	5	6	4	5
血液内科	29	36	35	46	42	36
	−	−	−	−	−	−
総合内科	67 (1)	79	82	86	116 (1)	89
	5	2	4	4	5	4
神経内科	20	16	17 (1)	9	11	9
	1	2	2	−	−	−
アレルギー・膠原病内科	13	34	21	22	27	30
	1	1	−	−	−	−
救急救命内科	17 (17)	19 (19)	15 (15)	18 (17)	13 (12)	7 (6)
	1	3	1	3	−	1
糖尿病代謝内科	4	2 (1)	1	−	−	1
	−	−	−	−	−	−
感染症科	2	2	2	3	1	2
	−	−	−	−	−	−
腎臓内科・透析科	33 (1)	35	50	50	53	36
	2	1	2	2	4	−
外科	153 (2)	176 (3)	190 (3)	163 (4)	194 (5)	178 (5)
	2	9	10	5	4	8
小児科	89	120	86	129	132 (1)	94
	−	−	−	−	1	−
整形外科	49 (2)	59 (2)	58 (1)	60 (3)	60 (2)	57 (1)
	3	3	2	7	1	1
脳神経外科	63 (3)	78 (1)	62	70 (2)	61	57 (1)
	1	3	1	5	1	2
心臓外科	9	12	8	12	10	8
	−	3	−	1	−	3
皮膚科	12	24	13	21	21	18
	2	−	−	2	2	1
泌尿器科	163	159	180	171	191	178
	−	3	2	1	1	1
産科	87	74	85	90	83	96
	−	−	−	−	2	−
婦人科	57	52	60	56	68	73
	1	−	1	2	−	−
眼科	68	77	86	75	87	72
	−	−	−	−	−	−
耳鼻咽喉科	46	41	37	38	41 (1)	27
	2	1	1	1	1	2
新生児科	32	21	36	25	42	42
	19	9	17	11	17	16
麻酔科	−	−	−	−	1	−
	−	−	−	−	−	−
形成外科	20	18 (1)	14	28	38	34 (1)
	2	1	1	1	2	1
歯科・歯科口腔外科	8	12	15	4	11	7
	−	−	1	−	−	−
神経精神科	25	20	18	27	25	23
	−	1	−	−	−	−
*正常出生児	69	61	75	65	64	66
	6	2	10	6	5	9
退院患者数	1,571 (26)	1,624 (27)	1,712 (20)	1,684 (26)	1,876 (23)	1,662 (14)
転科退院数	56	58	63	59	53	50
合 計	1,627 (26)	1,682 (27)	1,775 (20)	1,743 (26)	1,929 (23)	1,712 (14)

（注）上段は退院患者数、下段は転科退院患者数
*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
　内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、()に表記する
*2 正常出生児は退院患者数、転科退院数及び%に含めず

月 / 科名	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	構成比（%）
消化器内科	260	252	279	206	180 (2)	233	2,926 (3)	14.5
	10	8	10	7	2	9	94	13.3
呼吸器内科	68	59	65	63	68	61	777 −	3.9
	2	−	1	2	1	1	11	1.6
循環器内科	193	194	206	173	200	227 (1)	2,305 (1)	11.4
	3	4	5	6	7	8	65	9.2
血液内科	41	32 (1)	49	39	38	46 (1)	469 (2)	2.3
	−	1	−	−	−	1	2	0.3
総合内科	104	81	93 (1)	80	80	95	1,052 (3)	5.2
	4	6	5	1	−	6	46	6.5
神経内科	11	10	9	7	11	14	144 (1)	0.7
	2	1	2	2	−	2	14	2.0
アレルギー・膠原病内科	26	26	21	18	29	33	300 −	1.5
	1	−	−	−	−	1	4	0.6
救急救命内科	9 (8)	17 (14)	14 (13)	16 (15)	14 (12)	10 (9)	169 (157)	0.8
	−	1	1	4	3	−	18	2.5
糖尿病代謝内科	1	−	2	−	1	2	14 (1)	0.1
	−	−	−	−	−	−	0	0.0
感染症科	2	5	3		2	1	25 −	0.1
	−	−	−	−	−	−	−	0.0
腎臓内科・透析科	46	46	50	44	51 (2)	51	545 (3)	2.7
	6	3	2	2	2	7	33	4.7
外科	158 (4)	176	185 (4)	171 (5)	151 (1)	183 (1)	2,078 (37)	10.3
	4	7	8	14	4	3	78	11.0
小児科	107	97	81 (1)	82	82	58	1,157 (2)	5.7
	−	−	1	−	−	−	2	0.3
整形外科	57 (1)	63 (1)	79 (2)	45 (1)	52	70	709 (16)	3.5
	1	−	1	−	3	4	26	3.7
脳神経外科	77 (3)	85 (5)	74 (4)	86	73 (3)	63 (5)	849 (27)	4.2
	3	2	3	3	1	4	29	4.1
心臓外科	14	12	9	5	7	9	115 −	0.6
	4	−	1	1	2	1	16	2.3
皮膚科	18	11	13	11	12	11	185 −	0.9
	1	−	1	2	−	1	12	1.7
泌尿器科	187	161	180	146	144	177	2,037 −	10.1
	4	1	6	1	1	−	21	3.0
産科	89	89	98	90	78	97	1,056 −	5.2
	−	−	−	−	−	−	2	0.3
婦人科	80	70	80	75	69	62	802 −	4.0
	−	−	−	−	−	−	4	0.6
眼科	69	70	58	35	53	61	811 −	4.0
	1	−	1	−	1	1	4	0.6
耳鼻咽喉科	33	36	37	29	30	38	433 (1)	2.1
	3	−	−	1	−	1	13	1.8
新生児科	44	44	32	43	42	50	453 −	2.2
	17	24	13	16	16	17	192	27.2
麻酔科	−	−	−	−	−	−	1 −	0.0
	−	−	−	−	−	−	−	0.0
形成外科	39 (1)	47 (3)	30	25	23 (1)	38	354 (7)	1.8
	2	2	1	1	1	1	16	2.3
歯科・歯科口腔外科	9	4	8	8	9	16	111 −	0.6
	−	−	−	−	−	−	1	0.1
神経精神科	22	19	28	13	21	29	270 −	1.3
	−	−	1	−	1	1	4	0.6
*正常出生児	74	77	75	70	60	80	836 −	4.1
	5	5	17	17	9	14	105	14.9
退院患者数	1,764 (17)	1,706 (24)	1,783 (25)	1,510 (21)	1,520 (21)	1,735 (17)	20,147 (261)	100.0
転科退院数	68	60	63	63	45	69	707	100.0
合 計	1,832 (17)	1,766 (24)	1,846 (25)	1,573 (21)	1,565 (21)	1,804 (17)	20,854 (261)	−

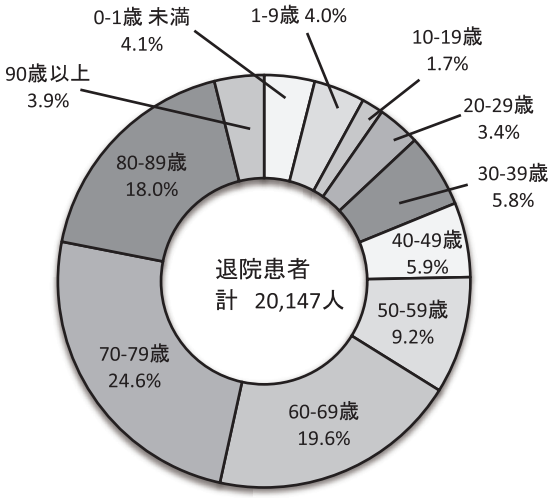
（注）上段は退院患者数、下段は転科退院患者数
*1 内科は救急救命医が主治医の場合、救急救命内科として表記する
　内科以外の科は救急救命医が主治医の場合、()に表記する
*2 正常出生児は退院患者数、転科退院数及び%に含めず

●科別・年齢別・性別退院患者数（2018年度）

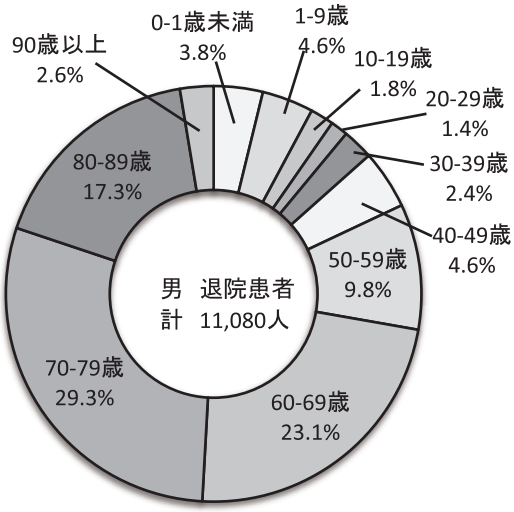
科・性別＼年齢階層		0–1歳未満	1–9歳	10–19歳	20–29歳	30–39歳	40–49歳	50–59歳	60–69歳	70–79歳
合計（人）	計	797	807	345	675	1,170	1,179	1,851	3,943	4,963
	男	423	444	203	150	267	507	1,083	2,560	3,242
	女	374	363	142	525	903	672	768	1,383	1,721
構成比（%）	計	4.0	4.0	1.7	3.4	5.8	5.9	9.2	19.6	24.6
	男	3.8	4.0	1.8	1.4	2.4	4.6	9.8	23.1	29.3
	女	4.1	4.0	1.6	5.8	10.0	7.4	8.5	15.3	19.0
消化器内科	男	−	−	1	7	39	68	187	466	636
	女	−	−	1	7	20	59	88	204	284
呼吸器内科	男	−	−	−	4	6	11	29	115	190
	女	−	−	1	2	3	3	18	30	50
循環器内科	男	−	−	5	3	13	65	178	389	489
	女	−	−	1	1	8	31	53	131	224
血液内科	男	−	−	3	1	5	4	14	85	68
	女	−	−	1	1	9	8	28	53	60
総合内科	男	−	−	6	5	10	26	48	116	156
	女	−	−	1	10	12	28	23	60	97
神経内科	男	−	−	2	3	3	6	7	20	20
	女	−	−	1	5	3	8	7	9	13
アレルギー・膠原病内科	男	−	−	2	4	6	3	10	29	36
	女	−	−	3	8	8	10	27	41	44
救急救命内科	男	−	−	1	7	5	4	15	19	24
	女	−	−	2	8	6	14	6	7	13
糖尿病代謝内科	男	−	−	−	−	−	1	4	−	2
	女	−	−	−	1	3	1	−	1	−
感染症科	男	−	−	−	−	4	−	2	2	2
	女	−	−	−	1	−	1	−	1	−
腎臓内科・透析科	男	−	−	2	4	8	16	37	94	106
	女	−	−	1	4	19	11	23	24	57
小児科	男	195	360	75	3	−	−	−	−	−
	女	140	308	60	11	5	−	−	−	−
外科	男	−	4	30	25	24	53	146	307	391
	女	−	12	6	20	19	76	127	193	233
整形外科	男	−	10	19	20	19	32	37	42	71
	女	−	7	7	4	11	15	31	74	97
脳神経外科	男	2	1	6	6	21	44	35	106	138
	女	−	3	−	3	8	23	41	69	93
心臓外科	男	−	−	−	−	−	3	3	27	28
	女	−	−	−	−	1	−	3	18	19
皮膚科	男	−	−	1	2	1	6	8	10	23
	女	−	−	−	2	1	1	6	15	28
泌尿器科	男	−	13	9	9	32	72	183	539	614
	女	−	−	−	2	12	36	38	69	93
産科	男	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	−	−	12	361	626	57	−	−	−
婦人科	男	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	−	−	3	35	80	212	158	173	116
眼科	男	−	9	3	−	5	12	25	78	160
	女	−	3	7	−	2	11	24	85	144
耳鼻咽喉科	男	−	26	14	24	22	27	44	47	37
	女	−	13	15	18	16	24	18	32	21
新生児科	男	222	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	231	−	−	−	−	−	−	−	−
麻酔科	男	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	女	−	−	−	−	−	−	−	−	−
形成外科	男	4	20	12	8	24	22	40	38	32
	女	3	14	3	4	7	11	24	30	18
歯科・歯科口腔外科	男	−	1	9	9	8	6	3	11	6
	女	−	2	5	6	11	7	3	7	9
神経精神科	男	−	−	3	6	12	26	28	20	13
	女	−	1	12	11	13	25	22	57	8

科・性別 ＼ 年齢階層		80–89歳	90歳以上	合 計	平均年齢
合計（人）	計	3,634	783	20,147	60.8
	男	1,912	289	11,080	62.7
	女	1,722	494	9,067	58.4
構成比（%）	計	18.0	3.9	100.0	0.0
	男	17.3	2.6	100.0	0.0
	女	19.0	5.4	100.0	0.0
消化器内科	男	405	45	1,854	70.5
	女	314	95	1,072	72.9
呼吸器内科	男	136	39	530	73.7
	女	89	51	247	78.2
循環器内科	男	297	53	1,492	70.3
	女	278	86	813	75.6
血液内科	男	72	4	256	71.0
	女	43	10	213	69.5
総合内科	男	160	37	564	72.0
	女	175	82	488	75.6
神経内科	男	17	1	79	65.0
	女	15	4	65	64.3
アレルギー・膠原病内科	男	23	3	116	67.2
	女	36	7	184	66.1
救急救命内科	男	16	9	100	65.5
	女	12	1	69	57.1
糖尿病代謝内科	男	−	−	7	57.7
	女	1	−	7	43.3
感染症科	男	6	−	16	65.1
	女	5	1	9	72.0
腎臓内科・透析科	男	65	10	342	68.7
	女	62	2	203	67.7
小児科	男	−	−	633	3.4
	女	−	−	524	4.2
外科	男	196	19	1,195	66.4
	女	164	33	883	66.0
整形外科	男	47	10	307	58.3
	女	122	34	402	71.3
脳神経外科	男	92	22	473	67.3
	女	104	32	376	71.4
心臓外科	男	6	−	67	69.7
	女	6	1	48	70.7
皮膚科	男	38	3	92	72.2
	女	21	19	93	76.1
泌尿器科	男	213	22	1,706	67.7
	女	68	13	331	68.2
産科	男	−	−	0	−
	女	−	−	1,056	31.3
婦人科	男	−	−	0	−
	女	23	2	802	54.5
眼科	男	77	9	378	69.9
	女	143	14	433	73.0
耳鼻咽喉科	男	18	−	259	48.3
	女	15	2	174	48.3
新生児科	男	−	−	222	−
	女	−	−	231	−
麻酔科	男	1	−	1	82.0
	女	−	−	0	−
形成外科	男	24	2	226	51.0
	女	11	3	128	52.1
歯科・歯科口腔外科	男	1	1	55	43.9
	女	4	2	56	48.6
神経精神科	男	2	−	110	52.0
	女	11	−	160	53.4

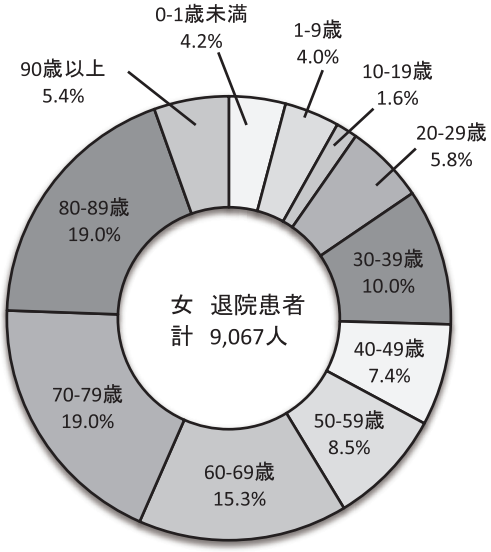
退院患者年齢分布（男女計）



退院患者年齢分布（男）



退院患者年齢分布（女）



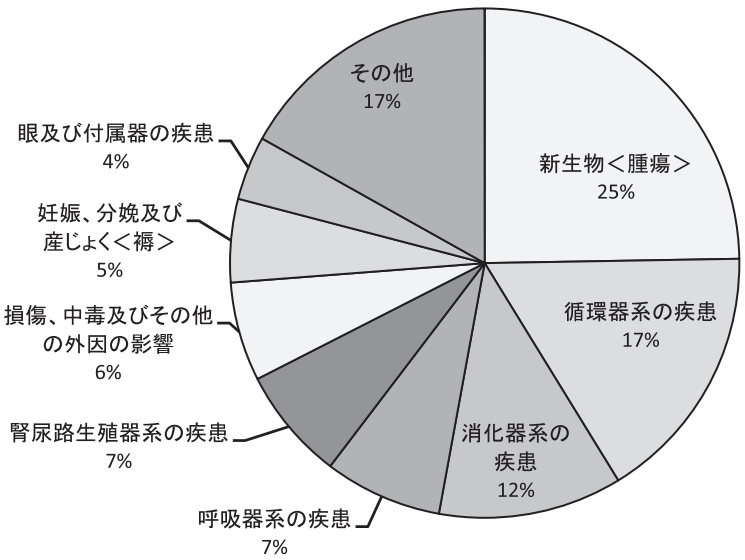
疾病分類別統計

●全科疾病分類別集計（2018年度）

（入院患者）

コード	分類名	件数	構成比(%)	平均在院日数
Ⅰ	感染症及び寄生虫症	409	2.0	14.9
Ⅱ	新生物	4,982	24.7	13.5
Ⅲ	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	139	0.7	15.7
Ⅳ	内分泌、栄養及び代謝疾患	302	1.5	19.9
Ⅴ	精神及び行動の障害	298	1.5	45.0
Ⅵ	神経系の疾患	343	1.7	27.8
Ⅶ	眼及び付属器の疾患	818	4.1	5.4
Ⅷ	耳及び乳様突起の疾患	97	0.5	5.4
Ⅸ	循環器系の疾患	3,325	16.5	15.5
Ⅹ	呼吸器系の疾患	1,504	7.5	13.9
ⅩⅠ	消化器系の疾患	2,347	11.6	10.6
ⅩⅡ	皮膚及び皮下組織の疾患	199	1.0	16.9
ⅩⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患	454	2.3	26.5
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	1,439	7.1	12.1
ⅩⅤ	妊娠、分娩及び産褥	1,066	5.3	8.0
ⅩⅥ	周産期に発生した病態	459	2.3	11.2
ⅩⅦ	先天奇形、変形及び染色体異常	94	0.5	10.2
ⅩⅧ	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	238	0.5	10.2
ⅩⅨ	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,266	6.3	14.7
ⅩⅩ	傷病及び死亡の外因	0	0.0	0.0
ⅩⅩⅠ	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	368	1.8	4.9
ⅩⅩⅡ	特殊目的用コード	0	0.0	0.0
合　計		20,147	100.0	13.8

全科疾病別割合



●全科疾病分類別上位頻度表（2018年度）

（入院患者）

Ⅰ　感染症及び寄生虫症		コード	件数	構成比（%）
1	その他の敗血症	A41	87	21.3
2	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	A09	42	10.3
3	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	A08	34	8.3
4	部位不明の細菌感染症	A49	33	8.1
5	部位不明のウイルス感染症	B34	25	6.1
6	帯状疱疹［帯状ヘルペス］	B02	20	4.9
7	皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの	B08	18	4.4
8	アスペルギルス症	B44	14	3.4
9	呼吸器結核、細菌学的又は組織学的に確認されたもの	A15	12	2.9
10	伝染性単核症	B27	10	2.4
11	その他		114	27.9
合　計			409	100.0

Ⅱ　新生物		コード	件数	構成比（%）
1	前立腺の悪性新生物	C61	443	8.9
2	胃の悪性新生物	C16	383	7.7
3	気管支及び肺の悪性新生物	C34	356	7.1
4	結腸の悪性新生物	C18	254	5.1
5	膀胱の悪性新生物	C67	238	4.8
6	子宮体部の悪性新生物	C54	215	4.3
7	膵の悪性新生物	C25	199	4.0
8	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	195	3.9
9	直腸の悪性新生物	C20	173	3.5
10	結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物	D12	155	3.1
11	その他		2,371	47.6
合　計			4,982	100.0

Ⅲ　血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		コード	件数	構成比（%）
1	無顆粒球症	D70	35	25.2
2	紫斑病及びその他の出血性病態	D69	32	23.0
3	サルコイドーシス	D86	29	20.9
4	その他の無形成性貧血	D61	12	8.6
5	鉄欠乏性貧血	D50	7	5.0
6	その他の免疫機構の障害、他に分類されないもの	D89	4	2.9
7	後天性溶血性貧血	D59	3	2.2
7	その他の貧血	D64	3	2.2
7	その他の凝固障害	D68	3	2.2
7	脾疾患	D73	3	2.2
11	その他		8	5.8
合　計			139	100.0

Ⅳ　内分泌、栄養および代謝疾患		コード	件数	構成比（%）
1	２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞	E11	70	23.2
2	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	E87	61	20.2
3	その他の膵内分泌障害	E16	28	9.3
4	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	E23	24	7.9
5	１型＜インスリン依存性＞糖尿病＜ＩＤＤＭ＞	E10	19	6.3
6	その他の内分泌障害	E34	17	5.6
7	アミロイドーシス＜アミロイド症＞	E85	13	4.3
8	チ＜サイ＞アミン欠乏症	E51	10	3.3
9	ミネラル＜鉱質＞代謝障害	E83	9	3.0
10	甲状腺中毒症［甲状腺機能亢進症］	E05	8	2.6
11	その他		43	14.2
合　計			302	100.0

Ⅴ 精神および行動の障害		コード	件数	構成比（%）
1	統合失調症	F20	113	37.9
2	うつ病エピソード	F32	33	11.1
3	双極性感情障害＜躁うつ病＞	F31	31	10.4
4	統合失調感情障害	F25	30	10.1
5	アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の障害	F10	16	5.4
6	脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害	F06	12	4.0
7	重度ストレスへの反応及び適応障害	F43	9	3.0
7	摂食障害	F50	9	3.0
9	身体表現性障害	F45	8	2.7
10	急性一過性精神病性障害	F23	5	1.7
11	その他		32	10.7
合 計			298	100.0

Ⅵ 神経系の疾患		コード	件数	構成比（%）
1	てんかん	G40	95	27.7
2	顔面神経障害	G51	37	10.8
3	睡眠障害	G47	27	7.9
4	水頭症	G91	22	6.4
5	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	G12	18	5.2
6	パーキンソン＜Ｐａｒｋｉｎｓｏｎ＞病	G20	17	5.0
7	てんかん重積（状態）	G41	16	4.7
8	脳のその他の障害	G93	12	3.5
9	自律神経系の障害	G90	9	2.6
10	脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	G04	8	2.3
11	その他		82	23.9
合 計			343	100.0

Ⅶ 眼および付属器の疾患		コード	件数	構成比（%）
1	老人性白内障	H25	413	50.5
2	緑内障	H40	131	16.0
3	その他の網膜障害	H35	89	10.9
4	網膜剥離及び裂孔	H33	59	7.2
5	眼瞼のその他の障害	H02	50	6.1
6	硝子体の障害	H43	13	1.6
7	その他の斜視	H50	12	1.5
8	その他の白内障	H26	9	1.1
9	結膜のその他の障害	H11	7	0.9
10	水晶体のその他の障害	H27	6	0.7
11	その他		29	3.5
合 計			818	100.0

Ⅷ 耳および乳様突起の疾患		コード	件数	構成比（%）
1	その他の難聴	H91	31	32.0
2	化膿性及び詳細不明の中耳炎	H66	24	24.7
3	非化膿性中耳炎	H65	20	20.6
4	前庭機能障害	H81	12	12.4
5	中耳真珠腫	H71	7	7.2
6	その他の内耳疾患	H83	2	2.1
7	耳硬化症	H80	1	1.0
－	－	－	－	－
－	－	－	－	－
－	－	－	－	－
－	－	－	－	－
合 計			97	100.0

	Ⅸ 循環器系の疾患	コード	件数	構成比（%）
1	狭心症	I20	503	15.1
2	脳梗塞	I63	464	14.0
3	心不全	I50	427	12.8
4	急性心筋梗塞	I21	266	8.0
5	アテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	I70	213	6.4
6	心房細動及び粗動	I48	202	6.1
7	脳内出血	I61	176	5.3
8	大動脈瘤及び解離	I71	114	3.4
9	非リウマチ性大動脈弁障害	I35	100	3.0
10	その他の脳血管疾患	I67	92	2.8
11	その他		768	23.1
合 計			3,325	100.0

	Ⅹ 呼吸器系の疾患	コード	件数	構成比（%）
1	細菌性肺炎、他に分類されないもの	J15	180	12.0
2	固形物及び液状物による肺臓炎	J69	168	11.2
3	喘息	J45	129	8.6
4	肺炎、病原体不詳	J18	127	8.4
5	急性気管支炎	J20	92	6.1
6	急性細気管支炎	J21	72	4.8
6	喘息発作重積状態	J46	72	4.8
8	気胸	J93	62	4.1
9	慢性副鼻腔炎	J32	57	3.8
10	その他の慢性閉塞性肺疾患	J44	55	3.7
11	その他		490	32.6
合 計			1,504	100.0

	Ⅺ 消化器系の疾患	コード	件数	構成比（%）
1	胆石症	K80	685	29.2
2	消化器系の処置後障害、他に分類されないもの	K91	153	6.5
3	腸の憩室性疾患	K57	142	6.1
4	そけい＜鼠径＞ヘルニア	K40	140	6.0
5	急性虫垂炎	K35	125	5.3
6	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	K56	117	5.0
7	胆道のその他の疾患	K83	115	4.9
8	胃潰瘍	K25	87	3.7
9	急性膵炎	K85	83	3.5
10	胆のう＜嚢＞炎	K81	59	2.5
11	その他		641	27.3
合 計			2,347	100.0

	Ⅻ 皮膚および皮下組織の疾患	コード	件数	構成比（%）
1	蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	L03	68	34.2
2	じょく＜褥＞瘡性潰瘍及び圧迫領域	L89	18	9.0
3	皮膚の萎縮性障害	L90	15	7.5
4	多形紅斑	L51	10	5.0
4	急性リンパ節炎	L04	9	4.5
6	皮膚の肥厚性障害	L91	8	4.0
7	皮膚膿瘍、せつ＜フルンケル＞及び　よう＜カルブンケル＞	L02	7	3.5
7	皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症	L08	7	3.5
7	類天疱瘡	L12	7	3.5
10	非電離放射線の慢性曝露による皮膚変化	L57	6	3.0
11	その他		44	22.1
合 計			199	100.0

	ⅩⅢ 筋骨格系および結合組織の疾患	コード	件数	構成比（%）
1	股関節症［股関節部の関節症］	M16	39	8.6
2	結節性多発（性）動脈炎及び関連病態	M30	36	7.9
3	その他の全身性結合組織疾患	M35	34	7.5
3	その他の脊椎障害	M48	34	7.5
5	膝関節症［膝の関節症］	M17	28	6.2
5	その他のえ＜壊＞死性血管障害	M31	28	6.2
7	その他の関節リウマチ	M06	26	5.7
8	脊椎症	M47	23	5.1
9	その他の炎症性脊椎障害	M46	21	4.6
10	全身性エリテマトーデス＜紅斑性狼瘡＞＜ＳＬＥ＞	M32	16	3.5
11	その他		169	37.2
	合 計		454	100.0

	ⅩⅣ 尿路性器系の疾患	コード	件数	構成比（%）
1	腎結石及び尿管結石	N20	365	25.4
2	慢性腎臓病	N18	187	13.0
3	尿路系のその他の障害	N39	159	11.0
4	前立腺肥大（症）	N40	138	9.6
5	急性尿細管間質性腎炎	N10	121	8.4
6	急性腎不全	N17	67	4.7
7	子宮内膜症	N80	44	3.1
8	下部尿路結石	N21	33	2.3
9	女性性器脱	N81	30	2.1
10	ネフローゼ症候群	N04	28	1.9
11	その他		267	18.6
	合 計		1,439	100.0

	ⅩⅤ 妊娠、分娩および産じょく〈褥〉	コード	件数	構成比（%）
1	分娩における会陰裂傷＜ｌａｃｅｒａｔｉｏｎ＞	070	285	26.7
2	前期破水	042	158	14.8
3	娩出力の異常	062	110	10.3
4	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	034	92	8.6
5	他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞に合併するその他の母体疾患	099	37	3.5
6	切迫早産及び早産	060	35	3.3
7	子かん＜癇＞前症	014	34	3.2
8	既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア	032	31	2.9
8	胎児ストレス［仮死＜ジストレス＞］を合併する分娩	068	31	2.9
10	過度の妊娠嘔吐	021	28	2.6
11	その他		225	21.1
	合 計		1,066	100.0

	ⅩⅥ 周産期に発生した病態	コード	件数	構成比（%）
1	新生児の呼吸窮＜促＞迫	P22	169	36.8
2	妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	P07	107	23.3
3	その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	P59	65	14.2
4	新生児の哺乳上の問題	P92	26	5.7
5	周産期に発生したその他の呼吸器病態	P28	20	4.4
5	胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	P70	20	4.4
7	新生児の細菌性敗血症	P36	14	3.1
8	周産期に特異的なその他の感染症	P39	8	1.7
9	胎児及び新生児の溶血性疾患	P55	7	1.5
10	新生児のその他の体温調節機能障害	P81	5	1.1
11	その他		18	3.9
	合 計		459	100.0

	ⅩⅦ 先天性奇形、変形および染色体異常	コード	件数	構成比（%）
1	顔面及び頚部のその他の先天奇形	Q18	12	12.8
2	循環器系のその他の先天奇形	Q28	11	11.7
3	停留精巣＜睾丸＞	Q53	8	8.5
4	唇裂を伴う口蓋裂	Q37	6	6.4
4	合指＜趾＞（症）	Q70	6	6.4
6	心（臓）中隔の先天奇形	Q21	5	5.3
6	卵巣、卵管及び広間膜の先天奇形	Q50	5	5.3
8	脳のその他の先天奇形	Q04	3	3.2
8	耳のその他の先天奇形	Q17	3	3.2
8	母斑症、他に分類されないもの	Q85	3	3.2
11	その他		32	34.0
合 計			94	100.0

	ⅩⅧ 症状、微候および異常臨床所見	コード	件数	構成比（%）
1	けいれん＜痙攣＞、他に分類されないもの	R56	92	38.7
2	その他の原因による熱及び不明熱	R50	28	11.8
3	悪心及び嘔吐	R11	23	9.7
4	失神及び虚脱	R55	12	5.0
5	気道からの出血	R04	11	4.6
6	神経系及び筋骨格系に関するその他の症状及び徴候	R29	8	3.4
6	傾眠、昏迷及び昏睡	R40	8	3.4
8	腹痛及び骨盤痛	R10	5	2.1
8	老衰	R54	5	2.1
8	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	R63	5	2.1
11	その他		41	17.2
合 計			238	100.0

	ⅩⅨ 損傷、中毒およびその他の外因の影響	コード	件数	構成比（%）
1	頭蓋内損傷	S06	265	20.9
2	大腿骨骨折	S72	187	14.8
3	処置の合併症、他に分類されないもの	T81	71	5.6
4	心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	T82	70	5.5
5	多部位の骨折	T02	65	5.1
6	下腿の骨折、足首を含む	S82	60	4.7
7	有害作用、他に分類されないもの	T78	48	3.8
8	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	S02	42	3.3
9	抗てんかん薬、鎮静・催眠薬及び抗パーキンソン病薬による中毒	T42	25	2.0
10	その他の体内プロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	T85	23	1.8
11	その他		410	32.4
合 計			1,266	100.0

	ⅩⅩⅠ 健康に影響をおよぼす要因および健康サービスの利用	コード	件数	構成比（%）
1	疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	Z03	235	63.9
2	移植された器具の調整及び管理	Z45	47	12.8
3	その他の整形外科的経過観察<フォローアップ>ケア	Z47	29	7.9
4	人工開口部に対する手当て	Z43	28	7.6
5	形成手術後の経過観察<フォローアップ>ケア	Z42	14	3.8
6	外部プロステーシスの装着及び調整	Z44	5	1.4
7	悪性新生物＜腫瘍＞以外の病態の治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Z09	2	0.5
7	臓器及び組織の提供者<ドナー>	Z52	2	0.5
9	悪性新生物＜腫瘍＞治療後の経過観察<フォローアップ>検査	Z08	1	0.3
9	正常妊娠の管理	Z34	1	0.3
11	その他		4	1.1
合 計			368	100.0

悪性新生物統計

●部位別退院患者件数（2018年度）

※再入院患者の場合も含む

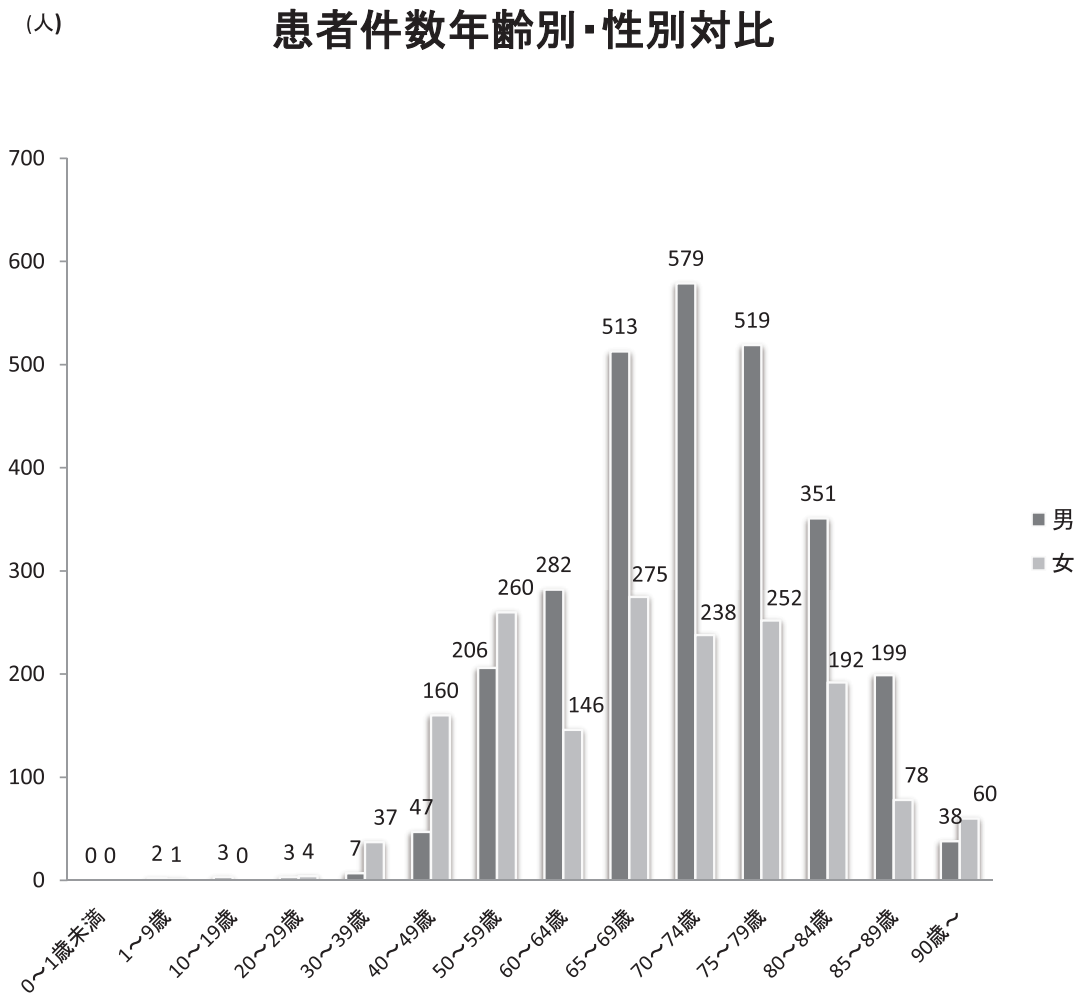
	順位	疾病部位	件数	構成比（%）
男女計	1	大腸	494	11.1
	2	前立腺	443	10.0
	3	胃	383	8.6
	4	気管支及び肺	356	8.0
	5	膀胱	238	5.3
	6	子宮体部の悪性新生物＜腫瘍＞	215	4.8
	7	膵	199	4.5
	8	肝及び肝内胆管	195	4.4
	9	乳房	154	3.5
	10	その他及び部位不明の上皮内癌	147	3.3
	11	その他	1,628	36.6
	合　計		4,452	100.0

	順位	疾病部位	件数	構成比（%）
男	1	前立腺	443	16.1
	2	大腸	370	13.5
	3	胃	272	9.9
	4	気管支及び肺	248	9.0
	5	膀胱	194	7.1
	6	肝及び肝内胆管	153	5.6
	7	その他及び部位不明の上皮内癌	125	4.5
	8	膵	100	3.6
	9	食道	92	3.3
	10	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	90	3.3
	11	その他	662	24.1
	合　計		2,749	100.0

	順位	疾病部位	件数	構成比（%）
女	1	子宮体部	215	12.6
	2	乳房	153	9.0
	3	卵巣	129	7.6
	4	大腸	124	7.3
	5	胃	111	6.5
	6	気管支及び肺	108	6.3
	7	膵	99	5.8
	8	子宮頚（部）	63	3.7
	9	骨髄性白血病	54	3.2
	10	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	48	2.8
	11	その他	599	35.2
	合　計		1,703	100.0

●年齢別患者件数（2018年度）

性別 / 年齢区分	男	女	男女計
0～1歳未満	0	0	0
1～9歳	2	1	3
10～19歳	3	0	3
20～29歳	3	4	7
30～39歳	7	37	44
40～49歳	47	160	207
50～59歳	206	260	466
60～64歳	282	146	428
65～69歳	513	275	788
70～74歳	579	238	817
75～79歳	519	252	771
80～84歳	351	192	543
85～89歳	199	78	277
90歳～	38	60	98
合　計	2,749	1,703	4,452



●部位順位表　性別・年齢（2018年度）

性別	年齢階層	順位 / 患者数	1	2	3	4	5
男 計 2,749	0～1歳未満	0	－	－	－	－	－
	1～9歳	2	脳 1	リンパ性白血病 1	－	－	－
	10～19歳	3	脳 1	リンパ性白血病 1	（四）肢の骨及び関節軟骨 1		
	20～29歳	3	精巣＜睾丸＞ 2	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 1			
	30～39歳	7	骨髄異形成症候群 2	気管支及び肺 1	精巣＜睾丸＞ 1	腎盂を除く腎 1	膀胱 1
	40～49歳	47	精巣＜睾丸＞ 10	大腸 6	胃 5	膀胱 5	気管支及び肺 4
	50～59歳	206	大腸 35	胃 29	膀胱 24	気管支及び肺 16	前立腺 11
	60～64歳	282	前立腺 50	大腸 37	胃 31	気管支及び肺 30	膀胱 21
	65～69歳	513	前立腺 91	大腸 63	胃 55	膀胱 53	気管支及び肺 48
	70～74歳	579	前立腺 127	大腸 69	気管支及び肺 61	胃 52	肝及び肝内胆管 37
	75～79歳	519	前立腺 105	大腸 84	胃 44	気管支及び肺 44	食道 40
	80～84歳	351	大腸 45	前立腺 37	胃 31	肝及び肝内胆管 30	気管支及び肺 30
	85～89歳	199	大腸 28	胃 24	肝及び肝内胆管 20	前立腺 18	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 13
	90歳以上	38	気管支及び肺 5	大腸 3	前立腺 3	膀胱 3	食道 2
女 計 1,703	0～1歳未満	0	－	－	－	－	－
	1～9歳	1	リンパ性白血病 1	－	－	－	－
	10～19歳	0	－	－	－	－	－
	20～29歳	4	子宮頚（部）の上皮内癌 2	甲状腺 1	骨髄性白血病 1	－	－
	30～39歳	37	子宮頚（部）の上皮内癌 10	子宮頚（部） 8	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 4	骨髄性白血病 3	胃 2
	40～49歳	160	子宮体部 44	乳房 21	子宮頚（部） 19	卵巣 19	リンパ節の続発性及び部位不明 13
	50～59歳	260	子宮体部 46	卵巣 42	乳房 38	子宮頚（部） 15	大腸 13
	60～64歳	146	子宮体部 28	卵巣 14	乳房 12	子宮頚（部） 11	大腸 9
	65～69歳	275	子宮体部 56	気管支及び肺 26	乳房 23	卵巣 18	大腸 16
	70～74歳	238	卵巣 27	膵 23	乳房 21	気管支及び肺 18	肝及び肝内胆管 16
	75～79歳	252	大腸 26	乳房 26	胃 21	気管支及び肺 17	膵 16
	80～84歳	192	大腸 26	胃 25	膵 21	気管支及び肺 13	肝及び肝内胆管 11
	85～89歳	78	膵 10	その他及び部位不明の胆道 9	気管支及び肺 7	皮膚のその他 7	胃 5
	90歳以上	60	皮膚のその他 15	大腸 10	胃 9	膵 5	その他及び部位不明の胆道 4

性別	順位 / 年齢	6	7	8	9	10	11
男	0～1歳未満	－	－	－	－	－	－
	1～9歳	－	－	－	－	－	－
	10～19歳	－	－	－	－	－	－
	20～29歳	－	－	－	－	－	－
	30～39歳	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 1	－	－	－	－	－
	40～49歳	膵 2	リンパ節の続発性及び部位不明の 2	呼吸器及び消化器の続発性 2	リンパ性白血病 2	その他及び部位不明の上皮内癌 2	食道 1
	50～59歳	膵 9	リンパ節の続発性及び部位不明 8	その他及び部位不明の上皮内癌 7	肝及び肝内胆管 6	腎盂を除く腎 6	呼吸器及び消化器 6
	60～64歳	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 18	膵 14	その他及び部位不明の上皮内癌 12	肝及び肝内胆管 9	腎盂 8	腎盂を除く腎 6
	65～69歳	その他及び部位不明の上皮内癌 26	肝及び肝内胆管 25	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 25	膵 21	腎盂を除く腎 12	呼吸器及び消化器 12
	70～74歳	膵 25	膀胱 24	その他及び部位不明の上皮内癌 22	その他及び部位不明の胆道 18	呼吸器及び消化器 16	食道 16
	75～79歳	膀胱 28	肝及び肝内胆管 24	膵 19	その他及び部位不明の上皮内癌 18	その他及び部位不明の胆道 16	口腔、食道及び胃の上皮内癌 16
	80～84歳	膀胱 24	その他及び部位不明の上皮内癌 23	その他及び部位不明の胆道 19	食道 14	骨髄異形成症候群 13	口腔、食道及び胃の上皮内癌 10
	85～89歳	その他及び部位不明の上皮内癌 13	膀胱 11	胆のう＜嚢＞ 9	気管支及び肺 9	皮膚のその他 8	その他及び部位不明の胆道 6
	90歳以上	肝及び肝内胆管 2	胆のう＜嚢＞ 2	皮膚のその他 2	尿管 2	脳 2	その他の部位及び部位不明の続発性 2
女	0～1歳未満	－	－	－	－	－	－
	1～9歳	－	－	－	－	－	－
	10～19歳	－	－	－	－	－	－
	20～29歳	－	－	－	－	－	－
	30～39歳	大腸 2	子宮頚(部) 2	脳 2	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 2	乳房 1	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 1
	40～49歳	子宮頚(部)の上皮内癌 8	膵 4	骨髄性白血病 3	胃 3	大腸 3	甲状腺 3
	50～59歳	気管支及び肺 13	胃 11	骨髄性白血病 9	子宮頚(部)の上皮内癌 9	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 8	呼吸器及び消化器の続発性 7
	60～64歳	気管支及び肺 9	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 8	成熟T/NK細胞リンパ腫 8	胃 6	その他及び部位不明の胆道 4	膵 4
	65～69歳	胃 15	膀胱 14	膵 12	骨髄性白血病 11	子宮頚(部) 10	呼吸器及び消化器の続発性 8
	70～74歳	胃 14	大腸 14	呼吸器及び消化器の続発性 12	後腹膜及び腹膜 11	子宮体部 11	その他及び部位不明の胆道 9
	75～79歳	子宮体部 16	その他及び部位不明の胆道 12	膀胱 12	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 12	皮膚のその他 9	骨髄性白血病 8
	80～84歳	乳房 10	骨髄性白血病 10	尿管 7	膀胱 6	その他及び部位不明の上皮内癌 6	皮膚のその他 5
	85～89歳	大腸 5	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 5	その他及び部位不明の上皮内癌 5	骨髄異形成症候群 3	肝及び肝内胆管 2	胆のう＜嚢＞ 2
	90歳以上	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 4	気管支及び肺 3	皮膚の悪性黒色腫 2	舌のその他及び部位不明 1	食道 1	胆のう＜嚢＞ 1

性別	順位 / 年齢	12	13	14	15	16	17
男	0～1歳未満	－	－	－	－	－	－
	1～9歳	－	－	－	－	－	－
	10～19歳	－	－	－	－	－	－
	20～29歳	－	－	－	－	－	－
	30～39歳	－	－	－	－	－	－
	40～49歳	胆のう 1	前立腺 1	脳 1	甲状腺 1	ろ＜濾＞胞性リンパ腫 1	細胞型不明の白血病 1
	50～59歳	リンパ節の続発性及び部位不明 5	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 5	梨状陥凹＜洞＞ 4	食道 3	小腸 3	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 3
	60～64歳	食道 5	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 5	口腔、食道及び胃の上皮内癌 5	骨髄異形成症候群 5	呼吸器及び消化器の続発性 4	その他及び部位不明の胆道 3
	65～69歳	腎盂 10	食道 8	骨髄性白血病 7	その他及び部位不明の胆道 6	尿管 6	口腔、食道及び胃の上皮内癌 6
	70～74歳	口腔、食道及び胃の上皮内癌 14	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 13	尿管 10	皮膚のその他 7	腎盂を除く腎 7	その他の部位及び部位不明の続発性 7
	75～79歳	尿管 11	呼吸器及び消化器 10	腎盂を除く腎 6	その他の部位及び部位不明の続発性 5	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 5	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 5
	80～84歳	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 9	皮膚のその他 8	その他の部位及び部位不明の続発性 7	尿管 6	呼吸器及び消化器 6	膵 4
	85～89歳	膵 6	皮膚の悪性黒色腫 4	食道 3	ホジキン＜Hodgkin＞リンパ腫 3	口腔、食道及び胃の上皮内癌 3	下咽頭 2
	90歳以上	その他及び部位不明の上皮内癌 2	舌のその他及び部位不明 1	胃 1	その他及び部位不明の胆道 1	皮膚の悪性黒色腫 1	精巣＜睾丸＞ 1
女	0～1歳未満	－	－	－	－	－	－
	1～9歳	－	－	－	－	－	－
	10～19歳	－	－	－	－	－	－
	20～29歳	－	－	－	－	－	－
	30～39歳	－	－	－	－	－	－
	40～49歳	呼吸器及び消化器の続発性 3	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物 3	乳房の上皮内癌 3	気管支及び肺 2	胸腺 2	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 2
	50～59歳	甲状腺 6	その他の部位及び部位不明の続発性 5	膵 4	腎盂を除く腎 4	肝及び肝内胆管の悪性新生物 3	膀胱 3
	60～64歳	腎盂を除く腎 4	食道 3	呼吸器及び消化器の続発性 3	膀胱 2	脳 2	甲状腺 2
	65～69歳	骨髄異形成症候群 8	口腔、食道及び胃の上皮内癌 5	胆のう＜嚢＞ 4	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物 4	非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型 4	皮膚のその他 3
	70～74歳	骨髄性白血病 8	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 6	膀胱 5	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 5	口腔、食道及び胃の上皮内癌 5	皮膚のその他 4
	75～79歳	その他及び部位不明の上皮内癌 8	肝及び肝内胆管 6	胆のう＜嚢＞ 6	卵巣 6	リンパ節の続発性及び部位不明 6	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 5
	80～84歳	子宮体部 5	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 5	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 5	胆のう＜嚢＞ 4	その他及び部位不明の胆道 4	腎盂を除く腎 3
	85～89歳	後腹膜及び腹膜 2	尿管 2	リンパ節の続発性及び部位不明 2	皮膚の上皮内癌 2	鼻＜上＞咽頭 1	子宮体部 1
	90歳以上	乳房 1	腎盂を除く腎 1	膀胱 1	副腎 1	皮膚の上皮内癌 1	－

性別	順位 / 年齢	18	19	20	21
男	0～1歳未満	－	－	－	－
	1～9歳	－	－	－	－
	10～19歳	－	－	－	－
	20～29歳	－	－	－	－
	30～39歳	－	－	－	－
	40～49歳				
	50～59歳	口腔、食道及び胃の上皮内癌 3	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 3	中咽頭 2	その他 18
	60～64歳	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 3	成熟T/NK細胞リンパ腫 3	耳下腺 2	その他 11
	65～69歳	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 5	ろ＜濾＞胞性リンパ腫 4	骨髄異形成症候群 4	その他 26
	70～74歳	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型 7	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 7	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 6	その他 34
	75～79歳	T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型 4	皮膚のその他 3	腎盂 3	その他 29
	80～84歳	成熟T/NK細胞リンパ腫 4	皮膚の悪性黒色腫 3	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 3	その他 25
	85～89歳	ろ＜濾＞胞性リンパ腫 2	非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型 2	リンパ性白血病 2	その他 13
	90歳以上	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 1	成熟T/NK細胞リンパ腫 1	骨髄性白血病 1	－
女	0～1歳未満	－	－	－	－
	1～9歳	－	－	－	－
	10～19歳	－	－	－	－
	20～29歳	－	－	－	－
	30～39歳	－	－	－	－
	40～49歳	肝及び肝内胆管 1	眼及び付属器 1	脳 1	その他 2
	50～59歳	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫 3	骨髄異形成症候群 3	乳房の上皮内癌 2	その他 16
	60～64歳	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 2	口腔、食道及び胃の上皮内癌 2	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 2	その他 11
	65～69歳	甲状腺 3	悪性新生物＜腫瘍＞、部位が明示されていないもの 3	ろ＜濾＞胞性リンパ腫 3	その他 29
	70～74歳	尿管 3	甲状腺 3	ろ＜濾＞胞性リンパ腫 3	その他 20
	75～79歳	その他の部位及び部位不明 5	食道 4	その他及び部位不明の女性生殖器 4	その他 27
	80～84歳	呼吸器及び消化器の続発性 3	非ホジキン＜non－Hodgkin＞リンパ腫のその他及び詳細不明の型 3	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌 3	その他 17
	85～89歳	卵巣 1	腎盂を除く腎 1	膀胱 1	その他 5
	90歳以上	－	－	－	－

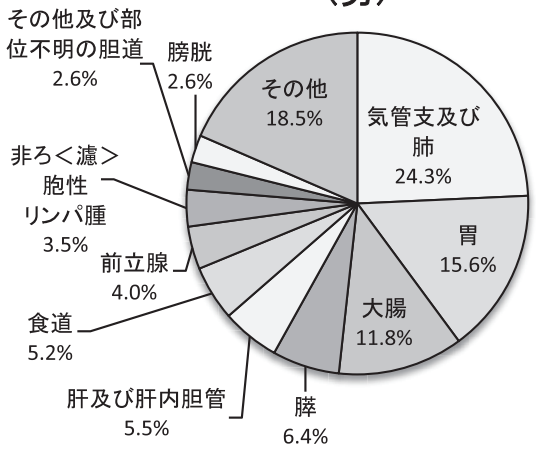
●悪性新生物による死亡患者数（2018年度）

男		
順位	部 位	件数
1	気管支及び肺	84
2	胃	54
3	大腸	41
3	膵	22
5	肝及び肝内胆管	19
6	食道	18
7	前立腺	14
8	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	12
9	その他及び部位不明の胆道	9
10	膀胱	9
11	その他	64
合 計		346

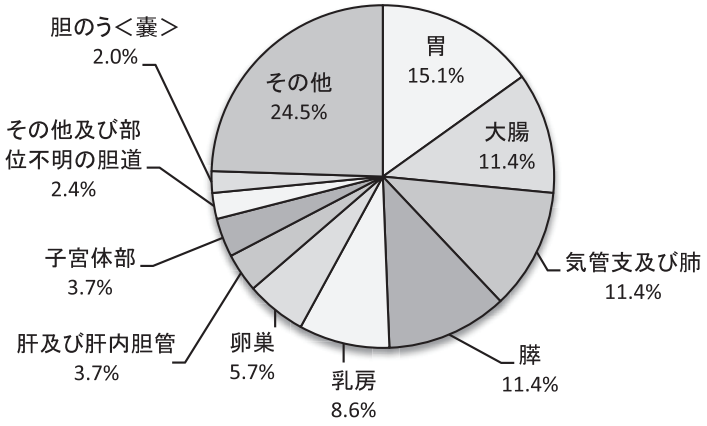
女		
順位	部 位	件数
1	胃	37
1	大腸	28
3	気管支及び肺	28
4	膵	28
5	乳房	21
6	卵巣	14
7	肝及び肝内胆管	9
7	子宮体部	9
9	その他及び部位不明の胆道	6
9	胆のう＜嚢＞	5
11	その他	60
合 計		245

男女計		
順位	部 位	件数
1	気管支及び肺	112
2	胃	91
3	大腸	69
4	膵	50
5	肝及び肝内胆管	28
6	乳房	21
7	食道	20
8	非ろ＜濾＞胞性リンパ腫	16
8	その他及び部位不明の胆道	15
10	卵巣	14
11	その他	155
合 計		591

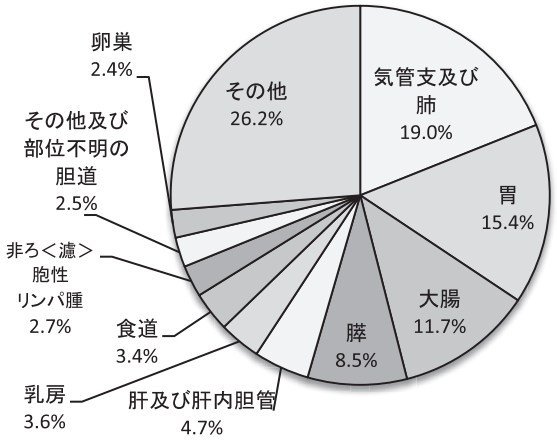
悪性新生物による死亡患者割合（男）



悪性新生物による死亡患者割合（女）



悪性新生物による死亡患者割合（男女計）



死亡患者統計

●科別死亡率（2018年度）

患者数 / 科	退院患者数			死亡患者数								
	男	女	男女計	男		女		男女計		死亡率（%）	平均年齢（歳）	
消化器内科	1,792	1,034	2,826	173	(161)	128	(119)	301	(280)	10.7	73.4	
呼吸器内科	520	246	766	130	(116)	54	(43)	184	(159)	24.0	76.8	
循環器内科	1,451	791	2,242	62	(57)	43	(35)	105	(92)	4.7	79.3	
血液内科	256	212	468	32	(29)	24	(21)	56	(50)	12.0	74.8	
総合内科	539	470	1,009	51	(43)	41	(34)	92	(77)	9.1	80.8	
神経内科	75	55	130	3	(1)	2	(2)	5	(3)	3.8	76.0	
アレルギー・膠原病内科	115	181	296	5	(5)	7	(7)	12	(12)	4.1	76.3	
救命救急内科	91	60	151	35	(17)	12	(7)	47	(24)	31.1	76.8	
糖尿病代謝内科	7	7	14	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	
感染症科	16	9	25	3	(3)	2	(2)	5	(5)	20.0	75.4	
腎臓内科・透析科	322	190	512	25	(24)	14	(12)	39	(36)	7.6	77.9	
小児科	632	523	1,155	3	(3)	0	(0)	3	(3)	0.3	11.7	
外科	1,145	855	2,000	40	(33)	43	(34)	83	(67)	4.2	74.8	
整形外科	293	390	683	7	(7)	5	(5)	12	(12)	1.8	78.1	
脳神経外科	453	367	820	44	(26)	40	(27)	84	(53)	10.2	73.8	
心臓外科	60	39	99	3	(3)	3	(3)	6	(6)	6.1	74.2	
皮膚科	86	87	173	3	(3)	0	(0)	3	(3)	1.7	80.7	
泌尿器科	1,692	324	2,016	38	(36)	14	(13)	52	(49)	2.6	78.1	
産科	0	1,054	1,054	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	
婦人科	0	798	798	0	(0)	29	(27)	29	(27)	3.6	65.2	
眼科	374	433	807	0	(0)	0	(0)	0	0	0.0	0.0	
耳鼻咽喉科	249	171	420	11	(11)	3	(3)	14	(14)	3.3	75.6	
新生児科	148	147	295	0	(0)	1	(0)	1	0	0.3	0.0	
麻酔科	1	0	1	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0.0	0.0	
形成外科	215	123	338	3	(2)	0	(0)	3	(2)	0.9	74.0	
歯科・歯科口腔外科	54	56	110	0	(0)	2	(0)	2	0	1.8	82.0	
神経精神科	107	159	266	1	(1)	0	(0)	1	(1)	0.4	73.0	
合　計	10,693	8,781	19,474	672	(579)	467	(394)	1,139	(973)	5.8	75.5	

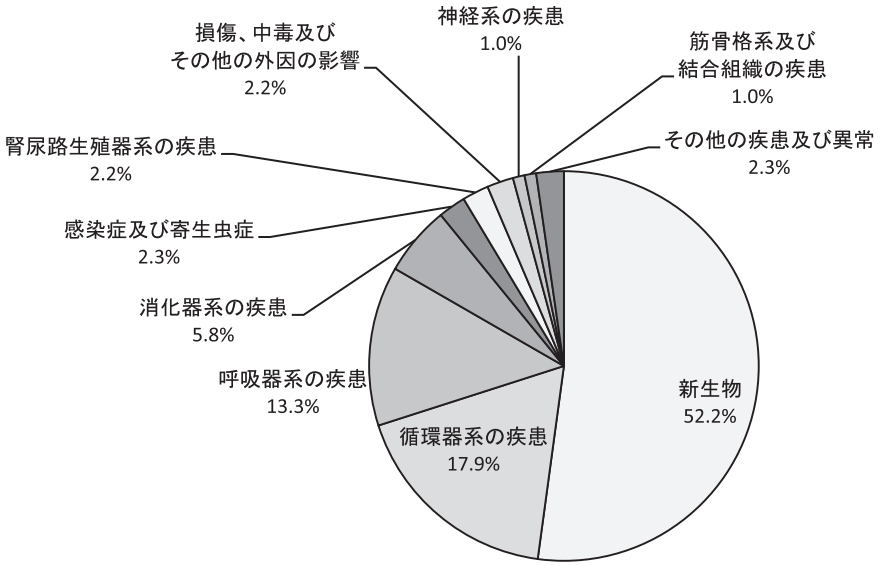
（注）・（ ）内は精死亡数を表す。精死亡とは入院後48時間以降の死亡をいう。
・転科の場合は、退院時の科で集計

●死亡患者数（2018年度）

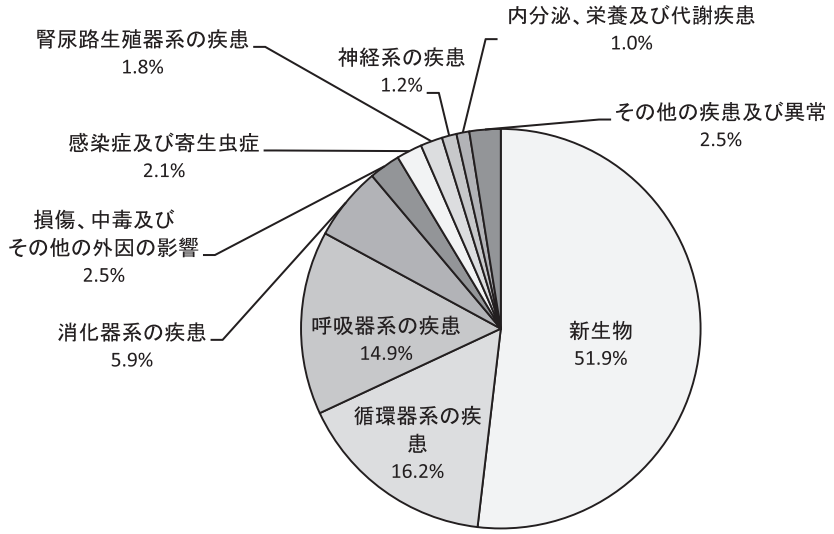
疾病大分類		死亡患者数			
		男	女	男女計	構成比（%）
Ⅰ	感染症及び寄生虫症	14	12	26	2.3
Ⅱ	新生物	349	245	594	52.2
Ⅲ	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2	－	2	0.2
Ⅳ	内分泌、栄養及び代謝疾患	7	2	9	0.8
Ⅴ	精神及び行動の障害	－	－	0	0.0
Ⅵ	神経系の疾患	8	3	11	1.0
Ⅶ	眼及び付属器の疾患	－	－	0	0.0
Ⅷ	耳及び乳様突起の疾患	－	－	0	0.0
Ⅸ	循環器系の疾患	109	95	204	17.9
Ⅹ	呼吸器系の疾患	100	51	151	13.3
ⅩⅠ	消化器系の疾患	40	26	66	5.8
ⅩⅡ	皮膚及び皮下組織の疾患	2	2	4	0.4
ⅩⅢ	筋骨格系及び結合組織の疾患	7	4	11	1.0
ⅩⅣ	腎尿路生殖器系の疾患	12	13	25	2.2
ⅩⅤ	妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	－	－	0	0.0
ⅩⅥ	周産期に発生した病態	1	－	1	0.1
ⅩⅦ	先天奇形、変形及び染色体異常	－	－	0	0.0
ⅩⅧ	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5	5	10	0.9
ⅩⅨ	損傷、中毒及びその他の外因の影響	17	8	25	2.2
ⅩⅩ	傷病及び死亡の外因	－	－	0	0.0
ⅩⅩⅠ	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	－	－	0	0.0
ⅩⅩⅡ	特殊目的用コード	－	－	0	0.0
合 計		673	466	1,139	100.0

●死亡患者数の割合（2018年度）

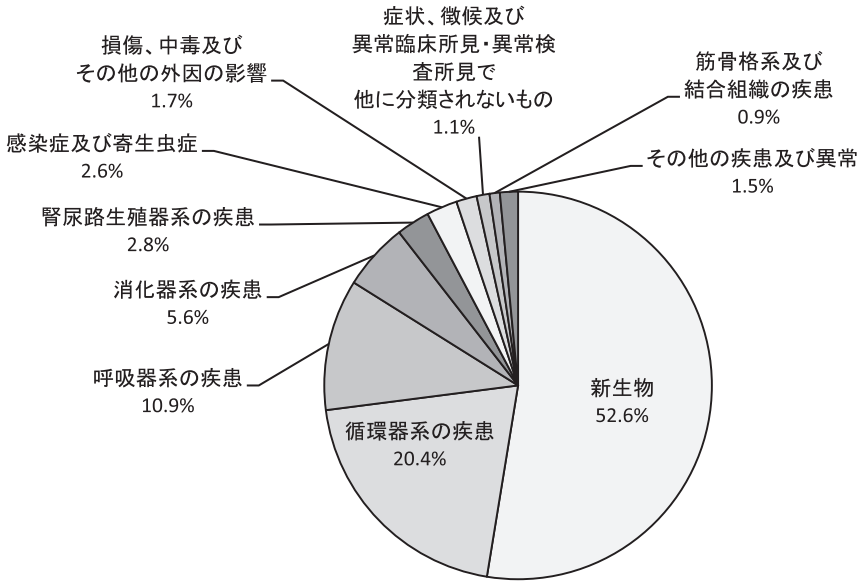
疾病別割合
（男女計）



疾病別割合
（男）

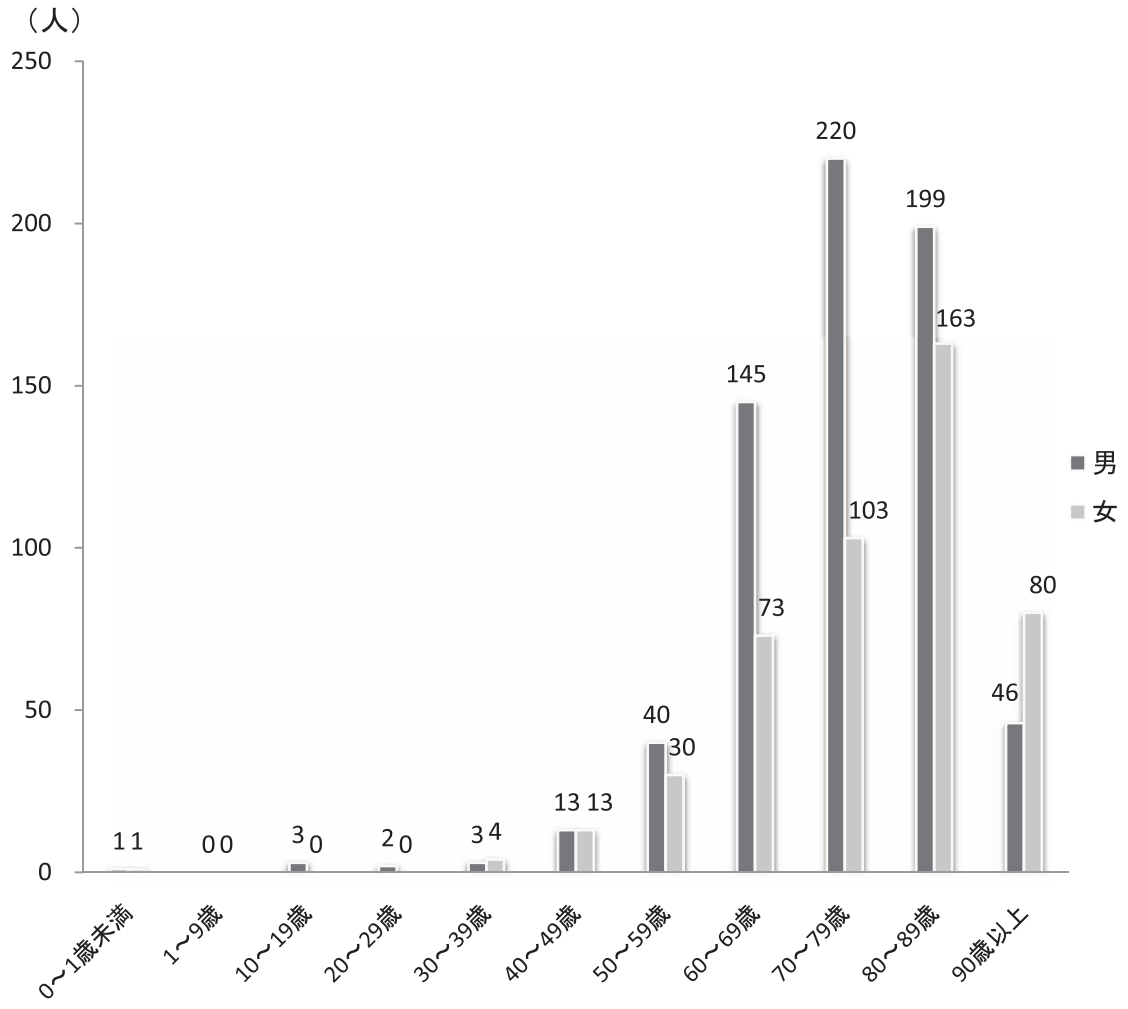


疾病別割合
（女）



●年齢別死亡患者数（2018年度）

性別 / 年齢階層	男	女	男女計
0～1歳未満	1	1	2
1～9歳	0	0	0
10～19歳	3	0	3
20～29歳	2	0	2
30～39歳	3	4	7
40～49歳	13	13	26
50～59歳	40	30	70
60～69歳	145	73	218
70～79歳	220	103	323
80～89歳	199	163	362
90歳以上	46	80	126
合　計	672	467	1,139



●死亡患者における疾病順位表　性別・年齢（2018年度）

性別	年齢階層	順位 / 患者数	1	2	3	4
男計 672	0～1歳未満	0	－	－	－	－
	1～9歳	1	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 1	－	－	－
	10～19歳	3	新生物 1	神経系の疾患 1	循環器系の疾患 1	－
	20～29歳	2	循環器系の疾患 1	神経系の疾患 1	－	－
	30～39歳	3	新生物 1	循環器系の疾患 1	消化器系の疾患 1	
	40～49歳	13	新生物 5	循環器系の疾患 4	損傷、中毒及びその他の外因の影響 3	消化器系の疾患 1
	50～59歳	40	新生物 25	循環器系の疾患 9	消化器系の疾患 2	腎尿路生殖器系の疾患 2
	60～69歳	145	新生物 97	循環器系の疾患 21	消化器系の疾患 9	呼吸器系の疾患 6
	70～79歳	220	新生物 118	循環器系の疾患 34	呼吸器系の疾患 34	消化器系の疾患 11
	80～89歳	199	新生物 90	呼吸器系の疾患 45	循環器系の疾患 32	消化器系の疾患 10
	90歳以上	46	呼吸器系の疾患 15	新生物 12	循環器系の疾患 6	消化器系の疾患 6
女計 467	0～1歳未満	1	周産期に発生した病態 1	－	－	－
	1～9歳	0	－	－	－	－
	10～19歳	0	－	－	－	－
	20～29歳	0	－	－	－	－
	30～39歳	4	新生物 2	循環器系の疾患 1	消化器系の疾患 1	－
	40～49歳	13	新生物 10	呼吸器系の疾患 2	循環器系の疾患 1	
	50～59歳	30	新生物 26	感染症及び寄生虫症 1	神経系の疾患 1	循環器系の疾患 1
	60～69歳	73	新生物 53	循環器系の疾患 10	呼吸器系の疾患 4	消化器系の疾患 3
	70～79歳	103	新生物 65	循環器系の疾患 19	消化器系の疾患 6	呼吸器系の疾患 5
	80～89歳	163	新生物 72	循環器系の疾患 42	呼吸器系の疾患 23	消化器系の疾患 7
	90歳以上	80	循環器系の疾患 21	新生物 17	呼吸器系の疾患 17	消化器系の疾患 9

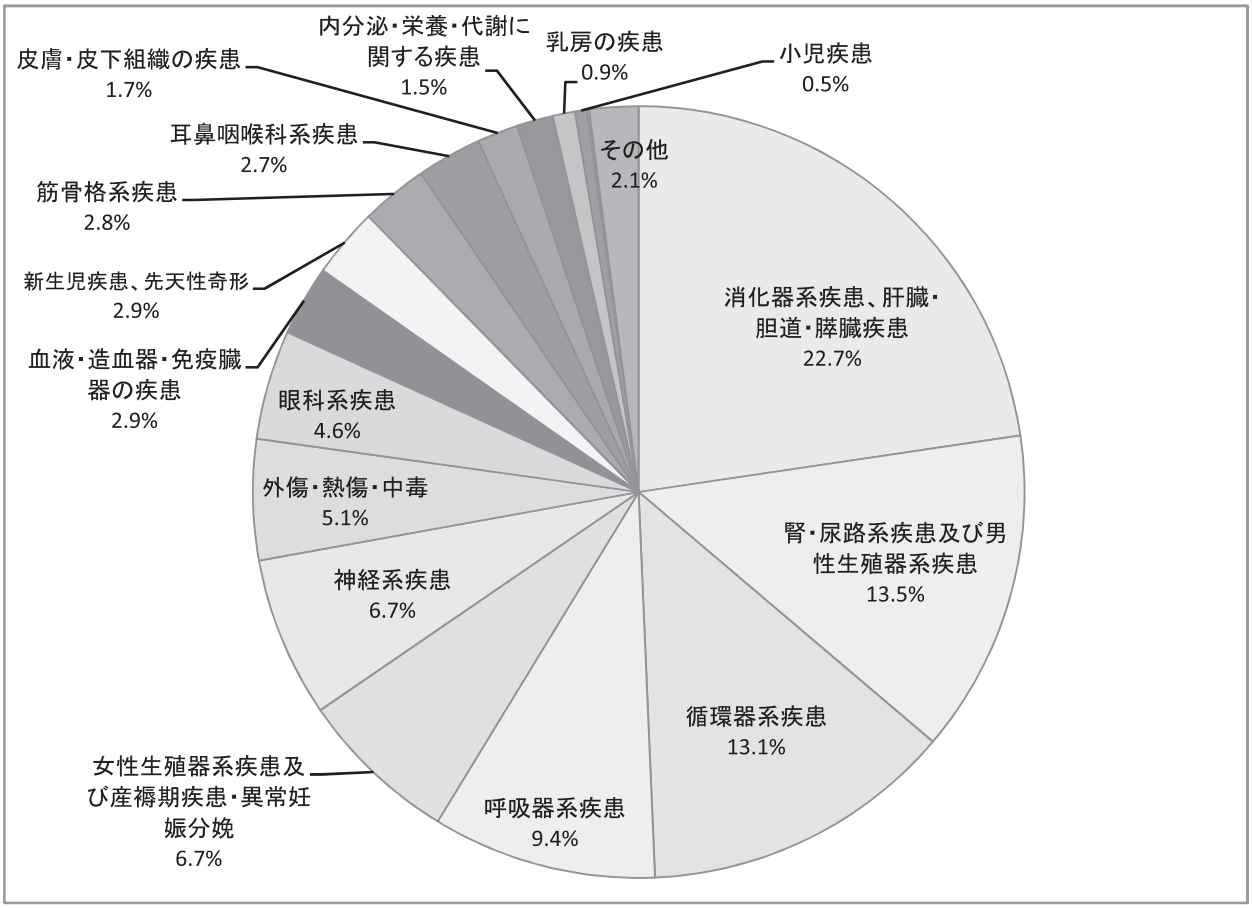
性別	年齢階層	5	6	7	8
男	0～1歳未満	－	－	－	－
	1～9歳	－	－	－	－
	10～19歳	－	－	－	－
	20～29歳	－	－	－	－
	30～39歳	－	－	－	－
	40～49歳	－	－	－	－
	50～59歳	神経系の疾患 1	－ 1	－	－
	60～69歳	筋骨格系及び結合組織の疾患 3	腎尿路生殖器系の疾患 3	損傷、中毒及びその他の外因の影響 3	その他 3
	70～79歳	感染症及び寄生虫症 5	神経系の疾患 4	内分泌、栄養及び代謝疾患 3	その他 11
	80～89歳	損傷、中毒及びその他の外因の影響 7	感染症及び寄生虫症 6	腎尿路生殖器系の疾患 3	その他 6
	90歳以上	感染症及び寄生虫症 2	内分泌、栄養及び代謝疾患 2	筋骨格系及び結合組織の疾患 1	その他 2
女	0～1歳未満	－	－	－	－
	1～9歳	－	－	－	－
	10～19歳	－	－	－	－
	20～29歳	－	－	－	－
	30～39歳	－	－	－	－
	40～49歳	－	－	－	－
	50～59歳	筋骨格系及び結合組織の疾患 1	－	－	－
	60～69歳	感染症及び寄生虫症 1	内分泌、栄養及び代謝疾患 1	損傷、中毒及びその他の外因の影響 1	－
	70～79歳	損傷、中毒及びその他の外因の影響 3	感染症及び寄生虫症 2	腎尿路生殖器系の疾患 2	筋骨格系及び結合組織の疾患 1
	80～89歳	感染症及び寄生虫症 6	腎尿路生殖器系の疾患 5	損傷、中毒及びその他の外因の影響 3	その他 5
	90歳以上	腎尿路生殖器系の疾患 6	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 4	感染症及び寄生虫症 2	その他 4

ＤＰＣ統計

●全科MDC2別退院患者数（2018年度）

対象：2018年4月1日～2019年3月31日退院患者(自費を除く)

MDC番号	MDC名称	件数	%
MDC01	神経系疾患	1,229	6.7%
MDC02	眼科系疾患	839	4.6%
MDC03	耳鼻咽喉科系疾患	500	2.7%
MDC04	呼吸器系疾患	1,721	9.4%
MDC05	循環器系疾患	2,407	13.1%
MDC06	消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	4,154	22.7%
MDC07	筋骨格系疾患	513	2.8%
MDC08	皮膚・皮下組織の疾患	315	1.7%
MDC09	乳房の疾患	171	0.9%
MDC10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患	280	1.5%
MDC11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	2,482	13.5%
MDC12	女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	1,233	6.7%
MDC13	血液・造血器・免疫臓器の疾患	540	2.9%
MDC14	新生児疾患、先天性奇形	535	2.9%
MDC15	小児疾患	91	0.5%
MDC16	外傷・熱傷・中毒	928	5.1%
MDC17	精神疾患	16	0.1%
MDC18	その他	377	2.1%
	総件数	18,331	100.0%



MDC2分類別　退院患者割合

●全診療科　診断群分類別（MDC6）上位頻度表（2018年度）

対象：2018年4月1日～2019年3月31日退院患者(自費を除く)

MDC06：消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患　　総数：4,154

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	K803,K805他	553
2	060020	胃の悪性腫瘍	C16$	421
3	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	K801,K800他	366
4	060035	結腸（虫垂を含む）の悪性腫瘍	C18$	265
5	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	K913,K562他	246
6	060040	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍	C20,C19他	225
7	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む）	C22$,C787	219
8	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	C25$,D377他	161
9	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む）	K635,D12$他	157
10	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	C24$,C23	139
11		その他		1,402

MDC11：腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患　　総数：2,482

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	C61	673
2	110070	膀胱腫瘍	C67$	377
3	11012x	上部尿路疾患	N20$,N281他	331
4	110310	腎臓または尿路の感染症	N10,N390他	320
5	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	N185,N189他	283
6	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	C66,C65	90
7	110200	前立腺肥大症等	N40	77
8	11013x	下部尿路疾患	N21$,N35$他	68
9	110290	急性腎不全	N17$	59
10	11001x	腎腫瘍	C64,D410	54
11		その他		150

MDC05：循環器系疾患　　総数：2,407

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	I20$,I25$	552
2	050130	心不全	I50$	383
3	050030	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞	I21$,I24$他	290
4	050070	頻脈性不整脈	I48$,I47$他	285
5	050170	閉塞性動脈疾患	I702$,I743他	284
6	050080	弁膜症（連合弁膜症を含む）	I35$,I34$他	145
7	050210	徐脈性不整脈	I442,T821他	126
8	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	I714,I712他	66
9	050340	その他の循環器の障害	I519,I499他	48
10	050060	心筋症（拡張型心筋症を含む）	I420,I422他	44
11		その他		184

MDC04: 呼吸器系疾患　　総数: 1,721

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	040080	肺炎等	J15$,J18$他	421
2	040040	肺の悪性腫瘍	C34$,C780	311
3	040100	喘息	J45$,J46	190
4	040081	誤嚥性肺炎	J69$	184
5	040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	J21$,J20$	160
6	040110	間質性肺炎	J84$,J82他	65
7	040200	気胸	J93$	58
8	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	J86$,J852他	57
9	040120	慢性閉塞性肺疾患	J44$,J43$	47
10	040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎	J10$,J12$他	45
11		その他		183

MDC12: 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩　　総数: 1,233

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	C54$,C53$他	316
2	120260	分娩の異常	O71$,O62$他	154
3	120180	胎児及び胎児付属物の異常	O34$,O32$他	148
4	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	C56,C57$他	129
5	120070	卵巣の良性腫瘍	D27,D391	99
6	120060	子宮の良性腫瘍	D25$,D390	80
7	120170	早産、切迫早産	O470,O30$	56
8	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	O14$,O11他	43
9	120165	妊娠合併症等	O21$,O23$他	35
10	120090	生殖器脱出症	N81$	31
11		その他		142

MDC01: 神経系疾患　　総数: 1,229

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	010060	脳梗塞	I63$	457
2	010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	I61$,Q282	174
3	010230	てんかん	G40$,G41$	132
4	010030	未破裂脳動脈瘤	I671,I725他	87
5	010010	脳腫瘍	C793,D432他	70
6	010070	脳血管障害	I65$,I675他	61
7	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60$	57
8	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	G03$,A87$他	42
9	010200	水頭症	G91$	24
10	010160	パーキンソン病	G20,G21$他	20
11		その他		105

MDC16: 外傷・熱傷・中毒　　総数: 928

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	S06$,S000他	250
2	160800	股関節・大腿近位の骨折	S7210,S7200他	186
3	161070	薬物中毒(その他の中毒)	T42$,T58他	88
4	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	S9200,S8260他	31
5	160870	頸椎頸髄損傷	S141,S121$他	29
6	160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	S8200,S8210	27
7	160200	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む)	S024$,S023$他	25
8	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む)	S320$,S220$	22
9	160835	下腿足関節周辺の骨折	S8220,S8240他	20
10	161020	体温異常	T68,T67$	19
11		その他		231

MDC02: 眼科系疾患　　総数: 839

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	020110	白内障、水晶体の疾患	H25$,H263他	412
2	020220	緑内障	H401,H402他	132
3	020200	黄斑、後極変性	H353	69
4	020160	網膜剥離	H330	56
5	020230	眼瞼下垂	H024	34
6	020240	硝子体疾患	H43$	33
7	020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	H020,H00$他	20
8	020210	網膜血管閉塞症	H352,H34$	16
9	020180	糖尿病性増殖性網膜症	H360	13
10	020150	斜視(外傷性・癒着性を除く)	H501,H500他	11
11		その他		43

MDC13: 血液・造血器・免疫臓器の疾患　　総数: 540

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	130030	非ホジキンリンパ腫	C833,C859他	212
2	130060	骨髄異形成症候群	D469,D462	73
3	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	C900	57
4	130010	急性白血病	C920,C924他	54
5	130070	白血球疾患(その他)	D70,D721	45
6	130090	貧血(その他)	D500,D649他	20
7	130110	出血性疾患(その他)	D693,D695他	20
8	130111	アレルギー性紫斑病	D690	12
9	130120	血液疾患(その他)	D76$,D89$他	10
10	130080	再生不良性貧血	D619	10
11		その他		27

MDC14: 新生児疾患、先天性奇形　　総数: 535

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	P22$,P599他	460
2	140210	先天性耳瘻孔、副耳	Q181,Q170	15
3	140140	口蓋・口唇先天性疾患	Q37$,Q35$	10
4	140590	停留精巣	Q53$	8
5	140490	手足先天性疾患	Q704	6
6	140080	脳、脊髄の先天異常	Q05$,Q04$	6
7	140620	その他の先天異常	Q84$,Q50$他	6
8	140410	先天性肥厚性幽門狭窄症	Q400	5
9	14031x	先天性心疾患(動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く)	Q255,Q203他	5
10	140230	喉頭の疾患(その他)	Q315	2
11		その他		12

MDC07: 筋骨格系疾患　　総数: 513

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	M353,D86$他	116
2	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	M16$,M8785他	52
3	070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む)　腰部骨盤、不安定椎	M4806,M431$他	36
4	070010	骨軟部の良性腫瘍(脊椎脊髄を除く)	D481,D164他	33
5	070520	リンパ節、リンパ管の疾患	L04$,I89$	31
6	070330	脊椎感染(感染を含む)	M465$,M463$他	29
7	070341	脊柱管狭窄(脊椎症を含む)　頸部	M4712,M4882他	26
8	070470	関節リウマチ	M0600,M0690他	26
9	070230	膝関節症(変形性を含む)	M17$	26
10	070040	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く)	C795,C402	19
11		その他		119

MDC03: 耳鼻咽喉科系疾患　　総数: 500

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	030350	慢性副鼻腔炎	J32$	68
2	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	J36,J05$他	60
3	030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患	J35$	54
4	030270	上気道炎	J02$,J06$	40
5	03001x	頭頸部悪性腫瘍	C10$,C13$他	38
6	030390	顔面神経障害	G51$	37
7	030428	突発性難聴	H912	30
8	030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	H669,H71	29
9	030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	D370,D140他	26
10	030250	睡眠時無呼吸	G473	26
11		その他		92

MDC08：皮膚・皮下組織の疾患　　総数：　315

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	080006	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外）	C443,C447他	86
2	080010	膿皮症	L03$,L08$他	85
3	080270	食物アレルギー	T781,T780	42
4	080007	皮膚の良性新生物	D171,D170他	20
5	080020	帯状疱疹	B027,B022他	17
6	080250	褥瘡潰瘍	L89$	12
7	080005	黒色腫	C43$	10
8	080090	紅斑症	L52,L518他	9
9	080110	水疱症	L12$,L10$	7
10	080180	母斑、母斑症	D223,Q859	4
11		その他		23

MDC10：内分泌・栄養・代謝に関する疾患　　総数：　280

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	100393	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	E871,E875他	42
2	100250	下垂体機能低下症	E230,E236他	42
3	100020	甲状腺の悪性腫瘍	C73,D440	25
4	100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	E101,E111他	18
5	100210	低血糖症	E162,E161	18
6	100100	糖尿病足病変	L97	14
7	100380	体液量減少症	E86	12
8	100391	低カリウム血症	E876	11
9	100070	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全なし）	E119,E116他	10
10	100330	栄養障害（その他）	E519,E46他	9
11		その他		79

MDC09：乳房の疾患　　総数：　171

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	090010	乳房の悪性腫瘍	C50$	162
2	090020	乳房の良性腫瘍	D24,D486	7
3	090040	乳房の形態異常、女性化乳房、乳腺症など	N62	2

MDC15：小児疾患　　総数：　91

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	150040	熱性けいれん	R560	56
2	150070	川崎病	M303	31
3	150110	染色体異常（ターナー症候群及びクラインフェルター症候群を除く）	Q91$,Q90$	3
4	150120	脳性麻痺	G80$	1

MDC17: 精神疾患　　総数: 16

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	170050	神経症性障害，ストレス関連障害および身体表現性障害	F44$,F45$	6
2	170020	精神作用物質使用による精神および行動の障害	F103,F104他	5
3	170060	その他の精神及び行動の障害	F95$,F82他	4
4	170030	統合失調症，統合失調症型障害および妄想性障害	F20$	1

MDC18: その他　　総数: 377

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	180010	敗血症	A41$,A40$他	188
2	180040	手術・処置等の合併症	T828,T81$他	88
3	180030	その他の感染症（真菌を除く）	A49$,B34$他	71
4	180050	その他の悪性腫瘍	D043,C80$他	13
5	180035	その他の真菌感染症	B379,B451他	8
6	180060	その他の新生物	D177,D487他	7
7	180041	移植臓器および組織の不全および拒絶反応	T86$	1
8	180020	性感染症	A51$	1

●入院科別　診断群分類別（MDC6）上位頻度表（2018年度）

対象：2018年4月1日～2019年3月31日退院患者(自費を除く)

内科合計 7,795

入院科：内科　消化器領域　　総数：2,664

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	K805,K803他	543
2	060020	胃の悪性腫瘍	C16$	284
3	060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む）	C22$,C787他	170
4	060100	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む）	K635,D12$他	154
5	060035	結腸（虫垂を含む）の悪性腫瘍	C18$	153
6	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	K800,K81$他	133
7	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	C25$,D377	127
8	060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	C24$,C23	119
9	060010	食道の悪性腫瘍（頸部を含む）	C151,C155他	116
10	060040	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍	C20,C19他	114
11		その他		751

入院科：内科　循環器領域　　総数：2,160

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	I20$,I25$	529
2	050130	心不全	I50$	367
3	050030	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞	I21$,I24$他	283
4	050070	頻脈性不整脈	I48$,I47$他	277
5	050170	閉塞性動脈疾患	I702$,I743他	256
6	050210	徐脈性不整脈	I442,I495他	125
7	050080	弁膜症（連合弁膜症を含む）	I35$,I34$他	106
8	050340	その他の循環器の障害	I519,I518他	46
9	050060	心筋症（拡張型心筋症を含む）	I420,I422他	44
10	050161	解離性大動脈瘤	I710	34
11		その他		93

入院科：内科　呼吸器領域　　総数：1,014

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	040080	肺炎等	J15$,J18$他	346
2	040040	肺の悪性腫瘍	C34$,C780	200
3	040081	誤嚥性肺炎	J690	162
4	040110	間質性肺炎	J84$,J82他	63
5	040120	慢性閉塞性肺疾患	J44$,J43$	46
6	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	J86$,J852他	41
7	040100	喘息	J46,J45$	36
8	04026x	肺高血圧性疾患	I270,I279他	21
9	040160	呼吸器の結核	A15$,A162他	18
10	040190	胸水、胸膜の疾患（その他）	J90	13
11		その他		68

入院科：　内科　神経領域　　総数：　610

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	010060	脳梗塞	I63$	402
2	010230	てんかん	G40$,G41$	76
3	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	G049,A87$他	26
4	010160	パーキンソン病	G20,G21$	20
5	010155	運動ニューロン疾患等	G12$	17
6	010090	多発性硬化症	G360,G35	10
7	010010	脳腫瘍	C793	8
8	010290	自律神経系の障害	G908	8
9	010110	免疫介在性・炎症性ニューロパチー	G61$	6
10	010310	脳の障害（その他）	G94$,G328他	6
11		その他		31

入院科：　内科　血液領域　　総数：　479

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	130030	非ホジキンリンパ腫	C833,C859他	199
2	130060	骨髄異形成症候群	D469,D462	73
3	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	C900	57
4	130010	急性白血病	C920,C924他	52
5	130070	白血球疾患（その他）	D70,D721	31
6	130110	出血性疾患（その他）	D693,D695他	16
7	130080	再生不良性貧血	D619	9
8	130120	血液疾患（その他）	D76$,D63$他	8
9	130020	ホジキン病	C812	6
10	130090	貧血（その他）	D531,D595他	6
11		その他		22

入院科：　内科　糖尿病代謝領域　　総数：　124

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	100393	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	E871,E875他	35
2	100040	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡	E101,E111	16
3	100391	低カリウム血症	E876	8
4	100050	低血糖症（糖尿病治療に伴う場合）	E160	7
5	100070	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全なし）	E116,E119他	6
6	100330	栄養障害（その他）	E519,E41他	6
7	100210	低血糖症	E162	5
8	100202	その他の副腎皮質機能低下症	E274,E272	5
9	100370	アミロイドーシス	E85$	4
10	100080	その他の糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く）（末梢循環不全なし）	E146,E132	4
11		その他		28

入院科：内科　腎臓領域　　総数：139

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	110310	腎臓または尿路の感染症	N390,N10他	103
2	110290	急性腎不全	N17$	14
3	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	N12,N185他	7
4	110050	後腹膜疾患	C786, D483	5
5	110420	水腎症等	N135	2
6	110070	膀胱腫瘍	C67$	2
7	11022x	男性生殖器疾患	N41$	1
8	110270	急速進行性腎炎症候群	N01$	1
9	11012x	上部尿路疾患	N281	1
10	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	C65	1
11		その他		2

入院科：内科　その他の領域　　総数：605

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	070560	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	M353,D86$他	113
2	180010	敗血症	A41$,B377他	105
3	161070	薬物中毒（その他の中毒）	T42$,T58他	68
4	080010	膿皮症	L03$,L02$	36
5	180030	その他の感染症（真菌を除く）	B81$,B258他	31
6	180040	手術・処置等の合併症	T827,T81$他	26
7	030250	睡眠時無呼吸	G473	26
8	070470	関節リウマチ	M0600,M0690他	21
9	070330	脊椎感染（感染を含む）	M465$,M469$他	21
10	161020	体温異常	T68,T67$	18
11		その他		140

入院科：泌尿器科　　総数：2,507

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	110080	前立腺の悪性腫瘍	C61	673
2	110070	膀胱腫瘍	C67$	375
3	11012x	上部尿路疾患	N20$,N281他	330
4	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	N185,N02$他	272
5	110310	腎臓または尿路の感染症	N10,N390他	164
6	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	C66,C65	89
7	110200	前立腺肥大症等	N40	77
8	11013x	下部尿路疾患	N21$,N35$他	68
9	11001x	腎腫瘍	C64,D410	53
10	110290	急性腎不全	N17$	44
11		その他		362

入院科：　外科　　総数：　1,952

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	K801,D135他	232
2	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	K913,K562他	218
3	090010	乳房の悪性腫瘍	C50$	151
4	060020	胃の悪性腫瘍	C16$	136
5	060160	鼠径ヘルニア	K40$	131
6	060150	虫垂炎	K35$,K38$	116
7	060035	結腸（虫垂を含む）の悪性腫瘍	C18$	112
8	060040	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍	C20,C19	111
9	040040	肺の悪性腫瘍	C34$,C780	110
10	060370	腹膜炎、腹腔内膿瘍（女性器臓器を除く）	K65$,K572他	57
11		その他		578

入院科：　小児科　　総数：　1,142

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）	J21$,J20$	155
2	040100	喘息	J45$,J46	154
3	060380	ウイルス性腸炎	A09$,A08$	61
4	150040	熱性けいれん	R560	56
5	040080	肺炎等	J18$,J15$他	51
6	180010	敗血症	A41$,A40$	50
7	110310	腎臓または尿路の感染症	N390,N10	48
8	040070	インフルエンザ、ウイルス性肺炎	J10$,J12$他	38
9	080270	食物アレルギー	T781,T780	37
10	100250	下垂体機能低下症	E230,E236他	37
11		その他		455

入院科：　眼科　　総数：　805

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	020110	白内障、水晶体の疾患	H25$,H263他	412
2	020220	緑内障	H401,H402他	132
3	020200	黄斑、後極変性	H353	69
4	020160	網膜剥離	H330,H332	56
5	020240	硝子体疾患	H43$	33
6	020320	眼瞼、涙器、眼窩の疾患	H020,H00$他	17
7	020210	網膜血管閉塞症	H352,H34$	16
8	020180	糖尿病性増殖性網膜症	H360	13
9	020350	脈絡膜の疾患	H356,H358他	10
10	020150	斜視（外傷性・癒着性を除く）	H501,H500他	10
11		その他		37

入院科：婦人科　　総数：793

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	C54$,C53$他	316
2	120010	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	C56,C57$	128
3	120070	卵巣の良性腫瘍	D27,D391	98
4	120060	子宮の良性腫瘍	D25$,D390	80
5	120090	生殖器脱出症	N81$	31
6	120100	子宮内膜症	N801,N800	29
7	120120	卵巣・卵管・広間膜の非炎症性疾患	N83$	18
8	120110	子宮・子宮附属器の炎症性疾患	N73$,N70$	18
9	130090	貧血（その他）	D500,D649	11
10	060030	小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍	C482	11
11		その他		53

入院科：脳神経外科　　総数：776

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	160100	頭蓋・頭蓋内損傷	S06$,S010他	229
2	010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	I61$,Q282	172
3	010030	未破裂脳動脈瘤	I671,I670	85
4	010070	脳血管障害	I65$,I675他	58
5	010020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤	I60$	56
6	010010	脳腫瘍	C793,D320他	53
7	010060	脳梗塞	I63$	42
8	010200	水頭症	G91$	24
9	010230	てんかん	G40$	19
10	010120	特発性（単）ニューロパチー	G50$	8
11		その他		30

入院科：整形外科　　総数：637

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	160800	股関節・大腿近位の骨折	S7210,S7200他	185
2	07040x	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む）	M16$,M8785他	51
3	070343	脊柱管狭窄（脊椎症を含む）　腰部骨盤、不安定椎	M4806,M431$	34
4	160850	足関節・足部の骨折・脱臼	S9200,S8280他	31
5	160820	膝関節周辺の骨折・脱臼	S8200,S8210他	27
6	160870	頸椎頸髄損傷	S141,S121$他	27
7	070230	膝関節症（変形性を含む）	M17$	26
8	070341	脊柱管狭窄（脊椎症を含む）　頸部	M4712,M4882他	23
9	160835	下腿足関節周辺の骨折	S8220,S8240他	19
10	160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む）	S320$,S220$他	18
11		その他		196

入院科：　産科　　総数：　496

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	120260	分娩の異常	O71$,O62$他	154
2	120180	胎児及び胎児付属物の異常	O34$,O32$他	148
3	120170	早産、切迫早産	O470,O30$他	56
4	120160	妊娠高血圧症候群関連疾患	O14$,O13他	43
5	120165	妊娠合併症等	O21$,O23$他	35
6	120182	前置胎盤および低置胎盤	O44$	14
7	120270	産褥期を中心とするその他の疾患	O99$,O86$他	13
8	120140	流産	O03$	4
9	120200	妊娠中の糖尿病	O24$	4
10	120150	妊娠早期の出血	O20$	3
11		その他		22

入院科：　新生児科　　総数：　451

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	P22$,P599他	438
2	14031x	先天性心疾患（動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く）	Q255,Q234他	4
3	140080	脳、脊髄の先天異常	Q04$,Q05$	3
4	150110	染色体異常（ターナー症候群及びクラインフェルター症候群を除く）	Q90$,Q91$	3
5	140430	腸管の先天異常	Q41$	1
6	140140	口蓋・口唇先天性疾患	Q37$	1
7	140230	喉頭の疾患（その他）	Q315	1

入院科：　耳鼻咽喉科　　総数：　408

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	030350	慢性副鼻腔炎	J32$	68
2	030230	扁桃、アデノイドの慢性疾患	J35$	53
3	030240	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	J36,J03$他	42
4	030428	突発性難聴	H912	30
5	03001x	頭頸部悪性腫瘍	C13$,C10$他	26
6	030390	顔面神経障害	G51$	26
7	030150	耳・鼻・口腔・咽頭・大唾液腺の腫瘍	D370,D140	24
8	030430	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞	H65$	18
9	030440	慢性化膿性中耳炎・中耳真珠腫	H71,H669	14
10	030300	声帯の疾患（その他）	J384,D380他	14
11		その他		93

入院科：　形成外科　　総数：　298

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	070010	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く）	D481,D164	31
2	020230	眼瞼下垂	H024	25
3	160200	顔面損傷（口腔、咽頭損傷を含む）	S024$,S023$他	23
4	070520	リンパ節、リンパ管の疾患	I89$,D360	22
5	080010	膿皮症	L03$,L08$他	16
6	080007	皮膚の良性新生物	D171,L72$他	15
7	100100	糖尿病足病変	L97	11
8	161000	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷	T292,T252他	11
9	090010	乳房の悪性腫瘍	C50$	11
10	140140	口蓋・口唇先天性疾患	Q35$,Q37$他	9
11		その他		124

入院科：　皮膚科　　総数：　171

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	080006	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外）	C443,C444他	81
2	080010	膿皮症	L03$L08$他	16
3	080020	帯状疱疹	B027,B022他	15
4	080005	黒色腫	C43$	10
5	161070	薬物中毒（その他の中毒）	T63$	8
6	080110	水疱症	L12$	6
7	080007	皮膚の良性新生物	D239,D171他	4
8	180050	その他の悪性腫瘍	D043	4
9	080090	紅斑症	L519,L518	3
10	010080	脳脊髄の感染を伴う炎症	G00$	2
11		その他		22

入院科：　心臓血管外科　　総数：　99

順位	診断群分類番号	診断群分類名称	ICDコード	件数
1	050080	弁膜症（連合弁膜症を含む）	I34$,I35$他	38
2	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	I25$,I20$	20
3	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	I712,I716	19
4	050161	解離性大動脈瘤	I710	6
5	050030	急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、再発性心筋梗塞	I21$	5
6	050162	破裂性大動脈瘤	I711	3
7	040150	肺・縦隔の感染、膿瘍形成	J985,J86$	2
8	180040	手術・処置等の合併症	T81$	2
9	050090	心内膜炎	I33$	2
10	180010	敗血症	A41$	1
11	050130	心不全	I50$	1

クリニカル・パスの統計

●クリニカル・パスの使用件数（2018年度）

クリニカルパス使用件数（2018年度）
電子カルテパス、Yahgeeパスをカウントした。（紙パスは統計対象外）

診療科／パス名	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	総　計
内　科	607	657	643	601	2508
PCI（腎機能正常）	71	93	71	64	299
アテローム血栓性脳梗塞急性期パス	52	71	63	38	224
ＰCI（腎機能低下）	37	28	39	39	143
心原性脳塞栓急性期パス	27	36	24	45	132
大腸内視鏡的粘膜下層剥離術	24	26	45	29	124
アブレーション（心房細動）	21	28	39	33	121
入院中PCI（腎機能正常）	28	23	35	31	117
大腸ポリペク	34	38	23	19	114
ペースメーカー植え込み	21	24	22	27	94
下肢血管内治療（腎機能正常）	13	19	29	24	85
肝動脈塞栓術（TAE）前日入院用（DPC）	21	21	21	18	81
下肢血管内治療（腎機能低下）	25	16	16	24	81
入院中PCI（腎機能低下）	23	17	21	19	80
肺炎	31	35	9	3	78
下肢血管内治療（透析）	24	16	16	21	77
ポート造設術	21	19	18	18	76
腎生検	9	21	12	12	54
内視鏡的胃粘膜下層剥離術（ESD）　研究対象外用	30	24			54
EPS・アブレーション	24	14	3	10	51
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（前日入院・抗血小板薬内服なし）		14	14	17	45
AZA	9	10	8	15	42
超音波気管支鏡検査（EUBS）：一泊	11	8	16	2	37
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院･抗血小板薬なし）		2	11	17	30
PSG（ポリソムノグラフィー）	5	9	9	4	27
胃ポリペク	3	3	10	8	24
血液透析導入（透析導入期）			5	17	22
血液透析導入（透析導入期～術前準備期）	10	7	3		20
胃内視鏡的粘膜下層剥離術　前日入院　抗血小板薬内服あり		4	9	5	18
外来CAGパス	8	5	5		18
胃癒	1	4	8	3	16
悪性リンパ腫　R-CHOP	1	5	5	5	16
胆管結石性胆管炎		4	7	4	15
CAG（腎機能正常）	2	1	6	4	13
入院中CAG（腎機能正常）	3	3	2	2	10
超音波気管支鏡検査（EBUS）	1	2		5	8
胆管結石性胆管炎：腎機能低下ver		2	4	1	7
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院　抗血小板薬内服あり）			2	4	6
PCI（維持透析）			2	4	6
CAG（腎機能低下）	1		2	3	6
入院中CAG（腎機能低下）	2	2	1		5
CAPDカテーテル抜去術				3	3
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（研究対象者用）	2	1			3
結腸切除パス（術前期間短縮）	2		1		3
シャント造設術	1		1	1	3
上腕動脈表在化造設術	1		1		2
細菌性肺炎	2				2
シャントPTA	2				2
CAPDカテーテル挿入術（SPIED法）	1			1	2

診療科／パス名	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	総　計
ＴＵＬ			1	1	2
開腹胆嚢摘出術	1				1
慢性硬膜下血腫パス		1			1
右大腿骨近位部骨折				1	1
直腸疾患パス（術前期間短縮）			1		1
イレウス保存治療	1				1
突発性難聴（高用量）			1		1
リンパ節生検		1			1
肝切除術パス（前日入院）			1		1
口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除（成人）	1				1
顔面神経麻痺			1		1
透析科	56	49	56	59	220
シャント造設術	33	27	34	40	134
上腕動脈表在化造設術	7	12	6	7	32
腎生検	5	7	5	3	20
血液透析導入（透析導入期～術前準備期）	5	2	6		13
血液透析導入（透析導入期）			2	5	7
アテローム血栓性脳梗塞急性期パス			1	1	2
入院中CAG（腎機能低下）	2				2
肺炎		1			1
胃内視鏡的粘膜下層剥離術（当日入院･抗血小板薬なし）				1	1
心原性脳塞栓急性期パス			1		1
CAPDカテーテル挿入術（SPIED法）	1				1
入院中PCI（腎機能正常）	1				1
CAG（腎機能低下）	1				1
入院中PCI（腎機能低下）				1	1
CAPDカテーテル抜去術			1		1
シャントPTA				1	1
ＰCI（腎機能低下）	1				1
小児科	7	25	19	9	60
低身長精査	3	18	11	2	34
敗血症パス	3	4	6		13
尿路感染症パス	1		2	7	10
腎生検		2			2
小児鼠径ヘルニア		1			1
外　科	330	345	324	304	1303
腹腔鏡下胆嚢摘出術	48	50	57	71	226
結腸切除パス（術前期間短縮）	31	49	43	40	163
胃切除術	44	37	41	30	152
乳腺手術パス	33	43	43	25	144
イレウス保存治療	42	35	27	38	142
成人ヘルニア	29	37	20	29	115
直腸疾患パス（術前期間短縮）	26	16	23	16	81
急性虫垂炎手術パス	24	22	14	6	66
肝切除術パス（前日入院）	13	15	14	15	57
甲状腺手術、PHPT手術	9	10	8	5	32
AAA、開腹ASO	14	3	6	5	28
下肢静脈瘤パス	5	8	5	5	23
開腹胆嚢摘出術	7	6	4	4	21
EVAR2.0		4	5	8	17
小児鼠径ヘルニア	1	3	5	2	11
非開腹ASO、末梢動脈瘤	2	3	2		7
肛門疾患パス		1	1	2	4
下肢血管内治療（腎機能正常）	1		1	1	3

診療科／パス名	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	総　計
上腕動脈表在化瘤切除術		1	2		3
ポート造設術	1			1	2
下肢血管内治療（腎機能低下）		1			1
下肢血管内治療（透析）			1		1
入院中CAG（腎機能正常）			1		1
ペースメーカー植え込み				1	1
入院中PCI（腎機能正常）		1			1
入院中PCI（腎機能低下）			1		1
整形外科	33	42	48	40	163
左大腿骨近位部骨折	9	16	18	19	62
右大腿骨近位部骨折	12	10	16	5	43
左人工膝関節置換術パス	3	3	2	3	11
左人工股関節置換術パス	1	6	1	2	10
金曜日入院：左人工股関節置換術パス	2	3	3	2	10
右人工股関節置換術パス	1	1	5	2	9
右人工膝関節置換術用パス	2	1		3	6
金曜日入院：左人工膝関節置換術パス	1	1	1	2	5
金曜日入院：右人工膝関節置換術パス	1		2	1	4
金曜日入院：右人工股関節置換術パス	1	1		1	3
脳神経外科	48	53	64	61	226
慢性硬膜下血腫パス	30	32	26	37	125
ＡＧ（脳血管撮影検査）パス	10	13	28	10	61
V-Pシャント術	4	3	4	8	19
ジャネッタ	2	1	3	5	11
下垂体腫瘍摘出術	1	2	2	1	6
アテローム血栓性脳梗塞急性期パス		1			1
入院中PCI（腎機能低下）			1		1
心原性脳塞栓急性期パス	1				1
ペースメーカー植え込み		1			1
泌尿器科	360	384	401	383	1528
前立腺生検	117	152	161	110	540
ＴＵＬ	91	71	85	95	342
TUR-BT	64	65	54	69	252
ＴＵＲ-Ｐ	14	16	26	22	78
ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘出術	6	11	12	15	44
体外衝撃波術	6	17	11	6	40
尿管鏡検査	9	13	6	10	38
TUVL	10	6	10	6	32
前立腺全摘術	5	1	13	10	29
腹腔鏡下腎摘除術	6	5	5	11	27
陰嚢水腫根治術	5	7	5	8	25
除睾術	10	4	4	5	23
鏡視下腎尿管全摘　Ver1	1	6	3	4	14
膀胱全摘・回腸導管造設術	7	2	2	3	14
高位除睾術	4	3	2	3	12
鼠径ヘルニア根治術	1	2		5	8
内視尿道切開	3	2	2	1	8
P-tec	1				1
入院中PCI（腎機能正常）		1			1
眼　科	148	142	107	87	484
白内障	140	132	105	58	435
緑内障（Ｉotomy）＋白内障				23	23
睫毛内反	5	3	1		9
翼状片	1	5	1		7

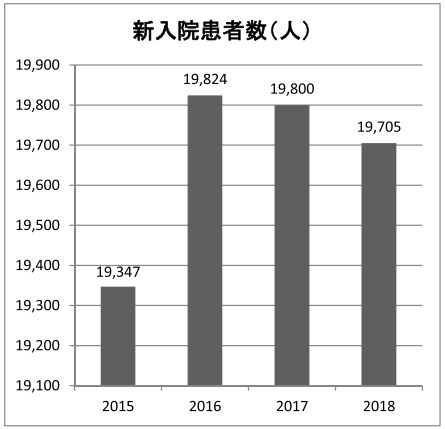
診療科／パス名	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	総　計
緑内障（lotomy）				6	6
眼瞼下垂	2	2			4
皮膚科	14	26	13	8	61
局麻切除全層植皮	12	26	13	8	59
顔面神経麻痺	2				2
耳鼻咽喉科	91	75	71	68	305
鼻内手術（成人）	25	21	18	18	82
頭頸部良性腫瘍	3	9	15	17	44
口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除（成人）	14	5	7	8	34
顔面神経麻痺	9	11	6	6	32
突発性難聴（高用量）	6	7	9		22
口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除術（小児）	6	8	1	7	22
両側鼓膜換気チューブ留置術	8	3	6	1	18
リンパ節生検	6	5	1	3	15
鼓室形成術（成人）	6	3	1	2	12
顕微鏡下微細手術	4	1	3	2	10
突発性難聴（中用量）	2		3	3	8
鼓室形成術（小児）	1	1	1	1	4
突発性難聴（低用量）	1				1
ポート造設術		1			1
歯科・歯科口腔外科	25	20	17	30	92
歯槽部関連疾患	22	17	14	26	79
上顎洞関連疾患	2	1	3	1	7
顎骨骨折	1	2		2	5
顎変形症手術				1	1
産　科	225	241	266	237	969
産褥パス	172	166	186	176	700
選択的帝王切開（腰椎麻酔）パス	20	34	41	27	122
緊急帝王切開（腰椎麻酔）パス	14	19	16	19	68
妊娠悪阻パス	5	6	7	2	20
緊急帝王切開パス（腰椎麻酔）：術後１日目から適用	4	3	3	3	13
産褥パス（適用日が産褥１日目）	2	3	3	4	12
中期中絶パス	2	3	1	1	7
緊急帝王切開（全身麻酔）	1	3	2		6
頚管縫縮術パス		1	2	1	4
後期流産パス	1	1	1	1	4
羊水検査パス：染色体検査	1	1	1	1	4
婦人科麻酔別手術パス	1			1	2
妊娠時卵巣腫瘍核出術パス	1		1		2
選択的帝王切開（全身麻酔）パス			1	1	2
腹式単純子宮全摘術パス			1		1
腟式手術：３日間入院パス		1			1
卵巣癌手術パス	1				1
婦人科	164	187	216	204	771
TC療法パス	45	59	66	60	230
腹式単純子宮全摘術パス	17	27	29	18	91
婦人科腹腔鏡下手術用パス	14	21	21	18	74
円錐切除術パス	3	15	18	9	45
卵巣腫瘍・筋腫核出術パス	12	5	13	9	39
シスプラチン療法（放射線併用）パス	3	1	11	22	37
卵巣癌手術パス	8	7	12	8	35
カンプト・アクプラ療法パス	11	7	5	5	28
選択的帝王切開（腰椎麻酔）パス	3	10	8	7	28
子宮脱手術用パス	9	4	4	9	26

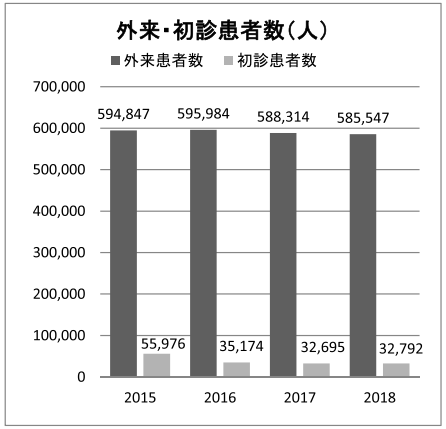
診療科／パス名	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	総　計
準広汎子宮全摘術パス	11	2	6	7	26
緊急・婦人科麻酔別パス	7	4	5	6	22
AP療法パス	3	5	6	7	21
緊急帝王切開（腰椎麻酔）パス	3	2	2	4	11
アクプラ療法（放射線併用）パス	4	4	2		10
子宮内容除去術パス	2	1	2	4	9
腟式手術：３日間入院パス	5		2	1	8
腟式単純子宮全摘術パス	2	2	1	1	6
妊娠悪阻パス		3		2	5
子宮鏡下経頸管的筋腫核出（内膜ポリープ摘出）術パス		1	1	3	5
緊急帝王切開パス（腰椎麻酔）：術後１日目から適用	1	1		2	4
広汎子宮全摘術パス		2	1	1	4
ゲムシタビン・ドセタキセル療法パス		2	1		3
DC療法パス		2			2
婦人科麻酔別手術パス				1	1
緊急帝王切開（全身麻酔）	1				1
神経精神科	71	83	92	81	327
修正型電気けいれん療法	58	69	78	68	273
医療者用１泊入院用ｍ－ECT電子パス	13	13	14	13	53
左大腿骨近位部骨折		1			1
形成外科	1	1	1		3
下肢血管内治療（透析）	1	1	1		3
救命科	1111	1042	1085	1095	4333
呼吸困難クリニカルパス	185	148	181	206	720
発熱クリニカルパス	186	194	159	154	693
頭蓋内病変クリニカルパス	147	135	148	159	589
脳梗塞（医療者用）クリニカルパス	101	101	101	105	408
消化管出血クリニカルパス	85	90	88	69	332
ＡＣＳクリニカルパス	64	71	79	83	297
脳出血・ＳＡＨクリニカルパス	66	43	66	51	226
腸閉塞クリニカルパス	62	39	44	73	218
胆道感染・胆管炎クリニカルパス	46	59	60	45	210
大腿骨骨折クリニカルパス	49	43	42	38	172
胸痛クリニカルパス	25	22	29	22	98
慢性硬膜下血腫クリニカルパス	20	24	20	26	90
急性虫垂炎クリニカルパス	28	24	21	11	84
痙攣クリニカルパス	16	20	24	21	81
小児：痙攣クリニカルパス	11	13	10	17	51
急性薬物中毒クリニカルパス	16	8	10	9	43
アテローム血栓性脳梗塞急性期パス	1	3	1	2	7
心原性脳塞栓急性期パス			1	2	3
左大腿骨近位部骨折	1	1	1		3
急性薬物中毒パス				2	2
緊急・婦人科麻酔別パス		1			1
急性虫垂炎手術パス	1				1
慢性硬膜下血腫パス	1				1
白内障		1			1
肺炎		1			1
右大腿骨近位部骨折		1			1
全　体	856	849	864	846	3415
医療者用輸血療法パス	856	849	864	846	3415
総　件　数	4123	4140	4236	4269	16768

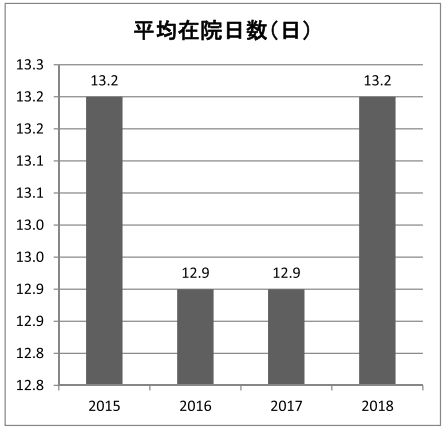
臨床指標

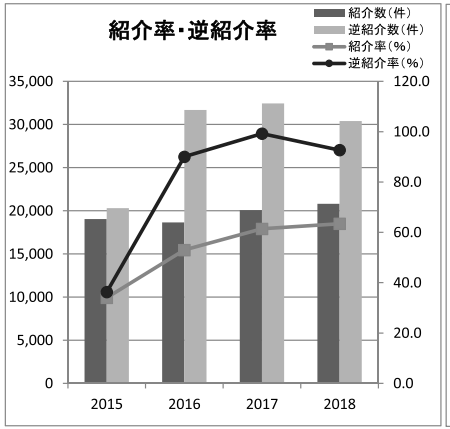
●全体臨床指標

全体
臨床指標









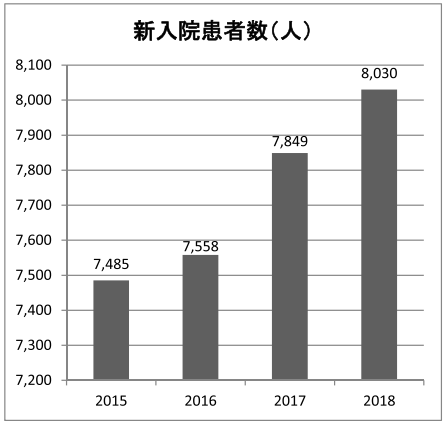
全体

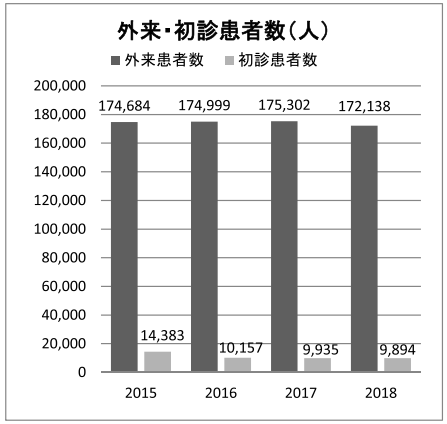
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	177	178	175	178	100.6
	入院延患者数	人	275,250	276,117	275,565	280,170	101.8
	新入院患者数	人	19,347	19,824	19,800	19,705	101.9
	入院収益 A	千円	17,679,130	18,382,460	18,765,075	19,589,737	110.8
	外来患者数	人	594,847	595,984	588,314	585,547	98.4
	初診患者数	人	55,976	35,174	32,695	32,792	58.6
	外来収益 B	千円	12,902,695	12,370,992	12,315,179	12,842,675	99.5
	診療収益 A+B	千円	30,581,825	30,753,452	31,080,254	32,432,412	106.1
分析指標	入院診療単価	円	64,229	66,575	68,097	69,921	108.9
	新入院患者数/日	人	52.9	54.3	54.2	54.0	102.1
	平均在院日数	日	13.2	12.9	12.9	13.2	100.0
	外来診療単価	円	21,691	20,757	20,933	21,933	101.1
	紹介率	%	34.0	53.0	61.4	63.4	186.4
	外来平均患者数/日	人	2,448	2,452.6	2,411.1	2399.8	98.0
	初診患者数/日	人	230.4	144.7	134.0	134.4	58.3
	救急患者数	人	48,285	48,370	47,559	46,741	96.8
	救急入院患者数	人	6,920	6,967	7,206	7,098	102.6
	救急入院患者数/新入院患者数	%	35.8	35.1	36.4	36.0	100.7
	紹介数（紹介患者加算）	人	19,046	18,643	20,081	20,796	109.2
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	20,309	31,678	32,442	30,393	149.7
	逆紹介率	%	36.3	90.1	99.2	92.7	255.5
	手術件数（手術室利用）	件	8,148	8,477	8,469	8,417	103.3
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	272,902	282,938	293,778	301,520	110.5
	医師1人1日当たり外来収益	円	299,986	286,008	288,412	295,696	98.6
	医師1人1日当たり診療収益	円	572,888	568,946	582,190	597,216	104.2
	医師1人1日当たり入院患者数	人	4.2	4.2	4.3	4.3	101.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	13.8	13.8	13.8	13.5	97.5
	医師1人当たり新入院患者数	人	109.3	111.4	113.1	110.7	101.3
	医師1人当たり救急患者数	人	272.8	271.7	271.8	262.6	96.3
	医師1人当たり救急入院患者数	人	39.1	39.1	41.2	39.9	102.0
	医師1人当たり紹介数	件	107.6	104.7	114.7	116.8	108.6
	医師1人当たり逆紹介数	件	114.7	178.0	185.4	170.7	148.8
	医師1人当たり手術件数	件	46.0	47.6	48.4	47.3	102.7

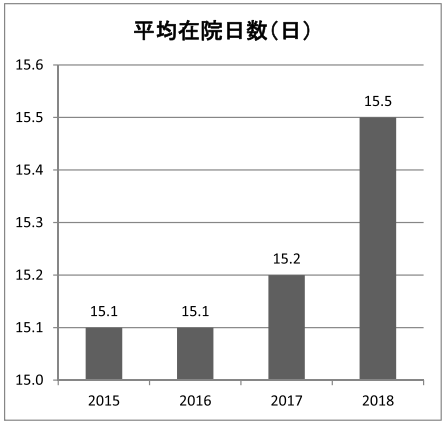
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（当指標にない診療科の医師、研修医は含まれていない）
2　当指標にない診療科の外来患者は含まれていない。
3　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
4　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

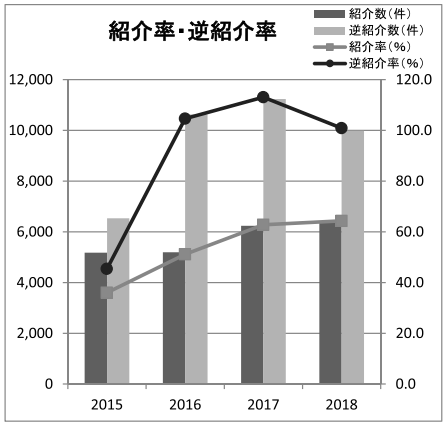
●科別臨床指標

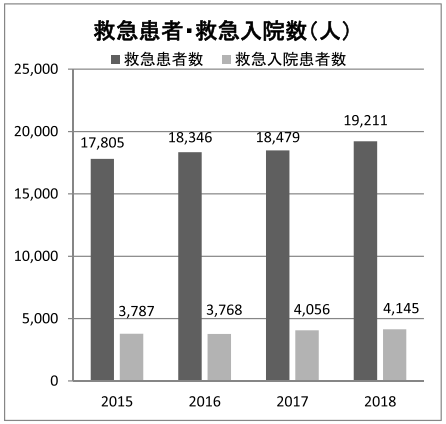
内科
臨床指標









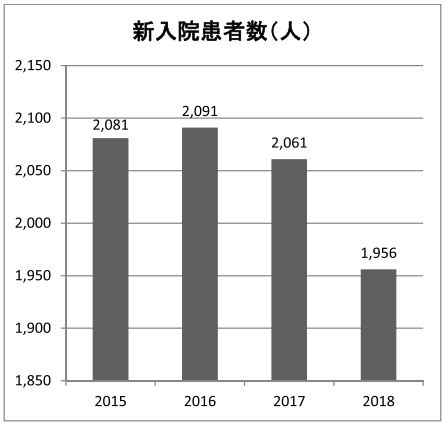


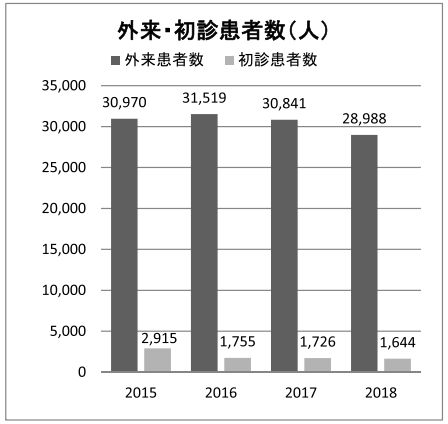
内科

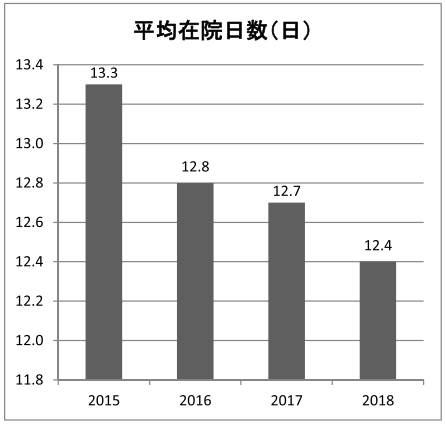
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	60	60	55	56	93.3
	入院延患者数	人	119,527	120,986	124,241	131,338	109.9
	新入院患者数	人	7,485	7,558	7,849	8,030	107.3
	入院収益　A	千円	7,334,122	7,768,911	8,043,720	8,622,110	117.6
	外来患者数	人	174,684	174,999	175,302	172,138	98.5
	初診患者数	人	14,383	10,157	9,935	9,894	68.8
	外来収益　B	千円	6,482,402	6,128,071	6,097,995	6646247	102.5
	診療収益　A＋B	千円	13,816,524	13,896,982	14,141,715	15,268,357	110.5
分析指標	入院診療単価	円	61,360	64,213	64,743	65,648	107.0
	新入院患者数/日	人	20.5	20.7	21.5	22.0	107.6
	平均在院日数	日	15.1	15.1	15.2	15.5	102.6
	外来診療単価	円	37,109	35,018	34,786	38,610	104.0
	紹介率	%	36.0	51.1	62.8	64.3	178.7
	外来平均患者数/日	人	719	720.2	718.5	705.5	98.1
	初診患者数/日	人	59.2	41.8	40.7	40.5	68.5
	救急患者数	人	17,805	18,346	18,479	19,211	107.9
	救急入院患者数	人	3,787	3,768	4,056	4,145	109.5
	救急入院患者数/新入院患者数	%	50.6	49.9	51.7	51.6	102.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	5,177	5,193	6,239	6,364	122.9
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	6,529	10,626	11,234	9,983	152.9
	逆紹介率	%	45.4	104.6	113.1	100.9	222.3
	手術件数（手術室利用）	件	0	1	1	4	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	333,976	354,745	400,683	421,825	126.3
	医師1人1日当たり外来収益	円	444,609	420,307	454,396	486,406	109.4
	医師1人1日当たり診療収益	円	778,586	775,051	855,079	908,231	116.7
	医師1人1日当たり入院患者数	人	5.4	5.5	6.2	6.4	118.1
	医師1人1日当たり外来患者数	人	12.0	12.0	13.1	12.6	105.1
	医師1人当たり新入院患者数	人	124.8	126.0	142.7	143.4	114.9
	医師1人当たり救急患者数	人	296.8	305.8	336.0	343.1	115.6
	医師1人当たり救急入院患者数	人	63.1	62.8	73.7	74.0	117.3
	医師1人当たり紹介数	件	86.3	86.6	113.4	113.6	131.7
	医師1人当たり逆紹介数	件	108.8	177.1	204.3	178.3	163.8
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0

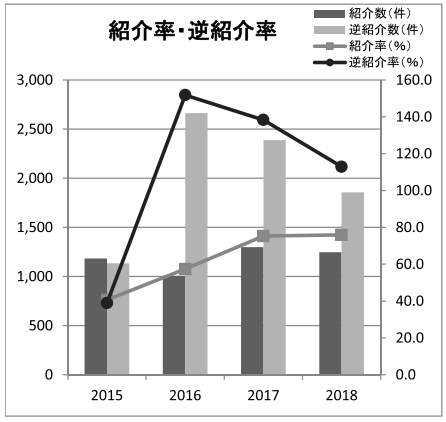
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

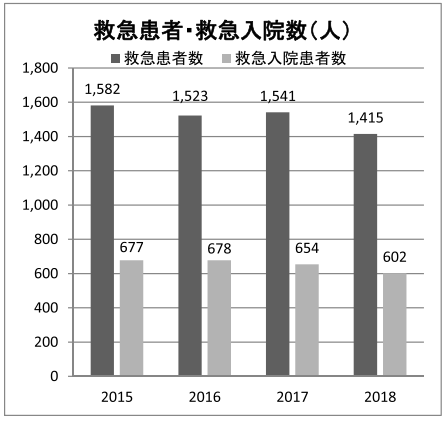
外科
臨床指標









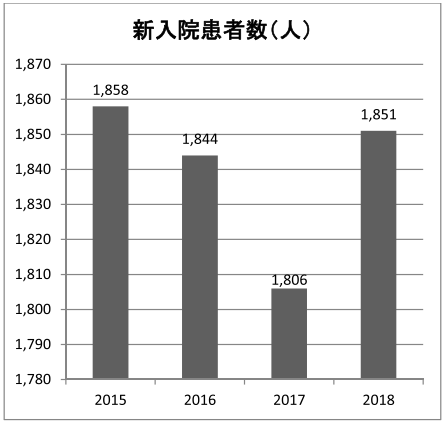


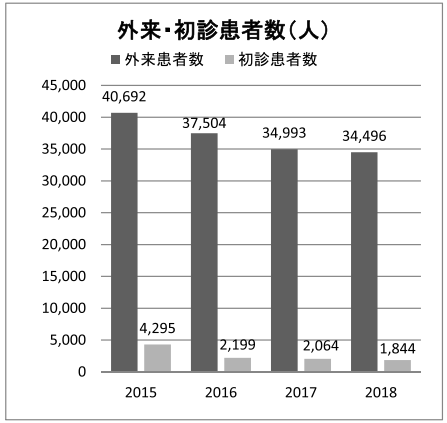
外科

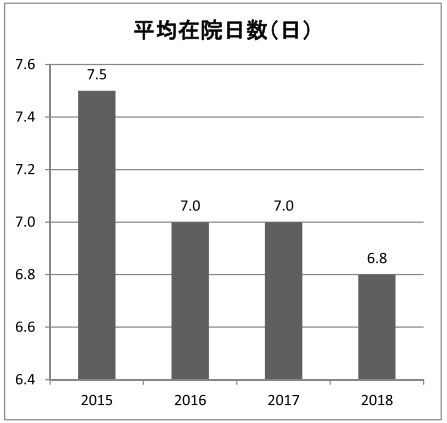
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	24	23	24	22	91.7
	入院延患者数	人	30,423	29,380	29,125	26,633	87.5
	新入院患者数	人	2,081	2,091	2,061	1,956	94.0
	入院収益　A	千円	2,466,958	2,370,262	2,423,704	2,400,851	97.3
	外来患者数	人	30,970	31,519	30,841	28,988	93.6
	初診患者数	人	2,915	1,755	1,726	1,644	56.4
	外来収益　B	千円	960,212	964,580	909,683	707,012	73.6
	診療収益　A＋B	千円	3,427,170	3,334,842	3,333,387	3,107,862	90.7
分析指標	入院診療単価	円	81,089	80,676	83,217	90,146	111.2
	新入院患者数/日	人	5.7	5.7	5.6	5.4	94.3
	平均在院日数	日	13.3	12.8	12.7	12.4	93.2
	外来診療単価	円	31,005	30,603	29,496	24,390	78.7
	紹介率	%	40.6	57.4	75.3	75.9	186.9
	外来平均患者数/日	人	127	129.7	126.4	118.8	93.2
	初診患者数/日	人	12.0	7.2	7.1	6.7	56.2
	救急患者数	人	1,582	1,523	1,541	1,415	89.4
	救急入院患者数	人	677	678	654	602	88.9
	救急入院患者数/新入院患者数	%	32.5	32.4	31.7	30.8	94.6
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,184	1,007	1,299	1,248	105.4
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,135	2,664	2,387	1,856	163.5
	逆紹介率	%	38.9	151.8	138.3	112.9	289.9
	手術件数（手術室利用）	件	1,848	1,755	1,797	1,775	96.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	280,847	282,342	276,679	298,985	106.5
	医師1人1日当たり外来収益	円	164,645	172,585	155,342	131,709	80.0
	医師1人1日当たり診療収益	円	445,492	454,928	432,021	430,694	96.7
	医師1人1日当たり入院患者数	人	3.5	3.5	3.3	3.3	95.8
	医師1人1日当たり外来患者数	人	5.3	5.6	5.3	5.4	101.7
	医師1人当たり新入院患者数	人	86.7	90.9	85.9	88.9	102.5
	医師1人当たり救急患者数	人	65.9	66.2	64.2	64.3	97.6
	医師1人当たり救急入院患者数	人	28.2	29.5	27.3	27.4	97.0
	医師1人当たり紹介数	件	49.3	43.8	54.1	56.7	115.0
	医師1人当たり逆紹介数	件	47.3	115.8	99.5	84.4	178.4
	医師1人当たり手術件数	件	77.0	76.3	74.9	80.7	104.8

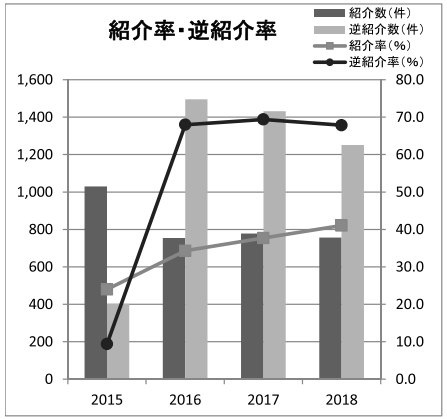
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

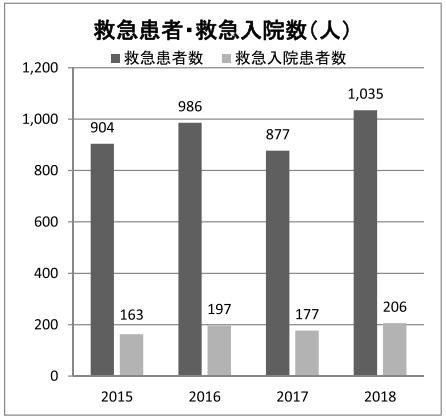
産婦人科
臨床指標









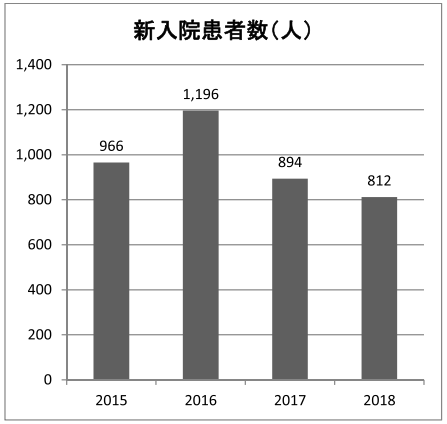


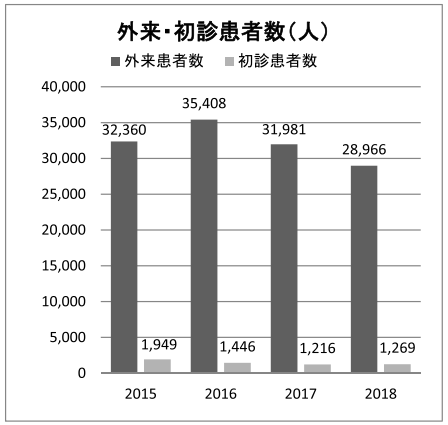
産婦人科

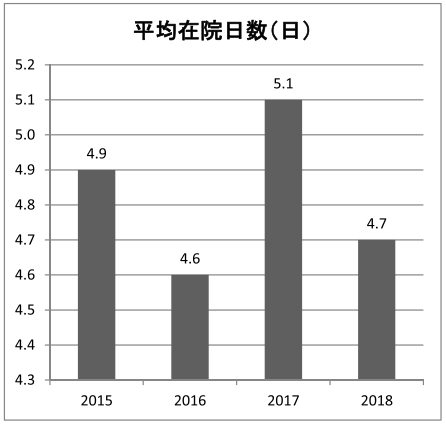
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	10	9	8	9	90.0
	入院延患者数	人	15,686	14,832	14,466	14,428	92.0
	新入院患者数	人	1,858	1,844	1,806	1,851	99.6
	入院収益　A	千円	1,088,888	1,095,506	1,104,206	1,138,296	104.5
	外来患者数	人	40,692	37,504	34,993	34,496	84.8
	初診患者数	人	4,295	2,199	2,064	1,844	42.9
	外来収益　B	千円	347,027	343,505	312,388	323,431	93.2
	診療収益　A＋B	千円	1,435,915	1,439,011	1,416,594	1,461,727	101.8
分析指標	入院診療単価	円	69,418	73,861	76,331	78,895	113.7
	新入院患者数/日	人	5.1	5.1	4.9	5.1	99.9
	平均在院日数	日	7.5	7.0	7.0	6.8	90.7
	外来診療単価	円	8,528	9,159	8,927	9,376	109.9
	紹介率	%	24.0	34.3	37.7	41.1	171.2
	外来平均患者数/日	人	167	154.3	143.4	141.4	84.4
	初診患者数/日	人	17.7	9.0	8.5	7.6	42.8
	救急患者数	人	904	986	877	1,035	114.5
	救急入院患者数	人	163	197	177	206	126.4
	救急入院患者数/新入院患者数	%	8.8	10.7	9.8	11.1	126.9
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,030	754	778	757	73.5
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	402	1,495	1,432	1,251	311.2
	逆紹介率	%	9.4	68.0	69.4	67.8	724.8
	手術件数（手術室利用）	件	705	688	671	673	95.5
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	297,510	333,487	378,153	346,513	116.5
	医師1人1日当たり外来収益	円	142,809	157,067	160,035	147,282	103.1
	医師1人1日当たり診療収益	円	440,320	490,554	538,188	493,795	112.1
	医師1人1日当たり入院患者数	人	4.3	4.5	5.0	4.4	102.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	16.7	17.1	17.9	15.7	93.8
	医師1人当たり新入院患者数	人	185.8	204.9	225.8	205.7	110.7
	医師1人当たり救急患者数	人	90.4	109.6	109.6	115.0	127.2
	医師1人当たり救急入院患者数	人	16.3	21.9	22.1	22.9	140.4
	医師1人当たり紹介数	件	103.0	83.8	97.3	84.1	81.7
	医師1人当たり逆紹介数	件	40.2	166.1	179.0	139.0	345.8
	医師1人当たり手術件数	件	70.5	76.4	83.9	74.8	106.1

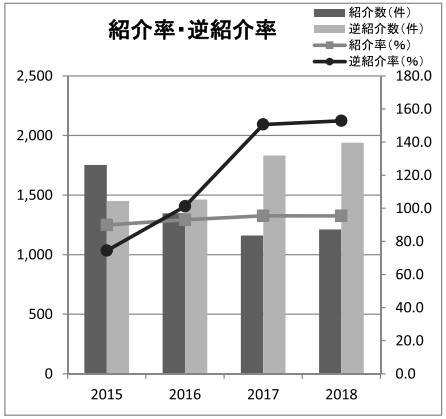
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

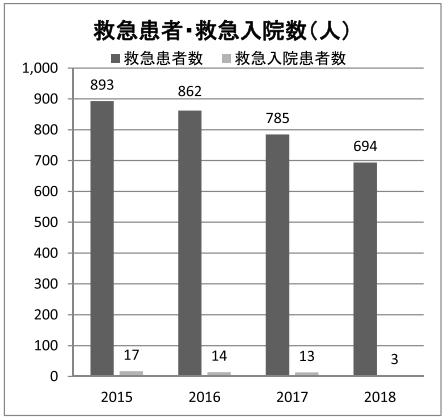
眼科
臨床指標









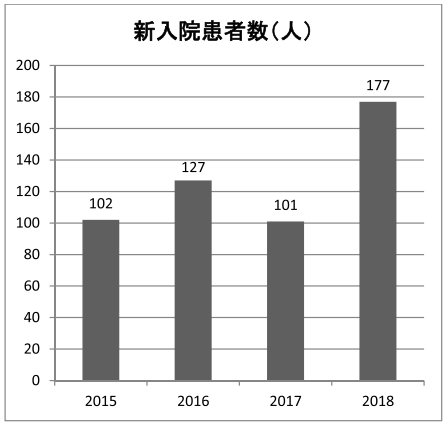


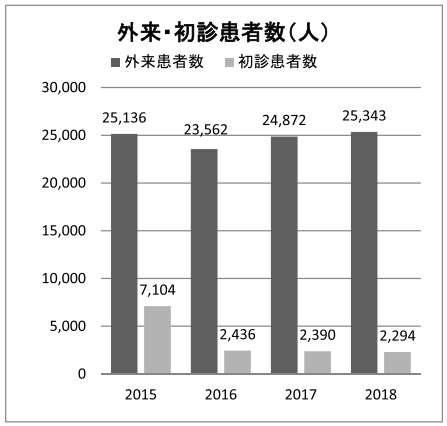
眼科

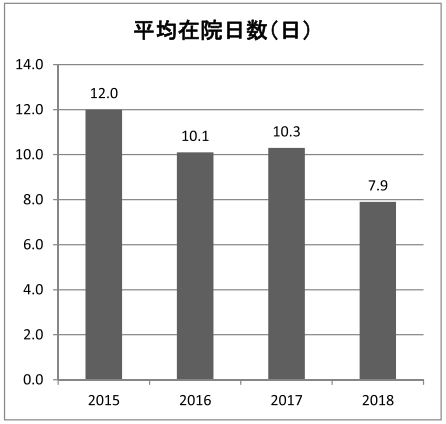
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	7	6	6	6	85.7
	入院延患者数	人	5,743	6,726	5,515	4,666	81.2
	新入院患者数	人	966	1,196	894	812	84.1
	入院収益　A	千円	417,469	486,635	413,468	348,010	83.4
	外来患者数	人	32,360	35,408	31,981	28,966	89.5
	初診患者数	人	1,949	1,446	1,216	1,269	65.1
	外来収益　B	千円	478,871	462,364	497,330	486,970	101.7
	診療収益　A＋B	千円	896,340	948,999	910,798	834,980	93.2
分析指標	入院診療単価	円	72,692	72,351	74,972	74,584	102.6
	新入院患者数/日	人	2.6	3.3	2.4	2.2	84.3
	平均在院日数	日	4.9	4.6	5.1	4.7	95.9
	外来診療単価	円	14,798	13,058	15,551	16,812	113.6
	紹介率	%	89.9	93.2	95.5	95.4	106.1
	外来平均患者数/日	人	133	145.7	131.1	118.7	89.1
	初診患者数/日	人	8.0	6.0	5.0	5.2	64.8
	救急患者数	人	893	862	785	694	77.7
	救急入院患者数	人	17	14	13	3	17.6
	救急入院患者数/新入院患者数	%	1.8	1.2	1.5	0.4	21.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,753	1,347	1,161	1,211	69.1
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,450	1,463	1,832	1,940	133.8
	逆紹介率	%	74.4	101.2	150.7	152.9	205.5
	手術件数（手術室利用）	件	1,484	1,641	1,593	1,588	107.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	162,947	222,208	188,798	158,909	97.5
	医師1人1日当たり外来収益	円	281,523	317,122	339,706	332,630	118.2
	医師1人1日当たり診療収益	円	444,470	539,330	528,504	491,538	110.6
	医師1人1日当たり入院患者数	人	2.2	3.1	2.5	2.1	95.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	19.0	24.3	21.8	19.8	104.0
	医師1人当たり新入院患者数	人	138.0	199.3	149.0	135.3	98.1
	医師1人当たり救急患者数	人	127.6	143.7	130.8	115.7	90.7
	医師1人当たり救急入院患者数	人	2.4	2.3	2.2	0.5	20.6
	医師1人当たり紹介数	件	250.4	224.5	193.5	201.8	80.6
	医師1人当たり逆紹介数	件	207.1	243.8	305.3	323.3	156.1
	医師1人当たり手術件数	件	212.0	273.5	265.5	264.7	124.8

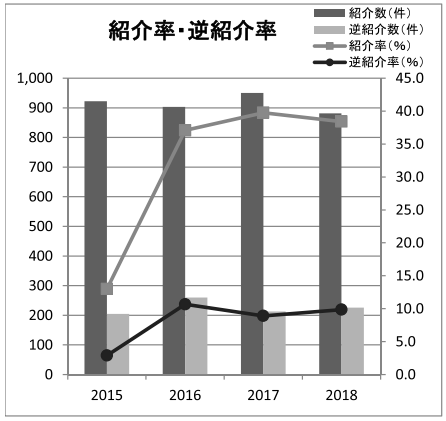
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

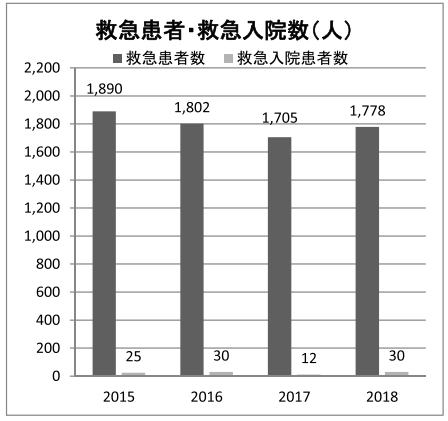
皮膚科
臨床指標









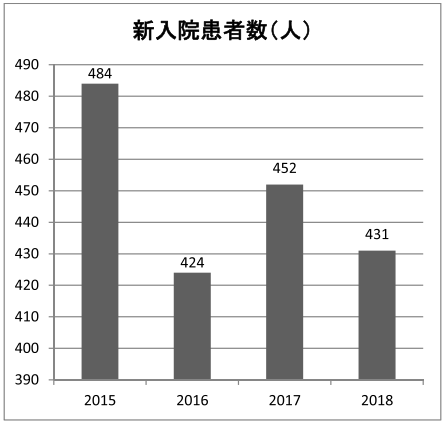


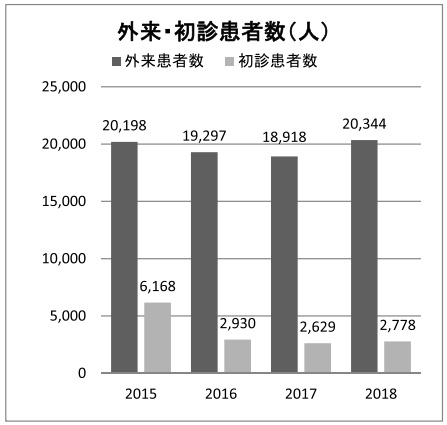
皮膚科

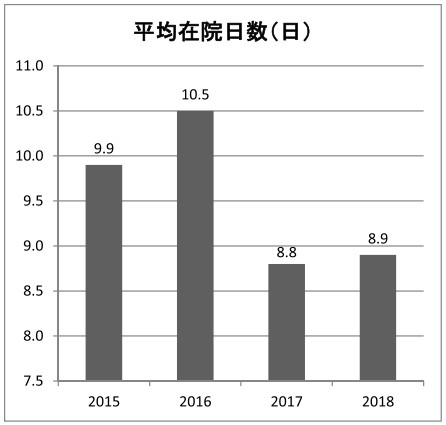
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	3	2	3	3	100.0
	入院延患者数	人	1,325	1,343	1,161	1,547	116.8
	新入院患者数	人	102	127	101	177	173.5
	入院収益　A	千円	61,657	60,692	60,910	78,867	127.9
	外来患者数	人	25,136	23,562	24,872	25,343	100.8
	初診患者数	人	7,104	2,436	2,390	2,294	32.3
	外来収益　B	千円	120,787	107,443	124,506	160,916	133.2
	診療収益　A＋B	千円	182,444	168,135	185,416	239,782	131.4
分析指標	入院診療単価	円	46,534	45,191	52,463	50,980	109.6
	新入院患者数/日	人	0.3	0.3	0.3	0.5	174.0
	平均在院日数	日	12.0	10.1	10.3	7.9	65.8
	外来診療単価	円	4,805	4,560	5,006	6,350	132.1
	紹介率	%	13.0	37.1	39.7	38.4	295.9
	外来平均患者数/日	人	103	97.0	101.9	103.9	100.4
	初診患者数/日	人	29.2	10.0	9.8	9.4	32.2
	救急患者数	人	1,890	1,802	1,705	1,778	94.1
	救急入院患者数	人	25	30	12	30	120.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	24.5	23.6	11.9	16.9	69.2
	紹介数（紹介患者加算）	人	922	903	950	881	95.6
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	205	260	213	226	110.2
	逆紹介率	%	2.9	10.7	8.9	9.9	341.4
	手術件数（手術室利用）	件	42	63	57	109	259.5
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	56,154	83,140	55,626	72,024	128.3
	医師1人1日当たり外来収益	円	165,689	221,076	170,090	219,830	132.7
	医師1人1日当たり診療収益	円	221,843	304,216	225,716	291,855	131.6
	医師1人1日当たり入院患者数	人	1.2	1.8	1.1	1.4	117.1
	医師1人1日当たり外来患者数	人	34.5	48.5	34.0	34.6	100.4
	医師1人当たり新入院患者数	人	34.0	63.5	33.7	59.0	173.5
	医師1人当たり救急患者数	人	630.0	901.0	568.3	592.7	94.1
	医師1人当たり救急入院患者数	人	8.3	15.0	4.0	10.0	120.0
	医師1人当たり紹介数	件	307.3	451.5	316.7	293.7	95.6
	医師1人当たり逆紹介数	件	68.3	130.0	71.0	75.3	110.2
	医師1人当たり手術件数	件	14.0	31.5	19.0	36.3	259.5

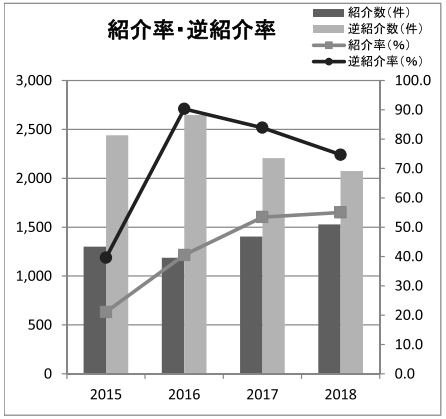
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

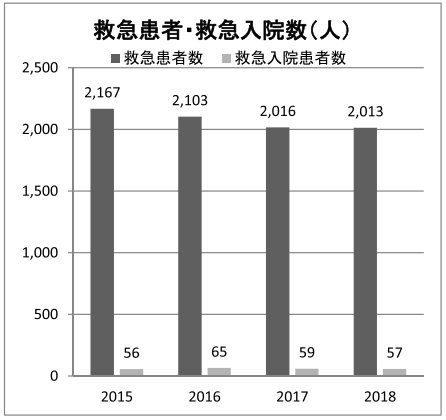
耳鼻咽喉科 臨床指標









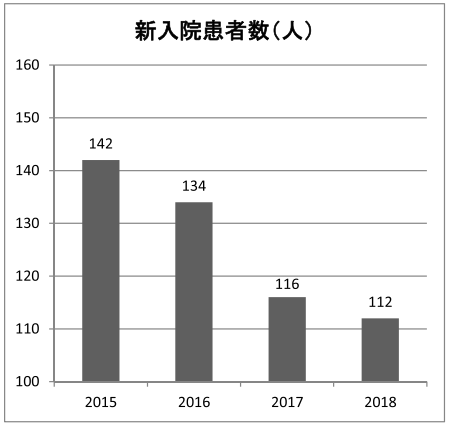


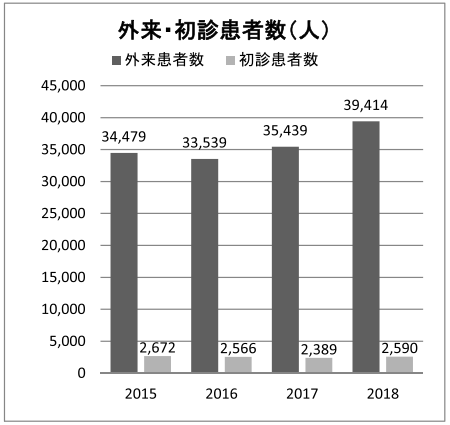
耳鼻咽喉科

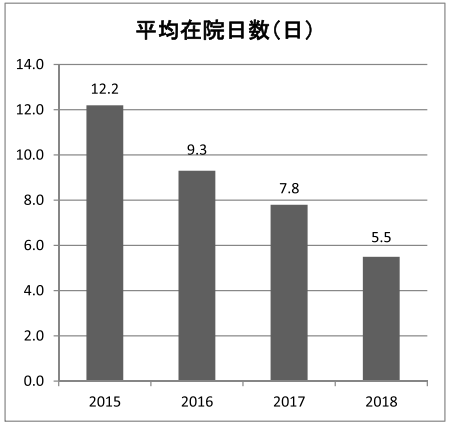
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	4	4	4	4	100.0
	入院延患者数	人	5,345	4,829	4,536	4,189	78.4
	新入院患者数	人	484	424	452	431	89.0
	入院収益 A	千円	298,134	270,091	272,405	262,962	88.2
	外来患者数	人	20,198	19,297	18,918	20,344	100.7
	初診患者数	人	6,168	2,930	2,629	2,778	45.0
	外来収益 B	千円	192,633	179,212	173,446	183,599	95.3
	診療収益 A＋B	千円	490,767	449,303	445,851	446,561	91.0
分析指標	入院診療単価	円	55,778	55,931	60,054	62,774	112.5
	新入院患者数/日	人	1.3	1.2	1.2	1.2	89.3
	平均在院日数	日	9.9	10.5	8.8	8.9	89.9
	外来診療単価	円	9,537	9,287	9,168	9,025	94.6
	紹介率	%	21.1	40.5	53.4	55.0	261.0
	外来平均患者数/日	人	83.1	79.4	77.5	83.4	100.3
	初診患者数/日	人	25.4	12.1	10.8	11.4	44.9
	救急患者数	人	2,167	2,103	2,016	2,013	92.9
	救急入院患者数	人	56	65	59	57	101.8
	救急入院患者数/新入院患者数	%	11.6	15.3	13.1	13.2	114.3
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,300	1,187	1,405	1,528	117.5
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	2,441	2,646	2,206	2,075	85.0
	逆紹介率	%	39.6	90.3	83.9	74.7	188.7
	手術件数（手術室利用）	件	273	245	243	253	92.7
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	203,643	184,994	186,579	180,111	88.4
	医師1人1日当たり外来収益	円	198,182	184,374	177,711	188,114	94.9
	医師1人1日当たり診療収益	円	401,826	369,368	364,290	368,224	91.6
	医師1人1日当たり入院患者数	人	3.7	3.3	3.1	2.9	78.6
	医師1人1日当たり外来患者数	人	20.8	19.9	19.4	20.8	100.3
	医師1人当たり新入院患者数	人	121.0	106.0	113.0	107.8	89.0
	医師1人当たり救急患者数	人	541.8	525.8	504.0	503.3	92.9
	医師1人当たり救急入院患者数	人	14.0	16.3	14.8	14.3	101.8
	医師1人当たり紹介数	件	325.0	296.8	351.3	382.0	117.5
	医師1人当たり逆紹介数	件	610.3	661.5	551.5	518.8	85.0
	医師1人当たり手術件数	件	68.3	61.3	60.8	63.3	92.7

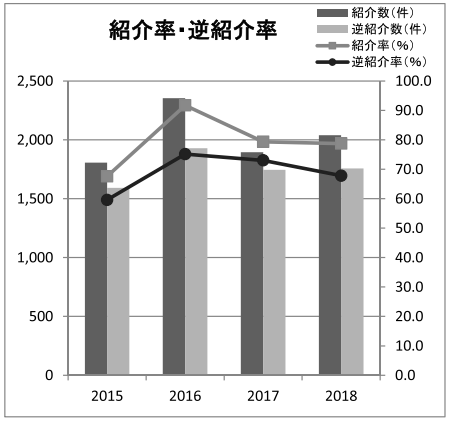
（注）1 医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2 入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

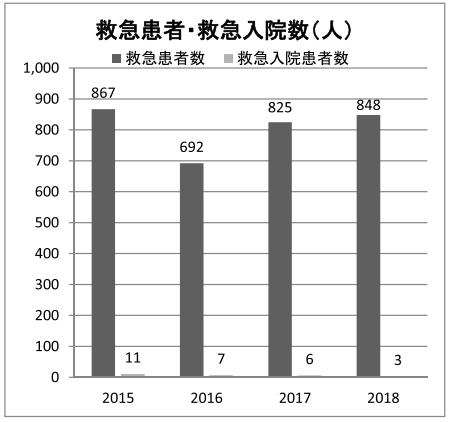
歯科口腔外科
臨床指標









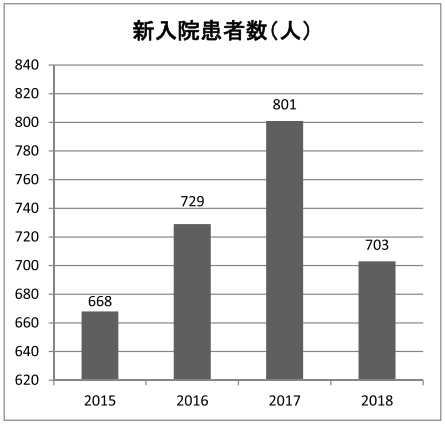


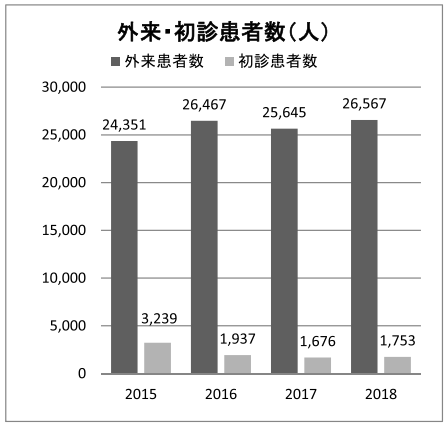
歯科口腔外科

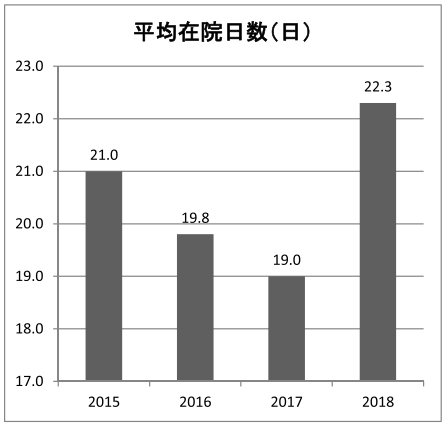
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	8	8	9	9	112.5
	入院延患者数	人	1,851	1,409	1,012	724	39.1
	新入院患者数	人	142	134	116	112	78.9
	入院収益 A	千円	90,247	79,567	59,851	49,436	54.8
	外来患者数	人	34,479	33,539	35,439	39,414	114.3
	初診患者数	人	2,672	2,566	2,389	2,590	96.9
	外来収益 B	千円	240,841	240,664	244,334	245,902	102.1
	診療収益 A＋B	千円	331,088	320,231	304,185	295,339	89.2
分析指標	入院診療単価	円	48,756	56,471	59,141	68,282	140.0
	新入院患者数/日	人	0.4	0.4	0.3	0.3	79.1
	平均在院日数	日	12.2	9.3	7.8	5.5	45.1
	外来診療単価	円	6,985	7,176	6,894	6,239	89.3
	紹介率	%	67.6	91.7	79.4	78.8	116.5
	外来平均患者数/日	人	142	138.0	145.2	161.5	113.8
	初診患者数/日	人	11.0	10.6	9.8	10.6	96.5
	救急患者数	人	867	692	825	848	97.8
	救急入院患者数	人	11	7	6	3	27.3
	救急入院患者数/新入院患者数	%	7.7	5.2	5.2	2.7	34.6
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,807	2,354	1,896	2,040	112.9
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,593	1,929	1,745	1,757	110.3
	逆紹介率	%	59.6	75.2	73.0	67.8	113.8
	手術件数（手術室利用）	件	131	119	108	106	80.9
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	30,822	27,249	18,219	15,049	48.8
	医師1人1日当たり外来収益	円	123,889	123,798	111,263	111,977	90.4
	医師1人1日当たり診療収益	円	154,711	151,047	129,483	127,026	82.1
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.6	0.5	0.3	0.2	34.9
	医師1人1日当たり外来患者数	人	17.7	17.3	16.1	17.9	101.2
	医師1人当たり新入院患者数	人	17.8	16.8	12.9	12.4	70.1
	医師1人当たり救急患者数	人	108.4	86.5	91.7	94.2	86.9
	医師1人当たり救急入院患者数	人	1.4	0.9	0.7	0.3	24.2
	医師1人当たり紹介数	件	225.9	294.3	210.7	226.7	100.4
	医師1人当たり逆紹介数	件	199.1	241.1	193.9	195.2	98.0
	医師1人当たり手術件数	件	16.4	14.9	12.0	11.8	71.9

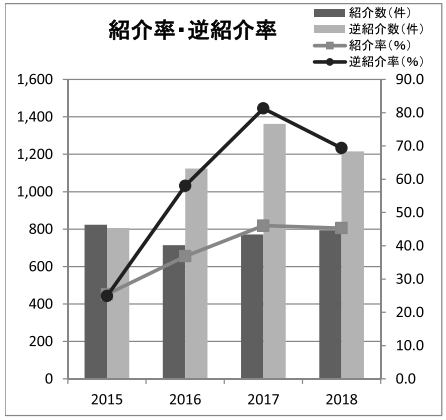
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

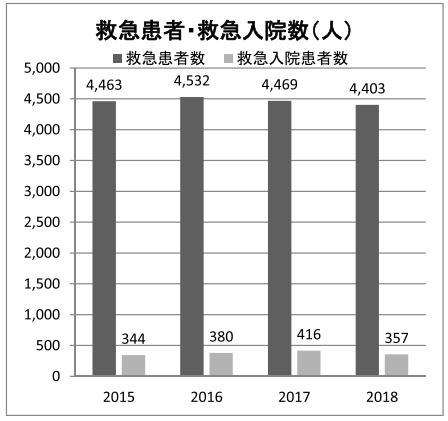
整形外科
臨床指標









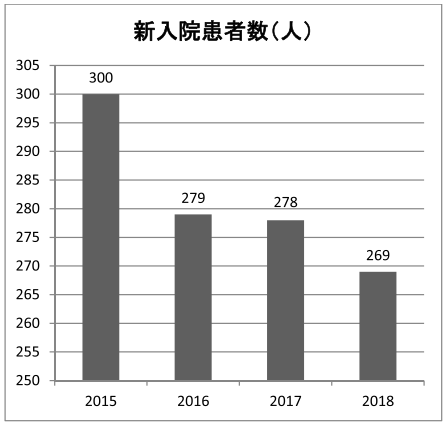


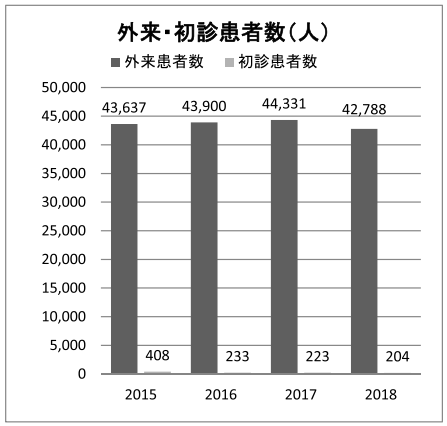
整形外科

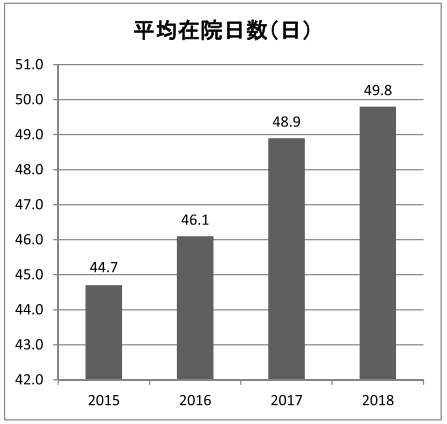
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	3	6	5	4	133.3
	入院延患者数	人	14,534	14,908	16,254	16,127	111.0
	新入院患者数	人	668	729	801	703	105.2
	入院収益　A	千円	925,989	1,016,837	1,191,309	1,251,352	135.1
	外来患者数	人	24,351	26,467	25,645	26,567	109.1
	初診患者数	人	3,239	1,937	1,676	1,753	54.1
	外来収益　B	千円	271,267	261,310	262,478	276,980	102.1
	診療収益　A＋B	千円	1,197,256	1,278,147	1,453,787	1,528,332	127.7
分析指標	入院診療単価	円	63,712	68,207	73,293	77,594	121.8
	新入院患者数/日	人	1.8	2.0	2.2	1.9	105.5
	平均在院日数	日	21.0	19.8	19.0	22.3	106.2
	外来診療単価	円	11,140	9,873	10,235	10,426	93.6
	紹介率	%	25.4	36.9	46.1	45.3	178.3
	外来平均患者数/日	人	100	108.9	105.1	108.9	108.7
	初診患者数/日	人	13.3	8.0	6.9	7.2	53.9
	救急患者数	人	4,463	4,532	4,469	4,403	98.7
	救急入院患者数	人	344	380	416	357	103.8
	救急入院患者数/新入院患者数	%	51.5	52.1	51.9	50.8	98.6
	紹介数（紹介患者加算）	人	823	714	772	794	96.5
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	806	1,124	1,362	1,216	150.9
	逆紹介率	%	24.9	58.0	81.3	69.4	278.8
	手術件数（手術室利用）	件	763	882	967	878	115.1
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	843,342	464,309	652,772	857,091	101.6
	医師1人1日当たり外来収益	円	372,108	179,225	215,146	283,791	76.3
	医師1人1日当たり診療収益	円	1,215,450	643,534	867,918	1,140,881	93.9
	医師1人1日当たり入院患者数	人	13.2	6.8	8.9	11.0	83.4
	医師1人1日当たり外来患者数	人	33.4	18.2	21.0	27.2	81.5
	医師1人当たり新入院患者数	人	222.7	121.5	160.2	175.8	78.9
	医師1人当たり救急患者数	人	1,487.7	755.3	893.8	1,100.8	74.0
	医師1人当たり救急入院患者数	人	114.7	63.3	83.2	89.3	77.8
	医師1人当たり紹介数	件	274.3	119.0	154.4	198.5	72.4
	医師1人当たり逆紹介数	件	268.7	187.3	272.4	304.0	113.2
	医師1人当たり手術件数	件	254.3	147.0	193.4	219.5	86.3

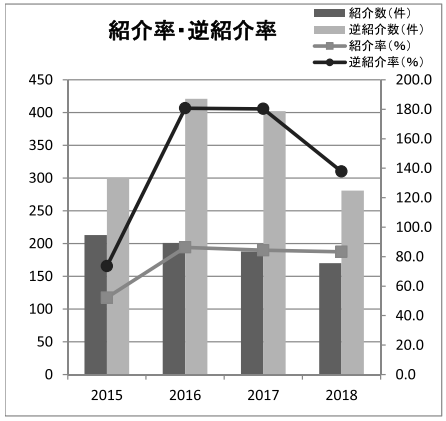
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

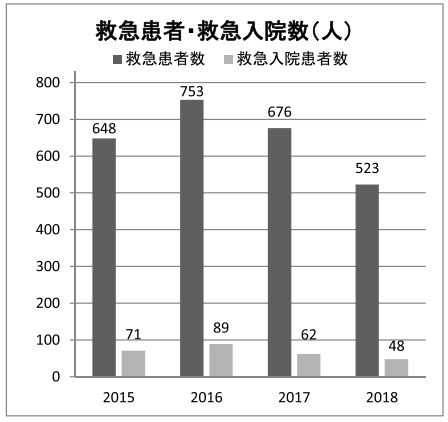
神経精神科
臨床指標









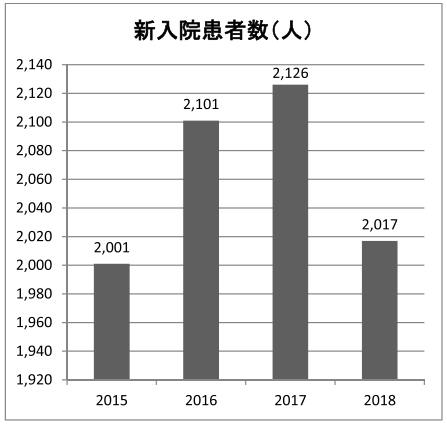


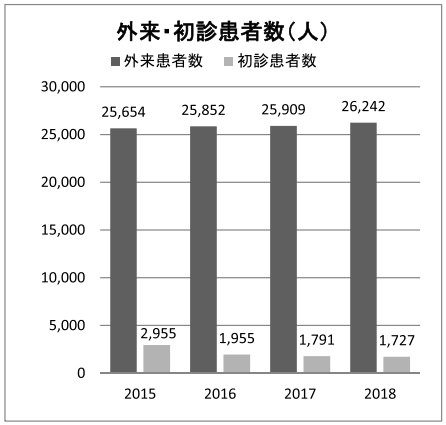
神経精神科

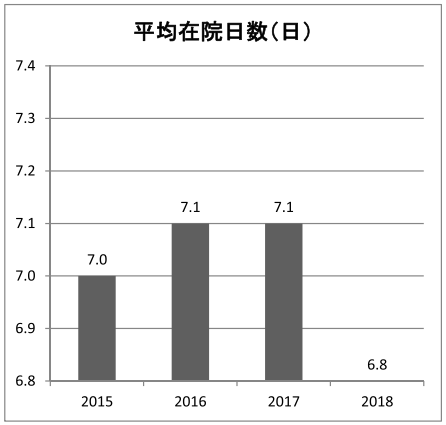
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	8	9	10	12	150.0
	入院延患者数	人	13,930	13,176	13,727	13,682	98.2
	新入院患者数	人	300	279	278	269	89.7
	入院収益 A	千円	429,366	386,150	406,248	395,288	92.1
	外来患者数	人	43,637	43,900	44,331	42,788	98.1
	初診患者数	人	408	233	223	204	50.0
	外来収益 B	千円	357,548	293,470	312,830	312,978	87.5
	診療収益 A＋B	千円	786,914	679,620	719,078	708,266	90.0
分析指標	入院診療単価	円	30,823	29,307	29,595	28,891	93.7
	新入院患者数/日	人	0.8	0.8	0.8	0.7	89.9
	平均在院日数	日	44.7	46.1	48.9	49.8	111.4
	外来診療単価	円	8,194	6,685	7,057	7,315	89.3
	紹介率	%	52.2	86.3	84.3	83.3	159.6
	外来平均患者数/日	人	180	180.7	181.7	175.4	97.7
	初診患者数/日	人	1.7	1.0	0.9	0.8	49.8
	救急患者数	人	648	753	676	523	80.7
	救急入院患者数	人	71	89	62	48	67.6
	救急入院患者数/新入院患者数	%	23.7	31.9	22.3	17.8	75.4
	紹介数（紹介患者加算）	人	213	201	188	170	79.8
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	300	421	402	281	93.7
	逆紹介率	%	73.5	180.7	180.3	137.7	187.3
	手術件数（手術室利用）	件	256	345	304	317	123.8
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	146,641	117,549	111,301	90,248	61.5
	医師1人1日当たり外来収益	円	183,924	134,188	128,209	106,891	58.1
	医師1人1日当たり診療収益	円	330,565	251,738	239,510	197,140	59.6
	医師1人1日当たり入院患者数	人	4.8	4.0	3.8	3.1	65.7
	医師1人1日当たり外来患者数	人	22.4	20.1	18.2	14.6	65.1
	医師1人当たり新入院患者数	人	37.5	31.0	27.8	22.4	59.8
	医師1人当たり救急患者数	人	81.0	83.7	67.6	43.6	53.8
	医師1人当たり救急入院患者数	人	8.9	9.9	6.2	4.0	45.1
	医師1人当たり紹介数	件	26.6	22.3	18.8	14.2	53.2
	医師1人当たり逆紹介数	件	37.5	46.8	40.2	23.4	62.4
	医師1人当たり手術件数	件	32.0	38.3	30.4	26.4	82.6

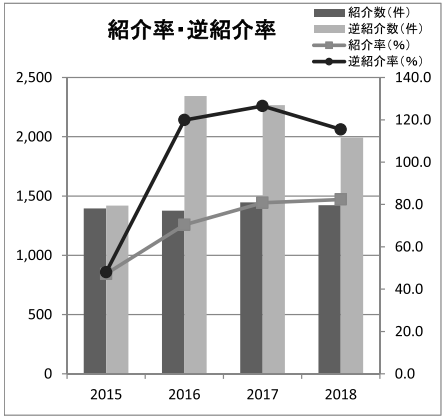
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

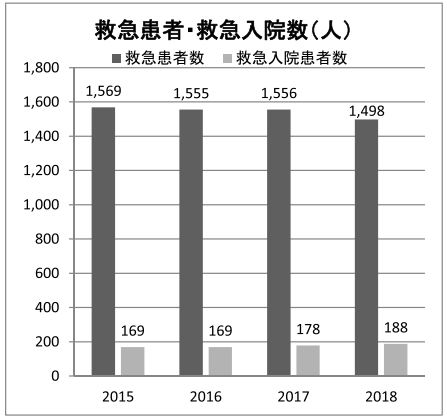
泌尿器科
臨床指標









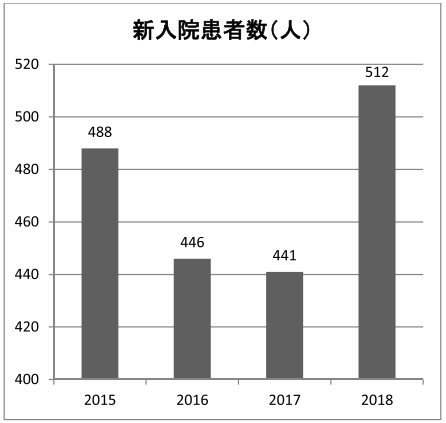


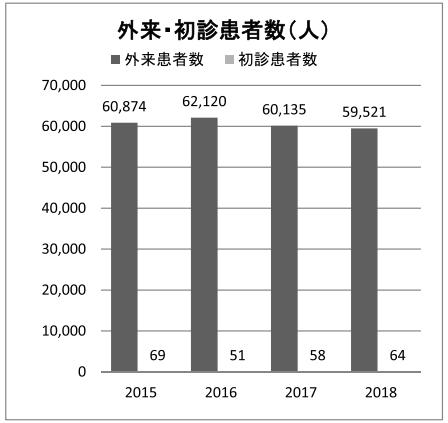
泌尿器科

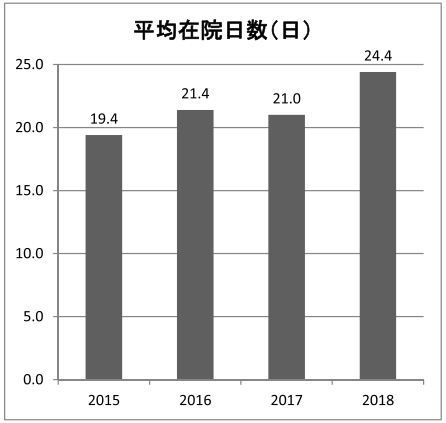
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	8	7	7	8	100.0
	入院延患者数	人	16,045	17,078	17,643	15,783	98.4
	新入院患者数	人	2,001	2,101	2,126	2,017	100.8
	入院収益　A	千円	967,165	1,040,028	1,066,801	1,063,539	110.0
	外来患者数	人	25,654	25,852	25,909	26,242	102.3
	初診患者数	人	2,955	1,955	1,791	1,727	58.4
	外来収益　B	千円	631,593	675,763	771,348	908,972	143.9
	診療収益　A＋B	千円	1,598,758	1,715,791	1,838,149	1,972,511	123.4
分析指標	入院診療単価	円	60,278	60,899	60,466	67,385	111.8
	新入院患者数/日	人	5.5	5.8	5.8	5.5	101.1
	平均在院日数	日	7.0	7.1	7.1	6.8	97.1
	外来診療単価	円	24,620	26,140	29,771	34,638	140.7
	紹介率	%	47.2	70.4	80.8	82.3	174.3
	外来平均患者数/日	人	106	106.4	106.2	107.5	101.9
	初診患者数/日	人	12.2	8.0	7.3	7.1	58.2
	救急患者数	人	1,569	1,555	1,556	1,498	95.5
	救急入院患者数	人	169	178	188	182	107.7
	救急入院患者数/新入院患者数	%	8.4	8.5	8.8	9.0	106.8
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,396	1,377	1,447	1,422	101.9
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,419	2,344	2,266	1,994	140.5
	逆紹介率	%	48.0	119.9	126.5	115.5	240.4
	手術件数（手術室利用）	件	1,818	1,899	1,864	1791.0	98.5
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	330,316	407,056	417,535	364,226	110.3
	医師1人1日当たり外来収益	円	324,894	397,274	451,609	465,662	143.3
	医師1人1日当たり診療収益	円	655,209	804,330	869,144	829,888	126.7
	医師1人1日当たり入院患者数	人	5.5	6.7	6.9	5.4	98.6
	医師1人1日当たり外来患者数	人	13.2	15.2	15.2	13.4	101.9
	医師1人当たり新入院患者数	人	250.1	300.1	303.7	252.1	100.8
	医師1人当たり救急患者数	人	196.1	222.1	222.3	187.3	95.5
	医師1人当たり救急入院患者数	人	21.1	25.4	26.9	22.8	107.7
	医師1人当たり紹介数	件	174.5	196.7	206.7	177.8	101.9
	医師1人当たり逆紹介数	件	177.4	334.9	323.7	249.3	140.5
	医師1人当たり手術件数	件	227.3	271.3	266.3	223.9	98.5

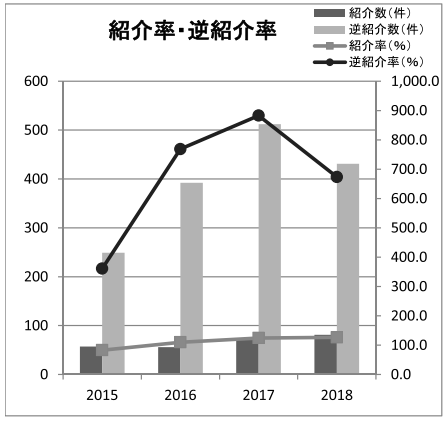
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

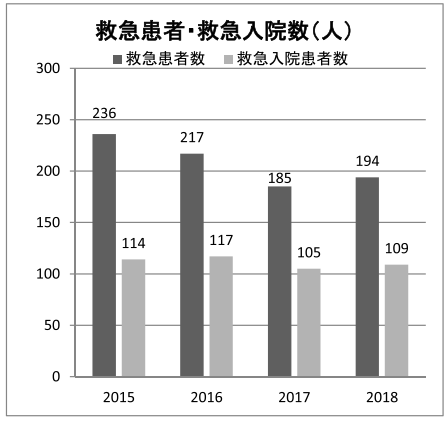
透析科
臨床指標









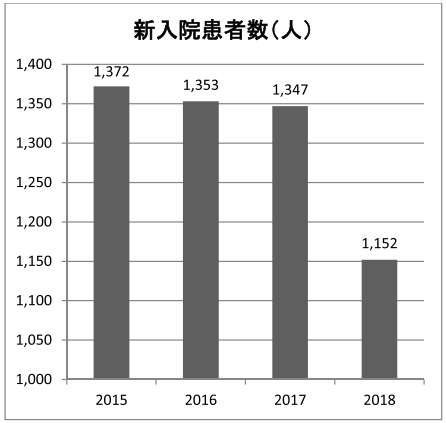


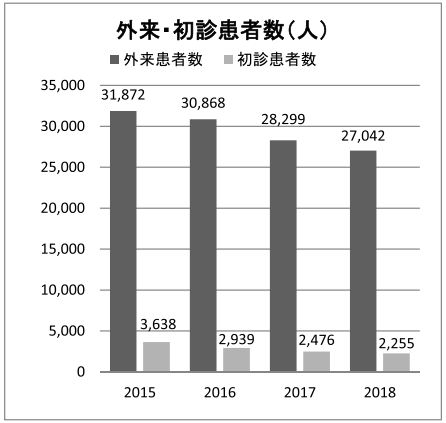
透析科

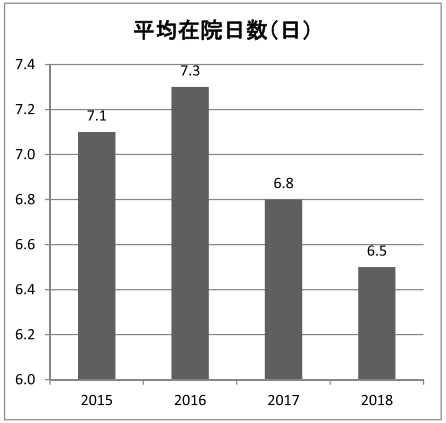
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	313	313	313	311	99.4
基礎指標	医師数	人	1	1	1	1	100.0
	入院延患者数	人	10,030	10,208	9,980	13,006	129.7
	新入院患者数	人	488	446	441	512	104.9
	入院収益　A	千円	502,715	527,683	556,359	690,817	137.4
	外来患者数	人	60,874	62,120	60,135	59,521	97.8
	初診患者数	人	69	51	58	64	92.8
	外来収益　B	千円	1,766,057	1,706,480	1,653,863	1,633,194	92.5
	診療収益　A＋B	千円	2,268,772	2,234,163	2,210,222	2,324,010	102.4
分析指標	入院診療単価	円	50,121	51,693	55,747	53,115	106.0
	新入院患者数/日	人	1.3	1.2	1.2	1.4	105.2
	平均在院日数	日	19.4	21.4	21.0	24.4	125.8
	外来診療単価	円	29,012	27,471	27,503	27,439	94.6
	紹介率	%	82.6	109.8	124.1	126.6	153.2
	外来平均患者数/日	人	194	198.5	192.1	191.4	98.4
	初診患者数/日	人	0.2	0.2	0.2	0.2	93.4
	救急患者数	人	236	217	185	194	82.2
	救急入院患者数	人	114	117	105	109	95.6
	救急入院患者数/新入院患者数	%	23.4	26.2	23.8	21.3	91.1
	紹介数（紹介患者加算）	人	57	56	72	81	142.1
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	249	392	512	431	173.1
	逆紹介率	%	360.9	768.6	882.8	673.4	186.6
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	千円	1,373,538	1,445,707	1,524,271	1,892,648	137.8
	医師1人1日当たり外来収益	千円	5,642,355	5,452,013	5,283,907	5,251,427	93.1
	医師1人1日当たり診療収益	千円	7,015,893	6,897,720	6,808,179	7,144,075	101.8
	医師1人1日当たり入院患者数	人	27.4	28.0	27.3	35.6	130.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	194.5	198.5	192.1	191.4	98.4
	医師1人当たり新入院患者数	人	488.0	446.0	441.0	512.0	104.9
	医師1人当たり救急患者数	人	236.0	217.0	185.0	194.0	82.2
	医師1人当たり救急入院患者数	人	114.0	117.0	105.0	109.0	95.6
	医師1人当たり紹介数	件	57.0	56.0	72.0	81.0	142.1
	医師1人当たり逆紹介数	件	249.0	392.0	512.0	431.0	173.1
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

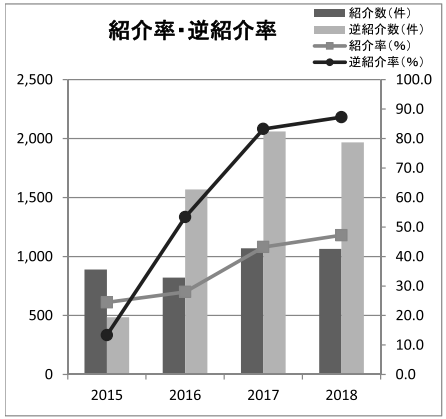
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

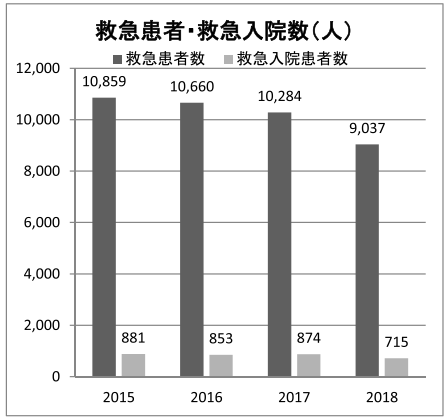
小児科
臨床指標









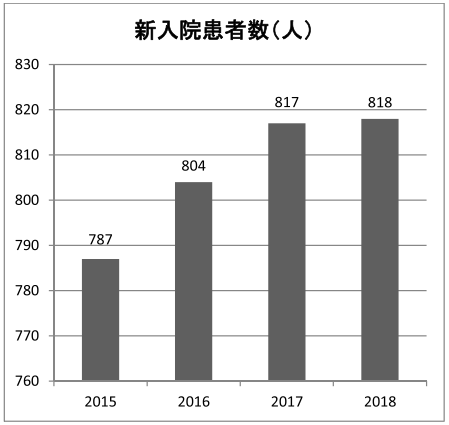


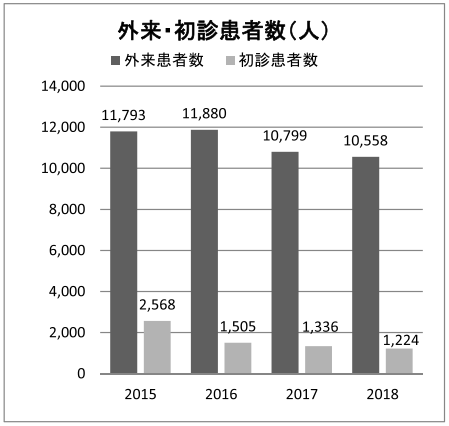
小児科

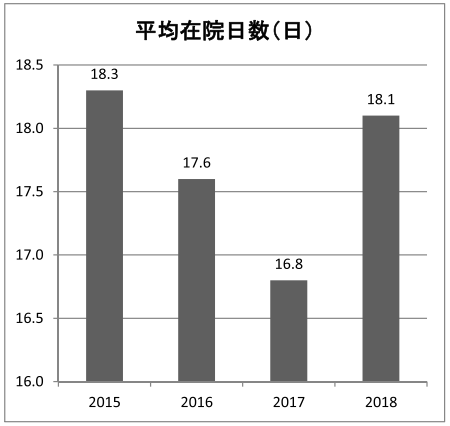
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	11	12	10	8	72.7
	入院延患者数	人	11,080	11,222	10,402	8,643	78.0
	新入院患者数	人	1,372	1,353	1,347	1,152	84.0
	入院収益 A	千円	631,298	669,653	619,399	538,360	85.3
	外来患者数	人	31,872	30,868	28,299	27,042	84.8
	初診患者数	人	3,638	2,939	2,476	2,255	62.0
	外来収益 B	千円	601,170	569,742	549,135	528,175	87.9
	診療収益 A＋B	千円	1,232,468	1,239,395	1,168,534	1,066,535	86.5
分析指標	入院診療単価	円	56,976	59,673	59,546	62,289	109.3
	新入院患者数/日	人	3.7	3.7	3.7	3.2	84.2
	平均在院日数	日	7.1	7.3	6.8	6.5	91.5
	外来診療単価	円	18,862	18,457	19,405	19,532	103.6
	紹介率	%	24.4	28.0	43.2	47.2	193.3
	外来平均患者数/日	人	131	127.0	116.0	110.8	84.5
	初診患者数/日	人	15.0	12.1	10.1	9.2	61.7
	救急患者数	人	10,859	10,660	10,284	9,037	83.2
	救急入院患者数	人	881	853	874	715	81.2
	救急入院患者数/新入院患者数	%	64.2	63.0	64.9	62.1	96.7
	紹介数（紹介患者加算）	人	889	822	1,070	1,065	119.8
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	485	1,568	2,061	1,968	405.8
	逆紹介率	%	13.3	53.4	83.2	87.3	654.6
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	156,805	152,889	169,698	184,370	117.6
	医師1人1日当たり外来収益	円	224,905	195,385	225,055	270,581	120.3
	医師1人1日当たり診療収益	円	381,710	348,274	394,754	454,951	119.2
	医師1人1日当たり入院患者数	人	2.8	2.6	2.8	3.0	107.6
	医師1人1日当たり外来患者数	人	11.9	10.6	11.6	13.9	116.2
	医師1人当たり新入院患者数	人	124.7	112.8	134.7	144.0	115.5
	医師1人当たり救急患者数	人	987.2	888.3	1,028.4	1,129.6	114.4
	医師1人当たり救急入院患者数	人	80.1	71.1	87.4	89.4	111.6
	医師1人当たり紹介数	件	80.8	68.5	107.0	133.1	164.7
	医師1人当たり逆紹介数	件	44.1	130.7	206.1	246.0	557.9
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

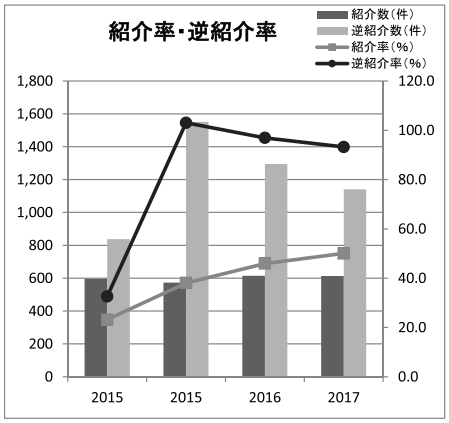
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

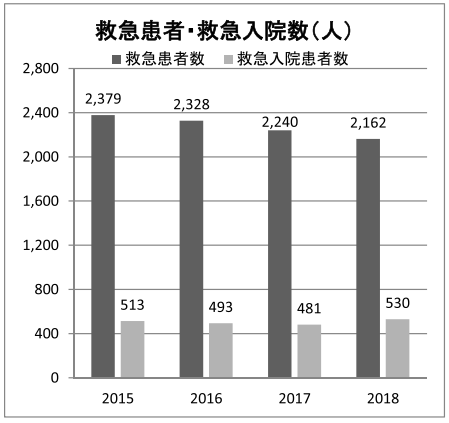
脳神経外科
臨床指標









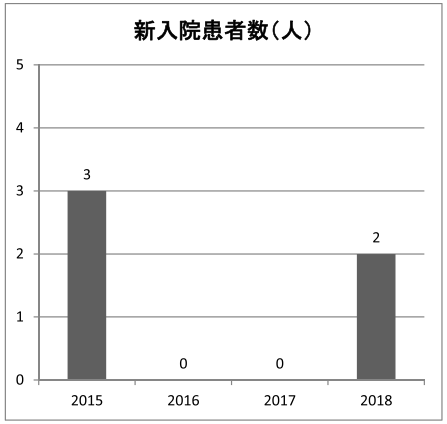


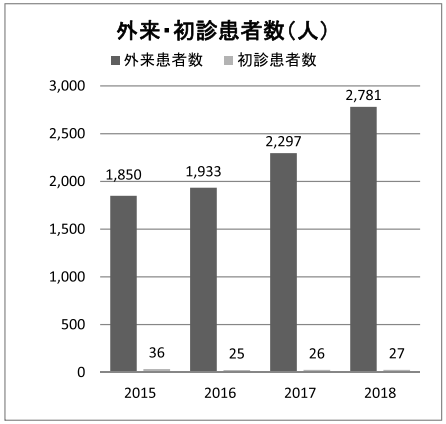
脳神経外科

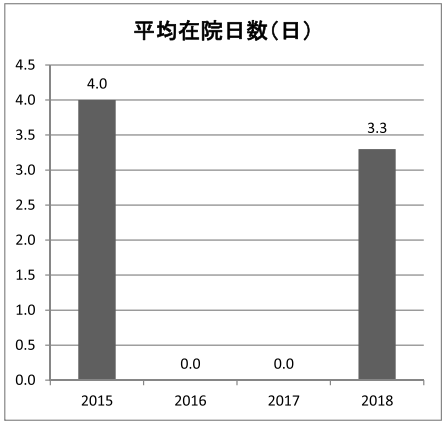
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	6	7	7	7	116.7
	入院延患者数	人	15,349	14,999	14,366	15,628	101.8
	新入院患者数	人	787	804	817	818	103.9
	入院収益 A	千円	1,071,227	1,088,076	1,163,417	1,234,401	115.2
	外来患者数	人	11,793	11,880	10,799	10,558	89.5
	初診患者数	人	2,568	1,505	1,336	1,224	47.7
	外来収益 B	千円	233,585	226,001	197,747	190,693	81.6
	診療収益 A＋B	千円	1,304,812	1,314,077	1,361,164	1,425,094	109.2
分析指標	入院診療単価	円	69,791	72,543	80,984	78,986	113.2
	新入院患者数/日	人	2.2	2.2	2.2	2.2	104.2
	平均在院日数	日	18.3	17.6	16.8	18.1	98.9
	外来診療単価	円	19,807	19,024	18,312	18,062	91.2
	紹介率	%	23.2	38.1	46.0	50.1	215.8
	外来平均患者数/日	人	49	48.9	44.3	43.3	89.2
	初診患者数/日	人	10.6	6.2	5.5	5.0	47.5
	救急患者数	人	2,379	2,328	2,240	2,162	90.9
	救急入院患者数	人	513	493	481	530	103.3
	救急入院患者数/新入院患者数	%	65.2	61.3	58.9	64.8	99.4
	紹介数（紹介患者加算）	人	596	573	614	613	102.9
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	837	1,551	1,295	1,141	136.3
	逆紹介率	%	32.6	103.1	96.9	93.2	286.0
	手術件数（手術室利用）	件	442	446	495	482	109.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	487,808	425,861	455,349	483,131	99.0
	医師1人1日当たり外来収益	円	160,209	132,864	115,777	111,647	69.7
	医師1人1日当たり診療収益	円	648,017	558,725	571,126	594,779	91.8
	医師1人1日当たり入院患者数	人	7.0	5.9	5.6	6.1	87.5
	医師1人1日当たり外来患者数	人	8.1	7.0	6.3	6.2	76.4
	医師1人当たり新入院患者数	人	131.2	114.9	116.7	116.9	89.1
	医師1人当たり救急患者数	人	396.5	332.6	320.0	308.9	77.9
	医師1人当たり救急入院患者数	人	85.5	70.4	68.7	75.7	88.6
	医師1人当たり紹介数	件	99.3	81.9	87.7	87.6	88.2
	医師1人当たり逆紹介数	件	139.5	221.6	185.0	163.0	116.8
	医師1人当たり手術件数	件	73.7	63.7	70.7	68.9	93.5

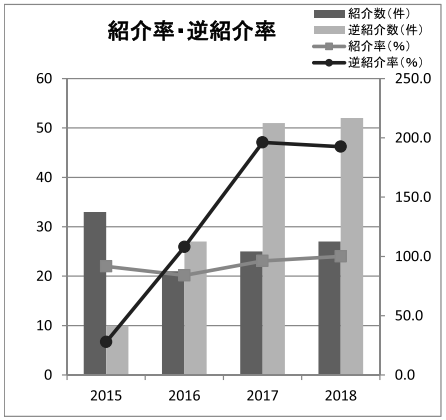
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

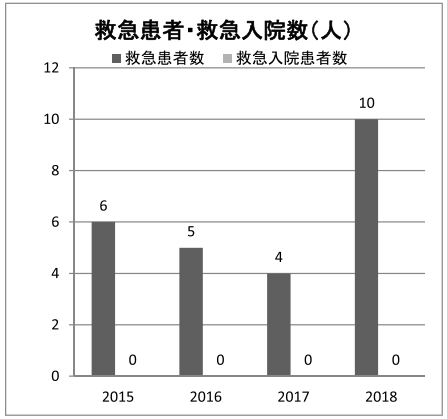
麻酔科
臨床指標









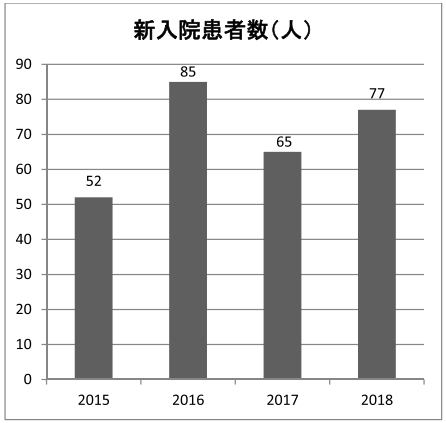


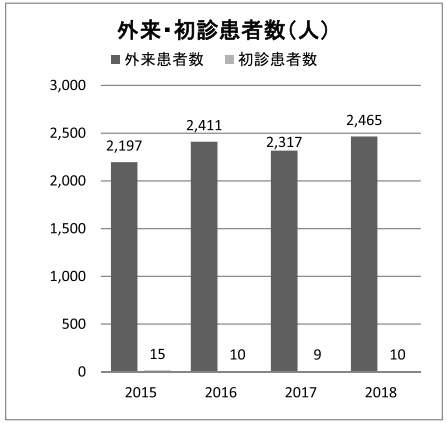
麻酔科

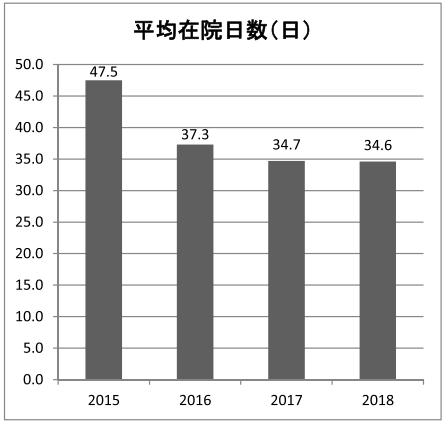
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	8	8	8	10	125.0
	入院延患者数	人	15	19	87	6	40.0
	新入院患者数	人	3	0	0	2	66.7
	入院収益　A	千円	4,802	0	0	2,727	56.8
	外来患者数	人	1,850	1,933	2,297	2,781	150.3
	初診患者数	人	36	25	26	27	75.0
	外来収益　B	千円	12,039	8,490	9,606	14,826	123.1
	診療収益　A＋B	千円	16,841	8,490	9,606	17,552	104.2
分析指標	入院診療単価	円	320,133	0	0	454,420	141.9
	新入院患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.0	66.8
	平均在院日数	日	4.0	0.0	0.0	3.3	82.5
	外来診療単価	円	6,508	4,392	4,182	5,331	81.9
	紹介率	%	91.7	84.0	96.2	100.0	109.1
	外来平均患者数/日	人	8	8.0	9.4	11.4	149.7
	初診患者数/日	人	0.1	0.1	0.1	0.1	74.7
	救急患者数	人	6	5	4	10	166.7
	救急入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	33	21	25	27	81.8
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	10	27	51	52	520.0
	逆紹介率	%	27.8	108.0	196.2	192.6	693.3
	手術件数（手術室利用）	件	3	1	4	5	166.7
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	1,640	0	0	747	45.5
	医師1人1日当たり外来収益	円	6,193	4,367	4,921	6,076	98.1
	医師1人1日当たり診療収益	円	7,833	4,367	4,921	6,823	87.1
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	32.1
	医師1人1日当たり外来患者数	人	1.0	1.0	1.2	1.1	119.8
	医師1人当たり新入院患者数	人	0.4	0.0	0.0	0.2	53.3
	医師1人当たり救急患者数	人	0.8	0.6	0.5	1.0	133.3
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり紹介数	件	4.1	2.6	3.1	2.7	65.5
	医師1人当たり逆紹介数	件	1.3	3.4	6.4	5.2	416.0
	医師1人当たり手術件数	件	0.4	0.1	0.5	0.5	133.3

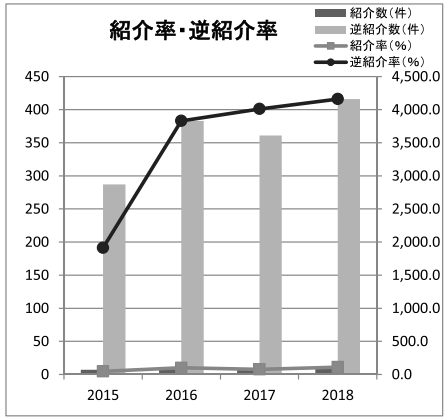
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

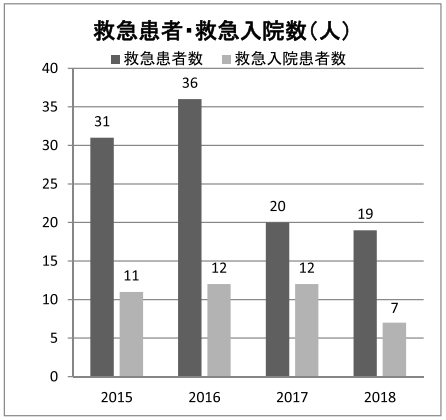
心臓外科
臨床指標









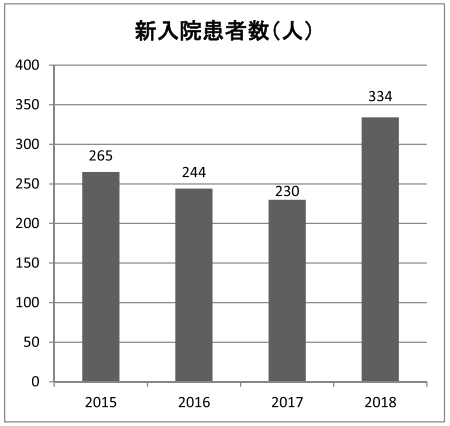


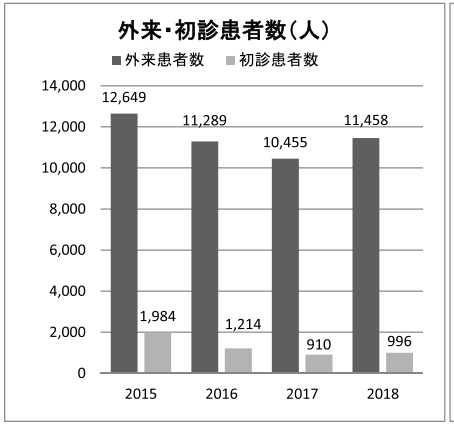
心臓外科

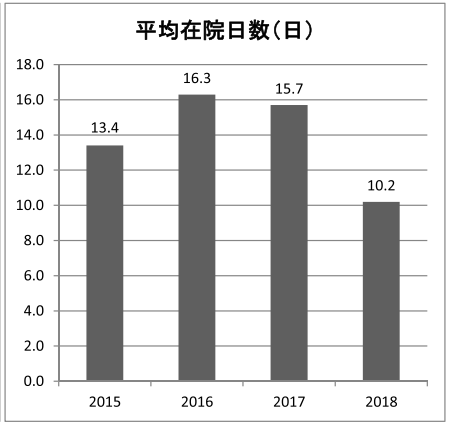
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	98	98	96	107	109.2
基礎指標	医師数	人	3	3	3	3	100.0
	入院延患者数	人	3,267	3,842	2,784	3,258	99.7
	新入院患者数	人	52	85	65	77	148.1
	入院収益　A	千円	595,102	712,684	595,001	656,464	110.3
	外来患者数	人	2,197	2,411	2,317	2,465	112.2
	初診患者数	人	15	10	9	10	66.7
	外来収益　B	千円	38,446	34,186	33,748	36,925	96.0
	診療収益　A＋B	千円	633,548	746,870	628,749	693,390	109.4
分析指標	入院診療単価	円	182,155	185,498	213,722	201,493	110.6
	新入院患者数/日	人	0.1	0.2	0.2	0.2	148.5
	平均在院日数	日	47.5	37.3	34.7	34.6	72.8
	外来診療単価	円	17,499	14,179	14,565	14,980	85.6
	紹介率	%	46.7	100.0	77.8	110.0	235.7
	外来平均患者数/日	人	22	24.6	24.1	23.0	102.8
	初診患者数/日	人	0.2	0.1	0.1	0.1	61.1
	救急患者数	人	31	36	20	19	61.3
	救急入院患者数	人	11	12	12	7	63.6
	救急入院患者数/新入院患者数	%	21.2	14.1	18.5	9.1	43.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	7	10	7	11	157.1
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	287	383	361	416	144.9
	逆紹介率	%	1,913.3	3,830.0	4,011.1	4,160.0	217.4
	手術件数（手術室利用）	件	103	124	107	117	113.6
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	541,987	650,853	543,380	599,511	110.6
	医師1人1日当たり外来収益	円	130,769	116,279	117,181	115,032	88.0
	医師1人1日当たり診療収益	円	672,756	767,132	660,560	714,543	106.2
	医師1人1日当たり入院患者数	人	3.0	3.5	2.5	3.0	100.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	7.5	8.2	8.0	7.7	102.8
	医師1人当たり新入院患者数	人	17.3	28.3	21.7	25.7	148.1
	医師1人当たり救急患者数	人	10.3	12.0	6.7	6.3	61.3
	医師1人当たり救急入院患者数	人	3.7	4.0	4.0	2.3	63.6
	医師1人当たり紹介数	件	2.3	3.3	2.3	3.7	157.1
	医師1人当たり逆紹介数	件	95.7	127.7	120.3	138.7	144.9
	医師1人当たり手術件数	件	34.3	41.3	35.7	39.0	113.6

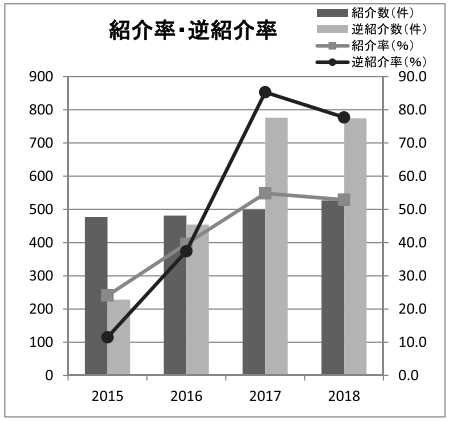
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

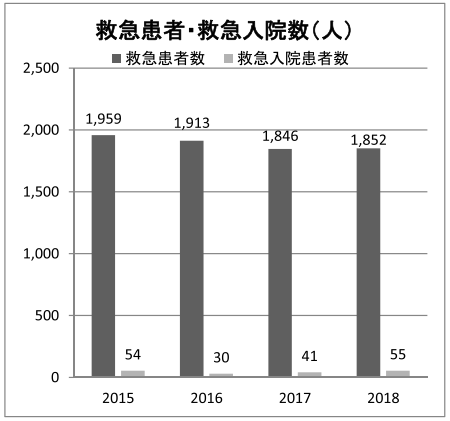
形成外科
臨床指標











形成外科

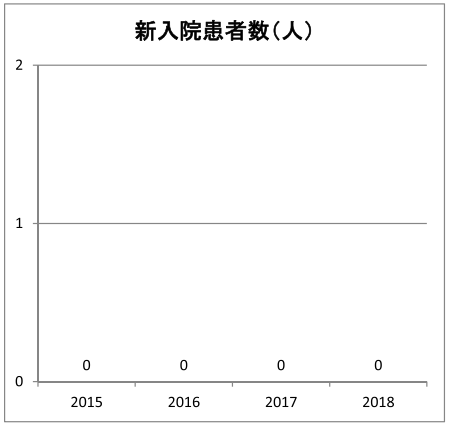
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	4	4	5	5	125.0
	入院延患者数	人	3,925	4,293	4,108	3,758	95.7
	新入院患者数	人	265	244	230	334	126.0
	入院収益 A	千円	281,965	300,655	297,823	335,164	118.9
	外来患者数	人	12,649	11,289	10,455	11,458	90.6
	初診患者数	人	1,984	1,214	910	996	50.2
	外来収益 B	千円	104,950	97,693	76,652	97,888	93.3
	診療収益 A＋B	千円	386,915	398,348	374,475	433,053	111.9
分析指標	入院診療単価	円	71,838	70,034	72,498	89,187	124.1
	新入院患者数/日	人	0.7	0.7	0.6	0.9	126.4
	平均在院日数	日	13.4	16.3	15.7	10.2	76.1
	外来診療単価	円	8,297	8,654	7,332	8,543	103.0
	紹介率	%	24.0	39.6	54.8	52.9	220.1
	外来平均患者数/日	人	52	46.5	42.8	47.0	90.2
	初診患者数/日	人	8.2	5.0	3.7	4.1	50.0
	救急患者数	人	1,959	1,913	1,846	1,852	94.5
	救急入院患者数	人	54	30	41	55	101.9
	救急入院患者数/新入院患者数	%	20.4	12.3	17.8	16.5	80.8
	紹介数（紹介患者加算）	人	477	481	499	527	110.5
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	228	454	776	774	339.5
	逆紹介率	%	11.5	37.4	85.3	77.7	676.2
	手術件数（手術室利用）	件	280	268	258	319	113.9
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	192,599	205,928	163,191	183,652	95.4
	医師1人1日当たり外来収益	円	107,973	100,507	62,830	80,236	74.3
	医師1人1日当たり診療収益	円	300,572	306,435	226,020	263,888	87.8
	医師1人1日当たり入院患者数	人	2.7	2.9	2.3	2.1	76.8
	医師1人1日当たり外来患者数	人	13.0	11.6	8.6	9.4	72.2
	医師1人当たり新入院患者数	人	66.3	61.0	46.0	66.8	100.8
	医師1人当たり救急患者数	人	489.8	478.3	369.2	370.4	75.6
	医師1人当たり救急入院患者数	人	13.5	7.5	8.2	11.0	81.5
	医師1人当たり紹介数	件	119.3	120.3	99.8	105.4	88.4
	医師1人当たり逆紹介数	件	57.0	113.5	155.2	154.8	271.6
	医師1人当たり手術件数	件	70.0	67.0	51.6	63.8	91.1

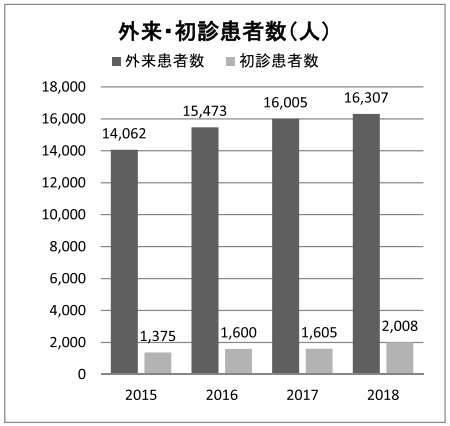
（注） 1 医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）

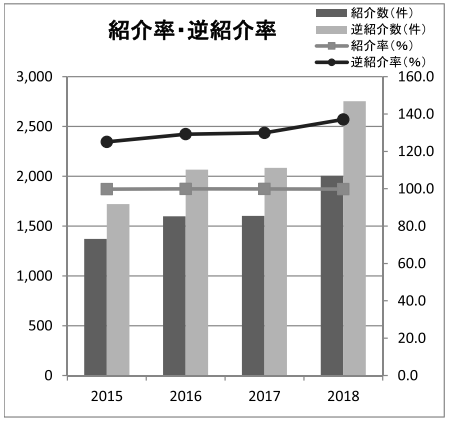
2 入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）

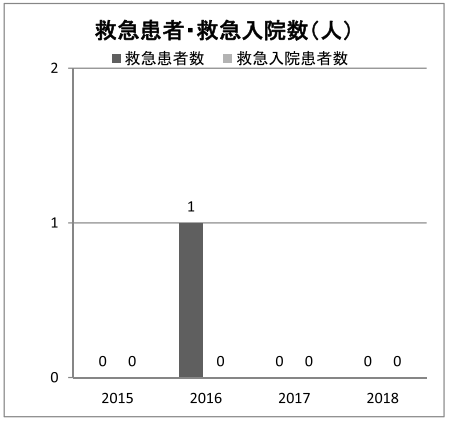
3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

放射線科
臨床指標









放射線科

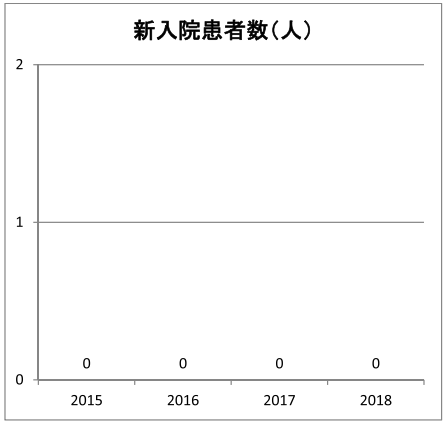
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	246	245	100.8
基礎指標	医師数	人	4	4	4	6	150.0
	入院延患者数	人	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	入院収益 A	千円	0	0	0	0	0.0
	外来患者数	人	14,062	15,473	16,005	16,307	116.0
	初診患者数	人	1,375	1,600	1,605	2,008	146.0
	外来収益 B	千円	275,939	300,561	301,350	332,406	120.5
	診療収益 A＋B	千円	275,939	300,561	301,350	332,406	120.5
分析指標	入院診療単価	円	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	外来診療単価	円	19,623	19,425	18,828	20,384	103.9
	紹介率	%	99.8	99.9	99.9	99.8	100.0
	外来平均患者数/日	人	58	63.7	65.1	66.6	115.0
	初診患者数/日	人	5.7	6.6	6.5	8.2	144.8
	救急患者数	人	0	1	0	0	0.0
	救急入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	1,372	1,598	1,603	2,004	146.1
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	1,720	2,067	2,085	2,753	160.1
	逆紹介率	%	125.1	129.2	129.9	137.1	109.6
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	0	0	0	0	0.0
	医師1人1日当たり外来収益	円	283,888	309,219	306,250	226,127	79.7
	医師1人1日当たり診療収益	円	283,888	309,219	306,250	226,127	79.7
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	14.5	15.9	16.3	11.1	76.7
	医師1人当たり新入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急患者数	人	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり紹介数	件	343.0	399.5	400.8	334.0	97.4
	医師1人当たり逆紹介数	件	430.0	516.8	521.3	458.8	106.7
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

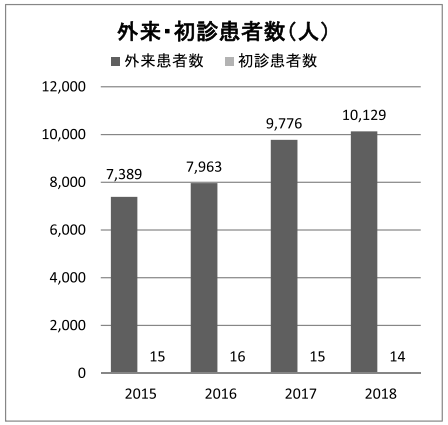
（注） 1 医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）

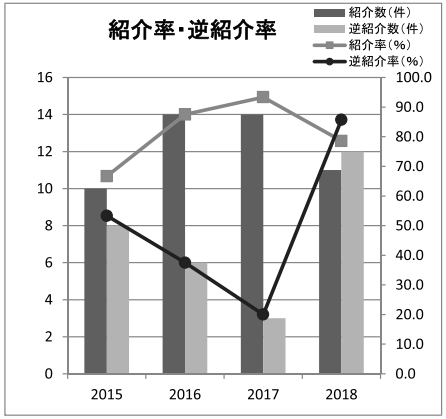
2 入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）

3 紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

リハビリテーション科 臨床指標





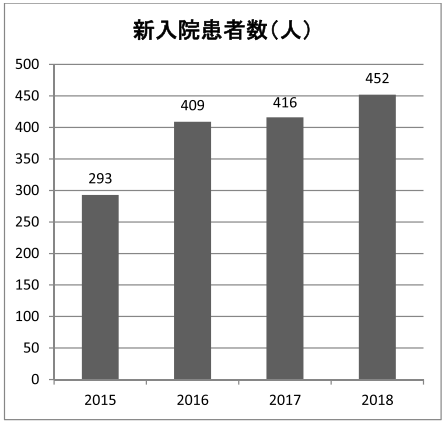


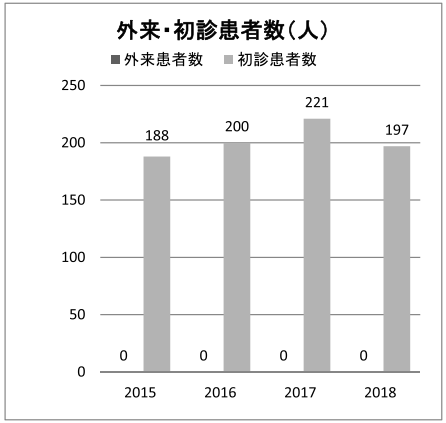
リハビリテーション科

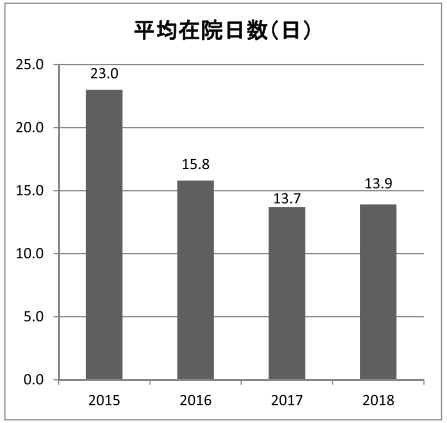
区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	243	243	244	244	100.4
基礎指標	医師数	人	2	2	3	2	100.0
	入院延患者数	人	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	入院収益　A	千円	1,454	0	0	6	0.4
	外来患者数	人	7,389	7,963	9,776	10,129	137.1
	初診患者数	人	15	16	15	14	93.3
	外来収益　B	千円	63,267	72,018	88,090	87,968	139.0
	診療収益　A＋B	千円	64,721	72,018	88,090	87,974	135.9
分析指標	入院診療単価	円	0	0	0	0	0.0
	新入院患者数/日	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平均在院日数	日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	外来診療単価	円	8,562	9,044	9,011	8,685	101.4
	紹介率	%	66.7	87.5	93.3	78.6	117.9
	外来平均患者数/日	人	30	32.8	40.1	41.5	136.5
	初診患者数/日	人	0.1	0.1	0.1	0.1	93.0
	救急患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数	人	0	0	0	0	0.0
	救急入院患者数/新入院患者数	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紹介数（紹介患者加算）	人	10	14	14	11	110.0
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	8	6	3	12	150.0
	逆紹介率	%	53.3	37.5	20.0	85.7	160.7
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	円	1,986	0	0	9	0.4
	医師1人1日当たり外来収益	円	130,179	148,185	120,342	180,262	138.5
	医師1人1日当たり診療収益	円	132,165	148,185	120,342	180,271	136.4
	医師1人1日当たり入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人1日当たり外来患者数	人	15.2	16.4	13.4	20.8	136.5
	医師1人当たり新入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり救急入院患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり紹介数	件	5.0	7.0	4.7	5.5	110.0
	医師1人当たり逆紹介数	件	4.0	3.0	1.0	6.0	150.0
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

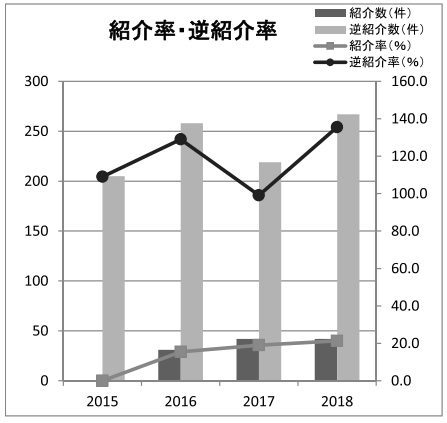
（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

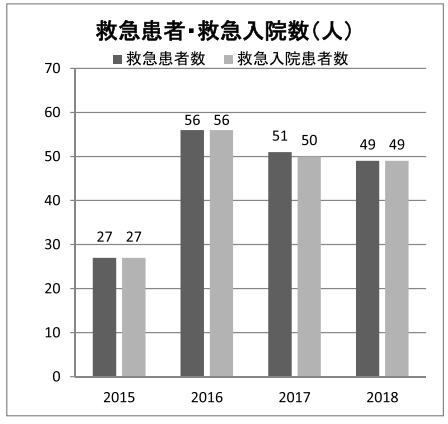
新生児科
臨床指標











新生児科

区分			2015	2016	2017	2018	2018/2015
日数	入院診療日数	日	366	365	365	365	99.7
	外来診療日数	日	0	0	0	0	0.0
基礎指標	医師数	人	3	3	3	3	100.0
	入院延患者数	人	7,175	6,867	6,158	6,754	94.1
	新入院患者数	人	293	409	416	452	154.3
	入院収益　A	千円	510,572	509,030	490,454	521,086	102.1
	外来患者数	人	0	0	0	0	0.0
	初診患者数	人	188	200	221	197	104.8
	外来収益　B	千円	0	0	0	0	0.0
	診療収益　A＋B	千円	510,572	509,030	490,454	521,086	102.1
分析指標	入院診療単価	円	71,160	74,127	79,645	77,152	108.4
	新入院患者数/日	人	0.8	1.1	1.1	1	154.7
	平均在院日数	日	23.0	15.8	13.7	13.9	60.4
	外来診療単価	円	0	0	0	0	0.0
	紹介率	%	0.0	15.5	19.0	21.3	0.0
	外来平均患者数/日	人	0	0	0	0	0.0
	初診患者数/日	人	0	0	0	0	0.0
	救急患者数	人	27	56	51	49	181.5
	救急入院患者数	人	27	56	50	49	181.5
	救急入院患者数/新入院患者数	%	9.2	13.7	12.0	10.8	117.6
	紹介数（紹介患者加算）	人	0	31	42	42	0.0
	逆紹介数（診療情報提供書）	人	205	258	219	267	130.2
	逆紹介率	%	109.0	129.0	99.1	135.5	124.3
	手術件数（手術室利用）	件	0	0	0	0	0.0
生産性指標	医師1人1日当たり入院収益	千円	465,002	464,868	447,903	475,878	102.3
	医師1人1日当たり外来収益	千円	0	0	0	0	0.0
	医師1人1日当たり診療収益	千円	465,002	464,868	447,903	475,878	102.3
	医師1人1日当たり入院患者数	人	6.5	6.3	5.6	6.2	94.4
	医師1人1日当たり外来患者数	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医師1人当たり新入院患者数	人	97.7	136.3	138.7	150.7	154.3
	医師1人当たり救急患者数	人	9.0	18.7	17.0	16.3	181.5
	医師1人当たり救急入院患者数	人	9.0	18.7	16.7	16.3	181.5
	医師1人当たり紹介数	件	0.0	10.3	14.0	14.0	0.0
	医師1人当たり逆紹介数	件	68.3	86.0	73.0	89.0	130.2
	医師1人当たり手術件数	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）1　医師数は2018年4月1日現在（研修医は含まれていない）
2　入院収益、外来収益はレセプト請求額であり返戻、査定は考慮していない（室料差額等は含まれていない）
3　紹介率・逆紹介率は2014年度診療報酬改定以降の方式で計算している

診　療　局

●内　科（2018年度）

1．医療連携：質目標

2018年度も内科質目標として、地域医療支援病院の要件である地域医療連携の推進および具体的には逆紹介率の維持さらにはその結果として在院日数短縮があった。内科では積極的に逆紹介を推進し、逆紹介率は約111％であり、目標値を達成できた。しかし在院日数の短縮はやはり困難で、その主な原因は後方連携が進まない点（出口問題）にあると思われる。この解決に本年度も連携強化が病院全体の目標である。

2．入院・外来の状況

内科病棟入院数は１日あたり約360人（床）と、年々増加している。消化器･循環器症例が多いのは変わらないが、どの分野でも高齢者の救急からの入院が増えている。このため病床確保に難渋し、入院制限・救急応需制限の事態が増加傾向にある。こちらは在宅や施設からの亜急性入院、すなわち介護的な問題があるため入院となるケースが増えているという問題（入口問題）であり、やはり解決できないでいる。24時間応需の医療を病院方針としているための事態であるが、やはり地域全体での解決策が必要である。外来は国の方針に従い、縮小を目指しているが、１日あたり700人以上とまだまだ多いのが実情である。

3．人材の育成・確保、新専門医制度

３月現在、部長は18名、医長９名、医員４名、５年次研修医８名、４年次７名、３年次８名であった。やはり医員の少なさが目立つ数字で、積年の課題は残ったままであるが、今年度は増加しているのが光明である。４月より新専門医制度が開始となり、新３年次が上述通り８名（当院基幹プログラムとしては６名）であったが、新専門医制度も未だサブスペシャリティー連動研修をどうするかに問題があり、今後の展開が不透明な部分が残っている。専門医機構の充実が早急に待たれるところである。

●消化器内科（2018年）

人事では、千葉大学医局派遣の井上が沼津市立病院へ異動し、交代として前田が赴任。専門研修医では大塚が東大医局を離れて岡崎市民病院、増田は慈恵医科大学へと戻り、自治医科大学卒業生の西原は東陽病院へ異動しました。新たな後期研修希望者は無く、消化器内科スタッフは減少しました。

内視鏡室では新たな技術導入はありません。上部内視鏡検査件数はやや減少、ESDは上下部ともに増加、EUS件数はやや増加しています。

外来治療では大きな変わりはありません。

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
GF	13,708	13,463	13,583	13,401	13,616	13,168	12,578	12,092
CF	4,451	4,875	5,394	5,780	6,252	6,161	5,780	5,790
CF-EMR	759	781	1,027	1,164	1,307	1,352	1,198	1,298
GF-ESD	−	−	−	100	136	134	122	134
CF-ESD	−	−	−	75	100	87	82	108
ERCP	1,042	1,013	1,141	986	1,161	1,068	1,203	1,126
EUS	332	406	412	381	427	553	617	664
EUS-FNA	13	17	20	15	35	58	65	66

●循環器内科（2018年度）

＜スタッフ＞（2019年４月１日現在）計12名
主任部長：神田順二
部　　長：櫛田俊一、宮地浩太郎
医　　長：早川直樹、サッキャ・サンディープ
専 攻 医：荒川雅崇、平野智士、石橋典幸、笠井祐平、上迫隼太、佐橋秀一、矢崎海基人

＜人事異動＞
2019年３月末に鴨志田淳一（当院６年勤務）と金森敬彦（当院５年勤務）が国立循環器病研究センター病院に転出し、４月１日より上迫隼太、佐橋秀一、矢崎海基人の３名が着任し、循環器後期研修を開始した。上迫、佐橋両名は医師として４年目となる専攻医であり、矢崎は当院初期研修終了後の医師として３年目の専攻医である。３人ともやる気に満ち溢れ、仕事熱心な将来の有望株である。なお、常勤スタッフ数としては５名と変わらず、スタッフ充足にはまだまだいたっていない。

＜診療の概要＞
今年度もベテラン医師が少なく３チーム制を継続することとなり、チーム長は宮地、早川、サッキャの３名が務めることとなった。常勤スタッフ、専攻医に加えてローテーションの初期研修医が４～５名配属となるため、各チーム医師数５名ほどの体制で入院患者の診療にあたっている。ただし、実状として循環器内科入院患者は循環器内科病棟（７西病棟53床）一つの病棟では収まりきらず、常時他病棟に20 ～ 30名が入院しているため、患者の病状把握や指示出しに苦労している。今後は循環器内科として1.5病棟が必要になるものと予想されるが、管理体制維持のためにも常勤スタッフの増員が不可欠と考えている。循環器内科は毎日のカテーテル検査・治療はもちろんのこと、心電図や心エコー図検査など他部門からの依頼検査も多数請け負わねばならないという性質上、日常の仕事量が膨大である。2018年６月より2019年３月まで毎週水曜日に東大循環器内科より武城千恵医師が非常勤医として来院し、心電図・心エコー図判読に力を注いでくれたが、４月以降は人員が確保できず、心エコー判読が停滞気味である。また、循環器内科は急性冠症候群や急性心不全を代表とする救急疾患の占める割合が高く、連日の救急対応が必須であり、１年365日循環器当直医制を敷き、３次救命救急センターの一翼を担っている。外来診療も連日の循環器専門再診外来にとどまらず、新患外来にも連日循環器専門医を配置しており、曜日を選ばず、近隣の病医院より紹介患者を受け入れられる体制を採っている。
幸い、当院は他部署との連携・協力が得られやすく、多くの循環器救急患者への対応、多くの生理学的検査への対応、多くのカテーテル検査・治療への対応、多くの循環器入院患者への対応が可能となっているが、これもひとえに、医師のみならず、多くのコメディカルの献身的な努力の賜と改めて感謝する次第である。

＜診療実績と当面の課題＞
過去５年間の診療実績を表１～表３に示す。入院患者数は2,306名と過去最高を記録した。相変わらず、心不全、不整脈、末梢動脈疾患の患者数が伸びている。PCIの全体の件数は672件と前年を下回ったが、急性冠症候群に対するPCI、末梢動脈インターベンション（EVT）、カテーテルアブレーションの件数はいずれも増加している。入院患者においては、80代、90代の高齢者の入院数がかなり増加しており、我々の予想を超える勢いで高齢化の影響を受けている。PCIは過去５年、常に年間600件を超えており、多い年には700件を超えるようになっており、全国40傑（2017年度の694件は全国32位）に入る国内有数のカテーテル治療施行施設である。EVTは早川医師が積極的に複雑病変にも取り組み治療件数を伸ばしている。カテーテルアブレーションは宮地医師が確実に安定して治療件数を伸ばしている。高齢化社会においてそれらの治療件数は益々増加していくものと予想される。専攻医の若手医師全員が積極的にカテーテル治療に関わっていることは非常に喜ばしく心強いことである。その一方で常勤スタッフ数が足踏み状態（５名）で、個々のスタッフの身体的、精神的負担は増す傾向にある。「働き方改革」実現のためにも、早期に常勤医師スタッフ10名体制を築けるよう人員確保を図りたい。また、循環器内科医の役割として、今後は冠動脈疾患一次予防においてもその責任を果たすべく、当地域における家族性高コレステロール血症患者や高Lp(a)血症患者を集約的に診療していくこと、さらには『循環器疾患予防医学センター』の設立をめざして取り組む決意である。

表１　循環器内科疾患別入院患者数（2014年～ 2018年）

疾　患　名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
冠動脈疾患	730	841	930	878	832
（急性心筋梗塞）	（191）	（154）	（228）	（220）	（269）
心不全	374	388	368	414	471
不整脈	279	223	320	370	396
心臓弁膜症	70	67	62	61	82
心筋症	51	32	52	41	33
感染性心内膜炎	10	13	6	16	19
心筋炎、心膜疾患	15	20	20	12	10
肺性心・肺高血圧症	4	4	5	13	13
先天性心疾患	6	5	2	5	2
大動脈疾患	32	39	20	35	44
末梢動脈疾患	102	180	196	223	238
肺塞栓症・静脈疾患	41	31	25	28	26
その他	211	148	198	142	140
合　　計	1,925	1,991	2,204	2,238	2,306

表２　循環器系主要検査数（2014年～ 2018年）

検　査　名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
心電図	27,551	27,836	25,916	29,673	29,681
運動負荷心電図	317	260	317	276	258
ホルター心電図	1,001	945	1,045	995	1,059
経胸壁心エコー	10,324	10,413	10,342	10,378	10,107
経食道心エコー	115	166	208	232	304
ABI/PWV/SPP	1,328	1,512	1,476	1,478	1,589
血管エコー	1,175	1,381	1,381	1,304	1,216
心臓カテーテル検査総数	1,604	1,669	1,652	1,399	1,955
冠動脈造影（CAG）	589	683	705	673	673
電気生理学的検査（EPS）	102	86	110	157	187
心筋SPECT	551	564	470	450	453
冠動脈CT（320列）	1,125	1,133	1,131	1,149	1,022

表３　循環器系主要治療件数（2014年～ 2018年）

治　療　名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
冠動脈インターベンション（PCI）	616	728	739	694	672
上記の内急性冠症候群に対するPCI	168	184	234	251	269
末梢動脈インターベンション（EVT）	102	205	213	248	281
カテーテルアブレーション	81	74	100	148	163
ペースメーカー植込み術（電池交換含む）	104	71	106	108	121
ICD（植込み型除細動器）植込み術	20	13	16	28	19
CRT（心臓再同期療法）	20	16	14	18	20

＜今後の展望＞

ここ数年の懸案事項であった、高齢者（通常80歳以上）大動脈弁狭窄症に対する『経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）』の入念な準備（チームリーダー櫛田医師）がいよいよ整い、ついに2019年４月より開始することができた。これは我々にとって大きな前進と言うことができる。しかしながら、ここ数年の間に、テクノロジーを生かした新規治療法（僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療MitraClip、新規の補助循環装置IMPELLA、左心耳閉鎖システムWATCHMANなど）が本邦において次々に導入されている現状を鑑み、我々も早期導入に向けて計画的努力を続けていく所存である。加えて高齢化社会における心不全患者のさらなる増加は避けて通れない問題であり、在宅医療や緩和医療といった観点からも、チーム医療の充実と地域医療連携の強化をはかっていきたい。

（文責　神田順二）

●血液内科（2018年度）

診療体制

2018年度の診療体制は、常勤医が田中宏明（部長）、清水亮（医長）、田村百合（医員）の３人となり、血液内科後期研修医の久米彩佳医師を入れて年間を通じてほぼ４人体制で入院診療ができていた。非常勤医師として高木敏之医師および千葉大から派遣された柏森健介医師、一色佑介医師（異動にて10月から三科達三医師に変更）の２名と、当院輸血部部長の石井昭広医師にもお手伝い頂き、計７コマの血液内科外来診療も続けられていた。毎週月曜日に病棟カンファレンス、木曜日に中央検査科と共同で骨髄カンファレンスを行い、ほぼ毎月第３もしくは４火曜日に病理・血液カンファレンスを行っている。

2018年度の動向

ここ３年間の当院で診断された症例数は下記の通りである。各年１−12月のデータで、他院で診断され加療目的に紹介された症例は含んでいない。

	2018	2017	2016
慢性骨髄増殖性腫瘍			
慢性骨髄性白血病	7	2	5
本態性血小板血症	7	7	15
真性多血症	0	3	1
原発性骨髄線維症	0	1	2
慢性骨髄単球性白血病	2	2	0
骨髄異形成症候群	16	10	12
急性骨髄性白血病	17	16	9
うち急性前骨髄球性白血病	4	1	1
うち骨髄異形成に関連した異常を伴う急性骨髄性白血病	8	11	ND
急性リンパ性白血病	2	1	1
慢性リンパ性白血病	3	1	1
悪性リンパ腫			
び漫性大細胞型B細胞性リンパ腫	48	40	21
うち中枢神経原発び漫性大細胞型B細胞性リンパ腫	3	4	ND
うち血管内大細胞型B細胞性リンパ腫	3	1	ND
濾胞性リンパ腫	9	16	10
MALTリンパ腫	7	6	2
リンパ形質細胞性リンパ腫	2	1	2
末梢性T細胞性リンパ腫・詳細不明	7	1	4
血管免疫芽球性Ｔ細胞性リンパ腫	4	1	1
ホジキンリンパ腫	3	2	3
多発性骨髄腫	20	14	8
原発性アミロイドーシス	3	1	1
再生不良性貧血	1	3	1
特発性血小板減少性紫斑病	3	1	6
自己免疫性溶血性貧血	1	0	1

移植件数に関してはここ数年の移植件数を下記に示した。

	＜血縁者間末梢血幹細胞移植＞	＜自家末梢血幹細胞移植＞
2015年度	3例	7例
2016年度	3例	5例
2017年度	2例	9例
2018年度	1例	6例

多施設共同研究として、日本成人白血病研究グループ（JALSG）をはじめとしたいくつかの研究グループの多施設共同研究に参加している。また千葉大学血液内科とも連携していくつかの臨床研究を行っている。

学会発表としては、2018年度として日本骨髄腫学会総会１演題、日本血液学会総会２演題、日本内科学会関東地方会１演題、日本血液学会関東甲信越地方会４演題、英論文として計５本報告している。

●腎臓内科（2018年）

１．体制

スタッフは2017年３月まで腎透析科常勤５名、非常勤１名で診療にあたっていたが、2017年４月より腎透析科常勤３名、非常勤３名となった。しかし2018年４月より常勤１名が増え、常勤４名体制となった。看護単位は病棟と透析センターの２つよりなる。

２．病棟部門

病棟は49床であるが、腎臓内科としては腎･透析関係および、一部一般内科の患者を受け入れている。2018年では、腎透析関係540名、一般内科４名であった。（表１）

腎生検については75件であった。（表２）後期研修医の減員などに伴い、透析患者の循環器/消化器合併症の多くを循環器科と消化器科にお願いした関係で、透析関連の入院がそれ以前の20%ほど減員の状態で維持している。なお、入院患者、腎生検患者、年末透析患者、透析導入患者の推移を添付する。（表３－６）

３．外来部門

⑴ 腎臓内科外来

内科外来の一部として、常勤スタッフ４名と非常勤スタッフ３名にて、合計10コマの外来を担当している。

⑵ 透析外来

２つの透析センターにて、血液透析および腹膜透析の患者を管理している。また、血漿交換や白血球除去療法などの特殊血液浄化も施行している。

透析センターの項も参照。

４．診療のトピック

腎臓病については、診療内容としては新しいものはなかったが、減少した常勤医が増加し腎生検の件数や入院患者は増加に転じた。

透析患者の管理については、CKD-MBDに対し、注射薬であるエテルカルセチドの使用が軌道にのり、また、シナカルセトよりも消化器症状の少ないエボカルセトが使用可能になった。

また、フットケアチームが軌道に乗ってき、虚血肢の掘り起こしと、循環器科による下肢末梢血管障害に対する血管内治療が積極的に施行されるようになった。

さらに、末梢血幹細胞移植のための細胞採取を血液内科病棟から透析センターで施行するように変更、軌道に乗ってきた。

なお2018年には、新規の透析患者さんの治験はなかった、大学教授などによる講演会を７件開催した。

2018/1/1-/12/31　腎臓内科　入院患者　内訳(表１)

腎・透析科	544
慢性腎不全（合併症の精査加療含む）	77
慢性腎不全（透析導入）	88
腎炎/ネフローゼ症候群	71
急性腎不全	54
尿路感染症	16
水/電解質異常	26
その他	1
透析患者	207
透析関連合併症	20
CAPD関連	7
ブラッドアクセス関連	85
併発合併症	95
循環器	16
消化器	4
呼吸器	30
神経	18
感染症	15
その他	12
一般内科	4

腎生検（2018/1/1-12/31）（表２）

MGA	10名
FSGS	8名
MN	11名
IgA腎症	14名
MPGN	5名
Cres GN/血管炎	7名
SLE	2名
紫斑病性腎炎	1名
DM	13名
動脈硬化	1名
尿細管/間質障害	1名
腎硬化症	0名
アミロイドーシス/骨髄腫腎	2名
その他	0名
計	75名

入院患者（表３）

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
腎疾患	252	309	296	285	304	287	295	281	276	266	333
透析関連	337	295	370	347	293	234	224	255	229	197	207
その他	58	49	27	31	27	62	73	71	62	18	4
計	647	653	693	663	624	583	592	607	567	481	544

腎生検数（表４）

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
件　数	49	55	70	74	55	48	49	54	72	49	75

透析導入患者数（表５）

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
件　数	79	104	94	95	89	88	130	97	90	107	108

透析患者数（表６）

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
年末HD	481	479	448	439	422	402	423	409	405	390	392
年末CAPD	17	22	23	23	19	17	16	14	10	10	10
計	498	501	471	462	441	419	439	423	415	400	402

●呼吸器内科（2018年度）

2018年度の概要

常勤医は３人体制であったが、内田嘉隆に替わり三國肇子が７月より赴任した。また浅見貴弘が所属は総合内科であるが、９月より呼吸器診療に加わり実質４人体制となった。大学（千葉大、国際医療福祉大）からの非常勤医の応援は週２回と減少したが、非癌症例を中心に診療を継続いただいている。肺癌症例数は326例と過去最高であった。肺癌の内科的治療は加速度的に変化しており、分子標的薬と免疫療法が主役となり、さらには殺細胞薬との併用療法も認可され、大きく様変わりした。しかしそれでも治癒を目指すという程には進歩していない。今後ゲノム解析を含めた新治療の時代に当院も対応していかなければならないと思っている。肺炎は高齢者および他の合併症を有する例が更に増えており、総合内科的な管理が必要である。また先述の免疫療法に伴い、種々の新たな合併症や薬剤性肺炎例も増えており、呼吸器疾患以外の知見も十分会得することが呼吸器内科医に求められている。

統計

＜新規症例数＞

1	原発性肺癌新規症例数：	326例	（外科も含む）
2	縦隔腫瘍：	15例	（外科も含む）
3	悪性胸膜中皮腫：	1例	
4	肺抗酸菌症		
	肺結核症	30例	（感染症内科も含む）
	非結核性抗酸菌症	18例	
5	肺炎（主）：	300例	（呼吸器内科入院例）
6	間質性肺炎（主）：	48例	

●糖尿病代謝内科（2018年度）

①診療科の活動

2018年度当科の診療体制は、前年度と同じく小林部長、大西医長の常勤２名、糖尿病外来はその他に非常勤２名が１枠ずつ担当している。2018年度の糖尿病診療状況としては、前年と変わらず4,000名以上の当院通院糖尿病患者に対して、内科を中心とする他科医師と協働で対応している（主な診療実績は下記参照）。最近の取り組みとしては前年度に引き続いて１．リアルタイム自己血糖管理・測定システム：フラッシュグルコースモニタリング（FGM）の外来導入数の増加（2018年度73例）、２．政策医療となった糖尿病腎症予防プログラムへの取り組み：糖尿病透析予防指導の枠数拡大（2017年度82件⇒2018年度213件）、３．地域眼科医との簡易連携書式運用：対象施設の拡大（紹介数：2017年度69件⇒2018年度67件、2019年度に入り増加中）、等を進めている。また、引き続き糖尿病サポートチームと協働し、(1) 当院通院中の糖尿病患者の糖尿病改善、(2) 当院医療職への糖尿病教育活動、(3) 当院周辺地域の糖尿病状態の改善に努めている。(1) においてはインスリンポンプ使用患者の患者会（すずの会）の参加者数の増加、病院祭での活動（血糖測定ブースの運営および教育講演会「糖尿病のつどい」（当院２型糖尿病患者会：九十九会との合同開催）など、(2) においては例年通り他科医師・研修医に対する糖尿病診療関連レクチャー、看護学校での代謝・内分泌分野の系統講義、他職種の日本糖尿病療法指導士（CDE-J）・千葉県糖尿病療養指導士（CDE-Chiba）の資格取得支援継続（有資格者それぞれ39名・８名）、(3) においては当地域周辺で糖尿病に関心を持つ看護師の会（さくら会）とも協働しながら周辺市町村の各種祭り（病院祭を含む）における血糖測定ブース運営や啓蒙活動、世界糖尿病デーの取り組み、当院標識や旭市商工会議所、飯岡灯台におけるブルーライトアップなどの継続を行っている。チームメンバーは2018年３月時点で10職種62名に達し、各職種による糖尿病学会等での学会発表も継続しており、最近はチームメンバーに対して各種研究会での講演依頼を受ける機会も出てきている。

②診療実績

【2018年度診療概要】

・糖尿病専門外来（常勤４枠、非常勤２枠）1,834例
　内、糖尿病患者数（薬物療法中）1,263例、
　平均HbA1c8.0%
　　（同、当院外来全体4,207例、平均HbA1c7.4%）
　内、１型（病名ベース）290例（内､インスリンポンプ 23例）
・妊娠糖尿病113例
・当科入院血糖管理患者　235例
　　（内、教育関連入院等20例）

●総合診療内科（2018年度）

施設認定：日本病院総合診療医学会認定施設
部長：塩尻俊明
医長：鈴木洋輝
医員：田中孟
医員：渡邉稔之

当科は、2010年から入院患者受け入れを開始した比較的新しい診療科であり、入院対象患者は、虚血性脳血管障害、尿路感染症、敗血症・菌血症、肺炎、糖尿病、電解質異常、膿瘍、てんかん、不明熱、皮膚・軟部組織感染症、ウイルス感染症、椎体炎、偽痛風、慢性閉塞性肺疾患、副腎不全、低体温症、リウマチ性多発筋痛症、間質性肺炎など多岐に及んでいる（図１）。

救急外来からの患者受け入れ基本コンセプトは、上記疾患群に加えて、いくつかの専門科にまたがる複数の疾患をもつ患者、どこの専門内科に属するのかが不明の患者、主病名が内科以外の他科であるが、内科合併症や全身状態が不良のため内科管理が必要な患者、また、集中治療が必要な重篤疾患を抱えているが、緩和的加療が中心となる超高齢者、内科専門科に属せない複合的問題を抱えている患者や社会的複雑な背景を持った患者など24時間体制で受け入れている。

入院患者は、８階西病棟を中心に50床から60床体制で受け入れている。過去５年間の入院患者数は、2014年度745名、2015年度669名、2016年度615名、2017年度632名、2018年度1,084名となっている。入院患者の担当は、３チーム体制で、それぞれスタッフをチームリーダーとし、担当医は初期研修医に任せている。午前はほぼ毎日部長回診を行い、昼にケースカンファレンス、夕方にはチームリーダーによるチャートラウンドが行われている。

外来診療においては、火曜日、木曜日の午前、週2回総合診療内科の初診外来を開設している。特に、木曜日は新専門医制度の外来研修が必須されていることもあり、シニアレジデントの教育を兼ねた外来としている。シニアレジデントがまず診察した上で、スタッフと議論し方針を決定する屋根瓦方式をとっている。外来では、通常の一般内科の業務に加えて、他の医療機関や院内において診断困難症例の診療を受け入れている。

また、当科は初期研修医の教育的機能も担っている。ベッドサイドを中心に問診、身体所見など基本的診療技能を主に教育項目としている。週２回はケースカンファレンスを研修医向けに開き、臨床推論の方法論についての教育も行なっている。また、週１回は、身体診察の勉強会を開催している。対外的には、医学生向けの臨床推論を学ぶためのカンファレンスを毎年定期的に企画している。

図１　旭中央病院総合診療内科　主要入院疾患症例数（2018年４月から2019年３月）

疾患名	症例数	疾患名	症例数
脳梗塞・一過性脳虚血発作	193	皮膚・軟部組織感染症	12
尿路感染症	51	ウイルス感染症	11
敗血症・菌血症	32	椎体炎	7
肺炎	31	偽痛風	6
糖尿病	28	慢性閉塞性肺疾患	5
電解質異常	24	副腎不全	4
膿瘍	20	低体温	4
てんかん	20	リウマチ性多発筋痛	3
不明熱	12	間質性肺炎	3

●アレルギー・膠原病内科（2018年度）

（日本リウマチ学会教育施設、日本アレルギー学会専門医教育研修施設）

■１年間のまとめ

スタッフ

リウマチ学会専門医およびアレルギー学会専門医の加々美、柏熊の２名と千葉大学アレルギー膠原病内科から派遣された須賀謙介の計３名で運営した。他に後期研修医として戸田陽介、矢部遥子が診療に従事した。

喘息外来は千葉大学アレルギー膠原病内科からの非常勤医師が担当した。

入院診療

外来での関節リウマチ症例の増加に伴い、関節リウマチ関連の入院が多い。またSLE、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎などの典型的な膠原病症例に加え、高齢者の血管炎症例の増加が目立つ。また比較的稀な疾患や病態の解釈が困難である症例が存在した。

気管支喘息症例の入院数は前年度と比し、ほぼ変化がなかった。

2018年度入院患者数は上半期131人（前年同期131人）、下半期149人（前年同期128人）、平均在院日数は上半期25.6日（前年同期26.1日）、下半期29.8日（前年同期29.4日）となり、入院患者数は増加したが、平均在院日数は前年度からの短縮が得られなかった。高齢化に伴いADLの低下している症例の転院受け入れに時間がかかる傾向にあった。一方で入院患者数の増加は外来患者数の増加を反映しているものと思われる。

外来診療

2018年度の新患患者は536人となった。

2019年3月時点で関節リウマチ症例が1,400例となり、他の膠原病症例と合わせて約2,400例となった。特に関節リウマチ症例に関しては2013年には700人であったことから増加傾向が目立つ。喘息症例に関しては約700人とほぼ変化なかった。2018年度の生物学的製剤の投与症例は410例であり、増加傾向にある。生物学的製剤に関しては関節リウマチ以外の膠原病症例への適応拡大や新規製剤の登場が予定されており、今後当科で使用する生物学的製剤はその種類および投与症例数が増加することが予想される。関節超音波検査は476件とほぼ横ばいとなっている。外来における病診連携は講演会などを通じて逆紹介を打診しているが、ステロイド剤や免疫抑制剤を投与されている症例の逆紹介は進んでいない。今後の検討課題と言える。

気管支喘息症例については抗IL-5抗体の登場により難治性喘息のマネージメントの幅が広がった。

学術的活動

主要学会である日本リウマチ学会では過去最多となる７演題を発表し、その中の１演題がベストポスター賞も受賞した。当科をローテートした初期研修医が内科学会関東地方会で４演題発表し、そのうち１演題が奨励賞を受賞した。

その他に関東リウマチ研究会や千葉膠原病セミナーなどの研究会に参加し、演題発表を行った。英語論文は１編がModern Rheumatology Case Reportにpublishされた。全国規模の医師主導型臨床試験にも参加中であり、企業治験も2件継続中である。今後も学会発表、論文発表を通じて積極的に学術的活動も続ける予定である。

■診療体制

部長　加々美新一郎
医長　柏熊大輔
医員　須賀謙介
後期研修医　戸田陽介　矢部遥子
非常勤医師：岩本逸夫（元国保旭中央病院アレルギー膠原病内科部長）
玉地知宏、策愛子、鈴木一正
（千葉大学アレルギー膠原病内科）
廣瀬晃一（国際医療福祉大学）
瀬戸洋平（東京女子医科大学八千代医療センター）、
中村隆之（東庄病院）

外来担当

・リウマチ膠原病外来
月曜日：柏熊、須賀
火曜日：柏熊、戸田
水曜日：加々美、柏熊／須賀
木曜日：加々美、廣瀬、中村（隆）
金曜日：瀬戸、矢部

・喘息・アレルギー外来
月曜午前：策（非常勤）
水曜午前：岩本（非常勤）

木曜午前：岩本（非常勤）
金曜午前：玉地／鈴木（非常勤）
関節超音波検査：月曜日、水曜日、金曜日

■診療実績
2018年度入院診療実績（のべ人数）
膠原病（主病名のみ、合併症入院を含む）
関節リウマチ：64
MTX-LPD：3
全身性エリテマトーデス：26
多発性筋炎・皮膚筋炎：10
抗ARS抗体症候群：9
強皮症：5
混合性結合組織病、オーバーラップ症候群：5
シェーグレン症候群：10
成人発症スティル病：8
巨細胞性動脈炎：3
側頭動脈炎：3
高安動脈炎：2
結節性多発動脈炎：1
小血管炎（MPA, GCA, EGPA, AAV）：31
皮膚型結節性多発動脈炎：2
アレルギー性紫斑病（IgA血管炎）：7
蕁麻疹様血管炎：2
悪性関節リウマチ：2
乾癬性関節炎：1
リウマチ性多発筋痛症：19
RS3PE症候群：8
結晶性関節炎：2
サルコイドーシス：5
IgG4関連疾患：1
結節性紅斑：2
器質化肺炎：3
間質性肺炎：10
好酸球増多症：2
好酸球性筋膜炎：1
後腹膜線維症：2
家族性地中海熱：3
ベーチェット病：4
骨髄異形性症候群：2
血栓性血小板減少性紫斑病：1
アレルギー疾患
気管支喘息：28

2018年度外来診療実績
新患患者数：536人
関節超音波：476件
生物学的製剤投与症例数（のべ数）：410症例

■学術活動・臨床研究等の実績

日本リウマチ学会:7演題（多施設共同研究の2演題を含む）
日本アレルギー学会：1演題
日本リウマチ学会関東支部会：3演題
関東リウマチ研究会：1演題
内科学会関東地方会：4演題
千葉膠原病セミナー：2演題

原著論文
Otitis meida with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis caused by Eustachian tube inflammation.
Kaito Nakamura, Koto Hattori, Aya Nishiwaki, Daisuke Kashiwakuma, Yuji Ando, Jun Isogai, Shin-ichiroKagami. Modern Rheumatology Case Reports 09 May. 2018

院内臨床試験
膠原病関連：4件
気管支喘息関連：1件
他施設共同研究：4件
（うち千葉大学アレルギー膠原病内科との共同研究：4件）

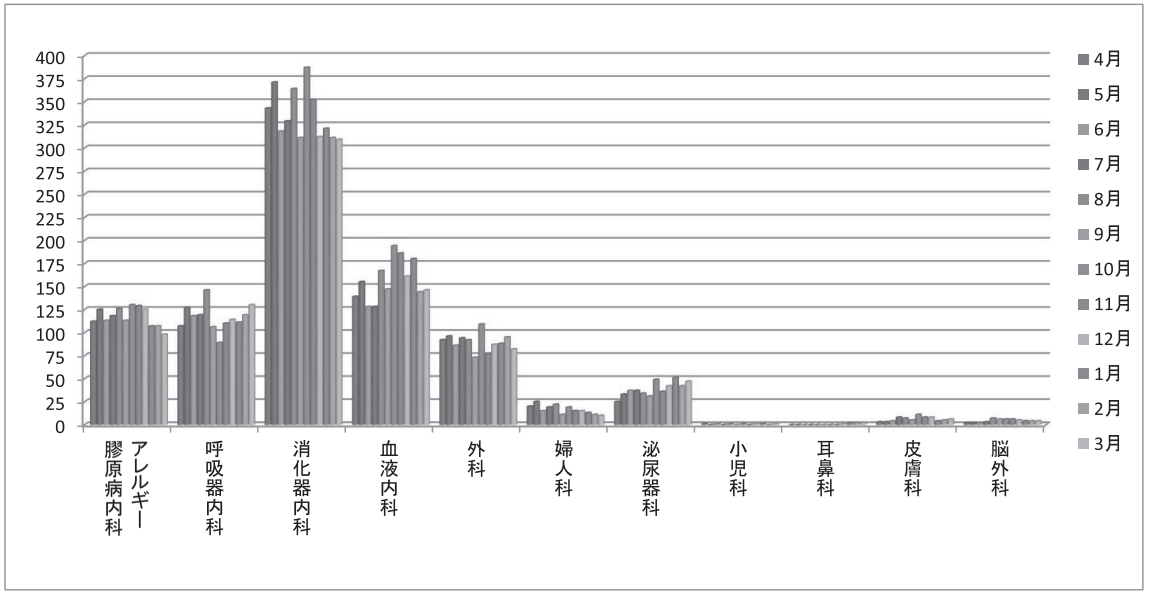
企業治験
関節リウマチ関連：2件

（文責：加々美新一郎）

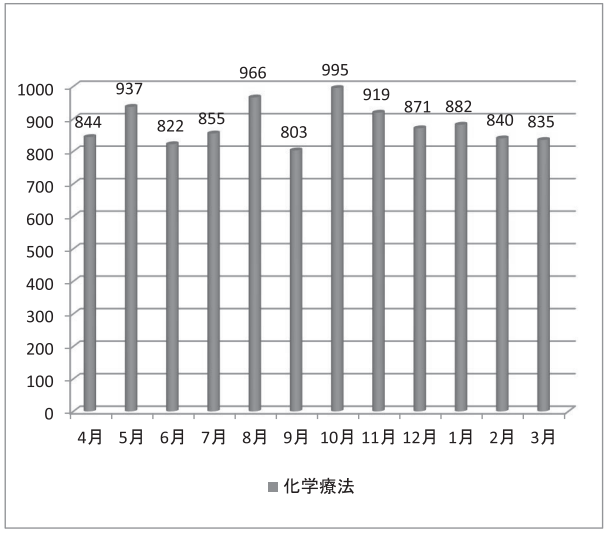
●化学療法センター（2018年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アレルギー膠原病内科	112	125	113	118	126	113	130	129	125	107	107	98	1,403
呼吸器内科	107	127	118	119	146	106	89	110	114	111	119	130	1,396
消化器内科	343	371	318	329	364	311	387	352	312	321	311	309	4,028
血液内科	139	155	128	128	167	147	194	186	161	180	144	146	1,875
外科	92	96	86	94	92	73	109	77	87	88	95	82	1,071
婦人科	20	25	15	19	22	11	19	15	15	13	11	10	195
泌尿器科	25	33	37	37	34	31	49	36	42	51	42	47	464
小児科	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	7
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	7
皮膚科	3	3	4	8	7	5	11	8	8	4	5	6	72
脳外科	2	2	2	3	7	6	6	6	5	4	4	4	51
歯口科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													10,569 件
月合計/日平均	844/42	937/45	822/39	855/41	966/42	803/45	995/45	919/44	871/46	882/46	840/44	835/42	
2017年の件数・月合計/日平均	746/37	814/41	763/35	741/37	808/37	709/35	861/41	920/46	837/42	852/45	814/43	835/40	
2016年の件数・月合計/日平均	782/39	765/40	832/38	755/38	913/42	838/42	815/41	863/43	848/45	876/46	835/42	877/40	

各診療科の月別



全体の月



●透析センター（2018年）

2018年12月末現在での当院における透析患者数は402名（HD 392名、PD 10名（HD併用を含む））であった。2017年末が400名（HD 390名、CAPD 10名）であったことより、全体で２名の増加（+0.5%）であり、透析療法別にみるとHDは２名の増加（+0.5%）であるのに対して、CAPDは変化なし（0.0%）であった。2018年における新規透析導入患者は108名（2017年は107名）であり１名の増加（+0.9%）であるが、ここ10年間をみると大きな変動はない。死亡者数は61名（2017年は50名）であり、11名増加している（+22.0%）。新規透析導入者数は変わらず、死亡者数はやや増加しているにもかかわらず全体の透析患者数が変わっていないことから、他院へ転院する患者の割合が前年と比較して減っている状況が伺える。合併症を有する患者が増えており、管理が複雑になっていることが理由として考えられる。

当院では、慢性透析療法（HD、CAPD）以外に、急性血液浄化療法も行っており、腹膜透析単独を除いた慢性・急性血液浄化療法件数は2018年の一年間で59,856件（2017年60,253件）にのぼった。浄化療法別では、（間欠的）血液透析（リクセル併用を含む）または血液（透析）濾過59,066件（98.7%）、持続的血液（濾過）透析637件（1.1%）であり、これらで全体の99.7%を占めていた。その他として、直接血液灌流、（二重濾過）血漿交換、白血球除去なども行われた。エンドトキシン吸着は33件（2017年23件）あり、消化器疾患に対する緊急外科手術後の症例で行われている。2015年頃からは腹水濾過濃縮再静注法（CART）も行われるようになってきており、2018年は３件（2017年２件）行われている。

慢性血液透析患者では、十分な透析療法を行うために良好な血流を確保できる血管アクセスが必要であり、血管アクセスを確保するためにアクセス造設術あるいは修復術を行う必要がある。2018年における当院での血管アクセス関連手術であるが全体で175件であり、内訳は内シャント125件（71.4%）、人工血管内シャント７件（4.0%）、動脈表在化34件（19.4%）、その他（血栓除去術、静脈結紮術等）９件（5.1%）であった。当院の特徴として動脈表在化の割合が高いが、わずかながら人工血管内シャントの症例も増えているように思われる。当院では自己血管による内シャント作成が困難な症例では次の選択肢として動脈表在化法を選択する場合が多いこと、また、他院よりアクセス造設困難で紹介される症例や、心機能を含め全身状態不良のために紹介される症例も多いという理由によるものと思われる。一方、アクセス修復術に関しては、10数年前より経皮的血管拡張術（PTA）を行うようになってから外科的血栓除去術は減少している。2018年におけるPTA件数は109件であり、2017年（119件）と比較して10件減少（-8.4%）しているものの、大きな変動はない。近隣の透析クリニックからの依頼も多く、地域連携が良好に行われていることを反映しているものと考える。

表１　アクセス関連手術

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合計
内シャント	11	8	15	8	12	11	10	8	6	10	15	11	125
ｸﾞﾗﾌﾄ内ｼｬﾝﾄ	0	1	0	0	0	0	0	1	2	1	1	1	7
動脈表在化	4	4	2	0	2	5	6	4	1	3	1	2	34
血栓除去術	0	0	0	1	1	0	1	0	3	1	0	0	7
その他	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	15	13	18	10	15	16	17	13	12	15	17	14	175

表２　シャントPTA件数

年月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2018年	9	9	10	10	9	9	6	9	9	6	11	12	109

●外　科（2018年）

1．体制

外科常勤医は22名（病院長、主任部長、血管外科部長、乳腺外科部長、肝胆膵外科医長、呼吸器外科医長、他医長２名、医員４名、後期研修医４名、専攻医７名）、非常勤医２名である。甲状腺外科は、日本医科大学より杉谷巌教授を非常勤医として招聘している。

2．診療

2018年の手術件数は1,798件（中央手術室集計）で、昨年より18件減少した。

膵癌の手術件数増加が顕著である。

3．チーム医療

理学療法士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師など多職種によるチーム医療によって、術後合併症の低減と在院日数の短縮が図られている。

4．地域連携

ソーシャルワーカーを中心に診療支援室や連携室の積極的な活動と、地域の医療施設・福祉施設のご協力とご理解により、紹介・逆紹介の件数が増加している。

Ⅰ：外科手術件数（2018.1月－2018.12月）

	2018年（内視鏡手術）	2017年（内視鏡手術）
合計	1,798件	1,816件
頸部	33	26
肺	168　(80)	153　(94)
縦隔	7	5
乳房	160	149
血管	116	133
消化管	658 (132)	740 (128)
食道	6　(0)	9　(1)
胃	154　(40 ロボット13)	139　(31　ロボット6)
十二指腸	16　(1)	16　(0)
小腸	44　(2)	42　(2)
虫垂	122　(9)	131　(9)
結腸	191　(52)	213　(60)
直腸	107　(28)	125　(29,　ロボット2)
肛門	7	14
腸閉塞	49	51
肝	58　(0)	52　(2)
胆道	252	258
膵	36	22
脾	1	1
ヘルニア	268	251
外傷	17	9
再手術	42	60
その他	36	38

Ⅱ：術後合併症

1）消化器

食道　縫合不全0、肺炎2（33%）、術死0

胃　　縫合不全12（7.8%）、肺炎6（3.9%）、DGE5（3.2%）
膵液瘻15（9.7%）、遺残膿瘍9（5.8%）、SSI 3（1.9%）、術死2

結腸　縫合不全8（4.2%）、肺炎4（2.1%）、遺残膿瘍0、肺血栓塞栓症0
SSI 9（4.7%）、イレウス9（4.7%）、術死0

直腸　縫合不全12（11%）、肺炎5（4.7%）、遺残膿瘍6（5.6%）、肺血栓塞栓症0
SSI 6（5.6%）、イレウス11（10.3%）、術死0

肝　　Clavien-Dindo分類Ⅱ,Ⅲa 9（15%）、C-D分類Ⅲb1（1.7%）、術死0

胆道　C-D分類Ⅱ,Ⅲa 3（1.2%）、C-D分類Ⅲb 2（7.9%）、術死0

膵　　C-D分類Ⅱ,Ⅲa 6（17%）、C-D分類Ⅲb 0、術死0

・消化器外科全体の合併症率

再手術率 22/1290（1.7%）

手術死亡率 6/1290（0.5%）

2）呼吸器

肺・縦隔　肺炎10/174（5.9%）、気漏9（5.4%）、SSI 3（1.8%）、肺梗塞3（1.8%）、術死1

3）乳腺　漿液腫32/159（20.1%）、SSI 11/159（6.9%）、血種2（1.3%）、リンパ浮腫2（1.3%）

4）血管

腹部大動脈瘤（非破裂）25例　術死0合併症5例（16%）

腹部大動脈瘤（破裂）8例　術死0

EVAR 9例　術死0

ASO 9例　術死1

SMA塞栓 3例　術死1

下肢静脈瘤 26例　SSI 11（42%）

外科全体（予定・緊急手術）

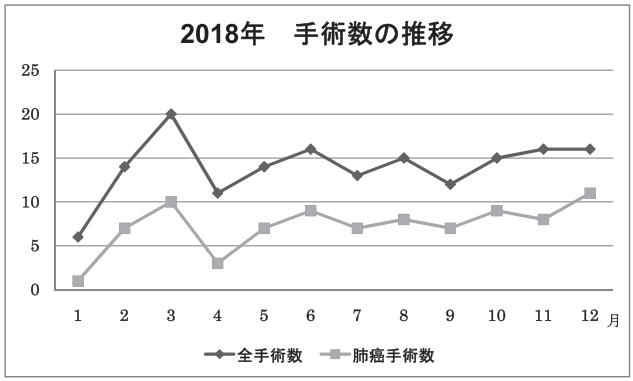
手術死亡率 14/1,798（0.8%）【2017年 11/1,816（0.6%）】

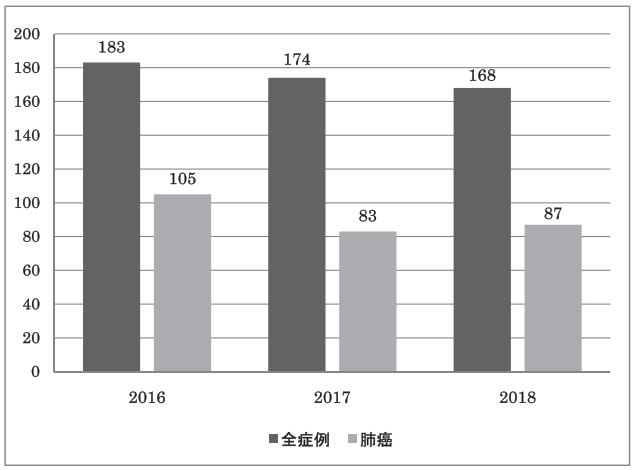
●呼吸器外科（2018年）

●診療体制

2018年1月から12月　桑野秀規・川島峻

●手術数の推移





●手術症例数

疾　患　名	症　例　数	
	2018年	2017年
原発性肺癌	87	83
嚢胞性疾患（含：気胸）	34	31
転移性肺腫瘍	16	20
縦隔腫瘍	7	5
膿胸・縦隔炎	8	10
炎症性肺疾患	8	3
良性肺腫瘍	1	2
胸膜腫瘍	0	0
胸壁腫瘍	0	1
その他の疾患	7	19
合　計	168	174

●合併症

合併症名	2018年	2017年
遷延性肺瘻・遅発性肺瘻	8	4
肺炎	6	4
ARDS	1	2
気管支断端瘻	0	0
肺血栓塞栓症	2	1
術後48時間以上の人工呼吸器	0	2
再挿管	1	3
気管切開（ミニトラック挿入を含む）	0	1
治療を要する上室性不整脈	4	3
治療を要する心室性不整脈	0	0
心筋梗塞	0	0
治療を要する深部静脈血栓症	0	0
腸閉塞	0	0
再手術を要する出血	0	0
尿路感染	0	0
膿胸・縦隔炎	1	3
創感染	3	1
敗血症	1	0
新たな中枢神経障害（TIA・脳梗塞）	0	1
反回神経麻痺	1	0
その他の神経合併症	1	0
治療を要する腎不全・術前の2倍以上のCr値上昇	0	1
ドレナージ・内科治療を要する乳び胸	0	1
外科治療を要する乳び胸	0	0
せん妄	3	1

●手術死亡

	2018年	2017年
定　時	1	1
緊　急	0	3
合　計	1	4

●原発性肺癌

●術式

	2018年	2017年
肺　葉　切　除	77	68
部　分　切　除	5	6
区　域　切　除	1	4
試　験　開　胸	4	3
肺　全　摘　術	0	1
二　葉　切　除	0	1

●アプローチ

	2018年	2017年
前側方	21	5
後側方	34	52
胸腔鏡	32	26

●合併切除

	2018年	2017年
隣接肺部分切除･区域切除	4	0
壁側胸膜・縦隔胸膜	2	2
肺動脈形成	2	1
胸壁（骨性胸郭）	3	2
心膜脂肪織	0	0
横隔膜	0	0
心膜	0	0

●組織型

	2018年	2017年
Adenocarcinoma	67	62
Squamous cell carcinoma	12	14
LCNEC	1	3
Adenosquamous carcinoma	1	0
Small cell carcinoma	3	1
Pleomorphic carcinoma	2	1
Giant cell carcinoma	1	0
Atypical carcinoid	0	1
Typical carcinoid	0	1

●転移性肺腫瘍

原発臓器	2018年	2017年
大腸癌	12	10
乳癌	2	1
腎細胞癌	2	2
喉頭癌	0	1
胃癌	0	2
十二指腸癌	0	2
胆嚢癌	0	1
多形腺腫	0	1

●縦隔腫瘍

	2018年	2017年
胸腺腫	2	2
胸腺癌	0	1
神経原性腫瘍	2	2
その他	3	0

●その他の疾患

	2018年	2017年
血胸	3	3
外傷性肺損傷	0	1
胸壁損傷	0	1
気管腫瘍	1	0
肺動静脈瘻	1	1
過誤腫	1	1
硬化性血管腫	0	1
炎症性肺腫瘍	8	3
癌性胸膜炎	0	4
悪性リンパ腫	0	2
転移性リンパ節	0	3
結核性リンパ節炎	0	1
術後肺瘻	1	1

●乳腺センター（2018年度）

○認定施設

日本乳癌学会認定施設

日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設

日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定インプラント実施施設

○スタッフ

乳腺センター長・乳腺外科部長　平野稔

乳がん看護認定看護師　新井田明美、他看護師２名、事務職員４名

○診療体制

	月	火	水	木	金
午前　初診・再診	平野	平野	手術日	平野	平野
午後　再診	平野	平野		平野	平野

○診療実績

【外来患者数】

		初診	再診	合計	医療機関紹介来院患者数（除、市町村検診）
2018年	4月	64	540	604	22
	5月	73	474	547	19
	6月	195	356	551	21
	7月	213	524	737	28
	8月	190	512	702	21
	9月	148	374	522	21
	10月	60	393	453	32
	11月	110	501	611	23
	12月	81	400	481	27
2019年	1月	47	445	492	25
	2月	67	467	534	30
	3月	64	391	455	17
総　計		**1,312**	**5,377**	**6,689**	**286**

【外来化学療法件数（延べ数）】

（化学療法センター利用）

2018年	4月	68
	5月	66
	6月	62
	7月	74
	8月	62
	9月	56
	10月	80
	11月	57
	12月	71
2019年	1月	68
	2月	76
	3月	68
総　計		**808**

【手術件数】

2018年	4月	10
	5月	9
	6月	13
	7月	11
	8月	17
	9月	16
	10月	18
	11月	14
	12月	12
2019年	1月	9
	2月	4
	3月	11
総　計		**144**

＊参考　2017年度　150例
2016年度　138例
2015年度　160例
2014年度　104例

●小児科（2018年度）

2018年度活動状況

2018年３月をもって専攻医として３年間当科の診療を支えてくれていた種瀬秀一医師・藤部ゆり医師の両名が退職された。2018年度は４月から新しく専攻医を迎えることが出来ず小児科医局員数は前年度に引き続いて２名減少となり８名と非常に厳しい状況になった。

その中で衣斐恭介医師が2018年５月から６ヶ月間、荒川真梨子医師が同年1 1月から同じく６か月間、当院新生児科で新生児医療の研修を行った。なお初期臨床研修医小児科エキスパートコースについては2018年度も前年度と同様に１名の初期研修医を獲得することができた。

小児科所属の言語聴覚士は宇井円、金屋麻衣、松原彩、臨床心理士は常勤の富岡美帆、下地里枝、非常勤の鈴木茜が前年度に引き続いて勤務し、日々の個別発達評価・訓練および毎週のケース・カンファレンス、月２回の新規症例カンファレンス等に加え院外の乳幼児健診など多忙な業務を継続した。

2018年度の学会発表実績等については旭中央病院医報を参照されたい。

診療実績について

外来の診療体制は、午前の一般外来、午後の専門外来とも変更なくこれまでと同様である。午前の一般外来は１日４～５名の医師が担当、午前の一般外来の再診の一部と午後の専門外来（乳児健診と予防接種を除く）についての予約制は従来通り継続した。髙橋明子先生には前年度から引き続き第２火曜日と第４火曜日の月２回午前の一般外来を担当して頂き、さらに総合診療内科の鈴木洋輝先生にも毎週木曜日午前の一般外来を担当して頂いて医師数減少による外来診療の負担を軽減する事ができた。また鈴木先生には週１回の救急外来夜間診療と月３回前後乳児健診も担当して頂いた。髙橋先生･鈴木先生に感謝申し上げる。専門外来は従来同様、乳児健診、慢性疾患外来、神経外来、発達外来、予防接種外来、循環器外来、嚥下摂食外来があり、神経外来は千葉大学小児科講師、藤井克則先生による月２回の専門外来、循環器外来は引き続き東京女子医大八千代医療センターから同大准教授浜田洋通医師と本田隆文医師、千葉大学病院小児科から小林弘信医師・江畑亮太医師を招聘し当科小林宏伸医師も加わって６回／月の外来を継続した。また旭市内に夢屋診療所を開業されている鈴木新先生による月２回の神経発達外来、田杭櫻子先生による毎週の嚥下摂食外来も従来通り継続していただき専門性の高い医療を継続する事が出来た。さらに休祭日の救急外来での小児科日当直勤務に当院小児科ＯＢである西村竜哉先生、高寺　侑先生、青木義紘先生、本間利生先生、種瀬修一先生に夫々１ヶ月に１回前後来院して頂くことができ、小児科医局員の休日が確保できたことは大変ありがたいことであった。

平日夜間の救急外来における小児救急診療は前年と同じく小児科当直医は１名、別に１名が準夜帯のみ救急外来で小児科救急患者を診療する体制で行い、深夜帯の小児救急初療は全科当直医に初診を担当して頂き必要時に小児科当直医がコールを受ける形を継続した。

2018年度小児科外来患者数（乳児健診を含む）：
　27,042人（前年度比 -4.4%）
　（１日平均　111人）
2018年度小児科紹介率：
　47.2%（前年度：43.2%）
2018年度小児科逆紹介率：
　87.3%（前年度：83.2%）
2018年度救命救急センター受診者数（小児科）：
　9,037人（前年度比 -12.1%）
2018年度小児科入院患者数：
　1,152人（前年度比 -12.7%）
　（この内、救急外来からの入院：715人）
　（前年度比 -18.2%）
2018年度小児科病棟（10階西）入院患者平均在院日数：
　6.2日（前年度：6.6日）
2018年度小児科病棟（10階西）病床利用率：
　67.4%（前年度：72.4%）

2018年小児科入院患者の疾病内訳（主要疾患のみ､重複あり）

呼吸器疾患
　急性肺炎　　30人
　急性細気管支炎　93人
　急性喉頭炎　　11人
　百日咳　　1人

循環器疾患
　先天性心疾患（ASD・VSD・ファロー四徴症など）22人
　急性心不全　　4人（MR 2、その他 2）
　不整脈　　7人
　無脾症＋CHD　3人（前掲）

消化器疾患
　急性胃腸炎　73人
　（ロタウイルス感染症 10人・細菌性腸炎 6人を含む）

CD腸炎　1人
腸重積症　11人
炎症性腸疾患　2人（CD 0・UC 2）
肥厚性幽門狭窄症　3人
急性膵炎　0人
急性虫垂炎　0人
胆道拡張症／閉鎖症　1/0人

神経筋疾患
熱性けいれん　83人
てんかん　69人
けいれん群発　31人
けいれん重積　39人
無菌性髄膜炎　4人（ウイルス 4）
細菌性髄膜炎　1人（GBS）
胃腸炎関連けいれん　2人
急性脳症/脳炎　4人
（インフルエンザ 2、コクサッキーウイルス 1、不明 1）
硬膜下血腫　3人
顔面神経麻痺　0人
MELAS　1人
重症心身障害　64人（述べ入院数）
自閉スペクトラム症　17人

血液腫瘍疾患
特発性血小板減少性紫斑病　2人
血球貪食症候群　2人
脳腫瘍　5人
（松果体腫瘍 1/側頭葉腫瘍 1/頭蓋咽頭腫 2/IDA 1）
急性リンパ性白血病　2人
再生不良性貧血　0人
好中球減少症　2人
溶血性尿毒症症候群　1人

腎尿路疾患
尿路感染症　58人（内、AFBN 2）
膀胱尿管逆流症　9人
ネフローゼ症候群　4人（初発 3/再発 1）
急性糸球体腎炎　3人
間質性腎炎　0人
慢性腎炎　2人（IgA腎症 1/HSPN 1）
急性腎不全　7人

アレルギー・免疫疾患
気管支喘息（2歳以上）　140人
乳児喘息（2歳未満）　55人
川崎病　36人
血管性紫斑病（IgA血管炎）　2人
アナフィラキシー　16人
ミルクアレルギー　12人
食物負荷試験　19人

内分泌・代謝疾患
糖尿病1型　3人（初発 2人）
糖尿病2型　1人（初発 0人）
低血糖症　13人
甲状腺機能亢進症　2人
低身長検査　38人（内、GHD 17）
尿崩症　1人
骨・代謝疾患　1人（骨形成不全症）

感染症
RSV感染症　132人
ヒトメタニューモウイルス感染症　53人
突発性発疹症　10人
インフルエンザ　40人
ロタウイルス感染症　10人
アデノウイルス感染症　28人
ムンプス　0人
水痘　1人
EBウイルス感染症　10人
尿路感染症（再掲）　58人
急性中耳炎　35人（乳様突起炎　0人）
頚部リンパ節炎±膿瘍　11人
菌血症　10人
（肺炎球菌 4/大腸菌 2/GBS 2/Proteus mirabilis 1/MRSA 1）
骨・軟部組織感染症　10人
眼窩蜂窩織炎　1人
細菌性髄膜炎（再掲）　1人（GBS）

その他の疾患
薬物誤飲・中毒　12人
身体表現性障害　14人
虐待・ネグレクト　24人
摂食障害　12人
熱中症　1人
溺水　1人
気道異物　0人
消化管異物　2人
横紋筋融解症　0人
熱傷　5人
外傷　13人

●新生児科（2018年）

総入院数‥‥‥‥‥‥‥‥‥425
内新生児搬送‥‥‥‥‥‥‥ 46
内再入院数‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1

◆出生体重別
1000ｇ未満 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥1
1001 ～ 1500ｇ ‥‥‥‥‥‥‥‥9
1501 ～ 2000ｇ ‥‥‥‥‥‥‥ 29
2001 ～ 2500ｇ ‥‥‥‥‥‥‥ 87
2500ｇ以上 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 299

人工呼吸器管理‥‥‥‥‥‥‥ 28

●心臓外科（2018年度）

①　2018年度の方針・概要

2018年度も常勤医３名の体制でスタートしたが、10月より大学医局から派遣の医師が増員され、４名の体制となり、心大血管手術数も若干増加した。手術数の内訳としては虚血性心疾患の手術数が減少し、大動脈手術数はほぼ横ばい、心臓弁膜症手術数が増加した。右小開胸によるMICS手術数も11件と前年度５件から順調に増加している。

2018年度の当科部門「質」目標として、１．手術成績の安定化、２．入院日数の短縮、３．手術症例数の維持、４．常時緊急症例受入を上げていた。また、それぞれの方針に対して、１．定時手術死亡ゼロを目指す（目標値５％以下）、２．DPC入院期間I,IIでの退院比率70%以上、３．心大血管手術件数年120件（月10件）、４．緊急手術依頼の全例受入れを目指す（実質目標当院で８割以上の対応）ことを目標として設定していた。

2018年の心臓外科手術件数は総数119例、うち心臓大血管手術数116例であり、年間120例の目標はあと一歩であった。手術死亡９例のうち、待機手術症例は６例であり、待機手術97例の手術死亡は6.2%で目標に及ばなかった。DPC入院期間I,IIでの退院患者の比率は上半期55.5%、下半期36.0%と、いずれも目標達成できなかった。2018年度は術前に自己血貯血を行った患者がDPCを外れており、短い入院期間で退院が見込める、術前状態の比較的良好な患者が算定対象とならなかったことが影響しているものと考えられる。2018年度１年間の緊急手術適応症例は25例で、うち19例（76%）を当院で対応できたが、６例は当科手術中のため他院へ搬送となった。緊急手術適応症例の件数は年々増加傾向にあり、今後も可能な限り対応していく方針である。

②　手術統計

心臓大血管手術 2018年			手術件数	手術死亡
弁膜症				
単弁手術	大動脈弁置換術		22	2
	僧帽弁置換術		3	
	僧帽弁形成術		5	
二弁手術	大動脈弁置換術＋僧帽弁形成術		1	
	僧帽弁置換術＋三尖弁形成術		6	
	僧帽弁形成術＋三尖弁形成術		12	
	三弁手術二弁置換術＋三尖弁形成術		2	
虚血性心疾患				
人工心肺使用単独冠状動脈バイパス術			4	1
人工心肺非使用単独冠状動脈バイパス			21	
心筋梗塞合併症			1	
心臓腫瘍			1	
成人先天性心疾患			0	
その他の心臓手術			2	
胸部大動脈疾患				
大動脈解離	急性大動脈解離	上行置換	1	
		部分弓部置換	4	2
		全弓部置換	4	1
	解離性大動脈瘤	遠位弓部下行置換	1	
		全弓部置換	2	1
真性大動脈瘤	大動脈基部置換		2	
	上行置換		5	1
	部分弓部置換		1	
	全弓部置換		5	1
	胸腹部置換		1	
	TEVAR		7	
破裂性（仮性瘤・損傷）	仮性瘤切除・閉鎖		1	
	全弓部置換		1	
	上行部分弓部置換		1	
不整脈手術（他の心臓大血管手術と併施）			17	
合　計			116	9

●整形外科（2018年度）

1．2018年度のトピックス

2018年度は４月より常勤医３名、千葉大学からの新任派遣医２名で合計５名の体制となった。

５月から千葉大学から後期研修医１名が派遣され、10月31日まで研修を行った。

８月から脊椎専門医の新籾正明医師が着任し、脊椎脊髄センターを立ち上げることになった。腰椎の前方後方同時固定術、脊椎後弯に対しての腰椎骨切り術等の高度な技術を要する脊椎手術も日常的に手術時間の延長もほぼ無い状態で当院での実施が可能となった。脊椎手術件数は増加し、外保連手術指数も上昇した。

大腿骨近位部骨折に関しては従来通り骨接合術の適応症例は来院当日もしくは24時間以内の手術を行うことを目標とする方針を継続した。働き方改革も考慮し、夜間手術入室時間が日付を超えてしまう場合には翌日に持ち越しとすることにした。大腿骨転子部骨折は昨年とほぼ同数の手術件数があったが、大腿骨頚部骨折に関しては昨年100件の手術があったが、今年は69件と減少した。その他骨折手術に関して変動はない。

開放骨折などの緊急性を要する手術に関してはgolden hour内での手術を行っているが、手術室の制限もあり夜間の入室を余儀なくされる点が限られた人員の中でのマネジメントの問題となっている。

ISO質目標に基づいた振り返り

１　医療安全の強化

手術が夜間に及ぶことが多く、病院の主催する安全講習会の受講が困難なことからSafetyplusの受講を奨励した。最低４コースの受講を必須としたが、２名が目標に達することができなかった。

２　地域医療連携の推進

逆紹介率80%を目標とした。上半期は63.5%、下半期は75.9%、１年での通算では69.4%であった。

３　各部署のアウトカム指数の達成

骨粗鬆症による２次骨折の予防のため、橈骨遠位端骨折で来院した患者の中で60歳以上の女性に対して全例骨密度検査を行い、治療が必要な骨粗鬆症患者の早期発見を目標とした。

実施率は50%であった。

４　医師確保の推進

目標を１名としていたが、８月に新籾医師が常勤医として着任され、達成された。

2．診療実績

年間整形外科新患数　4,441人

手術症例　878件

1．骨折手術

鎖骨		3
上腕骨	頚部　ORIF	7
	人工骨頭	1
	骨幹部	2
	顆上	9（うち経皮ピンニング　8）
	顆部	10（うち小児外顆　1）
前腕	骨幹部	16
	橈骨遠位端	57
	橈骨頭　ORIF	3
	人工橈骨頭	4
	肘頭	5
手	手指	32
	骨性マレット指	6
	舟状骨	4
骨盤		9
大腿骨		
	転子部	111
	頚部　ORIF	17
	人工骨頭置換術	52
	転子下	6
	骨幹部	11
	顆上	2
	顆部	2
膝蓋骨		11
下腿骨	脛骨高原	7
	骨幹部	19
足関節		41
距骨		1
踵骨		7

足	2
抜釘	59

2．脊椎手術

頚椎　椎弓形成術	24
前方固定術	14
後方固定術	15
椎弓切除術	2
椎弓形成術＋後方固定術	5
血腫除去術	1
胸椎　前方固定術	1
後方固定術	12
椎弓切除術	2
経皮的椎体形成術	1
脊髄腫瘍切除	1
腰椎　椎弓切除術	7
椎弓形成術	2
髄核摘出術	5
後方固定術	32
前方固定術	5
前方後方同時固定術	13
後方固定術＋椎弓形成術	3
経皮的椎体形成術	4
骨切り術	1
仙骨　後方固定術	1

3．関節手術

股関節　大腿骨頭壊死　骨切り術	2

人工関節手術

人工股関節	40
人工膝関節	34（うちUKA15）
人工股関節再置換術	1
人工膝関節再置換術	1

関節鏡視下手術

半月縫合術	2
十字靭帯再建術	4
滑膜切除術	3
膝関節授動術	1
脱臼整復術　股	2

4．手の外科

腱縫合術	1
腱移行術	1
腱移植術	2
筋膜移植術	1
手関節形成術＋腱移行術	4
関節固定術	1
靭帯縫合	5
腱鞘切開	25
手根管開放術	51（OCTR39　ECTR 12）
神経移行術	8
神経剥離術	6
Dupuytren拘縮手術	1
月状骨周囲脱臼整復固定	1
断端形成術	1
化膿性腱鞘炎　デブリドマン	1

5．足の外科

アキレス腱縫合術	6

6．腫瘍

腫瘍切除	4
腫瘍生検	1

7．その他

感染症　（骨掻爬　切開･デブリ･持続洗浄など）	13
切断術　大腿切断	1
異物除去	2

●リハビリテーション科（2018年度）

2018年度　疾患別新規処方件数

	理学療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	819	17	836
頭部外傷	65	2	67
その他の脳疾患	205	10	215
脊髄損傷	30	6	36
神経筋疾患	46	4	50
運動器の疾患・外傷	685	270	955
呼吸器疾患	841	63	904
循環器疾患	1,101	172	1,273
小児疾患	83	46	129
がん	1,259	176	1,435
その他	540	40	580
小　計	5,674	806	
合　計	6,480		

	作業療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	721	38	759
頭部外傷	58	7	65
その他の脳疾患	125	17	142
脊髄損傷	35	4	39
神経筋疾患	28	5	33
運動器の疾患・外傷	241	162	403
呼吸器疾患	17	1	18
循環器疾患	120	9	129
小児疾患	0	10	10
がん	67	4	71
その他	33	64	97
小　計	1,445	321	
合　計	1,766		

	言語聴覚療法		
	入院	外来	小計
脳血管障害	587	11	598
頭部外傷	41	1	42
その他の脳疾患	96	3	99
神経筋疾患	25	3	28
がん	137	1	138
廃用症候群	47	0	47
摂食機能障害	899	5	904
音声障害	0	8	8
小　計	1,832	32	
合　計	1,864		

療法別業務年報

理学療法　2018年度

項　目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	延べ人数	年間実患者数
疾患別リハ単位合計	単	10,909	12,009	11,721	11,909	13,053	10,281	12,777	12,013	10,751	11,103	10,870	11,742	139,138	11,594.8	—	—
疾患別リハ実患者数	人	894	969	989	965	1,039	913	1,011	1,019	989	976	976	963	11,703	975.3	—	5,585
実患者数	人	1,005	1,086	1,114	1,097	1,160	1,056	1,140	1,135	1,097	1,071	1,095	1,098	13,154	1,096.2	—	6,396

脳血管リハ	件	1,819	2,100	2,151	2,098	2,492	1,665	2,304	1,931	1,989	2,184	2,017	2,223	24,973	2,081.1	23,256	1,447
	単	3,082	3,339	3,245	3,160	3,714	2,561	3,517	3,059	3,096	3,264	3,030	3,348	38,415	3,201.3		
廃用症候群リハ	件	509	543	632	701	829	822	863	888	710	800	885	740	8,922	743.5	7,615	567
	単	747	805	876	982	1,108	1,125	1,114	1,145	900	1,048	1,145	943	11,938	994.8		
運動器リハ	件	1,206	1,498	1,577	1,614	1,745	1,335	1,535	1,518	1,367	1,209	1,235	1,584	17,423	1,451.9	15,522	1,103
	単	2,022	2,474	2,555	2,495	2,635	2,074	2,444	2,292	2,036	1,803	1,778	2,261	26,869	2,239.1		
呼吸器リハ	件	883	909	867	1,044	1,205	1,001	1,037	1,087	955	1,294	1,327	1,224	12,833	1,069.4	11,243	889
	単	1,309	1,258	1,165	1,418	1,633	1,303	1,371	1,382	1,275	1,725	1,737	1,651	17,227	1,435.6		
心大血管リハ	件	1,432	1,704	1,409	1,346	1,365	1,021	1,532	1,520	1,314	1,266	1,343	1,421	16,673	1,389.4	14,594	1,170
	単	2,167	2,486	2,081	1,991	2,082	1,623	2,248	2,134	1,831	1,741	1,823	2,039	24,246	2,020.5		
がん患者リハ	件	1,186	1,262	1,409	1,434	1,423	1,189	1,566	1,525	1,253	1,210	1,112	1,222	15,791	1,315.9	13,468	1,128
	単	1,582	1,647	1,799	1,863	1,881	1,595	2,083	2,001	1,613	1,522	1,357	1,500	20,443	1,703.6		
早期リハ加算30日内	件	3,897	4,553	4,477	4,396	4,838	3,754	4,558	4,435	4,103	4,425	4,256	4,248	51,940	4,328.3	45,636	3,962
	単	5,947	6,734	6,400	6,167	6,816	5,284	6,411	6,106	5,661	6,007	5,746	5,892	73,171	6,097.6		
早期リハ加算14日内	件	2,514	2,842	2,775	2,667	3,064	2,315	2,877	2,754	2,639	2,630	2,378	2,643	32,098	2,674.8	28,262	3,832
	単	3,832	4,186	3,977	3,763	4,296	3,249	4,076	3,750	3,579	3,570	3,213	3,621	45,112	3,759.3		
評価／指導／採型	件	767	846	855	844	916	785	882	879	839	826	800	818	10,057	838.1	10,052	5,405
物療	件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
コストなし	件	515	527	577	618	507	539	483	429	423	398	436	516	5,968	497.3	5,886	1,580

作業療法　2018年度

項　目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	延べ人数	年間実患者数
疾患別リハ単位合計	単	3,408	3,753	3,719	3,670	3,900	2,935	3,792	3,617	3,228	3,390	3,027	2,753	41,192	3,432.7	—	—
疾患別リハ実患者数	人	305	314	298	309	304	283	332	323	310	308	284	277	3,647	303.9	—	1,688
実患者数	人	309	318	301	315	313	291	338	335	318	317	292	281	3,728	310.7	—	1,728

脳血管リハ	件	1,089	1,315	1,323	1,329	1,482	1,040	1,395	1,270	1,248	1,444	1,233	1,148	15,316	1,276.3	14,732	1,118
	単	2,003	2,199	2,218	2,267	2,379	1,673	2,318	2,191	2,025	2,372	2,078	1,780	25,503	2,125.3		
廃用症候群リハ	件	60	76	49	4	26	36	24	32	18	10	32	10	377	31.4	353	20
	単	109	120	77	8	37	69	34	47	22	11	53	11	598	49.8		
運動器リハ	件	422	531	512	496	482	468	522	540	506	407	412	500	5,798	483.2	5,659	456
	単	753	938	896	876	859	844	916	967	862	723	694	830	10,158	846.5		
呼吸器リハ	件	69	13	47	73	72	5	3	0	17	20	9	27	355	29.6	328	19
	単	139	13	105	141	139	9	4	0	32	34	11	38	665	55.4		
心大血管リハ	件	151	171	155	171	195	124	175	144	129	92	41	0	1,548	129.0	1,486	121
	単	278	306	276	282	293	215	298	240	209	149	73	0	2,619	218.3		
がん患者リハ	件	68	86	86	57	110	81	138	107	57	67	71	65	993	82.8	972	61
	単	126	177	147	96	193	125	222	172	78	101	118	94	1,649	137.4		
早期リハ加算30日内	件	1,153	1,378	1,438	1,332	1,438	990	1,408	1,340	1,283	1,149	955	1,008	14,872	1,239.3	14,263	1,283
	単	2,056	2,289	2,449	2,251	2,309	1,656	2,357	2,341	2,057	1,866	1,589	1,549	24,769	2,064.1		
早期リハ加算14日内	件	700	782	874	728	828	545	803	763	746	605	519	567	8,460	705.0	8,169	1,224
	単	1,221	1,307	1,445	1,245	1,334	902	1,335	1,292	1,160	960	853	846	13,900	1,158.3		
評価／指導／採型	件	103	115	116	127	130	94	135	129	113	112	101	109	1,384	115.3	1,384	824
その他	件	27	13	11	9	18	31	18	37	46	34	30	35	309	25.8	305	108

言語聴覚療法　2018年度

項　目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	延べ人数	年間実患者数
実施状況																	
疾患別リハ単位合計	単	774	1,017	1,004	957	1,033	678	887	866	944	895	898	962	10,915	909.6	—	—
疾患別リハ実患者数	人	105	129	142	136	144	117	143	117	126	131	115	113	1,518	126.5	—	948
実患者数	人	208	227	255	238	259	252	260	209	216	224	211	189	2,748	229.0	—	1,783
脳血管リハ	件	518	768	776	690	734	495	667	649	766	769	717	687	8,236	686.3	7,985	766
	単	624	891	837	805	855	551	775	738	868	831	807	812	9,394	782.8		
廃用症候群リハ	件	11	24	43	56	85	47	44	49	27	27	47	34	494	41.2	490	69
	単	13	27	48	64	97	49	49	52	28	29	49	34	539	44.9		
がん患者リハ	件	102	71	106	70	65	60	61	75	46	33	40	90	819	68.3	805	128
	単	137	99	119	88	81	78	63	76	48	35	42	116	982	81.8		
早期リハ加算30日内	件	363	619	614	531	523	373	474	522	576	514	474	516	6,099	508.3	5,889	759
	単	403	719	645	614	576	399	520	600	645	551	524	565	6,761	563.4		
早期リハ加算14日内	件	242	338	380	267	306	197	292	290	328	266	273	302	3,481	290.1	3,346	719
	単	261	388	399	298	323	216	318	326	358	290	300	322	3,799	316.6		
評価／指導／採型	件	12	15	13	10	11	12	11	7	6	2	5	4	108	9.0	108	85
摂食	件	275	235	263	180	163	225	212	179	145	141	161	160	2,339	194.9	2,339	337
コストなし	件	259	261	295	325	311	253	335	274	242	249	204	199	3,207	267.3	3,206	612

訪問リハビリ（介護保険）2018年度

	利用者数			延件数	訪問リハ1		加　算			減　算	合計単位数
	実数	新規	終了		実施回数	算定単位数	提供体制	リハマネⅠ	短期集中リハ	計画診療未実施	
4月	20	1	4	102	203	58,870	1,218	18回　4,140	20回　4,000	64回　-1,280	66,948
5月	15	0	3	81	162	46,980	972	14回　3,220	10回　2,000	36回　-720	52,452
6月	15	2	1	89	178	51,620	1,068	14回　3,220	16回　3,200	36回　-720	58,388
7月	19	6	2	111	221	64,090	1,326	19回　4,370	22回　4,400	46回　-920	73,266
8月	18	1	4	108	216	62,640	1,296	18回　4,140	38回　7,600	18回　-360	75,316
9月	15	1	3	78	155	44,950	930	15回　3,450	28回　5,600	0回　0	54,930
10月	14	1	2	93	186	53,940	1,116	14回　3,220	27回　5,400	6回　-120	63,556
11月	16	4	2	95	189	54,810	1,134	16回　3,680	32回　6,400	8回　-160	65,864
12月	15	1	3	58	170	49,300	1,020	15回　3,450	30回　6,000	2回　-40	59,730
1月	13	1	2	75	149	43,210	894	13回　2,990	18回　3,600	0回　0	50,694
2月	11	0	1	66	131	37,990	786	11回　2,530	4回　800	0回　0	42,106
3月	16	6	1	87	174	50,460	1,044	16回　3,680	10回　2,000	0回　0	57,184
合計	42 (延187)	24	28	1,043	2,134	618,860	12,804	183回　42,090	255回　51,000	216回　-4,320	720,434

2018年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実績報告書

事業実施期間	2018年4月1日～2019年3月31日
圏域	香取海匝　地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院
重点活動項目評価	①リハ・パートナー向けの研修会の開催 ⇒介護予防に関する研修会を開催した。 ②市町村一般介護予防事業への協力 ⇒旭市においては、個別地域ケア会議への参加、通いの場立ち上げ支援など、直接的な支援を行った。 匝瑳市においては、意見交換会への出席や、市内リハ職への参加要請など、間接的な支援を行った。

1　全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

ア　連絡協議会

・3月7日
参集範囲：圏域内地域包括支援センター、健康福祉センター、地域リハ・パートナー

イ　その他の会議

・香取海匝圏域 地域リハ・パートナー会議(年1回) 3月7日
・訪問リハ支援班会議（年２回）
第1回：9月8日、参加者：11名、内容：研修会の振り返り、次回研修計画など
第2回：1月26日、参加者：10名、内容：研修会振り返り、次年度計画など
・地域ネットワーク支援班会議（年４回）
第1回：5月8日、参加者：5名、内容：全体集会企画、マッチング活動企画など
第2回：7月3日、参加者：5名、内容：マッチング活動企画など
第3回：9月11日、参加者：4名、内容：マッチング活動企画など
第4回：1月31日、参加者：4名、内容：次年度計画など

②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

・旭市一般介護予防事業への支援
個別地域ケア会議：11月21日、1月30日、3月27日
介護予防サポーター養成講座(初級)：7月11日、参加者：9名
あさピー☆きらり体操全体会：11月6日、参加者：一般市民140名程度
住民主体の通いの場支援（16箇所、全30回）
すみれ会：4月18日
宿天神地区：4月17日、7月3日
袋地区：6月1日、9月14日
飯岡地区：6月26日、11月13日
江ヶ崎地区：8月30日、12月14日
瀬道地区：9月7日、12月21日
新町下町第一地区：10月11日、2月14日
干潟地区：10月12日、1月25日
大塚原地区：11月20日、2月12日
田町地区：11月26日、3月11日
新田町：5月14日
宮本区：4月26日、7月19日
西琴田：6月6日、10月3日
新町地区：7月5日、11月1日
広原西地区：9月6日、12月20日
塚前地区：9月21日、12月7日

・匝瑳市一般介護予防事業への支援
匝瑳市一般介護予防についての意見交換会：3月12日
匝瑳市いきいき百歳体操交流会：10月4日、参加者：一般市民70名程度

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

・リハビリ相談窓口の設置（ホームページ）
・香取保健所への相談支援
　リハビリテーション専門職による訪問相談事業（月1回）：
　　9月28日、10月30日、11月22日、12月26日、1月中止、2月26日、3月中止
　神経難病の講演会・情報交換会 講師：12月6日
・海匝地区ケアマネジャー連絡会 旭地区　講師派遣
　　『リハビリテーションの現状と今後について』：9月21日

④研修等の実施を通じた協働促進

・リハビリテーション講演会『がんのリハビリテーション現状と今後』：2月23日
　参加者：39名（対象：リハ職、介護職等）
・リハビリテーション研修会『知ろう！学ぼう！香取海匝地域の介護予防とリハ職の取り組み』：6月30日、参加者：60名（対象：リハ職・行政職等）
・訪問リハ支援班研修会（年2回）
　第14回『訪問リハビリの役割と効果について』：9月8日、参加者：54名（対象：医療・介護職等）
　第15回『どこに住むか？ｷﾞﾗﾝﾊﾞﾚｰ症候群の症例について考える』：1月26日、参加者：29名（対象：医療・介護職等）

2　圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧いずれかを記入↘
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（⑤　）内容：

・「障害者交流会 和希楽会」運営支援
　平成30年度和希楽会全体集会：6月10日
　　会場：八日市場小学校
　　内容：パラ・スポーツ体験
　　　地域の障がい者団体・サークル紹介
　和希楽会ニュース発行：第16号（9月）、第17号（3月）
　マッチング活動
　　障がい者ゴルフ：4月16日
　　飯高檀林散歩：4月21日
　　公園散歩：第1回：5月12日、第2回：10月27日＊雨天中止
　　サビキ釣り：第1回：4月15日、第2回：5月20日、第3回：6月17日
　　　第4回：8月19日、第5回：9月16日、第6回：10月21日
　　料理教室：11月11日
　　イチゴ狩り体験：2月16日

（⑥　）内容：

・旭市民生委員児童委員連絡協議会定期総会への講師派遣：4月20日
・旭中央病院祭りへのブース出展（体力測定・介護予防の取り組み紹介）：9月22日
・健康づくり出前講座『介護を必要とする体にならないために』
　袋ことぶき会（旭市）：10月6日
　いきいきげんき倶楽部（匝瑳市）：1月31日

（⑧　）内容：

・地域リハビリテーション出前講座
　香取市立第一山倉小学校：11月30日
　対象：５年生１クラス（16名）
　内容：車いすの正しい使い方、補助の仕方

・各種会議・研修会等参加
　平成30年度地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議
　　第1回：5月1日、第2回：3月13日
　平成30年度地域リハビリテーション広域支援センター担当者意見交換会
　　第1回：5月1日、第2回：8月3日、第3回：11月8日
　平成30年度第2回千葉県地域リハビリテーション協議会：3月13日
　第12回地域リハビリテーションフォーラム：2月16日
　平成30年度介護予防従事者研修
　　第1回：8月3日、第2回：12月21日
　旭市 在宅医療・介護連携推進事業　多職種連携研修会：11月28日
　平成30年度地域リハビリテーション調整者養成研修会：12月13日

●脳神経外科（2018年）

2018年所属スタッフは、唐沢秀治（-2018.3.31）、渡辺三郎、大屋滋、持田英俊、山本邦厚、鈴木孝典（2018.4.1-）、喜古一成（2018.4.1-）、田坂研太（-2018.9.30）

地域の中核病院として、救急医療を実施した。高度な脳神経外科治療に取り組み、特に脳血管内治療の件数が増加した。看護師と協力し患者さんの安全と権利擁護に向けた取り組みを行った。地域の医療機関のみならず、介護・福祉機関との連携に努めた。

船橋市立医療センター脳神経外科と連携し、日本専門医研修プログラムの基幹施設として、専門医の教育を行った。

手術実績　2018.1.1-12.31

大分類	小分類	件数
脳腫瘍	⑴　摘出術	41
	⑵　生検術	2
	⑶　経蝶形骨洞手術	5
	⑷　広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	0
	⑸　その他	1
脳血管障害	⑴　破裂動脈瘤	20
	⑵　未破裂動脈瘤	14
	⑶　脳動静脈奇形	0
	⑷　頸動脈内膜剥離術	0
	⑸　バイパス手術	5
	⑹　高血圧性脳内出血	
	・開頭血腫除去術	14
	・定位手術	4
	⑺　その他	16
外傷	⑴　急性硬膜外血腫	7
	⑵　急性硬膜下血腫	18
	⑶　減圧開頭術	0
	⑷　慢性硬膜下血腫	126
	⑸　その他	1
水頭症	⑴　脳室シャント術	25
	⑵　内視鏡手術	0
	⑶　その他	6
機能的手術	・脳神経減圧術	12
血管内手術	⑴　動脈瘤塞栓術	
	・破裂動脈瘤	17
	・未破裂動脈瘤	29
	⑵　動静脈奇形	
	・脳	11
	・脊髄	0
	⑶　閉塞性脳血管障害 ステント無し	35
	・ステント無し	35
	・ステント使用	43
	⑷　その他	17
その他	上記の分類すべてに当てはまらない	12
合　計		481

●形成外科（2018年）

１：１年間のトピックス：

これまでに引き続き、形成外科疾患一般領域に関して広く診療を行っています。現在、私費診療である美容外科は行っておりません。

当院形成外科の特徴として、マイクロサージェリーを中心とした先進的な医療を行っています。糖尿病の重度潰瘍、骨・腱が露出する重度外傷、乳癌など悪性腫瘍切除後の再建などに際して、遊離複合組織移植を行い、良好な成績を収めています。

その他、乳腺外科設立以降、インプラントを用いた乳房再建術を継続しており、感染率など合併症発生率の低い良好な成績を収めています。

糖尿病の下肢病変の治療は、中央手術室での治療が必要な事が多く、可能な限り下肢温存することを目指しています。しかし、糖尿病に伴う血管硬化が進行するなど重症の場合、全身状態を鑑みて戦略的な患肢切断を行う事があります。

褥瘡や足潰瘍など地域のケアや予防策を含めた総合的な医療活動が必要と考えられます。これまで以上に他科・地域との連携を強化し、旭中央病院および東総地区に益するような形成外科を目指しております。

２：診療実績（2018年１月～12月）

・マイクロサージェリー関連手術：　26件
・リンパ管静脈吻合術：　15件
・糖尿病性足壊疽関連手術：　32件
・乳房再建関連手術：　17件

●産婦人科（2018年）

1年間のトピックス

① 医療の質の向上

・産婦人科手技の理解と習得…レクチャーとスキルセンターを利用した実技演習を行った。

レクチャー：

胎児心拍数モニタリングの判読と管理法

婦人科手術ガイダンス

スキルセンター：

鉗子分娩・吸引分娩・肩甲難産の対応・骨盤位経腟分娩介助法

・医療事故防止マニュアルに沿った医療事故防止レクチャー

② 地域への貢献

・東総産婦人科医会を開催

③ 人材の確保と育成

・毎週早朝カンファレンスおよび月曜日午後カンファレンスの開催

症例検討会　手術前・後カンファレンス

【診療統計】（外来、入院、分娩、手術件数等）			
婦人科手術統計			2018年
良性腫瘍	子宮筋腫、腺筋症	腹式単純全摘	67
		腟式単純全摘	0
		筋腫核出	12
		全腹腔鏡下子宮全摘	8
	付属器腫瘤（良性）	開腹	17
		腹腔鏡	40
悪性腫瘍	CIS、異形成	円錐切除術	40
		全摘	3
	子宮頸癌	広汎	3
		準広汎	1
		単純	2
	子宮体癌	広汎	0
		準広汎	4
		単純（拡大含む）	34
	複雑型子宮内膜異型増殖症	腹式単純全摘	8
	卵巣（卵管、腹膜）癌		12
位置異常	子宮脱	VTH＋腟壁形成（＋腟断端挙上術）	29
		閉鎖術	1
異所性妊娠		開腹	3
		腹腔鏡	6

産科手術統計	帝王切開	予定手術	127
		緊急手術	92
	頚管縫縮手術		5
産科統計			
	分娩数（出産児数）		921
	双胎		36
	DD		26
	MD		10
	MM		0
	品胎		0
	帝王切開（再掲）	予定手術	127
		緊急手術	92
		計	219
	鉗子・吸引分娩		
		吸引	53
		鉗子	5
	経腟骨盤位		1
	早産児数		102
	異常による母体紹介		30

●眼　科（2018年度）

2018年４月に神田医師が就任し、年度開始は６人体制で開始となった。10月に本田医師が退職し５人体制となった。2019年３月末に向坂医師が退職となった。

外来業務は長年定時を越えての診療が日常化していたが、外来終了時間が2016年度は１日あたり平均が97分、2017年度は57分、2018年度は30分と短縮傾向を認めた。円滑な病診連携と眼科の事務を始めとするスタッフの絶え間ない努力の成果と思われる。

中央手術室で施行した手術件数は、1,660件となり前年度より41件の減少となった。上半期は139件／月で前年度を上回る件数であったが、医師が減員となった下半期は126件／月と減少した。医師の減少が直接地域医療へ影響が生じてしまったと思われ、今後の医師の補充を期待し待ち時間の極力無い医療適応が目指したいところである。ただ現在の新研修医制度では新規眼科医師および医局全体の絶対数の増加は見込めず、状況改善の期待は難しい状態である。現在も白内障待機期間が約６ヶ月になっているため解決の糸口を探している段階である。2018年10月より緑内障の線維柱帯切開術でab interno法を開始し、低侵襲で手術時間を短縮した手術が提供できるようなった。当院は研修医病院のため今までの古典的な線維柱帯切開術を症例により選択し、手術手技の教育水準を保つように努めた。

年間を通して、当科の前部長である稲用和也医師が顧問とし、難治症例の診断・手術治療を行い、東総地区の医療水準の高く維持することができた。

◆　医　師

顧問：稲用和也　部長：野本洋平　医長：向坂俊裕

医員：本田紘嗣（～９月）、新井隆浩、藤野亮介、神田 怜

◆　外　来

視能訓練士（ORT）（パート含）	10名
外来担当看護師	3名
看護補助員	1名
事務員（外来係）（パート含）	8名
〃　（診療支援係）	2名
外来診察室	6診

◆　病　棟

病床数	（11東病棟48床のうち28床）
病棟看護師	31名（正看護師30名　准看護師1名）
看護補助員	6名
病棟診察室	2診

2018年度　旭中央病院　眼科手術件数

内眼手術	PEA+IOL	1,143
	ECCE+IOL	1
	PPL/ＩＣＣＥ	0
	IOL2次挿入	3
	IOL縫着/整復	0
	PPV（膜）	139
	PDRope	11
	PVRope	13
	PPV	20
	網膜復位術	8
	lotomy	103
	lectomy	12
	GSL	16
	緑内障（その他）	1
	その他	4
	合計	**1,474**
その他	前後転術	7
	斜筋手術	1
	翼状片（江口法）	53
	眼球内容除去術	2
	涙道	43
	眼瞼その他	75
	その他	1
	合計	**182**
総合計		**1,656**

レーザー術	ALT	0
	LI	10
	YAG	151
	LK	1,533
	cycrophoto	0
	cryo	0
	その他	0
合　計		**1,694**

中央手術室【日帰り】手術件数

年月	白内障	白内障以外	合計
2018年4月	52	3	55
2018年5月	57	7	64
2018年6月	52	7	59
2018年7月	61	9	70
2018年8月	67	6	73
2018年9月	59	6	65
2018年10月	75	10	85
2018年11月	67	6	73
2018年12月	64	9	73
2019年1月	59	7	66
2019年2月	60	6	66
2019年3月	47	5	52
総合計	720	81	**801**

眼科入院患者数

主病名	件数
白内障	438
緑内障	133
網膜前膜、黄斑浮腫	38
黄斑円孔	28
網膜裂孔	1
裂孔原性網膜剥離、網膜剥離	60
増殖性糖尿病網膜症	13
増殖性硝子体網膜症	11
硝子体混濁	8
硝子体出血、網膜下出血、黄斑下出血	7
網膜分離症	1
眼球破裂	2
硝子体黄斑牽引症候群	6
霰粒腫、腫瘍、ヘルニア	4
斜視	10
涙器	2
翼状片	7
眼瞼	24
眼内炎	3
視神経炎	1
自己免疫性視神経症	1
BVO、CVO、網膜細動脈瘤	2
強膜裂傷	1
角膜異物、角膜裂傷	1
角膜潰瘍	5
サイトメガロウイルス網膜炎	1
原田病	5
総入院件数	**813**

●耳鼻咽喉科（2018年度）

【認定施設】日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医研修施設

【スタッフ（2018年度末時点）】

常勤医師

部長　大戸 弘人：日本耳鼻咽喉科学会専門医

主任医長　小林 麻里：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医、日本めまい平衡医学会めまい相談医、医学博士

主任医員　武富 弘敬：日本耳鼻咽喉科学会専門医

医員　白木 雄一郎

臨時医員　近澤 仁志、濱 孝憲、志村 英二、長岡 真人

看護師　武内 ふみ、髙品 能里子、北見 麻里

看護補助員　斎藤　英子

外来事務　正職員：向後裕子、岩田祐子

臨時職員：伊藤悠佳

嘱託職員：加瀬彩香

病棟事務：加瀬友理

診療支援：山本典子

１．１年間のトピックス

昨年度と同様に常勤医４人、非常勤医３名の体制で診療にあたった。

常勤医においては、10月に平林源希医師が異動となり大戸弘人医師が赴任した。12月に安藤裕史医師が異動し白木雄一郎医師が赴任した。それに伴い部長が安藤医師から大戸医師に変更となった。

非常勤医師においては、５月に清野洋一医師から長岡真人医師に変更となった。

昨年度と同様に耳鼻咽喉科疾患領域に関して広く診療を行った。その上で、頭頸部癌領域の診療の強化を図った。

まずは、抗がん剤治療の充実に着手した。さらに他施設との連携を強化し、術後抗がん剤治療や緩和抗がん剤治療を当院で行えるように整備し、患者さん、患者さんご家族の負担を減らすことに努めた。

今後も近隣の耳鼻咽喉科が少ないことを踏まえ、耳鼻咽喉科疾患領域の診療の継続はもちろん、頭頸部癌領域のさらなる強化を目指していく。

２．診療実績

表１　外来担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前	初診：武富	予約：武富	初診：武富	初診：武富	予約：武富	
	初診：小林	初診：小林	予約：小林	初診：小林	初診：大戸	
	予約：長岡	初診：大戸	予約：濱/志村	予約：大戸	予約：近澤	
	初診：大戸	予約：白木	予約：大戸	予約：白木	初診：白木	
	初診：白木	初診：交代制	初診：白木	初診：交代制	初診：交代制	
午後	手術	予約：武富	手術	予約：武富	手術	
		予約：大戸		予約：大戸		
		予約：白木		予約：白木		

表２　2018年度耳鼻咽喉科入院数・外来数

	入院数
2018年　4月	49
5月	42
6月	37
7月	39
8月	42
9月	32
10月	27
11月	32
12月	36
2019年　1月	28
2月	33
3月	34
計	431
月平均	35.9

	新患数	再診数	計
2018年　4月	441	1,183	1,624
5月	414	1,262	1,676
6月	420	1,250	1,670
7月	452	1,261	1,713
8月	460	1,352	1,812
9月	409	1,139	1,548
10月	476	1,277	1,753
11月	464	1,364	1,828
12月	416	1,289	1,705
2019年　1月	401	1,167	1,568
2月	443	1,202	1,645
3月	595	1,207	1,802
計	5,391	14,953	20,344
月平均	449.3	1,246	1,695.3

表３　2018年度耳鼻咽喉科手術件数

	手術件数
耳科手術	**計69件**
鼓室形成術	11
鼓膜チューブ挿入術	37
先天性耳瘻管摘出術	8
鼓膜形成術	4
乳突削開術	7
アブミ骨手術	1
外耳道異物除去術	1
鼻科手術	**計177件**
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	106
鼻中隔矯正術	32
鼻甲介切除術	34
経鼻腔的翼突管神経切除術	4
鼻骨変形治癒骨折矯正術	1
口腔咽喉頭手術	**計92件**
扁桃摘出術（アデノイド含む）	62
扁桃周囲膿瘍切開術	20
喉頭異物摘出術	1
顕微鏡下喉頭微細手術	9
頭頸部手術	**計58件**
気管切開術	16
気管孔閉鎖術	1
舌悪性腫瘍手術	1
口腔底腫瘍手術	1
喉頭全摘出術	1
甲状腺良性腫瘍手術	5
甲状腺悪性腫瘍手術	2
耳下腺良性腫瘍手術	10
耳下腺悪性腫瘍手術	1
顎下腺良性腫瘍手術	14
顎下腺悪性腫瘍手術	1
頸部郭清術	1
頸部膿瘍切開排膿術	1
リンパ節生検	13

●皮膚科（2018年度）

当科外来は２号館２階にある。５つの診察室と処置室、１つの小手術室で診療を行っている。常勤医３名、毎月１～２名の研修医、看護師３名、看護助手１名、事務４名の体制で診療が行われた。2017年度から2018年度にかけて人員の移動はなかった。

昨年度と同様、千葉大学医学部付属病院皮膚科から週２回医師の外来診療の協力を仰いだ。

午前中は予約なしの外来診療、午後は外来予約診療、パッチテストなどの特殊検査や小手術を行っている。外来診療は季節により差があるが、今年度、１日平均外来患者数は93人であった。

火曜日の午後は中央手術室にて手術を行っている。

2017年７月から院内の救急外来にて卒後６年目以上の医師は診療医として診療を行っている。

外来手術は当科外来の小手術室で１日数件程度施行された。患者の同意が得られれば、正しい臨床診断のために積極的に皮膚生検を行い、患者の気にしている腫瘍性病変もできる限り傷が目立たないように摘出している。

外来処置、外来手術件数は表２の通りである。皮膚悪性腫瘍の再建困難症例や難治性皮膚潰瘍、壊死性筋膜炎などは形成外科に紹介している。

入院手術件数、皮膚科入院実績については表の通りである。

表１　月別　外来患者数／日

4月	86
5月	94
6月	96
7月	109
8月	115
9月	88
10月	105
11月	91
12月	88
1月	81
2月	73
3月	87

表２　外来処置・手術件数

いぼ冷凍凝固術	1691
皮膚腫瘍冷凍凝固術	59
陥入爪手術	13
鶏眼・胼胝処置	292
軟属腫摘出術	96
皮膚科光線療法・中波紫外線	70
長波紫外線療法	1
皮膚腫瘍摘出術	295
皮膚悪性腫瘍切除術	19
稗粒腫摘出術	12
ガングリオン穿刺	16
爪甲除去術	51

表３　入院手術件数

皮膚悪性腫瘍単純切除術	85
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部、非露出部を含む）	14
全層植皮術	49
分層植皮術	2
皮弁作成術	6
デブリードマン	1
合　　計	157

表４　皮膚科入院実績

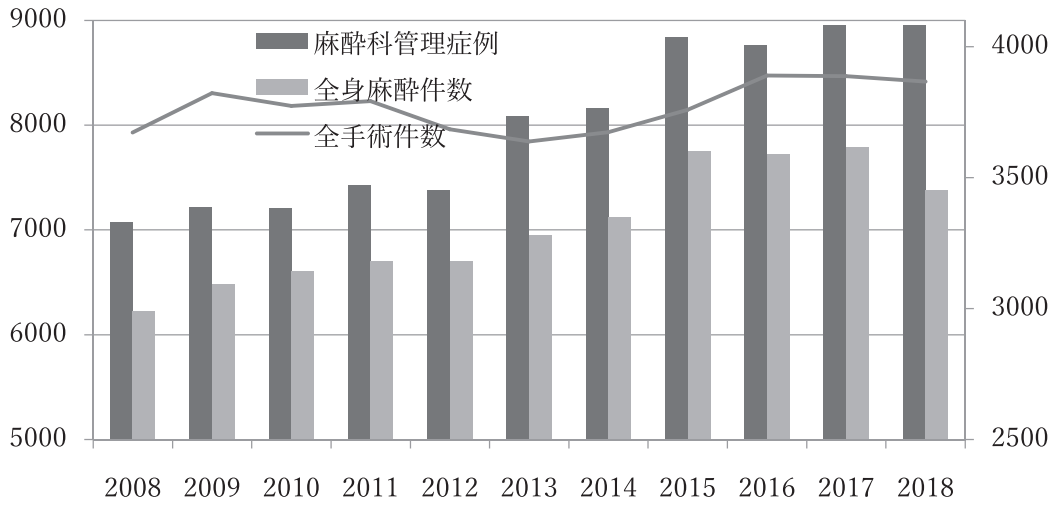
4月	18
5月	4
6月	8
7月	21
8月	13
9月	10
10月	12
11月	9
12月	10
1月	6
2月	10
3月	9

表５　パッチテスト件数

金属	20	その他2件、他テストと合わせて実施
パッチテストパネル	9	その他1件、他テストと合わせて実施
薬剤	5	
合　計	34	

●麻酔科・中央手術室（2018年度）

2018年度麻酔科所属スタッフは、岡　龍弘、小銭健二、青野光夫、平林和也、中山理加、室内健志、長谷川まどか、和田晶子の８人と歯科麻酔認定医の小島佑貴の計９人で構成、手術室における麻酔以外にも、ペインクリニック外来（２回/週）、周術期麻酔科外来（２回/週）を行っている。2018年２月より小島先生を、2018年４月より室内先生をスタッフとして迎えた。2018年度は非常勤麻酔科医が大幅に減少したが、新スタッフのおかげもあり、ほぼ前年並みの数の麻酔科管理手術を行うことができた。室内先生は、ヨーロッパ区域麻酔学会認定専門医、日本区域麻酔学会認定医で、エコーガイド下末梢神経ブロックのエバンジェリストとして活躍しており、多くの大学の麻酔科学教室で末梢神経ブロックの指導をしている。当院でも最近、手術麻酔、術後鎮痛のために、エコーガイド下でのブロックを含む末梢神経ブロックが大幅に増えている（2017年度：25件、2018年度：236件）。2018年度の手術件数については、図１および表１、表２参照。



（図 1）

（表１）手術件数・麻酔件数

平成30年度　　**手術件数・麻酔件数**　　中央手術室

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手術件数合計		642	677	682	704	800	653	801	734	719	656	626	723	8,417
定時手術件数		459	466	497	519	598	497	614	537	495	467	482	528	6,159
臨時手術件数		183	211	185	185	202	156	187	197	224	189	144	195	2,258
臨時手術の内訳	救急からの緊急	(34)	(30)	(28)	(32)	(46)	(40)	(23)	(35)	(31)	(30)	(17)	(29)	(375)
	時間内開始終了	96	118	92	96	105	73	86	109	123	97	83	99	1,177
	時間内開始～時間外延長	41	41	45	44	46	39	46	40	52	45	26	47	512
	時間外開始	46	52	48	45	51	44	55	48	49	47	35	49	569
定時の時間外延長		64	67	73	84	88	71	107	82	78	80	68	66	928
	時間外開始	(3)	(4)	(6)	(7)	(5)	(5)	(7)	(4)	(9)	(8)	(3)	(3)	(64)
※時間外の合計		151	160	166	173	185	154	208	170	179	172	129	162	2,009
全麻件数		270	255	291	286	334	250	326	306	308	285	251	291	3,453
腰麻件数		155	157	156	151	188	175	192	171	168	151	150	177	1,991
硬麻件数		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
局麻件数		176	227	190	216	216	194	228	208	184	180	188	207	2,414
静麻件数		39	34	43	45	56	29	51	45	53	38	34	44	511
無麻件数		2	3	2	6	6	5	4	3	6	2	3	4	46
感染症		24	23	26	34	39	27	39	45	33	29	25	30	374
稼働日数		20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244

全麻件数		270	255	291	286	334	250	326	306	308	285	251	291	3,453
	全麻＋硬麻	(114)	(93)	(125)	(109)	(123)	(91)	(133)	(119)	(115)	(108)	(81)	(119)	(1,330)
硬麻件数		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
腰･局･静麻 麻酔科依頼		54	36	48	51	70	38	61	65	57	49	44	55	628
	腰麻＋硬麻	(0)	(0)	(3)	(1)	(1)	(1)	(3)	(3)	(2)	(4)	(1)	(2)	(21)
麻酔科依頼件数合計		324	292	339	337	404	288	387	372	365	334	295	346	4,083
麻酔科依頼の割合		50.5%	43.1%	49.7%	47.9%	50.5%	44.1%	48.3%	50.7%	50.8%	50.9%	47.1%	47.9%	48.5%

救急ストップ		2	3	2	0	0	1	1	0	1	3	0	0	13

24時間以内の再手術件数		0	3	0	1	1	0	1	2	2	2	2	4	18

（表２）科別手術件数

平成30年度　　**手術件数**　　中央手術室

	外科	整形外科	心臓外科	泌尿器（ESWL）		脳外科（脳血内）		産科	婦人科	耳鼻科	眼科（外来）		歯口科	皮膚科	形成外科	内科	神経科	麻酔科	小児科	合計（臨時）	
4月	140	69	9	129	(2)	32	(9)	17	35	26	119	(0)	9	6	22	1	28	0	0	642	(183)
5月	142	69	10	133	(2)	46	(10)	10	33	27	147	(0)	13	13	18	0	15	1	0	677	(211)
6月	158	61	10	154	(2)	34	(10)	13	38	22	134	(0)	10	6	16	0	26	0	0	682	(185)
7月	147	57	15	150	(5)	45	(12)	15	25	20	147	(0)	4	13	33	0	32	1	0	704	(185)
8月	180	74	7	161	(6)	45	(16)	24	39	29	151	(0)	11	12	33	0	34	0	0	800	(202)
9月	137	61	11	144	(5)	37	(11)	22	40	11	136	(0)	7	8	25	1	13	0	0	653	(156)
10月	162	88	10	170	(4)	47	(18)	21	48	16	158	(0)	8	10	32	1	30	0	0	801	(187)
11月	154	81	13	151	(1)	36	(13)	24	43	16	134	(0)	5	8	38	1	28	2	0	734	(197)
12月	143	83	8	154	(6)	45	(19)	18	44	22	127	(0)	7	7	27	0	34	0	0	719	(224)
1月	143	70	9	138	(2)	50	(8)	16	45	17	108	(0)	8	8	21	0	22	1	0	656	(189)
2月	120	71	5	142	(3)	29	(11)	17	33	22	122	(0)	11	8	24	0	22	0	0	626	(144)
3月	149	94	10	165	(4)	36	(6)	20	33	25	105	(0)	13	10	30	0	33	0	0	723	(195)
合計	1,775	878	117	1,791	(42)	482	(143)	217	456	253	1,588	(0)	106	109	319	4	317	5	0	8,417	(2,258)

●歯科・歯科口腔外科（2018年度）

2018年度の方針･概要（ISO質目標に基づいた振り返りなど）

【2018年度「質」目標】

① 医療安全の強化

【目標値】医療安全体制の強化

【主な活動】・チームSTEPPSへの積極的参加

・関係各科、他職種との情報共有

② 地域医療連携を維持する

【目標値】紹介率・逆紹介率共に80%以上

【主な活動】・歯口科定例会の開催

・歯口科医員も歯科医師会の行事に参加する

③ 手術件数の件数拡大

【目標値】年間手術件数130件以上

【主な活動】・口外認定医・専門医は20件以上の手術執刀か手術患者を担当する

・認定医・専門医の育成

④ 医師確保の促進

【目標値】研修医２名の確保

【主な活動】・研修医枠を拡大（２名から３名へ）学会活動を通じて歯口科を認知させる

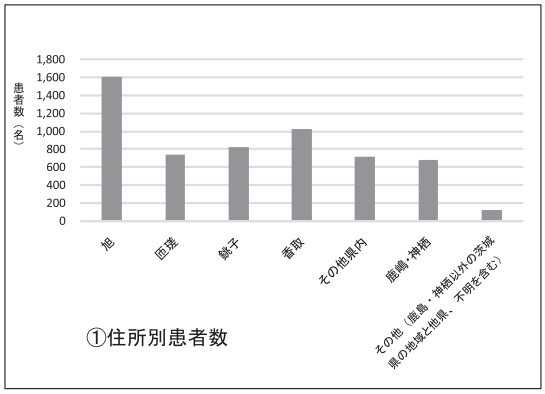
当科の2018年度の質目標である“地域医療連携の維持”として、例年どおり、第15回歯口科定例会を開催し、「紹介“難”症例報告」をテーマに、治療に難渋した症例や初診時から診断が変わった症例をはじめ、MRONJなどの難治症例を報告した。衛生士会からの参加もあり、参加人数は66名と例年よりやや多かった。また、紹介率は78.8%、逆紹介率67.8%と例年通りと、地域医療連携は維持できている。

手術件数に関しては、適応症例の減少から110件と例年通りとなり、目標に到達しなかったため、ひきつづき、目標にむけて活動していく。周術期口腔ケアに関しては、医局会等による医師、看護師へのアナウンスにより、依頼件数は増加し、昨年度の初診1,128件（再診6,054件）に対して、1,483件（再診7,212件）と31.5%増となった。周術期センターは週５日体制となり、さらに、対象科・対象疾患の拡大が予想されるため、歯科医師、歯科衛生士ともにより万全の態勢を整え、対応していく。

医師確保の促進として、近年の合格率の低下（2018年64.5%）から研修医募集枠を２名から３名に拡大し、内定者全員が国家試験に合格したため、３名の研修医を確保できた。

①住所別患者数

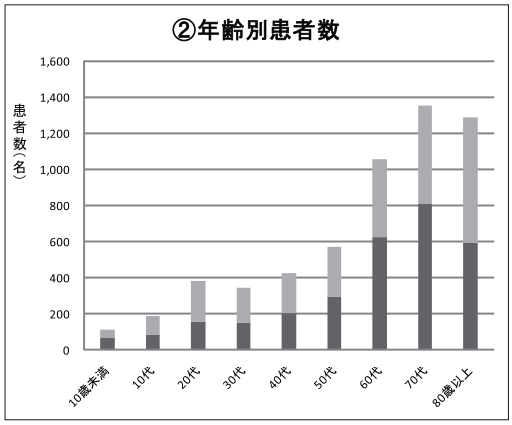
住　　所	患者数（名）
旭	1,611
匝瑳	739
銚子	827
香取	1,030
その他県内	719
鹿嶋・神栖	679
その他（鹿島・神栖以外の茨城県の地域と他県、不明を含む）	116
計	5,721



①住所別患者数

②年齢別患者数

年　　齢	男　性	女　性	患者数（名）
10歳未満	70	42	112
10代	87	100	187
20代	157	228	385
30代	151	195	346
40代	206	221	427
50代	296	273	569
60代	626	430	1,056
70代	809	544	1,353
80歳以上	590	696	1,286
計	2,992	2,729	5,721



③紹介患者内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
総受診者数	449	501	505	428	490	385	504	472	450	504	492	541	5,721	
院内依頼	244	305	310	242	282	250	308	290	265	299	254	236	3,285	57.4%
（外来）	100	133	126	98	130	116	119	128	115	118	105	120	1,408	
（入院）	144	172	184	144	152	134	189	162	150	181	149	116	1,877	
院外依頼	159	153	154	147	156	109	163	144	150	163	167	199	1,864	32.6%
（歯科）	143	140	144	138	143	105	156	135	139	151	153	182	1,729	
直接	36	35	39	37	45	23	32	37	32	37	68	99	520	9.1%
救急	6	2	1	1	5	3	1	0	2	2	3	2	28	0.5%
職員	4	6	1	1	2	0	0	1	1	3	0	5	24	0.4%

紹介	5,149	90.0%
直接	572	10.0%
計	5,721	100.0%

④有病者別患者数

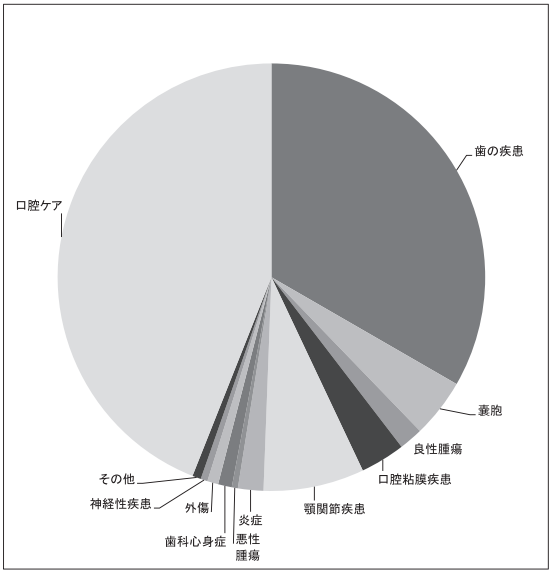
受診者数	5,721
有病者数	3,770

（有病者率：65.9%）

⑤疾患数（延べ数）

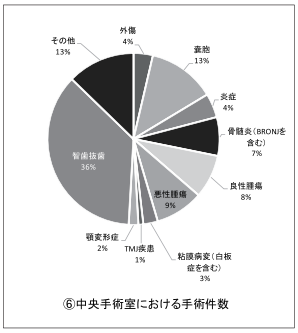
疾患数（延べ数）の内訳

疾患名	計
歯の疾患	2,046
嚢胞	273
良性腫瘍	111
口腔粘膜疾患	208
顎関節疾患	468
炎症	118
悪性腫瘍	28
歯科心身症	64
外傷	51
神経性疾患	32
その他	40
口腔ケア	2,700
合計	6,139



⑥中央手術室における手術件数

手術内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外傷	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	4
嚢胞	1	0	3	0	1	2	1	1	0	3	1	1	14
炎症	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	5
骨髄炎（BRONJを含む）	1	2	0	0	1	0	0	1	1	0	2	0	8
良性腫瘍	1	1	2	0	1	0	1	0	2	0	0	1	9
悪性腫瘍	2	2	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	10
粘膜病変（白板症を含む）	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
TMJ疾患	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
顎変形症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
智歯抜歯	2	4	4	1	5	4	1	2	3	3	4	7	40
その他	1	3	1	1	2	1	1	0	0	1	2	1	14
計	9	13	11	4	11	7	9	5	7	10	10	14	110



⑥中央手術室における手術件数

●泌尿器科（2018年）

手術統計（2018年1月～12月）同時複数手術含む

臓器・疾患・手術名	症例数
副　腎	
腹腔（後腹膜）鏡下副腎摘出術	2
副腎（副腎腫瘍）摘出術（開腹術）	1
腎・尿管	
腎　癌	
腹腔鏡下腎摘除術	22
根治的腎摘除術（開腹術）	5
腎部分切除術（ダ・ヴィンチ）	15
腎盂癌・尿管癌	
腹腔鏡下腎尿管全摘除術	12
腎尿管全摘除術（開腹術）	4
良性疾患	
腹腔鏡下腎摘除術	2
腎摘除術（開腹術）	3
腹腔鏡下腎盂形成術	1
経尿道的尿管狭窄拡張術	2
PNL	10
f-TUL・TUL	274
TUL&PNL	2
ESWL	39
尿管鏡検査	67
その他	7
膀　胱	
膀胱癌	
膀胱全摘（回腸導管）	16
膀胱全摘（尿管皮膚瘻）	1
膀胱全摘（ダ・ヴィンチ）	1
TUR-BT	254
良性疾患	
TUVL	43
膀胱水圧拡張術	14
膀胱生検	13
尿膜管摘出術	3
その他	6

臓器・疾患・手術名	症例数
前立腺	
前立腺癌	
前立腺全摘除術（ダ・ヴィンチ）	36
前立腺全摘除術（開腹術）	27
前立腺生検	599
良性疾患	
TUR-P	42
TUEB	38
その他	2
尿道・陰茎	
尿道狭窄内視鏡手術	18
尿道脱・カルンクル切除術	2
陰茎悪性腫瘍手術	1
包茎手術（環状切除・背面切開）	12
その他	7
精巣・精索	
高位除睾術	10
除睾術	28
精巣固定術	10
陰嚢水腫根治術	18
精索捻転手術	7
その他	1
その他	
鼠径ヘルニア根治術	4
リンパ節郭清術（後腹膜・骨盤）	4
骨盤腹膜外膿瘍切開排膿術	5
CAPDカテーテル留置・抜去	7
その他	13
計	**1,710**

●神経精神科（2018年度）

入退院（2018年度）

年度	新入院件数	退院件数
1965	91	36
1970	204	195
1975	224	218
1980	212	210
1985	293	278
1990	282	282
1995	313	319
1996	340	335
1997	384	387
1998	358	356
1999	354	343
2000	349	357
2001	376	379
2002	334	330
2003	315	320
2004	323	316
2005	331	336
2006	228	273
2007	206	218
2008	184	201
2009	239	307
2010	247	286
2011	309	290
2012	314	336
2013	272	281
2014	290	288
2015	300	309
2016	284	283
2017	279	273
2018	269	270

2018年度　平均在院日数 49.8日

入院形態別　入院状況（2018年度、在院は2018年６月30日現在）

	在院患者数	%	新入院件数	%
任意入院	9	21.4	140	52.1
医療保護入院	33	78.6	120	44.6
応急入院	0	0	2	0.7
措置入院	0	0	2	0.7
緊急措置入院	0	0	5	1.9
その他	0	0	0	0
合　　計	42	100	269	100

疾病分類別　入院状況（2018年度、在院は2018年６月30日現在）

	在院患者数	%	新入院件数	%
F0：症状性・器質性	2	4.8	19	7.1
F1：精神作用物資性	0	0	6	2.2
F2：統合失調症	24	57.0	147	54.6
F3：気分（感情）障害	11	26.2	71	26.4
F4：神経症性	2	4.8	12	4.5
F5：生理：身体的要因	2	4.8	4	1.5
F6：人格障害	0	0	0	0
F7：知的障害	0	0	2	0.7
F8：心理的発達障害	0	0	1	0.4
F9：小児・青年期障害	0	0	4	1.5
G4：てんかん	0	0	1	0.4
その他	1	2.4	2	0.7
合　　計	42	100	269	100

ICD-10別受診状況

ICD-10	女		女集計	男		男集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
F0	53	44	97	48	64	112	209
F1	10	7	17	24	26	50	67
F2	412	16	428	441	18	459	887
F3	431	61	492	299	42	341	833
F4	312	80	392	155	49	204	596
F5	39	11	50	28	2	30	80
F6	15	3	18	9	1	10	28
F7	22	14	36	45	29	74	110
F8	42	17	59	132	53	185	244
F9	32	20	52	89	24	113	165
G3	5		5	2		2	7
G4	139	1	140	153	5	158	298
その他	26	4	30	17	4	21	51
総　　計	1,538	278	1,816	1,442	317	1,759	3,575

地域別受診状況

地　　域	女		女集計	男		男集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
旭市	475	88	563	408	97	505	1,068
銚子市	189	55	244	209	42	251	495
匝瑳市	193	30	223	207	48	255	478
香取市	181	37	218	169	49	218	436
香取郡	116	13	129	116	30	146	275
神栖市	49	3	52	55	5	60	112
山武郡	106	17	123	74	15	89	212
千葉県その他	64	13	77	74	16	90	167
山武市	111	16	127	94	10	104	231
鹿嶋市	23	2	25	19		19	44
茨城県その他	15	1	16	9	3	12	28
東京都	9	1	10	6	1	7	17
その他県外	7	2	9	2	1	3	12
総　　計	1,538	278	1,816	1,442	317	1,759	3,575

年代別受診状況

年　　齢	女		女集計	男		男集計	総計
	再診	初診		再診	初診		
0－9	18	18	36	70	42	112	148
10－19	134	65	199	191	64	255	454
20－29	130	25	155	105	22	127	282
30－39	189	26	215	162	21	183	398
40－49	258	25	283	239	28	267	550
50－59	258	19	277	260	27	287	564
60－69	255	32	287	223	43	266	553
70－79	181	28	209	138	35	173	382
80－89	98	36	134	50	34	84	218
90－99	16	3	19	3	1	4	23
100－109	1	1	2	1		1	3
総　　計	1,538	278	1,816	1,442	317	1,759	3,575

●救命救急センター（2018年度）

外来部門

【1】受診数等

入院率　約15.2%

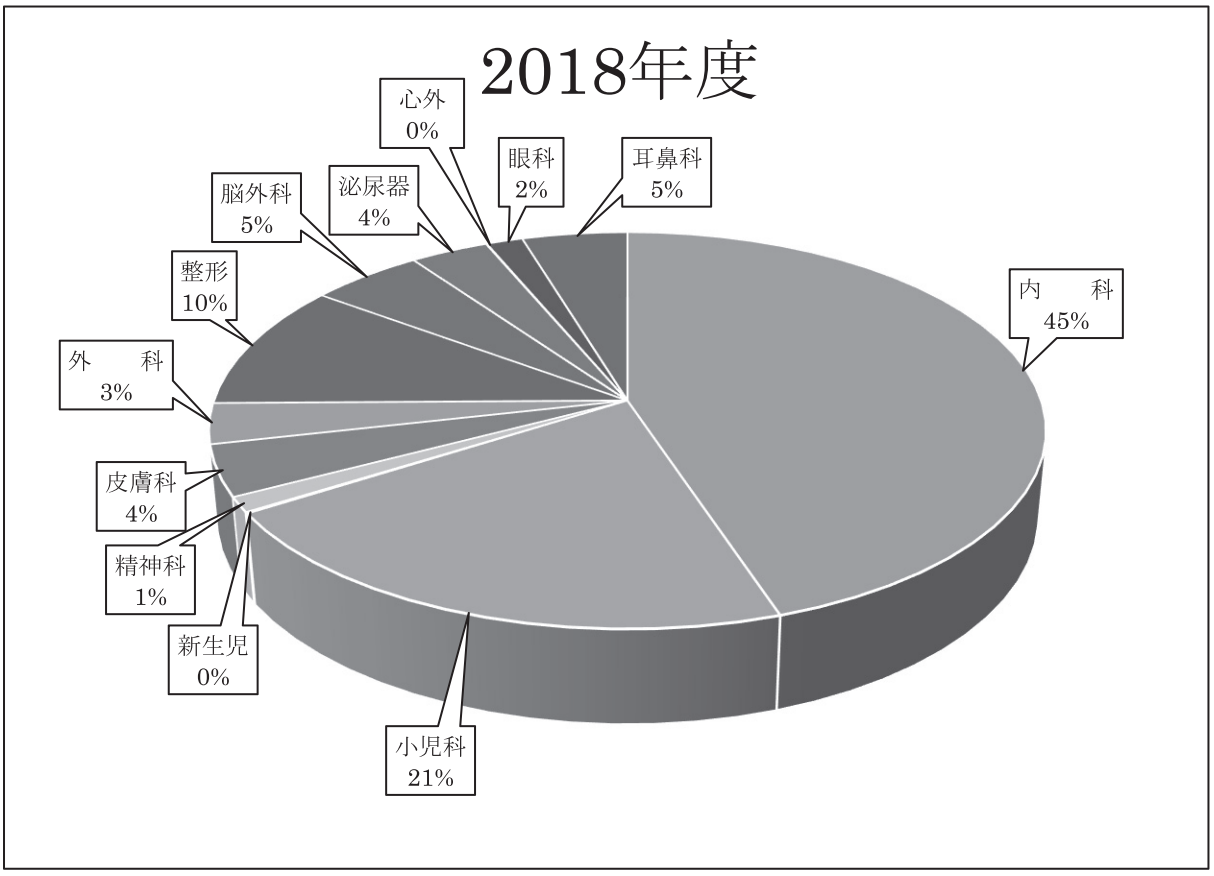
年　　度	2018年度	2017年度
受 診 数	46,741	47,559
入 院 数	7,098	7,206
紹 介 数	3,026	3,143
救 急 車	7,731	7,563
手　　術	341	313
外来死亡	208	186

【2】診療科別受診数

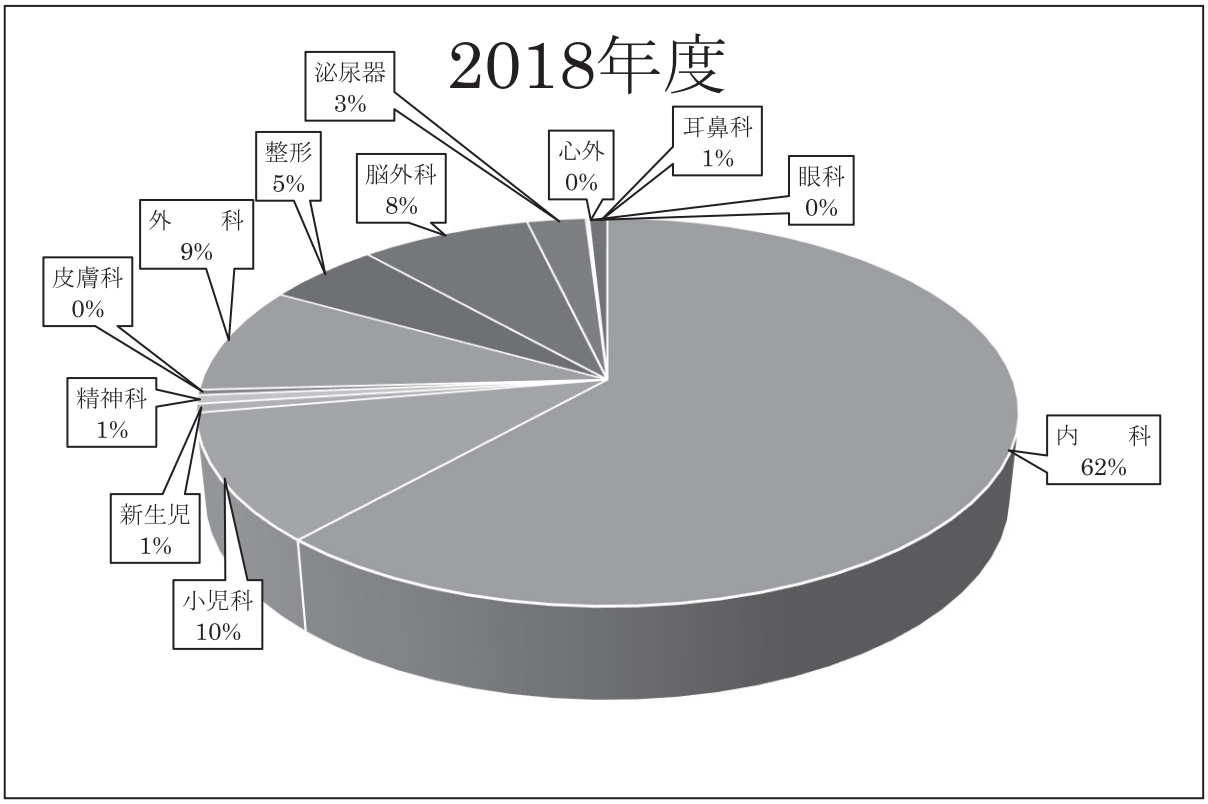
年　　度	2018年度	2017年度
内　　科	19,211	18,479
小 児 科	9,037	10,284
新 生 児	49	51
精 神 科	523	676
皮 膚 科	1,778	1,705
外　　科	1,415	1,541
整形外科	4,403	4,469
脳 外 科	2,162	2,240
泌尿器科	1,498	1,556
心臓外科	19	20
眼　　科	694	785
耳 鼻 科	2,013	2,016
歯 口 科	848	825
産婦人科	1,035	877
透 析 科	194	185
麻 酔 科	10	4
形成外科	1,852	1,846

【3】外来診療科別比率

外来受診数



入院数



【4】市町村別受診数

旭市内からは17,000人で、全体の約36.4%を占める。

市町村名	2018年度	2017年度
旭市	17,000	17,313
銚子市	5,862	6,284
匝瑳市	5,472	5,336
東庄町	1,727	1,863
香取市	4,487	4,410
東金市	455	489
九十九里町	258	220
大網白里市	142	153
鹿嶋市・神栖市	4,202	4,326

【5】年齢別受診数

	受診者数（人）	入院数（人）	入院率（%）
10歳未満	9,746	730	7.5%
10代	3,249	110	3.4%
20代	3,417	204	6.0%
30代	3,576	236	6.6%
40代	3,360	346	10.3%
50代	3,778	567	15.5%
60代	5,809	1,124	19.3%
70代	6,471	1,496	23.1%
80代	5,801	1,721	29.7%
90歳以上	1,536	564	36.7%
年齢不明	0	0	100%

入院部門統計

救命救急センター入院状況

ERW-A病棟／ 04-I病棟　入院数（人）

4月	70	17
5月	78	23
6月	75	18
7月	72	27
8月	75	19
9月	64	21
10月	75	23
11月	81	18
12月	69	20
1 月	91	15
2月	77	8
3月	89	13

ERW病棟（04-I含む）　入院数計

2016年度　1,082人
2017年度　1,045人
2018年度　1,138人

メディカル・コントロール（MC）部門

【1】事後検証
【2】プロトコール策定
【3】症例検討会
【4】教育
　JPTEC（メディカルコントロール協議会主催）への関与
　ACLS、BLS教育への関与
　メディカルラリー開催

●緩和ケアセンター（2018年度）

緩和ケア病棟年間報告　平成30年度（H30/4/1 ～ H31/3/31）

1：入棟科別

科　別	内　科	泌尿器科	婦人科	脳外科	歯口科	外　科	耳鼻科	皮膚科	形成外科	眼科	合　計
累　計	151	37	21	5	2	35	12	1	0	1	265

2：入棟経路

	他　院	自　宅	一般病棟	シルバー	施設	合　計
累　計	4	100	157	2	2	265

3：入棟者居住地

	旭市内	旭市外	県　外	合　計
累　計	74	155	36	265

4：入棟年齢　男女区分

年齢	20以下	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81以上	合　計
男	1	0	0	4	14	32	46	40	137
女	0	1	4	6	12	26	37	42	128

5：入棟腫瘍別

病　名	肺　癌	消化器癌	肝膵胆嚢	婦人科	乳　癌	泌尿器癌	皮膚癌	耳鼻科	脳腫瘍	その他	合　計
累　計	36	82	44	20	21	37	1	12	5	7	265

6：退棟内訳

	死　亡	在　宅	転　棟	転　院	施　設	合　計
累　計	242	16	3	1	1	263

7：剖検率

	剖検者数	剖検率
累　計	4	1.6%

8：緩和ケア外来受診者数　283名

月	在院患者延数	入院患者実数	1日平均入院患者数	平均在院日数	退院患者数	死亡退院	解剖数	待機日数
4月	377	23	12.6	15.7	25	23	0	0.8
5月	458	24	14.8	19.9	22	19	0	0.6
6月	411	24	13.7	17.1	24	24	0	0.4
7月	541	20	17.5	30.1	16	14	1	3.5
8月	525	18	16.9	27.6	20	16	0	1.1
9月	442	23	14.7	19.2	23	21	1	0.7
10月	506	27	16.3	19.1	26	23	0	0.3
11月	458	27	15.3	18	24	24	0	1
12月	445	17	14.4	20.2	27	25	0	1.4
1月	399	27	12.9	17.3	19	18	1	0.4
2月	494	19	17.6	24.7	21	20	1	1.4
3月	400	16	12.9	25	16	15	0	0.2
年　間	5456	265	15.0	21.2	263	242	4	1.0

H30/4/1 ～ H31/3/31

病院死亡者総数	1,289名
内　癌死亡者数	613名
その他死亡者数	676名
緩和ケア病棟死亡者数	242名

2018年度　緩和ケアチーム実績報告【2018/4/1 ～ 2019/3/31】

《チーム依頼》 件数　計：109件

科別	消化器	呼吸器	泌尿器	外科	乳腺	耳鼻科	婦人科
件数	52	25	6	3	3	1	13

科別	歯科	血液	整形	脳外科	皮膚	形成	非がん	計
件数	0	2	0	1	2	0	0	147

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
件数	0	1	1	5	20	38	31	12	1

性別	男性	女性
件数	58	51

癌種	肺	食道	胃	大腸	小腸	直腸	膵臓	肝臓	胆管・胆嚢	血液	頭頸部	口腔
件数	37	3	21	8	1	3	11	3	5	2	2	0

癌種	乳腺	膀胱	腎臓	尿管	前立腺	精巣	子宮	卵巣	腹膜	骨	甲状腺	原発不明
件数	4	2	1	1	2	0	3	8	1	0	1	0

初回依頼内容	疼痛	不快症状	精神面	スピリット	家族	療養場所
件数	38	35	21	1	4	9

転帰内容	自宅	他院	死去	緩和ケア病棟	介入終了
件数	5	6	40	36	18

《緩和ケアチーム外来》　　105件

科別	消化器	呼吸器	泌尿器	外科	乳腺	耳鼻科	婦人科	歯科	血液	皮膚科	形成	計
件数	13	19	11	0	17	5	37	2	0	1	0	105

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
件数	0	0	0	14	27	24	36	2	2

PS	PS1	PS2	PS3	PS4
件数	41	36	26	2

性別	男性	女性
件数	48	57

癌種	肺	食道	胃	大腸	小腸	直腸	膵臓	肝臓	胆管・胆嚢	血液	頭頸部
件数	21	0	6	5	0	1	0	0	0	0	5

癌種	口腔	乳腺	膀胱	腎臓	尿管	前立腺	子宮	卵巣	骨	甲状腺	皮膚
件数	2	17	1	0	0	10	9	27	0	0	1

初回件数	疼痛	不快症状	精神面	スピリット	家族	療養場所	緩和ケア待機
件数	37	25	13	0	0	12	12

転帰内容	一般	緩和ケア	死去	介入終了
件数	2	19	1	24

総件数	新規	最新
	41	64

●集中治療科（2018年度）

① ISO質目標に基づいた振り返り

「質」目標達成計画として以下の４項目を挙げて取り組んだ。

1．電子パス導入の推進：現行パスの電子化に取り組んだ。現在、心臓外科の弁置換術症例について電子パス申請中である。

2．平均在室期間の短縮：在室14日を越える症例の５%以下への削減に取り組んだ。
平均在室日数は7.7日と0.9日短縮し、在室14日を越える症例は10%と３ポイント改善し、集中治療加算対象外の在留日数は19%と５ポイント改善した。引き続き、外科および心臓外科の長期滞在症例の削減が必須と考える。

3．標準化死亡比の改善：30%以下を目標に、VAP発生率８%未満を実現するため、VAP予防バンドルの実施徹底に取り組んだ。標準化死亡比は37%、VAP発生率は6.3%、人工呼吸器装着1000日あたりのVAP発生症例数は15症例と、それぞれ１ポイント、５ポイント、８症例改善した。心臓外科症例でようやくVAPの発生率を減らせたので、引き続き、看護師・理学療法士・歯科衛生士らの協力を得て、VAP予防バンドル励行を徹底する。

4．専従医師の確保：２年で１名の確保を目標に、救急救命科と協働して後期研修医の勧誘と教育強化に取り組んだ結果、協働先の救急救命科に2018度、兼任医１名を確保できた。引き続き、リクルート活動を継続中である。

② 診療実績

2018年度　集中治療科　入退室動向（2018.4.1 ～ 2019.3.31）

診療科	収容数	科別割合	予定術後	院内急変	ERから	死亡退院数	IC死亡率	平均滞在日数	＞2週滞在率	CRRT施行率	CRRT日数	APACHE2	予測死亡率	標準化死亡比	人工呼吸例数	平均人呼日数	VAP発生率	VAP1000日
心外	117	52%	102	7	8	6	5%	9.1	12%	13%	8.9	16	26%	0.20	104	4.5	8.5%	21
内科	46	21%	0	43	3	10	22%	6.2	9%	30%	5.0	23	45%	0.48	28	3.6	0%	
外科	32	14%	3	28	1	4	13%	7.5	13%	22%	3.0	19	32%	0.39	22	5.0	3.1%	9
透析	11	4.9%	0	11	0	4	36%	6.4	9%	27%	4.3	26	54%	0.68	9	2.3	0%	
脳外	6	2.7%	0	4	2	2	33%	4.3	0%	17%	2.0	21	41%	0.81	4	2.5	0%	
整形	3	1.3%	3	0	0	0	0%	2.3	0%	0%		18	29%	0.0	3	1.0	0%	
精神	1	0.4%	0	1	0	0	0%	5.0	0%	0%		8	9%	0.0	1	4.0	0%	
泌尿	2	0.9%	1	1	0	1	50%	5.0	0%	50%	3.0	27	58%	0.86	1	8.0	0%	
歯口	3	1.3%	3	0	0	0	0%	2.3	0%	0%		12	15%	0.0	1	1.0	0%	
産婦	0																	
耳鼻	0																	
形成	3	1.3%	3	0	0	0	0%	2.3	0%	0%		19	33%	0.0	2	1.0	0%	
合計	224	100%	115 51%	95 42%	14 6%	27	12%	7.7	10%	18%	5.9	18.6	33%	0.37	175	4.2	6.3%	15

CRRT : continuous renal replacement therapy : 持続腎代替（透析）療法
APACHEⅡ : acute physiologic and chronic health evaluationⅡ: 重症度評価の指標
標準化死亡比（SMR : standardized mortality ratio）: ICU死亡率／予測死亡率
VAP : ventilator-associated pneumonia : 人工呼吸器関連肺炎
VAP/1000d : 人工呼吸器装着1000日あたりのVAP発生症例数

●臨床病理科（2018年）

１年間のトピックス

４月から新たに医師２名を迎え常勤医師３名での体制となった。

非常勤医師及び各方面からの協力を得て、C.P.C.及びカンファランス等の更なる充実を図りたい。しかしながら、依然として剖検数の低下が顕著であり、剖検数維持に苦慮している。

また、ISO 15189:2012認定取得に向けての準備が開始され、各WGが発足し、スタッフ一丸となって書類の整備等日々活動をしている。

「質」 目標の実施・成果

１．医療安全対策の強化

業務のマニュアル化をはかり、インシデント・ヒヤリハットなどのヒューマンエラーの減少をめざす。

２．ISO 15189：2012認定取得

業務体制の見直し及び書類の整備により認定条件をクリアーにすることから開始した。

３．細胞診新規技術の導入

LBCの導入に向けての情報収集と複数メーカーとの比較検討を開始した。

2018年検体数

	剖検	細胞診	組織	組織(至急)	迅速	電顕(手術例)	電顕(剖検例)	蛍光(手術例)	蛍光(剖検例)	免疫(手術例)	免疫(剖検例)	特染(手術例)	特染(剖検例)	組織ブロック	剖検ブロック	免疫関連遺伝子再構成(手術例)	Her2遺伝子(手術例)
1月	15	1,135	834	4	25	8		12		307	24	214	21	4,388	321	2	2
2月	12	1,079	901	8	28	8		12		296	18	231	18	5,121	518	2	8
3月	12	1,111	988	9	28	4		13		331	16	236	15	4,755	330	1	6
4月	8	970	866	7	21	6		15		330	30	246	30	4,936	1,143	2	5
5月	6	1,178	949	8	33	7		11		335	32	238	30	4,695	599	2	5
6月	10	1,214	1,077	2	29	5		13		374	13	272	13	5,565	156	4	7
7月	12	1,181	1,011	5	33	15		23		430	28	314	28	5,452	796	2	12
8月	9	1,110	1,175	4	42	14		30		444	29	345	30	6,669	569	7	16
9月	5	1,029	940	3	31	9		15		333	18	230	15	5,274	360	2	7
10月	8	1,387	1,099	4	39	5		12		398	19	284	16	6,053	524	3	7
11月	6	1,360	1,038	2	30	10		12		382	23	281	21	5,426	405		7
12月	10	1,270	1,041	4	40	8		12		376	25	274	23	5,797	462		4
合計	113	14,024	11,919	60	379	99		180		4,336	275	3,165	260	64,131	6,183	27	86

発行レポート、染色枚数

	仮発行レポート	発行レポート	再発行レポート	手術(HE)	手術(特染)	剖検(HE)	剖検(特染)	手術(免疫種類)	手術(免疫枚数)	剖検(免疫種類)	剖検(免疫枚数)	手術(免染+コントロール)	剖検(免染+コントロール)
1月	2	802	104	4,582	781	313	315	362	451	33	41	724	66
2月	2	922	115	5,367	1,010	526	404	303	402	8	8	606	16
3月	1	1,006	134	5,015	931	354	190	365	499	14	18	730	28
4月		833	151	5,212	967	1,173	748	350	437	2	7	700	4
5月	3	971	171	5,018	887	618	559	359	451	9	9	718	18
6月	2	1,044	137	5,881	1,029	194	192	451	576	17	60	902	34
7月	1	948	191	5,878	1,193	785	572	472	629	3	6	944	6
8月	2	1,212	162	7,087	1,336	638	654	411	577	13	14	822	26
9月		990	177	5,621	951	412	202	371	487	22	47	742	44
10月		1,087	148	6,426	1,078	605	400	465	608	16	24	930	32
11月	2	1,015	153	5,763	1,249	486	274	389	522	11	11	778	22
12月	1	1,087	180	6,055	1,118	560	411	420	561	24	38	840	48
合計	16	11,917	1,823	67,905	12,530	6,664	4,921	4,718	6,200	172	283	9,436	344

剖検

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	合計
1月			1				8			3		1						1	1	15
2月							7				2	2							1	12
3月					1		7			1		2							1	12
4月							5			3										8
5月					1		3			1		1								6
6月							5			3		2								10
7月							11									1				12
8月			1				6											1	1	9
9月		1			1		3													5
10月					2		5			1										8
11月							5			1										6
12月					1		7			1		1								10
合計		1	2		6		72			14	2	9				1		2	4	113

細胞診

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	合計
1月	3	548	253		31	87	81		10					8	2		97		15	1,135
2月	4	493	253	1	45	76	64		12			1		12			111		7	1,079
3月	3	536	255	1	51		114		12	1				6			124		8	1,111
4月	6	500	244		30		68		13	1				6			98		4	970
5月	3	662	252		36		72		14				1	4	1		126		7	1,178
6月	1	677	248		50		84		19			1	1	8	1		119		5	1,214
7月	4	656	267		46		59		20				1	4	1		118		5	1,181
8月	5	567	280		37		74		17	1			1	4		1	116		7	1,110
9月	1	521	271		36	24	62		9	6	1			6			86		6	1,029
10月	6	626	286		36	196	96		26	4		1		9			97		4	1,387
11月	3	609	279		37	178	88		20	1		1		7	2		129		6	1,360
12月	2	533	273		48	179	83		23				1	11			104		13	1,270
合計	41	6,928	3,161	2	483	740	945		195	14	1	4	5	85	7	1	1,325		87	14,024

組織診

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月	13	112	81		148	1	297	43	27	5	5	3	37	29	1	5	26		1		834
2月	15	94	97	3	131	2	359	53	31	4	2	5	34	32	1	7	28		2	1	901
3月	18	128	99	1	138	5	385	60	37	7	6	6	32	35	3	10	15		3		988
4月	15	104	81		127		338	55	42	3	3	3	44	26	1	7	17				866
5月	17	121	74	1	135		359	70	50	7	2	4	39	32	5	9	22		2		949
6月	17	162	109	2	154		352	75	56	4		5	62	32	4	11	27		5		1,077
7月	20	147	85	3	136	2	380	78	49	6	3	4	47	19	2	9	18		3		1,011
8月	25	166	112	3	185		407	90	50	2	1	2	73	24	3	7	20		5		1,175
9月	28	129	88		139		333	77	30	4	3	6	52	22		9	18		2		940
10月	21	171	110	1	152	1	394	73	30	5	4	2	59	29	3	10	30	2	2		1,099
11月	20	161	97		141	3	398	65	28	3	2	6	58	24	1	8	22		1		1,038
12月	26	178	101		131	1	358	61	35	4	6	1	66	37	1	7	21		7		1,041
合計	235	1,673	1,134	14	1,717	15	4,360	800	465	54	37	47	603	341	25	99	264	2	33	1	11,919

組織至急

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月					1		1						1	1							4
2月					1		6							1							8
3月		1	1				4		3												9
4月							4		1				1	1							7
5月		1					4		3												8
6月							1		1												2
7月									5												5
8月							3							1							4
9月					1		2														3
10月		1					3														4
11月							1		1												2
12月							2		1					1							4
合計		3	1		3		31		15				2	5							60

迅速診断

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月					21					4											25
2月			1		24					3											28
3月		2	1		19					5			1								28
4月		4			14					3											21
5月		3	3		26					1											33
6月		2	4		20					3											29
7月			2		26					5											33
8月		5	3		32					2											42
9月		5			25					1											31
10月		3	4		27		1			3			1								39
11月		4			25					1											30
12月		3			33			1		2	1										40
合計		31	18		292		1	1		33	1		2								379

免疫

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ドック	精	救急	他	合計
1月		6	15		56		34	6	2	4		1	4	2							130
2月		5	13		68		39	16	3	2	1		4	1			1				153
3月	1	8	17		64		46	7	1	6		1	1	1	1						154
4月		8	11		55		47	5	2	2	1	1	1	3			1				137
5月		5	10		65		37	7		5	1		1	1		1					133
6月		6	24		77		39	11	7	4			7				1		1		177
7月		7	20		80		38	17	9	6			3								180
8月		5	22		92		46	16	5	3		1	5								195
9月		9	13		69		34	13	4	3			3				2		1		151
10月	1	6	18		84		42	15	2	3		1	3	1	1		2				179
11月		5	21		68		41	10	2	4		1	4	3	1						160
12月		8	25		72		43	9	3	3			1	6							170
合計	2	78	209		850		486	132	40	45	3	6	37	18	3	1	7		2		1,919

蛍光抗体法

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ﾄﾞｯｸ	精	救急	他	合計
1月							5	6				1									12
2月							4	5				2		1							12
3月							2	9				2									13
4月							2	11				2									15
5月							4	6				1									11
6月							3	7	1			2									13
7月				1			7	12				3									23
8月				1			10	18				1									30
9月							3	9				3									15
10月							3	8				1									12
11月							5	4				3									12
12月							4	7				1									12
合計				2			52	102	1			22		1							180

電顕

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ﾄﾞｯｸ	精	救急	他	合計
1月							7					1									8
2月							6					2									8
3月							2					2									4
4月							4					2									6
5月							6					1									7
6月							3					2									5
7月				1			11					3									15
8月				1			12					1									14
9月							6					3									9
10月							4					1									5
11月							7					3									10
12月							7					1									8
合計				2			75					22									99

遺伝子

	産	婦	泌尿	小児	外	職員健診	内	皮	耳	脳	セ外	透析	形外	歯	眼	心外	ﾄﾞｯｸ	精	救急	他	合計
1月					2			2													4
2月					8		1	1													10
3月					5		1	1													7
4月					3		4												1		8
5月					4		3														7
6月					7		2		2												11
7月					10		2	1	1												14
8月		1			13		6	2	1												23
9月					6		2		1												9
10月					5		3	2													10
11月					6		1														7
12月					3		1														4
合計		1			72		26	9	5										1		114

遺伝子検査

	RAS	EGFR	ALK	ALK	ALK	遺伝子再構成	HER2	CDKN2A	1p/19q	MYC	PD-L1	ROS1	BRAF			その他	計
	Q-PCR	Q-PCR	RT-PCR	iAEP	FISH	E-PCR	FISH	FISH	FISH	FISH	IHC	RT-PCR	皮膚	肺	大腸		
1月	4	7	0	3	0	5	7	1	0	0	5	3	0	0	0	0	35
2月	4	6	1	2	0	2	2	1	0	0	6	3	0	0	0	0	27
3月	5	14	1	7	0	1	9	0	0	0	14	8	0	0	0	0	59
4月	9	8	0	5	0	1	5	0	0	0	17	6	0	0	0	0	51
5月	7	10	0	9	0	4	9	0	0	0	8	9	0	2	0	CKIT 1	m
6月	4	4	1	0	0	4	5	0	0	0	4	4	0	0	0	0	26
7月	9	4	0	2	0	4	10	1	0	0	5	2	0	2	0	0	39
8月	7	10	1	3	0	5	17	0	1	1	11	5	0	3	8	0	72
9月	17	6	1	2	0	4	7	0	0	0	5	3	0	3	17	MYD88 1	66
10月	7	7	0	4	0	2	4	0	0	0	6	4	0	4	7	MYD88 1	46
11月	6	10	1	7	0	1	7	0	1	0	7	8	0	1	6	MYD88 1	56
12月	8	5	1	2	1	0	5	0	0	0	5	3	0	0	8	0	38
合計	87	91	7	46	1	33	87	3	2	1	93	58	0	15	46	4	515

看　護　局

●看護局（2018年度）

＜退院支援の強化と在院日数短縮＞

昨年度に引き続き、平均在院日数12日を目標に、各部署、各科別に課題を明確にして在院日数短縮に取り組んだ。入院当日手術の拡大やクリニカルパスの改訂、入院期間の見直し、外来との連携による成果は得られた。しかし、転院待機日数の長期化などから長期入院患者が増加し、在院日数は13日から14日まで延長した。

一方、入退院・周術期センターの介入による入退院支援加算、入院時支援加算の算定システムが整った。入院前からリスク要因を明らかにし、早期介入が可能になった。退院支援カンファレンスが定期的に開催され、介護支援共同指導料についても徐々に算定額が増加している。

また、年度の平均病床稼働率は93.3%と非常に高い状況が続いた。産科や小児科病棟の活用をすすめ、増床して対応するなど、各部署の協力を得ることができた。

＜高齢者看護力の強化＞

マニュアル整備や体制が整い２月より認知症ケア加算の算定が可能になった。摂食嚥下、褥瘡、排尿ケアのチームが活動を拡大し、高齢者看護の知識、技術の向上に努めている。

＜人材の確保と定着＞

スタッフのやりがい、働きがいを高める看護管理として、モチベーションマネジメントを取り入れ２年目となった。全看護スタッフにモチベータ診断を実施し、それを活かした面接を行なうとともに、職務満足度調査を行い、各部署で結果を分析しアクションプランを策定して取り組んだ。

また、主任階では承認カードを部署で活用することを課題とした。

３月19日には、師長、副師長、主任合同の成果発表会を開催し、看護管理上の課題や各部署の取り組みを共有し、解決に向けた学びを得ることができた。

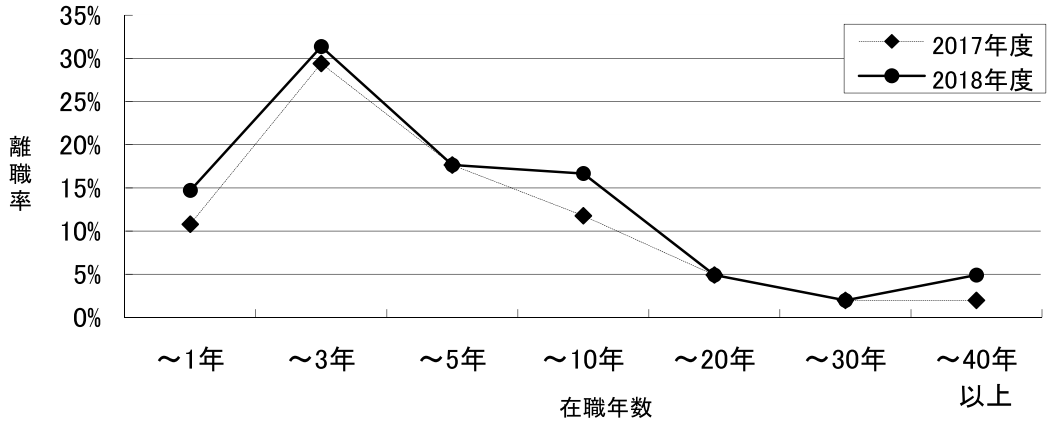
平成30年度看護師　採用／退職状況推移

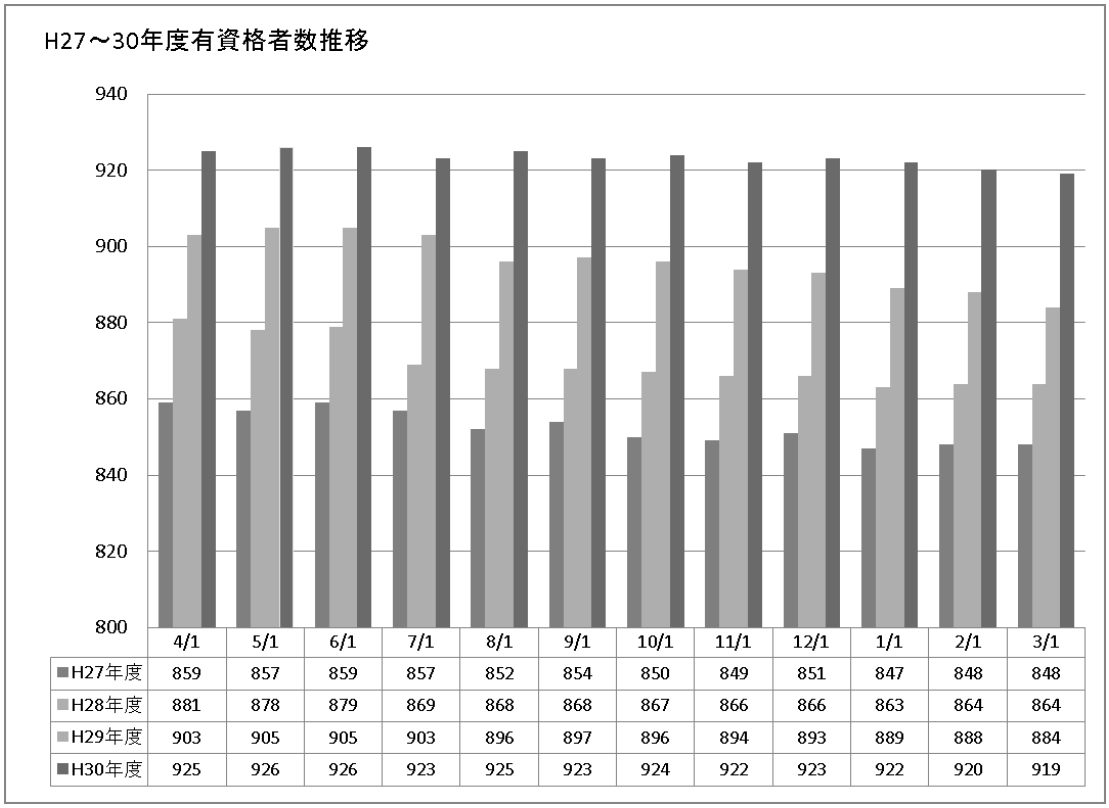
非常勤職員を抜かない場合

4月1日朝現在↓		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
925	月初職員数	925	926	926	923	925	923	924	922	923	922	920	919	
	1日付採用者数	95	2	2	3	2	1	5	2	0	1	2	1	116
※1	中途採用者数	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	4
当院卒業生 54	採用数	95	2	2	4	3	1	5	3	1	1	2	1	120
外部採用者 40	退職数	1	2	6	1	4	4	4	0	3	4	2	73	104
他部門より異動者	月末職員数	924	924	920	923	922	919	920	923	921	918	918	846	←月末日終了後、翌１日までの間の人数
（内新卒者） 76	採用数　累計	95	97	99	103	106	107	112	115	116	117	119	120	
合計 95	退職数　累計	1	3	9	10	14	18	22	22	25	29	31	104	
	離職率	0.1%	0.3%	1.0%	1.1%	1.5%	1.9%	2.3%	2.3%	2.6%	3.1%	3.3%	10.9%	看護協会離職率 11.74% =104/|(925+846)÷2|×100
	新人看護師(新卒者)	76	76	75	75	75	75	74	74	74	74	74	74	
	新人退職	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	
	新人退職数　累計	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	6	
	新人離職率	0.0%	1.3%	1.3%	1.3%	1.3%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	7.9%	看護協会新人離職率 8.00% =6/|(76+74)÷2|×100

在職年数別離職数及び離職率（有資格者）

在職年数		～１年	～３年	～５年	～10年	～20年	～30年	～40年以上
離職数	2017年度	11	30	18	12	5	2	2
	2018年度	15	32	18	17	5	2	5
離職率	2017年度	10.8%	29.4%	17.6%	11.8%	4.9%	2.0%	2.0%
	2018年度	14.7%	31.4%	17.6%	16.7%	4.9%	2.0%	4.9%





	4/1	5/1	6/1	7/1	8/1	9/1	10/1	11/1	12/1	1/1	2/1	3/1
H27年度	859	857	859	857	852	854	850	849	851	847	848	848
H28年度	881	878	879	869	868	868	867	866	866	863	864	864
H29年度	903	905	905	903	896	897	896	894	893	889	888	884
H30年度	925	926	926	923	925	923	924	922	923	922	920	919

平成30年度　看護局　研修実績

新人看護師研修

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
感染管理基礎講習① 感染管理認定看護師 感染対策室師長　五十嵐　礼子 感染管理認定看護師 感染対策室主任看護師 宮本　頼子 感染管理認定看護師　佐々木　優子	院内感染予防のための基礎知識・技術を習得	新入職者 前年度 中途採用	4/3.4. 6.9	84人
電子カルテ操作講習（操作編・看護編） 医療情報室師長　年光　康雄	電子カルテの基本的な操作 注射、処置、指示オーダ	附属看護学校 外の入職者	4/3.5.6.	30人
看護記録概論 医療情報室師長　年光　康雄	看護記録のルール　倫理的配慮 看護診断	新人 既卒入職	4/10	80人
医療安全　安全管理基礎講習 医療安全管理推進室 看護局長補佐　白土　てる子 リスク委員会	安全に対する意識・インシデント例 事故防止、危険予知、報告の必要性 患者確認演習	新人 前年度 中途採用	4/11.12	83人
看護局オリエンテーション 所属長紹介 看護局教育委員 図書司書　長谷川　亜紀 看護師確保・定着チーム	看護局理念・目標 職員のメンタルヘルス 教育プログラム 図書の利用方法 交流会	新人 新入職者	4/13	84人
与薬の技術・医療安全 輸液・シリンジポンプ取り扱い テルモ株式会社	輸液ポンプ・シリンジポンプ取り扱い 操作手順・演習	新人 近隣病院新人	4/16.17	78人 外部1人
与薬の技術　点滴静脈内注射 看護局教育委員	点滴留置針の穿刺から固定 指示薬品の確認・患者確認の動作	新人 既卒入職	4/18.19	76人
与薬の援助・技術 インスリンの正しい知識と技術 糖尿病看護認定看護師 内科処置室 主任看護師　宮原　孝子	インスリン治療を正しく行なうための基礎知識と技術・演習 血糖測定の技術	新人	4/20.23	76人
呼吸循環を整える技術 酸素投与・口腔・気管内吸引 看護局教育委員	安全で正しい酸素投与（ボンベ、マスク）と口腔・気管内吸引の演習	新人 近隣病院 新人	4/24.25	77人 外部1人
排泄援助技術 導尿・尿道留置カテーテル 看護局教育委員	清潔操作による導尿・尿道留置カテーテルの挿入	新人	4/26.27	76人
療養環境・人的環境について 新生児集中ケア認定看護師 ５北病棟主任看護師 岡田　絵里子	療養環境調整や人的環境を振りかえり、考える	新人	5/2	79人
図書の利用方法・注意事項 各種案内 図書司書　長谷川　亜紀	図書室の利用方法・パソコン登録	新人 既卒入職	5/2	85人
重症度、医療・看護必要度概論 看護必要度プロジェクトチーム 看護師長　年光　康雄	看護必要度を入力するための基礎知識とアセスメント	新人 既卒入職	5/7	87人
新人ナースと初心者のための クリニカルパス基礎講座 パス委員会委員長　松永　高志 医師 看護師長　年光　康雄	クリニカルパスの基礎理解	新人 中途採用	5/9	79人

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
感染管理基礎講習② 感染管理認定看護師 感染対策室師長　五十嵐　礼子 感染管理認定看護師 感染対策室主任看護師　宮本　頼子	手洗いテスト・N95マスクフィットテスト	新人 既卒入職	5/11. 18.25	85人
食事介助技術 摂食嚥下障害看護認定看護師 牧野　和枝 掛巣　孝則 主任	食事の意義・必要性の説明 摂食嚥下のメカニズムの説明と摂食嚥下障害の原因・誘因について	新人	5/14	78人
重症度、医療・看護必要度実践編 看護必要度プロジェクトチーム 看護師長　年光　康雄	臨床現場での重症度、医療・看護必要度評価に近づくよう、DVD上の患者を用いた演習	新人 既卒入職	5/17	88人
創傷管理技術① DESIGNーR評価とドレッシング材 皮膚・排泄ケア認定看護師 スキンケア相談室　師長 加瀬　昌子	DESIGN-R評価をするための根拠 テープのはり方、はがし方　演習	新人 既卒入職	5/30.31	83人
新人リフレッシュ研修 看護師確保・定着チーム	新人看護師の夜勤への備え ストレス発散　リラックス法	新人	6/8	77人
看護倫理 教育専従　看護師長　穴澤加代子	新人看護師が注意する看護の倫理 紙上患者を用いての検討	新人	6/18	76人
救急救命処置技術 ①BLS ＜BLSインストラクター看護師＞ 25日 救命病棟看護師　飯笹亜希子 救命病棟看護師　齊藤恵美子 透析センター看護師　成毛かおり 26日 救命病棟看護師　高木　知美 救命病棟看護師　中上　香苗 透析センター看護師　角田　美貴 ②気管内挿管の物品理解と介助 看護局教育委員	 一次救命処置BLS 止血 気管挿管をする際に必要な物品に触れ、介助手順を習得する	新人 近隣病院 新人	6/25.26	78人 外部2人
創傷管理技術② 院内褥瘡対策の現状 褥瘡対策に必要な書類と計画 皮膚・排泄ケア認定看護師 スキンケア相談室　師長 加瀬　昌子	褥瘡管理の現状と理解・必要書類 褥瘡対策に必要な書類と計画	新人 既卒入職	6/29 7/5	85人
与薬・安全の技術 抗がん剤取り扱いの注意・看護 がん化学療法看護認定看護師 化学療法センター副師長 金芳　佳子	がん化学療法の基礎 抗がん剤の取り扱い時の注意・看護	新人 既卒入職	7/10	82人
安全確保の技術 放射線と放射能について 診療技術局放射線科 宮崎　孝 技師長 PET検査について 診療技術局放射線科 山口　晃裕 技師 看護局　高木　恵 看護師	放射線検査 同位元素検査の際の曝露防止と廃棄物処理 人体への影響 PET検査時の看護	新人 既卒入職	7/17	82人

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
放射線検査時の注意 診療技術局放射線科 塚本　崇光 放射線技師 西谷　夏穂 放射線技師 看護局　看護師　桑原　早苗	造影CTやMRI検査の際の注意 看護師が行える注意・基礎知識 演習（インサイトオートガードと耐圧ルート接続:ダブルロックする）	新人 既卒入職	7/31	79人
与薬の技術　輸血製剤療法① 岩井　利恵臨床検査技師	輸血製剤の基礎知識 輸血運搬、投与時の注意事項	新人 既卒入職	8/1	79人
与薬の技術　輸血製剤療法② 岩井　利恵臨床検査技師	輸血の副作用・観察について	新人 既卒入職	9/3	78人
看護過程とクリニカルパス パス委員会	看護過程とクリニカルパスの関連性を意識化し、クリニカルパスの構成と内容を理解する	新人 既卒入職	9/12.26	81人
多重課題・時間切迫シミュレーション 看護局教育・リスク委員会合同	多重業務を安全・正確に実施する メンバーへの応援要請 グループ討議	新人	10/4・5	78人
感染管理基礎技術③　嘔吐処理 感染管理認定看護師 感染対策室師長　五十嵐　礼子 感染管理認定看護師 感染対策室主任看護師　宮本　頼子	嘔吐処理セットの取り扱い　演習	新人 中途採用	10/15.29、11/2	81人
活動・休息の技術 廃用症候群・関節可動域訓練 理学療法科　荻　紀子 技師 高野　めぐみ 技師	廃用症候群予防の援助とROM 安全で安定した移動介助 演習	新人 中途採用 近隣病院新人	11/12・14	79人 外部3人
呼吸理学療法　体位ドレナージ 呼吸理学療法の介助 理学療法科 入戸野　由香 技師 井藤　李奈 技師	肺の拡張や排痰援助 看護師にできる効果的呼吸理学療法			
看護倫理・安全確保の研修 身体拘束患者の看護 看護局リスク委員会 ３病棟看護師　椿　久美子	身体拘束をしている患者・家族への配慮と身体の観察　看護倫理 ロールプレイ・グループ討議	新人 既卒入職 近隣病院新人	11/26・30	77人 外部4人
死亡時のケアに関する技術 死後のケア 緩和ケアチーム主任看護師 １－７病棟主任看護師 がん性疼痛看護認定看護師 石毛　明子 緩和ケア認定看護師 １－７病棟副主任看護師 信太　千恵子 新生児集中ケア認定看護師 ５北病棟主任看護師 岡田　絵里子	成人の死　死亡時の家族配慮 こどもの死　ご遺体の整え方と配慮 残された家族とともに行なうケア	新人 既卒入職 近隣病院新人	12/7.10	77人 外部2人
退院支援/意思決定支援 退院支援専従看護師 八馬　弘美 師長	退院支援/意思決定支援の考え方 当院における退院支援の現状 必要となる連携書類 事例検討/グループディスカッションで行う	新人	1/9	73人

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
1年の振り返り研修 看護局教育委員会	この1年の看護体験・学びと2年目への課題を見出す １年の研修修了証授与式	新人	3/2	71人

クリニカルラダーステップ別研修

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
30年度メンバーシップ研修 看護局教育委員会	メンバーの役割とチームワーク 演習・自己分析・グループワーク	ステップ1	6/2	48人
29年度のリーダーⅡ研修 中間進捗状況報告検討会 看護局教育委員会	中間進捗状況報告検討	ステップ3 以上	6/11	19人
30年度リーダーシップⅠ(業務リーダー) 看護局教育委員会	業務リーダーとしての役割を理解し、実践に役立てる	ステップ1 以上	6/16	41人
30年度プリセプター本研修 看護局教育委員会	新人看護師の実地指導者育成	ステップ1 以上	7/7	45人
29年度リーダーシップⅡ 実践成果発表会	29年度研修受講者の一年間の学びと後期個人活動成果を発表	ステップ3 以上	10/1	79人
30年度リーダーシップⅠ(業務リーダー) 活動中間報告・共有会 看護局教育委員会	行動計画表を活用し、部署における活動状況を共有・意見交換	ステップ1 以上	10/12	40人
30年度リーダーシップⅡ研修① 教育専従師長　大橋　佐知子	研修オリエンテーション スケジュール説明、研修前評価 ポートフォリオと成長、新ラダー説明 社会人基礎力について	ステップ3 以上	10/22	21人
30年度プリセプター 中間期フォローアップ研修 看護局教育委員会	プリセプター評価と意見交換・共有	ステップ1 以上	10/30	46人
30年度リーダーシップⅡ研修② 教育専従師長　大橋　佐知子	イノベーションをおこす マネジメントに取り組む 気になっていること・他部署の様子を知ろう	ステップ3 以上	11/5	21人
30年度3年目事例研究発表会 看護局教育委員会	事例発表 看護観を意識化し実践に活かすグループワーク	３年目 看護師相当	11/10	60人
30年度2年目看護師 看護倫理について考える① 看護局教育委員会	事例をもとに看護倫理と配慮について考える　ジレンマの抽出	２年目 看護師相当	11/19	68人
30年度リーダーシップⅡ研修③ ８階東病棟　師長　赤澤　愛子	仕事の意義を考える 看護の質評価	ステップ3 以上	12/3	21人
30年度2年目看護師 看護倫理について考える② 看護局教育委員会	事例をもとに看護倫理と行動の乖離を分析する 看護職者の倫理綱領	２年目 看護師相当	12/6	68人
31年度3年目看護師 看護事例研究説明会 教育専従師長　穴澤　加代子 図書司書　長谷川　亜紀	看護理論活用と論文構成	次年度 ３年目看護師	12/14	69人
30年度リーダーシップⅡ研修④ 教育専従師長　大橋　佐知子	効果的な会議 ファシリテーション	ステップ3 以上	1/21	21人

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
31年度に3年となる看護師対象 自分で行なう文献検索 図書司書　長谷川　亜紀	インターネットを利用した文献検索	次年度 ３年目看護師	1/28 29 30	65人
リーダーⅠ　まとめの研修 看護局教育委員会	リーダーとしての学び 自己の変容に気づく	ステップ1 以上	1/31	39人
30年度プリセプター まとめの研修 看護局教育委員会	一年間のプリセプターとしての学びを他部署研修者と共有する 今後の教育的役割を認識する	ステップ1 以上	2/4	46人
30年度リーダーシップⅡ研修⑤ 教育専従師長　大橋　佐知子	人をやる気にさせる職場 人の強みを見つける	ステップ3 以上	2/18	21人
30年度リーダーシップⅡ研修⑥ 看護局教育委員会	前半のまとめ 個人目標設定と発表	ステップ3 以上	3/11	21人
31年度プリセプター候補対象 動機付け研修 教育専従師長　穴澤　加代子	31度新人看護師実地指導者となる方への動機付け研修	ステップ1 以上	3/18	46人

看護実践研修

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
30年度 第一回　院内看護研究発表会	部署の看護研究をまとめ発表することで概念化能力を高める 発表演題　４題	全看護師	6/28	89人
院内認定ゼミナールステップ対象 ゼミが求めるレポートの書き方 教育専従師長　穴澤　加代子	院内認定ゼミが求める論理的レポートの書き方	ゼミ受講者対象	7/4.12	47人
ゼミナール・看護研究に役立つ文献検索 図書司書　長谷川　亜紀	医学中央雑誌とは何か 全文データベストは何か 医中誌の検索、検索結果と絞り込み	全看護師	9/3	48人
急性期病院から在宅医療へのバトンタッチ 退院支援専従師長　八馬　弘美	患者、家族が退院先や医療やケアを自分で決める権利について 地域を巻き込みながら退院支援、調整に取り組むことの重要性について	全看護師	9/25	74人
呼吸のフィジカルアセスメント 重症集中ケア認定看護師 向後　房江 主任 重症集中ケア認定看護師 伊藤　滋子	呼吸のフィジカルアセスメントに関する知識 シミュレータを用いた実技演習	全看護師	11/13	66人
看護必要度研修 看護必要度プロジェクト 医療情報室師長　年光　康雄	看護必要度評価の制度向上に向けて	全看護師 コメディカル	12/3	130人
母乳育児支援　～働くママ パパ～ 新生児集中ケア認定看護師 岡田　絵里子 主任	母乳育児とは、母乳の利点 文献紹介	全看護師	12/20	21人
3年目看護師対象看護事例研究指導者向け研修 看護するよろこびと後輩が成長するよろこびを感じられる事例研究指導を体験しよう 教育専従　穴澤加代子 教育委員研究グループ　香取　良美	事例研究研修の目的 研究計画書の作成方法 レポートまとめの方法 研修者のモチベーション維持向上への関わり 部署での指導体制紹介	全看護師	1/11	57人

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
30年度 第二回　院内看護研究発表会	部署の看護研究をまとめ発表することで概念化能力を高める 発表演題　４題	全看護師	2/14	92人
はじめてみよう！現場に活かす看護研究 ～文献の読み方から計画書の作り方～ 淑徳大学看護栄養学部栄養学科准教授 飯坂　真司	看護研究は臨床でなぜ必要か 文献の読み方、活かし方 臨床の疑問を研究の疑問へ 研究デザイン	看護局 コメディカル	2/25	看護局93 一般事務1 管理栄養士1 歯科衛生士4 社会福祉士1
はじめてみよう！現場に活かす看護研究 ～データ収集方法の計画を中心に～ 淑徳大学看護栄養学部栄養学科准教授 飯坂　真司	リサーチクエスチョンとデータ収集の視点 データ収集の方法:5W1H データ収集時の留意点:バイアスほか	看護局 コメディカル	3/7	看護局73 歯科衛生士3 薬剤師1 管理栄養士1 診療管理士1 一般事務2

フットケアチーム主催　　フットケア研修会

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
フットケアの現状報告 フットケアチーム代表 院長補佐兼血管外科部長 古屋　隆俊 医師	各領域（糖尿病内科、形成外科、循環器内科､フットケア外来)のコラボレーション フットケア事例を通して考える	全看護師 全職員	9/10	94人
創傷治療～今から出来る発見・予防・ケア　足病変/救肢治療の最前線 きずを治すときの基本的な考え方 形成外科医長　中務　秀一 看護師が出来る足のケア 杏林大学医学部付属病院特定看護師 丹波　光子	下肢切断の危機に瀕する重症下肢虚血肢への救肢治療 チーム医療の現状と課題	全職員	1/25	85人

褥瘡研修会　全３回

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
褥瘡評価方法と治療 形成外科　森下　悠也 医師	DESIGNスケールを用いた評価方法と治療、予測スケールを用いた予防	全職員	10/2	110人
褥瘡と栄養 管理栄養士　坂井　厚夫 薬剤の選択方法 薬剤師　飯島　孝子	褥瘡治癒に必要な栄養 院内にある褥瘡治療に使用する薬剤の選択方法	全職員	11/1	70人
ポジショニングの実際 理学療法士　野村　良亮	ポジショニングの実際とクッションの使い方	全職員	12/5	67人

臨床指導　伝達講習会

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
臨床指導者講習会伝達講習 ８階東病棟　看護師　江鳩　綾香 １－５病棟　看護師　吉澤かおり	県看護協会　臨床指導者講習会受講修了者の伝達講習	全看護師	1/15	75人

看護補助者研修

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
マイスター研修① 看護補助員の業務と役割 教育専従師長　穴澤　加代子	看護補助員の職務・業務上の責任、 看護職員と看護補助者の協働	マイスター希望者	6/6	14人
マイスター研修② 感染対策①　感染防止対策の重要性 感染管理認定看護師 感染対策室主任看護師　宮本　頼子	スタンダードプリコーション 手指衛生 感染防護具の正しい着脱 手袋交換タイミング 感染経路別対策	マイスター希望者	7/6	13人
マイスター研修③ 医療者としての接遇・コミュニケーション ANAビジネスソリューション 伊藤　久美子	病院職員に求められる身だしなみ・態度・言葉遣い・姿勢・表情	マイスター希望者	7/18	14人
マイスター研修④ 正しいポジショニングとマットレス選択 皮膚排泄ケア認定看護師・副師長 椎名　幸恵	正しいポジショニングとマットレスの選択、背抜きの演習	マイスター希望者	8/2	23人 一般9人
マイスター研修⑤ 移乗介助安全な活動の補助 移乗介助 医療安全管理推進室 局長補佐　白土てる子 理学療法士　平野いづみ 伊藤　巧	患者の保有機能を活用し、安全な介助方法を演習で習得する	マイスター希望者 一般看護補助者	9/20	26人 外部3人
業務委員会主催 日常生活に関わる業務研修① 環境整備、清潔のお世話 業務委員会	「ベッドメイキング」 「寝衣交換・全身清拭」演習	看護補助者	9/25	21人
マイスター研修⑥ 感染対策② 嘔吐処理 感染管理認定看護師 救命病棟主任看護師　宮本　頼子	感染経路と遮断、予防方法 職業感染と就業規則	マイスター希望者 一般看護補助者	10/10	29人
業務委員会主催 日常生活に関わる業務研修② 排泄のお世話 業務委員会	デモンストレーションと演習 ＊尿器・便器介助 ＊オムツ交換 ＊陰部洗浄	看護補助者	10/23	24人
マイスター研修⑦ 誤嚥を防ぐ食事介助技術 摂食嚥下障害看護認定看護師 掛巣　孝則	嚥下の機能 食事介助方法 口腔ケアの意義	マイスター希望者 一般看護補助者	11/15	32人
業務委員会主催 日常生活に関わる業務研修③ 食事のお世話と洗面のお世話 業務委員会	デモンストレーションと演習 ＊食事のお世話 ＊洗面のお世話	看護補助者	11/27	23人
マイスター研修⑧ オムツ交換とスキンケア 皮膚排泄ケア認定看護師・副師長 椎名　幸恵	スタンダードプリコーションを意識しつつ、患者の皮膚を保護し、安楽で漏れないオムツ装着ができる技術を習得する	看護補助者 近隣病院補助者	12/19	24人

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
マイスター研修⑨ 危険予知トレーニング リスク委員会	危険な状況を察知するKYT 療養上の安全を守る	マイスター希望者 一般看護補助者	1/17	29人
マイスター研修⑩ 看護補助者の業務上の倫理 教育専従師長　穴澤　加代子	職業倫理の基礎知識 ケアの対象となる人々を尊重する倫理的態度について考える	マイスター希望者	2/1	14人
マイスター研修⑪ 看護補助員　マイスター考査 教育委員会	考査	マイスター全研修受講者	2/27	13人

専門領域のゼミナール

講師は各分野認定看護師が担当

スキンケア基礎コース（院内認定看護師養成）

研修会名	研修内容	対象者	実施日	参加人数
基礎ゼミナール①	褥瘡対策の現状　ハイリスク用紙	ステップ2以上	5/11	109人
基礎ゼミナール②	予防と治療ケア	ステップ2以上	6/13	127人
基礎ゼミナール③	体圧分散　ポジショニング	ステップ2以上	7/11	125人
基礎ゼミナール④	栄養と褥瘡	ステップ2以上	9/5	107人
基礎ゼミナール⑤	褥瘡治療　DESIGN-R	ステップ2以上	10/3	104人
基礎ゼミナール⑥	最終考査	全５回受講者	11/14	90人

スキンケアステップアップコース（院内認定看護師養成）

研修会名	研修内容	対象者	実施日	参加人数
ステップアップゼミナール①	創の診方	基礎終了者	6/20	60人
ステップアップゼミナール②	薬剤、被覆材の選択と特徴	基礎終了者	7/4	74人
ステップアップゼミナール③	フットケア、VAC療法	基礎終了者	9/19	61人
ステップアップゼミナール④	リンパ浮腫の診方と治療	基礎終了者	10/10	62人
ステップアップゼミナール⑤	最終考査	全４回受講者	11/7	27人

※30年度　スキンケア院内認定看護師　合格者　16人

感染ステップアップコース（院内認定看護師養成）

研修会名	研修内容	対象者	実施日	参加人数
感染ステップアップゼミナール①	尿道留置カテーテル管理	基礎終了者	7/12	14人
感染ステップアップゼミナール② オープン講座	尿路感染の発生機序と診断治療	基礎終了者 看護局	9/12	99人
感染ステップアップゼミナール③	細菌検査結果の臨床的な読み方	基礎終了者	10/11 10/24 11/1	18人
感染ステップアップゼミナール④	血管内カテーテル管理	基礎終了者	12/6	15人
感染ステップアップゼミナール⑤	最終考査	全４回受講者	1/24	11人

※30年度　感染管理院内認定看護師　合格者　４人

糖尿病院内職員勉強会　全３回

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
院内職員勉強会①　職員の健康増進セミナー 自分の身体を知ろう 理学療法士　内村信一郎	なぜ健康に運動が必要か 身体活動のエクササイズ	全職員	7/12	看護職15人 総数36人

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
院内職員勉強会②　職員の健康増進セミナー 歯の健康について 　歯科衛生士　御須　広実 健康サプリメントについて 　薬剤師　石田　佳子	う蝕と歯周病 サプリメントとは サプリメントと医薬品の相互作用	全職員	9/6	看護職14人 総数39人
院内職員勉強会③　職員の健康増進セミナー 医学的にダイエットする方法 　糖尿病代謝内科　大西俊一郎 医師 健康維持のための食事 　管理栄養士　松本恵理奈	肥満とは 医学的に痩せる方法 栄養成分表示の見かた ５大栄養素	全職員	11/15	看護職52人 総数82人

高齢者看護シリーズ研修（高齢者看護シリーズ　全６回のうち３回＝２年計画）

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
①地域の健康事情、ソーシャルサポート 　社会福祉士　菅生　美雄	旭の高齢者状況について 社会保障制度（ソーシャルサポート）について 退院支援について 事例紹介	看護師 看護補助員 コメディカル	7/23	105人
②高齢者のフィジカルアセスメントと精神面 　手術室看護認定看護師　廣井　友樹 　精神科看護認定看護師　鈴木　圭二	高齢者の精神・心理的特徴 高齢者の身体的特徴 高齢者のフィジカルアセスメント、事例	看護師 看護補助員 コメディカル	10/16	93人
③治療選択においての意思決定支援 　手術室看護認定看護師　廣井　友樹 　透析看護認定看護師　髙尾　美香	意思決定に関するガイドライン 意思決定のタイプ シェアードディンジョンメイキングについて 意思決定支援の考え方	看護師 看護補助員 コメディカル	1/9	103人

がん看護シリーズ研修（がん化学療法シリーズ　全６回のうち３回＝２年計画）

研修会名・講師	研修内容	対象者	実施日	参加人数
④再発診断時の看護、意思決定支援 　臨床心理士　菊池　綾子 　社会福祉士　平野陽一郎 　乳がん看護認定看護師　新井田明美 　がん性疼痛看護認定看護師　石毛　明子	再発転移からの看護 シンポジウム：事例検討	看護師 看護補助員 コメディカル	6/14	111人
⑤がんの痛みを学ぼう／痛みのこと知っていますか？ 　薬剤師　岩田　佳之 　がん性疼痛看護認定看護師　石毛　明子	【セッション１】オピオイド鎮痛薬 【セッション２】疼痛緩和につながるケア	看護師 看護補助員 コメディカル	9/20	91人
⑥終末期のケアについて 　緩和ケア認定看護師　信太千恵子 　臨床心理士　廣田ひとみ	終末期のケア　穏やかな看取りへ ケアする側のセルフケア	看護師 看護補助員 コメディカル	12/13	103人

●スキンケア相談室（2018年度）

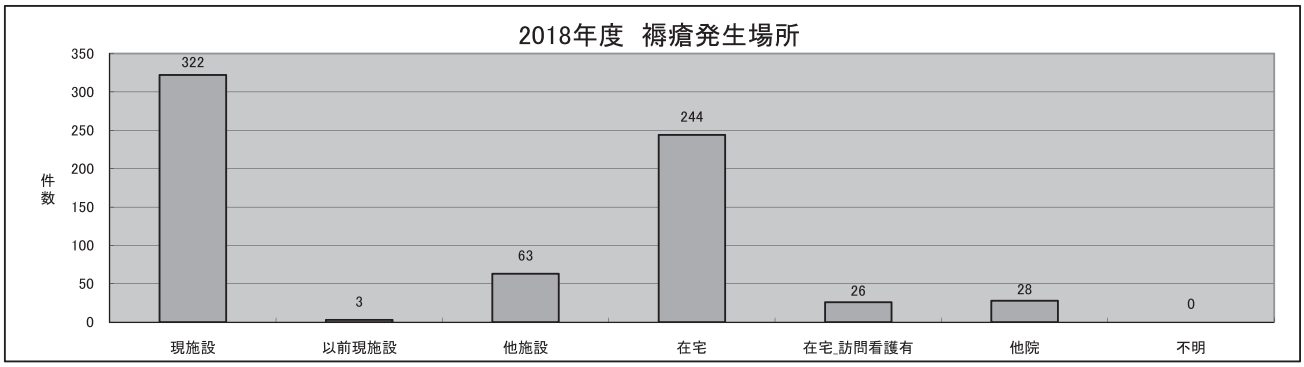
2018年度　褥瘡対策委員会　ハイリスク計画立案と褥瘡･スキン-テア 発生状況

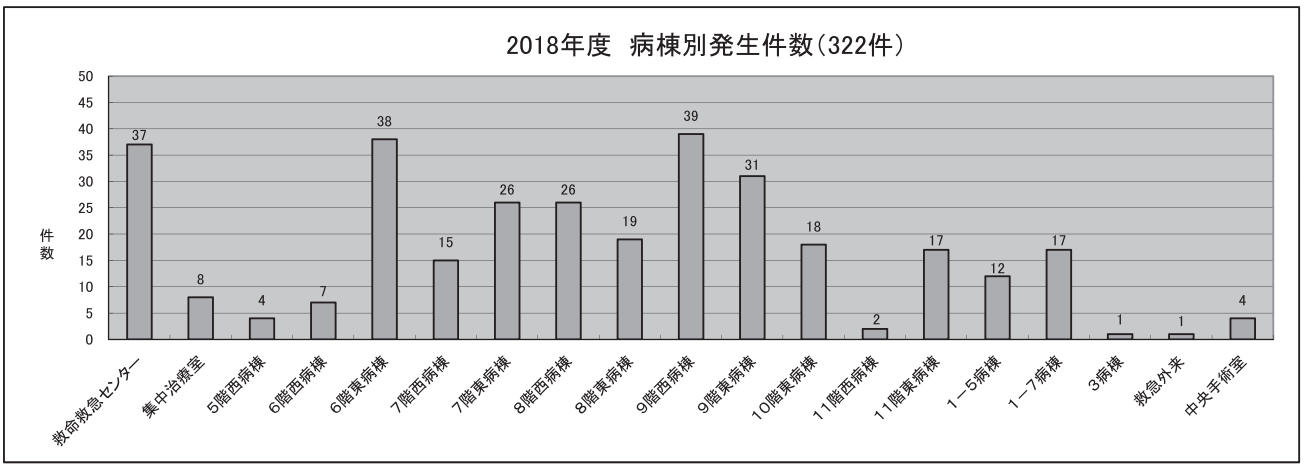
1.褥瘡ハイリスク計画立案状況

リスク状態分類	病棟名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
褥瘡あり	救命救急センター	1	2	4	6	4	2	4	6		6	4	8	47
ハイリスク状態	集中治療室	1	2	1			2					1		7
	５階NICU													
	５階GCU													
	５階西病棟		4	5	4		3				2	1	1	20
	５階東病棟										1			1
	６階西病棟	2	1	2	1	5	2	5	2	1	1	3	2	27
	６階東病棟	5	3	4	3		2		3	4	4	3		31
	７階西病棟	1				2		2		1		1		7
	７階東病棟	1	2	3	1	2		2		1	2	4		18
	８階西病棟	2	2	1	4	2	2	2		4	3	1	3	26
	８階東病棟	1	1		1								1	4
	９階西病棟			3		3	1	3	1	1	1			13
	９階東病棟	2	3	2	3	1		1	5	1	2	5	2	27
	10階西病棟	2												2
	10階東病棟	3	3	1	3	2		2	2	1	2		2	21
	11階西病棟		2		1		1		2				1	7
	11階東病棟	5	8	10	4	4	4	4	5	3	1	9	1	58
	１－５病棟	5	3	3	1	3	2	3	1	3	2	1	4	31
	１－７病棟	1		1					1				2	5
	３病棟		1											1
褥瘡あり　ハイリスク状態 集計		32	37	40	32	28	21	28	28	27	27	33	27	360
褥瘡なし	救命救急センター	31	42	49	31	37	31	37	39	40	53	22	38	450
ハイリスク状態	集中治療室	10	17	12	14	13	17	13	16	13	8	5	9	147
	５階NICU		1	7	8	12	9	12	8	9	8	12	10	96
	５階GCU	1							2			1	1	5
	５階西病棟	33	22	26	14	28	23	28	31	23	28	22	25	303
	５階東病棟	1		1	1	1	1	1	3	1	3	1	3	17
	６階西病棟	11	14	18	19	20	8	20	16	19	20	17	22	204
	６階東病棟	4	5	3	5	5	7	5	3	2	2	5	1	47
	７階西病棟	4	6	3	3	5	4	5	7	5	1	3	6	52
	７階東病棟	10	14	13	15	20	22	20	42	33	30	31	38	288
	８階西病棟	7	5	17	3	8	3	8	4	9	4	1		69
	８階東病棟	5	8	6	8	4	4	4	13	4	6	4	4	70
	９階西病棟	64	65	70	66	65	54	65	61	72	51	50	61	744
	９階東病棟	17	9	13	13	17	13	17	23	16	18	11	27	194
	10階西病棟	3	5	1	2	2	2	2	2		5	2	3	29
	10階東病棟	5	5	10	11	8	5	8	12	13	23	12	14	126
	11階西病棟	9	18	9	15	17	12	17	18	16	19	6	10	166
	11階東病棟	17	17	21	24	11	18	11	20	17	19	16	14	205
	１－５病棟	1		4	7	3	3	3	1	5	2		3	32
	１－７病棟	6	2	6	4	4	5	4	14	8	9	8	7	77
	３病棟	4	8	5	6	3	4	3	4	6	2	6	3	54
褥瘡なし　ハイリスク状態 集計		243	263	294	269	283	245	283	339	311	311	234	290	3,365
総　　計		275	300	334	301	311	266	311	367	338	338	267	317	3,725

2，褥瘡発生状況

褥瘡発生者数　539名
褥瘡発生件数　683件（うち当院発生322件；47.1％）
　院内発生率=1.59%
　院外発生率=1.78%



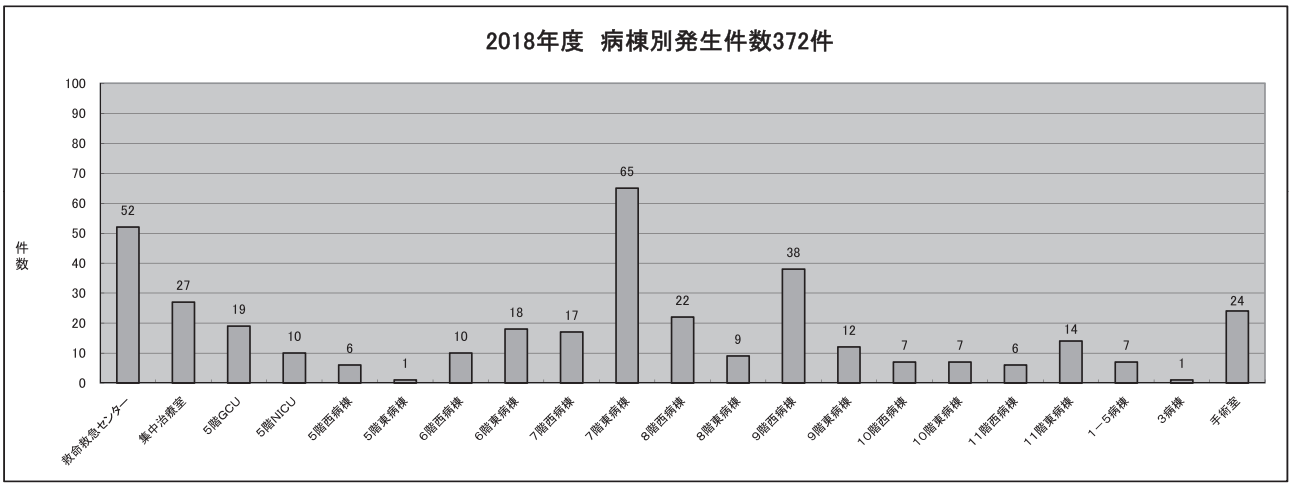


発生要因

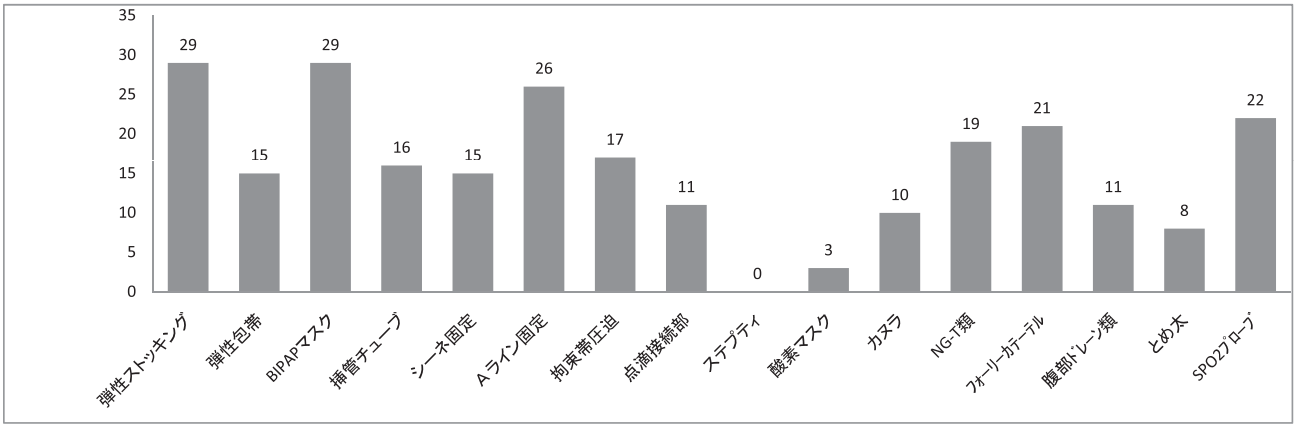
特殊体位	６時間以上の手術	車いす使用中ッシュアップ不足	車いす使用中クッション不使用	踵の除圧不足	圧迫_踵の除圧不足（DM)	圧迫_踵の除圧不足_PAD	除圧不足	クッション不足	ギャッジアップ摩擦	クッション圧迫	適切なマットレス選択
3	3	2	2	51	6	4	253	36	119	44	25

3．MDRPU発生状況

院内発生率＝1.84%



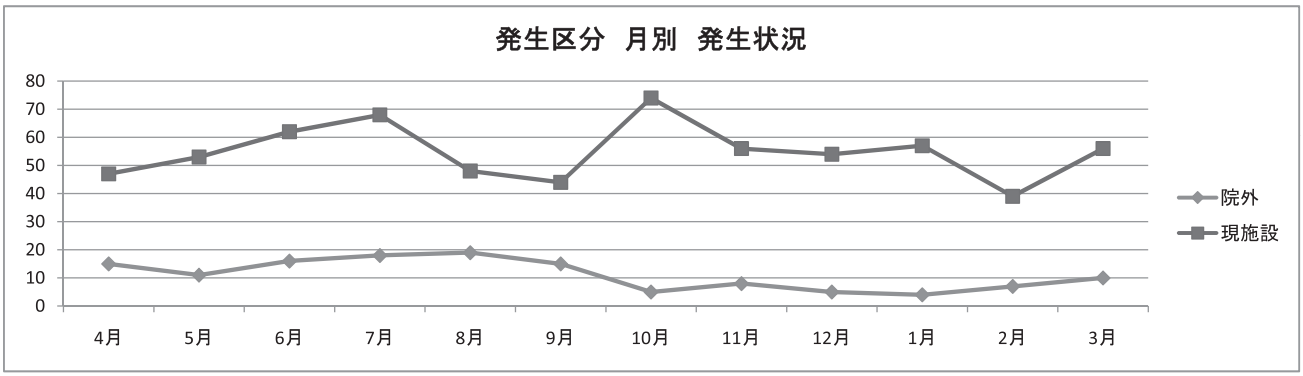
2018年度　医療機器圧迫発生要因（院内372件）　　252件内訳（その他除く）

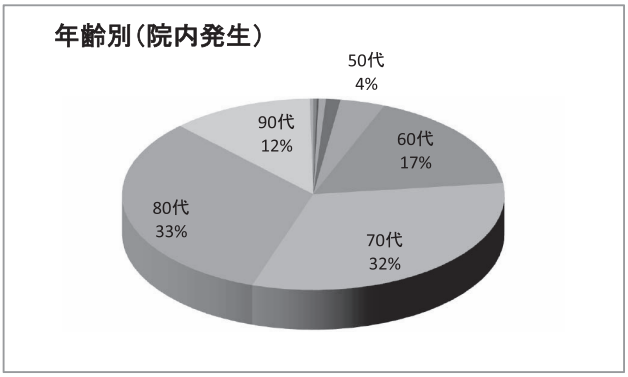


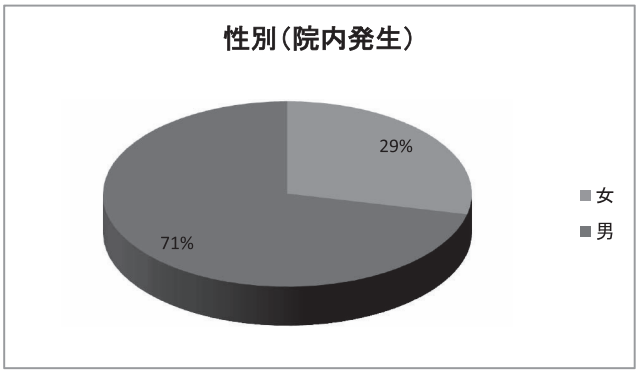
4．スキン-テア発生状況

院内発生率：3.22%

発生月	院外	現施設	総計
4月	15	47	62
5月	11	53	64
6月	16	62	78
7月	18	68	86
8月	19	48	67
9月	15	44	59
10月	5	74	79
11月	8	56	64
12月	5	54	59
1月	4	57	61
2月	7	39	46
3月	10	56	66
総　計	133	658	791


発生区分　月別　発生状況
80
70
60
50
40
30
20
10
0
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
院外
現施設

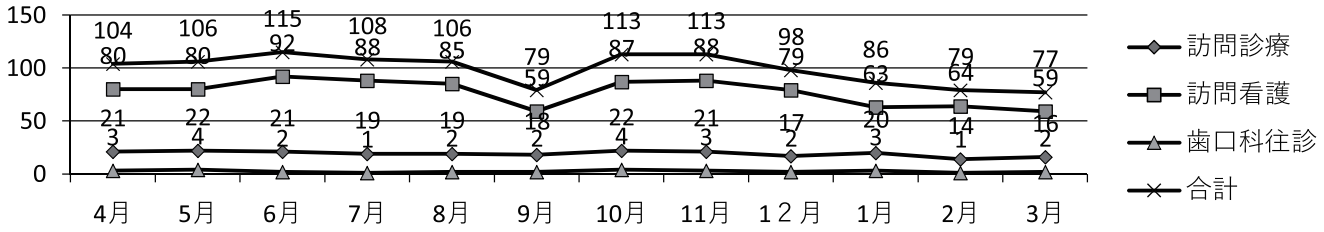

年齢別（院内発生）
50代
4%
60代
17%
70代
32%
80代
33%
90代
12%


性別（院内発生）
29%
71%
女
男

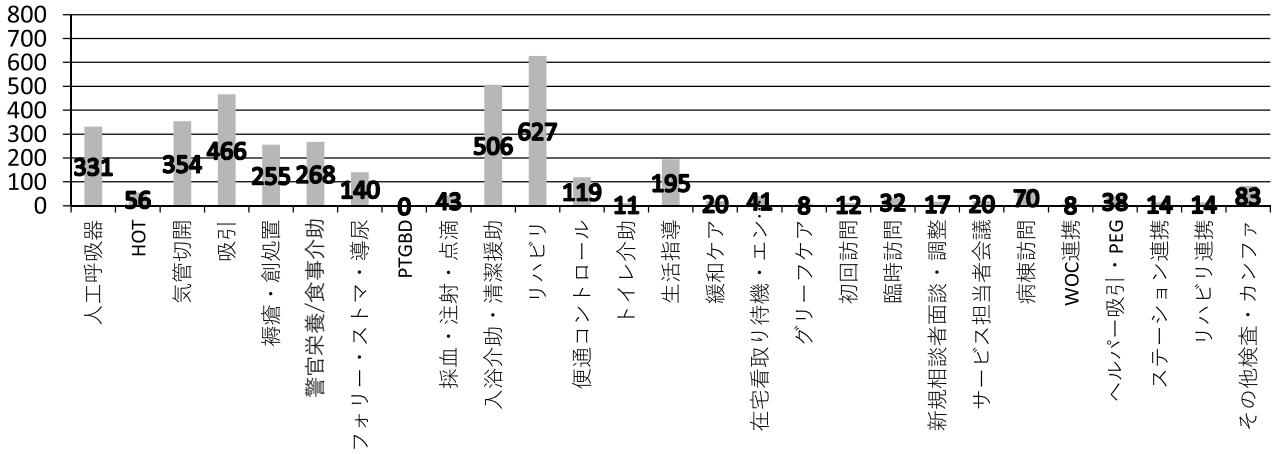
●訪問看護室（2018年度）

対象期間：2018年4/1～2019年3/31

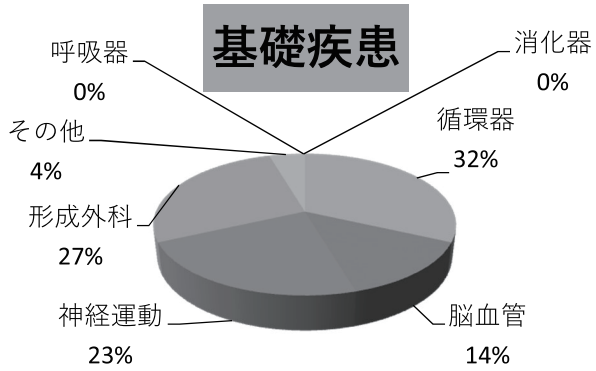
月別訪問実績



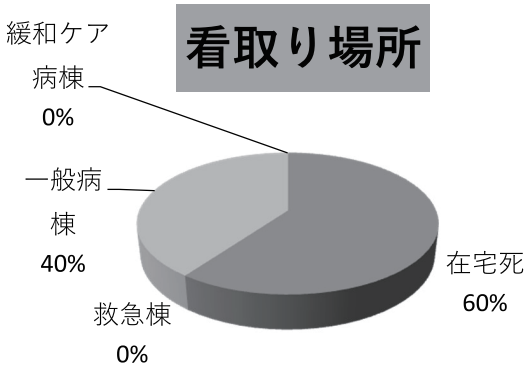
看護提供内容



基礎疾患



看取り場所



2018年度トピックス

2019年2月6日ISO審査

<高く評価できる事項として>

教育訓練計画書を策定し年間を通ししっかりとした教育訓練が行われている。と評価して頂きました。

スキルアップのため最新のケア、看護等充実した勉強会を開催していきます！

●中央洗浄滅菌室（2018年度）

2018. 4. 1～2019. 3. 31

滅　菌				滅菌　OPE		消　毒		
汎用	セット	縫合セット 胸腔ドレナージ 気管切開 歯科4点	14,290	外科	7,505	汎用	セット	30,489
							単品	77,798
				心臓外科	1,005		チューブ作製	9,600
				整形外科	2,088	部署	病棟セット	5,536
							外来セット	15,285
		再滅菌	3	婦人科	899		病棟単品	74,530
							外来単品	124,323
	単品	単品	84,754	歯口科	272		透析センター鉗子	37,474
							学校検診器材	5,560
						消毒セット計		51,310
		再滅菌	21	耳鼻科	485	消毒単品計		329,285
部署	セット	病棟セット	2,413	形成外科	941	機器使用回数	AC滅菌機　No.1	1,211
							AC滅菌機　No.2	1,194
							AC滅菌機　No.3	1,171
		再滅菌	18	眼　　科	5,530		AC滅菌機　No.4	1,117
							EOG滅菌機No.1	192
		外来セット	9,464	脳外科	1,193		EOG滅菌機No.2	176
							低温プラズマ滅菌機　No.1	657
		再滅菌	6	泌尿器科	3,724		低温プラズマ滅菌機　No.2	602
							単層式洗浄機　No.1	2,625
	単品	病棟単品	5,837	その他	2,521		単層式洗浄機　No.2	2,795
							単層式洗浄機　No.3	2,746
		再滅菌	425	再滅菌セット	87		二層式洗浄機　No.4	4,898
							真空式洗浄機	2,220
		外来単品	64,883	借用器械	445		ソニックイリゲーター	87
							オリンパスOER-3　回	865
		再滅菌	249	単品・ディスポ	22,006		ファイバー　　本	623
							メジャリング　個	1,702
滅菌セット			52,889	再滅菌単品	300		その他	46
							エンドクレンズD　回	384
滅菌単品			178,475	・12/11　ガラス製ネブライザー嘴管 ディスポ化			経食道エコー　本	330
							ファイバー　　本	35
総合計	セット		104,199	単品	507,760		眼科硬性鏡　本	66

薬　剤　局

●薬剤局（2018年度）

① 2018年度のトピック（ISO質目標に基づいた振り返り）

薬剤部門の2018年度ISO質目標は、１）疑義照会事例を医療安全に生かす、２）薬剤管理指導の件数アップ、３）後発医薬品の使用促進、４）薬剤師レジデント制導入に関する検討、以上の４テーマを掲げた。なお７月からは、病院方針として入院患者の薬剤管理指導件数アップを最重要課題として、職場全体で業務改革に取組んだ。

１）は目標値を「重要なインシデントを医療安全連携推進室（安全室）へ毎月報告し、重要な事例を医師等へフィードバックする」とした。院外処方せんは年間281,688枚で、その内の8,089枚が疑義照会（2.87%）され、さらに3,827枚が未然インシデントという状況であった。

２）は７月中旬から業務手順を変更し、目標値を「１日平均90件」に設定した。下期には概ね目標値を達成した。

３）は目標値の「GE数量シェア90%以上を維持」を毎月クリアすることができた。

４）は、病棟業務(薬剤管理指導を月90件達成）を優先させるため、業務負荷を考慮し、本テーマを一旦中止することとした。

重要課題であった薬剤管理指導の件数アップは、職場ミーティングを重ね業務手順等の見直しにより目標値を達成できることができた。次年度は業務の安定稼働が課題と考えている。

② 2018年度　業務実績

１）薬品使用額実績　２）処方せん発行実績　３）注射調剤業務実績
４）抗がん剤調製業務実績　５）外来患者指導業務実績　６）入院患者指導業務実績
７）病棟薬剤業務実績　８）手術前外来薬剤鑑別業務実績　９）製剤業務実績
10）医薬品情報関連業務実績　11）TDM業務実績　12）PET業務実績

2018年度 薬品使用額実績（薬効分類別薬価額）

薬　効　分　類	使用額（千円）	比率（%）
中枢神経系用薬	151,267	2.31
末梢神経系用薬	51,143	0.78
感覚器官系用薬	120,583	1.84
循環器官系用薬	131,341	2.01
呼吸器官系用薬	38,972	0.60
消化器官系用薬	190,994	2.92
ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	291,490	4.46
泌尿生殖器官及び肛門用薬	10,572	0.16
外皮用薬	18,602	0.28
ビタミン剤	6,445	0.10
滋養強壮薬	38,011	0.58
血液・体液用薬	326,648	5.00
人工透析用薬	58,829	0.90
その他の代謝性医薬品	638,312	9.76
細胞賦活用薬	218	0.00
腫瘍用薬	2,873,412	43.94
アレルギー用薬	10,433	0.16
生薬及び漢方処方に基づく医薬品	3,452	0.05
抗生物質製剤	204,418	3.13
化学療法剤	761,563	11.65
生物学的製剤	345,762	5.29
寄生動物薬	3,977	0.06
調剤用薬	9,412	0.14
診断用薬	173,684	2.66
治療を目的としない医薬品	33,863	0.52
アルカロイド系麻薬	19,096	0.29
非アルカロイド系麻薬	26,257	0.40
合　　計	6,538,758	100.00

2018年度　処方せん発行実績（処方せん発行件数）

処方区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	院外処方	23,325	24,078	22,845	23,858	25,292	21,173	24,951	23,471	23,326	24,708	22,232	22,429	281,688
	院内処方	1,750	1,838	1,665	1,861	1,915	1,612	1,982	1,791	1,766	1,763	1,649	1,766	21,358
院外率%		93.0	92.9	93.2	92.8	93.0	92.9	92.6	92.9	93.0	93.3	93.1	92.7	93.0
入院処方		7,691	8,743	8,648	8,803	8,908	7,961	8,813	8,752	8,517	8,692	8,316	8,334	102,178

2018年度　注射調剤業務実績

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
処方枚数	9,558	10,179	10,271	10,617	10,885	10,281	10,668	10,498	10,661	11,919	9,317	10,214	125,068
件　数	40,985	44,211	43,851	43,705	45,872	43,658	45,116	45,524	45,381	52,859	38,997	41,473	531,632
剤　数	60,057	64,419	64,041	64,568	68,532	64,735	66,262	67,580	67,358	79,287	58,025	62,470	656,700

2018年度　抗がん剤調製業務実績

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
05西	17	25	24	22	27	28	31	25	27	31	32	31	320
05東				1							1	5	7
06西	65	77	63	45	49	43	34	38	32	37	37	42	562
06東	19	17	14	9	24	17	15	19	35	25	6	23	223
08西	1	2										1	4
08東				1		1	4	2	2		9	1	20
09西	2		3	3	3	4	2		1	2	3		23
09東	25	19	20	22	17	8	5	23	22	17	4	11	193
10西										2			2
10東	68	72	66	64	55	45	29	27	37	31	29	37	560
11西	112	85	127	121	160	102	118	160	165	173	148	133	1,604
11東	6	5	3			1	3			2	2		22
1-5		1		1		1				1	1	1	6
ERW							1		1	4	1		7
外科	92	95	84	93	92	73	108	76	87	87	96	82	1,065
眼科				4	5	1							10
救急科												1	1
産婦人科				1				1	2				4
耳鼻科										2	2	2	6
小児科	1		1		1		1		1	1		1	7
内科	700	774	679	692	806	675	793	777	710	717	677	679	8,679
脳外科	2	2	2	3	7	6	6	6	5	4	4	4	51
泌尿器科	25	33	36	37	34	31	49	36	42	52	41	46	462
皮膚科	3	3	4	8	7	7	11	8	7	4	5	6	73
婦人科	20	25	15	17	21	11	19	15	13	13	11	10	190
合計	1,158	1,235	1,141	1,144	1,308	1,054	1,229	1,213	1,189	1,205	1,109	1,116	14,101

2018年度　外来患者指導業務実績

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指導患者数	434	564	503	511	556	416	512	430	418	349	331	443	5,467

2018年度　入院患者指導業務実績

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤管理指導	指導患者数	916	959	1,002	1,235	1,414	1,227	1,447	1,373	1,290	1,234	1,299	1,332	14,728
	指導回数	1,237	1,286	1,314	1,814	2,014	1,760	2,188	2,045	1,953	1,910	1,942	1,985	21,448
	医事請求数	1,085	1,140	1,180	1,624	1,788	1,575	1,963	1,827	1,714	1,712	1,728	1,764	19,100
退院時薬剤指導		263	286	339	365	437	365	410	388	372	261	343	333	4,162
麻薬管理指導		54	61	67	85	65	66	106	100	98	73	51	68	894

2018年度　病棟薬剤業務実績

業務内容　＊1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医薬品の投薬・注射状況の把握	2,021	2,116	2,092	2,067	2,246	1,884	2,214	2,116	2,023	2,014	1,924	2,084	24,801
医薬品安全性情報等の提供（医療者からの相談）	119	120	99	139	137	105	125	154	105	121	109	128	1,461
持参薬の確認及び服薬計画の提案	462	482	476	503	555	495	581	515	469	501	444	451	5,934
薬剤投与前の相互作用の確認	8	5	6	9	12	8	10	11	2	9	5	1	86
ハイリスク薬等に係る投与前の詳細な説明	54	50	42	44	43	32	45	36	41	56	55	47	545
薬剤投与前の流量又は投与量の計算等の実施	124	120	106	157	159	123	117	129	102	86	80	77	1,380
その他　＊2	1,462	1,518	1,454	1,483	1,611	1,301	1,505	1,505	1,435	1,425	1,375	1,398	17,472
合　計	4,250	4,411	4,275	4,402	4,763	3,948	4,597	4,466	4,177	4,212	3,992	4,186	51,679

＊1　業務内容は、厚生労働省通知区分による。

＊2　その他に含まれる業務は、TDM情報等による処方提案、抗がん剤レジメン確認による副作用低減の処方提案、抗がん剤の無菌調製、TDM・検査オーダー依頼、退院先の施設等との連携、カンファレンス参加などがある。

2018年度　手術前外来薬剤鑑別実績

診療科	区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
周術期センター	患　者　数	39	56	62	50	54	64	63	79	54	56	47	62	686
	他院薬品数	169	190	282	231	257	293	242	235	207	245	171	240	2,762
	当院薬品数	72	75	128	78	89	80	76	164	48	84	87	71	1,052
	合計薬品数	241	265	410	309	346	373	318	399	255	329	258	311	3,814
外　科（乳腺センターを含む）	患　者　数	55	63	54	72	80	43	47	46	51	56	55	44	666
	他院薬品数	228	311	190	256	322	185	188	231	217	250	211	201	2,790
	当院薬品数	79	64	104	87	91	70	71	65	91	59	88	80	949
	合計薬品数	307	375	294	343	413	255	259	296	308	309	299	281	3,739
泌尿器科	患　者　数	68	104	89	103	106	104	98	85	89	67	77	72	1,062
	他院薬品数	316	493	544	533	473	491	467	431	393	358	402	362	5,263
	当院薬品数	70	66	106	98	94	79	62	81	90	90	66	46	948
	合計薬品数	386	559	650	631	567	570	529	512	483	448	468	408	6,211
整形外科	患　者　数	18	20	18	21	26	26	43	27	32	29	44	18	322
	他院薬品数	65	75	103	140	128	109	248	123	154	184	221	101	1,651
	当院薬品数	53	78	49	69	60	75	104	54	76	93	114	64	889
	合計薬品数	118	153	152	209	188	184	352	177	230	277	335	165	2,540
婦人科	患　者　数	17	20	16	19	29	25	21	18	13	15	18	25	236
	他院薬品数	60	87	47	47	154	62	75	61	35	88	86	107	909
	当院薬品数	14	26	17	20	27	41	20	22	6	5	19	28	245
	合計薬品数	74	113	64	67	181	103	95	83	41	93	105	135	1,154
心臓外科	患　者　数	8	5	10	5	6	4	9	5	0	7	4	9	72
	他院薬品数	22	15	17	6	26	12	46	23	0	42	6	46	261
	当院薬品数	43	23	71	24	40	25	21	33	6	2	32	34	348
	合計薬品数	65	38	88	30	66	37	67	56	6	44	38	80	609
耳鼻科	患者数	11	19	12	14	10	10	18	10	6	16	15	8	149
	他院薬品数	40	93	27	17	29	22	44	31	20	62	24	24	433
	当院薬品数	33	55	12	27	24	35	33	34	5	19	36	19	332
	合計薬品数	73	148	39	44	53	57	77	65	25	81	60	43	765
皮膚科	患者数	0	0	11	16	11	4	6	7	7	6	8	10	86
	他院薬品数	0	0	61	103	41	36	30	22	39	36	71	67	517
	当院薬品数	0	0	16	20	35	13	12	13	17	6	5	8	145
	合計薬品数	0	0	77	123	76	49	42	35	56	42	76	75	662

歯口科	患者数	0	1	2	3	7	3	6	4	2	4	5	7	44
	他院薬品数	0	8	32	16	35	21	36	13	17	6	13	29	226
	当院薬品数	0	0	0	8	5	3	8	2	0	24	0	13	63
	合計薬品数	0	8	32	24	40	24	44	15	17	30	13	42	285

形成外科	患者数	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	他院薬品数	0	0	0	8	10	8	0	0	0	0	0	0	26
	当院薬品数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	合計薬品数	0	0	0	8	10	9	0	0	0	0	0	0	27

内科	患者数	5	9	3	11	5	4	5	11	9	4	6	9	81
	他院薬品数	21	27	19	47	15	20	19	29	13	10	37	22	279
	当院薬品数	32	23	13	34	17	5	44	31	47	20	15	24	305
	合計薬品数	53	50	32	81	32	25	63	60	60	30	52	46	584

合計	患者数	221	297	277	315	335	288	316	292	263	260	279	264	3,407
	他院薬品数	921	1,299	1,322	1,404	1,490	1,259	1,395	1,199	1,095	1,281	1,242	1,199	15,106
	当院薬品数	396	410	516	465	482	427	451	499	386	402	462	387	5,283
	合計薬品数	1,317	1,709	1,838	1,869	1,972	1,686	1,846	1,698	1,481	1,683	1,704	1,586	20,389

2018年度　製剤業務実績

製剤名	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3ATCMC軟膏	g			250				250					500	1000
アズノールG口腔ケア含嗽液	L	0.5	0.5	0.5	1	1		1	0.5	0.5	0.5	0.5	1	7.5
アズノールN口腔ケア含嗽液	L	0.5	0.5	0.5		1	0.5	0.5		1	1	0.5		6
アドレナリン2000倍	mL	1130	1220	920	820	1320	620	620	1120	1020	820	920	620	11150
アドレナリン0.01%+キシロカイン2%	mL	40	60	40	40	40	20	20	40	40	40	40	40	460
アドレナリン0.02%+キシロカイン0.5%	mL	100	100	100	300		200	220	200	100	100	100	100	1620
アドレナリン5000倍	mL	1500	1750	1750	2150	2050	1950	2850	1700	2250	1550	1700	1400	22600
アドレナリン0.02%+キシロカイン2%	mL	50	50				50	70	50	50	50	50	50	470
アドレナリン20万倍	mL	400	650	750	400	750	650	650	650	600	600	850	850	7800
アトロピン点眼液0.5%	本											2	2	4
20%塩化アルミニウム液	mL	500		500	500		500						500	2500
AZ含嗽液	mL	1000	1000	500	1000	1000	500	1000	1000	500	500	500	500	9000
フェノール（液状）	mL	20			40			20	20				20	120
HSE（ボスミン加高張食塩水注）	mL	120	180	220	60	260	60	240	100	140	120	120	120	1740
Mohsペースト	g					50	60	60	30	30	30	30	90	380
塩化ナトリウム点眼液5%	本	5	8		8		8		8		8		8	53
オキシドール2倍希釈液	L	4	6.5	4.5	5.5	4.5	3.5	5	4.5	5.5	5.5	4	5	58
オバホルモン親水軟膏	g		100						100					200
オリブ油（滅菌）	mL	20		40	20	60	20	40	40	60	40	20	40	400
カプトドロップ	本	8	6	10	2	6	6	6	10	6	6	6	6	78
4%キシロカイン点眼液	mL	140	140	180	180	220	160	160	180	180	80	140	140	1900
0.025%逆性石ケン液	L	4	4.8	5.8	4.2	4.6	3.6	4.8	3.8	4.2	4.2	4.6	4.2	52.8
グリセリン（滅菌）	L	18.3	11.6	20.4	23.5	19.3	19.2	18.3	20.8	16.2	15.8	16.7	18.2	218.38
グルタルアルデヒド溶液	mL		1000						500			1000		2500
KOH20%＋DMSO15%	mL	20	20	20	40	40		30	20	30				220
ゲンタシンガーゼ	缶	5	3	2	5		5		8	12		5		45
10%塩酸コカイン水溶液	mL	7	9	6	4	12	2	7	4	9	4	12	3	79
鼓膜麻酔液	mL	10		10	10			10	10			10		60
酢酸3%	mL	600	500	600	1000	1500	500	800	1900	100	700	600	1000	9800
20%自己血清点眼液	mL	240	120	233	290	150	295	260	245	14	350	235	165	2597
2%重ソウ水	L	10.5	16.5	15.5	17	11	10.5	11.5	12.5	9	10	8	6.5	138.5
硝酸銀液0.02%	mL											60		60
硝酸銀液0.05%	mL											60		60
硝酸銀液0.1%	mL											90	89	179
硝酸銀液0.2%	mL												90	90
硝酸銀0.3%	mL												180	180

製　剤　名	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
硝酸銀液10%	mL			10	10			20					10	50
小児用ベネトリン吸入液①液	mL	300	200	200	700	400	300	500	200	200	100	400	100	3600
小児用ベネトリン吸入液②液	mL	200	400	200	200	300	300	300	400	200		200	200	2900
SADBE 2%　*1	mL	18	76	40	18	40	20	40	56	20	40	36	40	444
SADBE 0.2%　*1	mL	58	58	60	18	40	20	58	40	78	60	36	80	606
SADBE 0.02%　*1	mL	16	38	40	38	40	20	120	40	56	60	58	60	586
SADBE 0.002%　*1	mL	40	38	40	18	40	20	98		76	60	20	120	570
SADBE 0.0002%　*1	mL	18	38	40	18	20	40	58		78	60		40	410
SADBE 0.00002%　*1	mL	18	38	40	58	20	40	98	18	56	60		60	506
SADBE 0.000002%　*1	mL	18	38	40	40	20	20	58	16	78	60		40	428
SADBE 0.0000002%　*1	mL	20	20	40	20	20	20	38	38	38	40		60	354
生食点鼻液	mL	250	250		360	350	160	500	850	625	960	300		4605
生食点眼液	本		4											4
セフタジジム点眼液2%	本		1	3					4	3				11
DMSO液50%	mL	60	60	120	120	120			120			180	120	900
0.5%デノシン点眼液	本	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
ニフレック洗腸液	L	612	622	758	748	882	692	872	766	678	756	759	688	8833
パッチテスト	伴								1					1
バルプロ酸坐剤200mg	個		30		30		30					30	60	180
バルプロ酸坐剤600mg	個		30		30		15				120			195
バンコマイシン点眼２%	本		1						4					5
ピオクタニン１%	mL	1000			530		500	500		575	1225	15	500	4845
ピューラックス3 3倍希釈液	L	0.9	1.4	1.4	450.9	1.4	0.9	1.8	0.9	1.4	1.4	0.9	1.4	464.4
1%ブイフェンド点眼液	本	2				1	3	7		3	10	6	5	37
10%フェノールグリセリン注射液	A										1			1
液状フェノール	mL									40				40
フェノール水溶液(5%)[注射]	A										20			20
プリビナ点鼻液	本				20						5		13	38
ブリリアントブルー液	本	20			20	18						20		78
0.1%プレドニン点眼液	本	8	12	8	4	8	12	8	4	16	4	8	7	99
0.05%ヘキザック点眼液	mL								30	15	30			75
ベクロメタゾンカプセル	個	49	175		40	40	139	180	178	134	94	72	130	1231
ベクロメタゾン腸溶性カプセル	個	49	174		40	40	139	169	161	116	103	122	180	1293
ヘパリンナトリウム10倍希釈点耳液	本		20						10					30
墨汁注	g	200		200		200			200		200		200	1200
16倍希釈ポピラール液	L	11.4	14.4	15.2	13.6	14.6	13.4	15.4	15.8	14.2	11.6	13.2	13.2	166
ミラクリッド膣坐剤	個			48	48	48		48	48	48			48	336
メチレンブルー２%	mL			200						15	20			235
0.8%メトロニダゾール液キシロカイン入り	mL										500		500	1000
0.8%メトロニダゾール液キシロカインビスカス入り	mL										1000			1000
メトロニダゾール・ゲル（0.8%）	g	1000		1000			500	1000	2500	500				6500
メントール入りベナパスタ	g		510	510				1020	510			510		3060
10%リドカインクリーム	g	1140	2000		3000		2000		2000	2000	3000		2000	17140
リンデロン口腔ケア用含嗽液	mL							120						120
内服用ルゴール液	mL			50	50									100
ルゴール液	mL		300	50	250	500	420	480	200	150	150		200	2700
ルゴール液(シラーテスト用)	mL			200	100	300	100	400	100	400	400	200	100	2300
ルゴール液（内視鏡用）	mL		250	100							100	250		700
レベチラセタム坐剤500mg	個		30	30		60			60	120		30	60	390
ローズベンガール点眼液１%	本	2			2									4
ローダミンB（0.1%）	mL											100		100

*1：スクアレン酸ジブチルエステルアセトン液

2018年度　医薬品情報管理科業務実績

疑義照会件数（院内処方・入院）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
676	722	476	562	670	612	711	675	662	730	577	574	7,647

院内副作用報告件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	8

新規採用品目数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14	0	41	10	0	11	8	0	33	0	11	14	142

削除品目数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
6	0	15	3	0	3	2	0	14	0	4	9	56

治験調剤件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	28	18	19	25	14	27	26	25	30	34	55	327

2018年度　TDM業務実績（血中薬物濃度解析件数）

薬　物	入院/外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
テオフィリン	外	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
	入	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
バルプロ酸	外	18	14	9	22	24	9	6	15	4	7	7	18	153
	入	0	1	4	5	10	0	4	2	2	3	6	9	46
カルバマゼピン	外	12	5	3	9	11	6	7	5	5	6	4	13	86
	入	1	1	1	1	8	3	1	2	5	2	5	5	35
フェニトイン	外	0	3	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	8
	入	5	0	1	1	0	0	6	0	1	3	0	0	17
フェノバルビタール	外	1	3	1	2	1	0	3	2	0	1	0	1	15
	入	1	0	1	7	9	7	6	3	2	2	1	1	40
エトスクシミド	外	1	2	0	2	1	0	3	2	0	0	0	4	15
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゾニサミド	外	2	2	0	0	4	0	1	1	0	0	0	2	12
	入	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	1	5
クロナゼパム	外	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	4
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロバザム	外	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	入	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
リチウム	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
ジゴキシン	外	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	入	1	0	0	0	0	1	0	1	3	2	0	0	8
ジソピラミド	外	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アミカシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	5
ゲンタマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	8	5	1	0	0	0	2	6	1	0	3	2	28
トブラマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	0	0	1	0	0	2	3	4	0	0	10
バンコマイシン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	63	60	77	70	91	94	79	90	85	73	95	106	983

薬　　物	入院/外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
テイコプラニン	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
シクロスポリン	外	4	5	1	2	2	2	4	1	6	3	3	3	36
	入	5	1	1	0	3	2	0	1	1	4	3	1	22
タクロリムス	外	2	1	1	2	1	0	2	1	2	2	1	2	17
	入	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
その他	外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入	0	0	4	1	0	0	0	0	1	0	1	0	7
合計（外来＋入院）		130	107	105	129	172	127	125	137	124	114	131	173	1,574

2018年度　PET業務実績（FDG合成実績）

積算サイクロトロン照射時間（hr）	228.2
積算照射電流（μAh）	6847
合成回数（回）	241
総F-合成量（GBq）	7961.5
総FDG合成量（GBq）	5320.1
合成収率（%）	66.8%

診療技術局

●中央検査科（2018年度）

2018年度は「検査の品質向上」を目標に、臨床検査の国際規格であるISO15189の取得を目指して努力し、2019年２月に取得することができました。今後は、維持・継続に向けた取り組みをおこなっていきたいと思います。

検査件数は、全体としては対前年度比で104.0%とほぼ横ばいでした。内訳では、検体検査は一般検査100.1%、血液検査106.6%、生化学検査105.2%、細菌検査106.5%、免疫血清検査104.7%、輸血検査107.0%、夜間休日検査96.9%でした。また、生理検査は心電図検査100.6%、呼吸機能検査102.9%、超音波検査94.9%、脳波検査95.1%、無散瞳眼底検査97.5%、聴力検査99.9%、でした。医療連携強化施策の一環として導入された地域医療機関による生理検査機器共同利用件数は、対前年度比158.9%と上昇しました。

2018年度　中央検査科業務件数

部　　署	検　査　件　数
一般検査	115,257
血液検査	562,550
生化学検査	4,127,268
細菌検査	136,369
免疫血清検査	19,341
輸血検査	30,958
心電図検査	44,693
呼吸機能検査	22,457
超音波検査	21,530
脳波検査	3,188
無散瞳眼底検査	3,245
聴力検査	7,521
夜間休日検査	733,753
総　合　計	5,828,130
外部委託検査	83,837
中央採血室採血患者数	149,238

Ⅰ　中央採血室

診　療　科	採血患者数
内科	103,190
外科	12,017
心臓外科	2,109
整形外科	1,556
泌尿器科	11,043
神経科	2,983
脳外科	758
耳鼻科	1,464
皮膚科	2,743
歯口科	368
眼科	1,697
形成外科	757
麻酔科	290
産科	2,177
婦人科	5,814
リハビリ科	1
放射線科	0
透析	100
小児科	0
救急科	0
職員検診	171
外来患者合計	149,238
月平均患者数	12,437

Ⅱ　検体検査部門

1．一般検査

検査項目	外　来	入　院	合　計
尿定性	44,885	5,211	50,096
尿沈渣	34,507	5,157	39,664
赤血球形態	1537	422	1,959
尿蛋白定量	8,848	1,671	10,519
尿糖定量	47	45	92
妊娠反応	19	1	20
便潜血検査	7,343	211	7,554
寄生虫検査	25	21	46
髄液検査	99	184	283
穿刺液検査	430	443	873
精液検査	60	0	60
便中ロタ抗原	23	45	68
便中アデノウイルス抗原	23	45	68
RSウイルス	567	97	664
GAS迅速	406	45	451
咽頭アデノ	418	54	472
尿中レジオネラ	435	73	508
尿中肺炎球菌	444	74	518
ヒトメタニューモウイルス	489	89	578
糞便塗抹検査（その他）	88	676	764
総　件　数	100,693	14,564	115,257

2．血液検査

検査項目	外　来	入　院	合　計
血算	151,739	52,214	203,953
血液像	125,534	50,114	175,648
血液像目視	4,916	1,955	6,871
網状赤血球	2,647	1,352	3,999
出血時間	2,766	120	2,886
PT	30,237	19,043	49,280
APTT	30,237	19,043	49,280
Fib	21,008	12,258	33,266
FDP	739	1,920	2,659
Dダイマー	8,590	7,272	15,862
ATⅢ	144	386	530
第ⅩⅢ因子	63	63	126
SFMC	705	184	889
ループスアンチコアグラント	144	80	224
混合試験	8	9	17
骨髄像	250	204	454
特殊染色	2	0	2
血沈	15,022	1,536	16,558
凝集能	28	0	28
その他	9	9	18
総　件　数	394,788	167,762	562,550

3．生化学検査

依頼項目	項目数	外　来	入　院	合　計
血清蛋白	7	280,684	96,140	376,824
アミノ酸窒素化合物	10	443,871	144,596	588,467
酵素	14	848,141	279,875	1,128,016
鉄代謝	3	24,183	5,721	29,904
心筋マーカー	4	32,422	40,634	73,056
血清ビリルビン	2	142,275	51,776	194,051
脂質	6	300,107	22,134	322,241
電解質・金属	15	675,209	229,037	904,246
内分泌・糖代謝	5	145,712	9,567	155,279
内分泌・下垂体	4	12,667	1,430	14,097
内分泌・甲状腺	2	19,944	2,338	22,282
内分泌・性腺	2	453	21	474
感染症･炎症マーカー	14	161,730	53,843	215,573
腫瘍マーカー	9	46523	1741	48,264
薬物	16	4189	1689	5,878
補体・免疫グロブリン	6	28022	4172	32,194
自己免疫関連	3	9479	567	10,046
透析液	5	5895	0	5,895
その他	5	60	20	80
MAGE (CGM)	1	2	1	3
SMBG	2	339	59	398
総　件　数		3,181,907	945,361	4,127,268

4．免疫・血清検査

依頼項目	外　来	入　院	合　計
寒冷凝集	11	6	17
IgE	1,389	260	1,649
HTLV-I (CLIA)	764	78	842
クリオグロブリン	151	73	224
血液粘稠度	7	5	12
抗DNA	1,630	131	1,761
リンパ球サブセット	485	59	544
造血腫瘍	0	10	10
マイコ-IgM	119	16	135
HIV-PCR	437	13	450
インフル-A,B	1,269	320	1,589
高感度PNH	36	24	60
RNA抽出	12	3	15
HCV RNA定量(RT-PCR)	1,448	43	1,491
特異ＩｇＥ	8,166	1,058	9,224
研究アディ	1,294	0	1,294
研究Treg	11	13	24
総　件　数	17,229	2,112	19,341

5．細菌検査

検査項目	外　来	入　院	合　計
塗抹	11,475	7,793	19,268
培　養			
血液	9,408	7,570	16,978
髄液	98	161	259
尿	7,506	3,393	10,899
泌尿器	20	8	28
婦人科	184	266	450
眼	275	16	291
耳	203	511	714
咽頭	189	1,138	1,327
鼻腔	902	523	1,425
喀痰	2,495	2,449	4,944
便	450	1,812	2,262
胆汁	20	157	177
胃液	0	319	319
開放性膿	566	392	958
非開放性膿	279	387	666
穿刺液	307	580	887
嫌気培養	10,024	9,631	19,655
感　受　性			
１菌種	4,244	2,665	6,909
２菌種	913	872	1,785
３菌種以上	301	351	652
同定菌数	18,636	14,817	33,453
大腸菌検査	265	133	398
ベロ毒素	9	0	9
ＣＤトキシン	32	1,000	1,032
質量分析	1,565	1,693	3,258
抗　酸　菌			
塗抹	1,355	1,787	3,142
培養	1,354	1,787	3,141
同定（ＤＤＨ）	51	51	102
耐性	45	38	83
迅　速　検　査			
ＧＢＳ平板	831	67	898
総　件　数	74,002	62,367	136,369

6．輸血検査

検査項目	外　来	病　棟	合　計
ABO血液型	7,707	924	8,631
Ｒｈ（Ｄ）式血液型	7,707	924	8,631
不規則抗体スクリーニング	6,344	757	7,101
D陰性確認試験	5	51	56
直接クームス	54	75	129
間接クームス	1,950	82	2,032
抗体価	36	3	39
解離試験	18	18	36
Ｒｈ他因子	17	5	22
交差適合試験	1,177	2,674	3,851
T&S	2	216	218
抗体同定	44	10	54
輸血副作用	0	0	0
自己血	154	4	158
総　件　数	25,215	5,743	30,958

7．外部委託検査

検査項目	外　来	入　院	合　計
SRL	65,697	18,069	83,766
三菱	46	11	57
BML	2	12	14
総　件　数	65,745	18,092	83,837

Ⅲ．生理検査部門

1．心電図検査

検 査 項 目	外　来	入　院	合　計
心電図	25,019	4,755	29,774
R-R間隔	4	5	9
心臓超音波	7,111	2,792	9,903
トレッドミル負荷心電図	213	4	217
24時間ホルター心電図	942	123	1,065
24時間自動血圧	11	1	12
ABI・PWV	1,180	437	1,617
Late potential	27	21	48
血管超音波検査	871	317	1,188
携帯型発作時心電図	75	0	75
心音図	0	0	0
心臓超音波経食道法	155	163	318
心筋スペクト	402	65	467
総　件　数	36,010	8,683	44,693

2．呼吸機能検査

検 査 項 目	外来	入院	合計
スクリーニング	15,582	1,428	17,010
呼吸機能精査	2,914	309	3,223
呼気NO	1,507	75	1,582
心肺運動負荷テスト	268	10	278
鼻腔通気度	44	0	44
連続呼気ガス分析	268	9	277
時間内歩行試験	39	4	43
総　件　数	20,622	1,835	22,457

3．超音波検査

検 査 項 目	外来	入院	合計
腹部超音波	15,157	1,853	17,010
血管超音波	906	597	1,503
表在超音波	2,074	100	2,174
乳房超音波	689	2	691
造影超音波	76	3	79
穿刺超音波	1	72	73
総　件　数	18,903	2,627	21,530

4．脳波検査

検 査 項 目	外来	入院	合計
脳波	1,144	558	1,702
筋電図	636	144	780
誘発電位	56	194	250
平衡機能	237	6	243
自律神経	2	2	4
睡眠ポリグラフ	133	51	184
術中モニタリング	0	25	25
総　件　数	2,208	980	3,188

5．眼底検査

検 査 項 目	外来	入院	合計
眼底撮影	3,245	0	3,245
総　件　数	3,245	0	3,245

6．聴力検査

検 査 項 目	外来	入院	合計
標準純音聴力	1,902	79	1,981
気導純音聴力	319	10	329
チンパノメトリー	351	10	361
耳小骨筋反射	66	6	72
標準語音聴力	28	0	28
内耳機能	2	0	2
中耳機能	4	0	4
簡易聴力	69	2	71
耳管機能	345	5	350
耳音響放射	3,687	0	3,687
新生児聴力	0	636	636
総　件　数	6,773	748	7,521

Ⅳ．夜間休日検査

依 頼 項 目	項目数	外来	入院	合計
血算	1	12,784	20,239	33,023
血液像	1	12,246	19,385	31,631
PT	1	8,696	10,389	19,085
APTT	1	8,568	11,129	19,697
Fib	1	6,899	7,387	14,286
FDP	1	469	1,539	2,008
Dダイマー	1	5,640	3,798	9,438
ATⅢ	1	53	321	374
SFMC	1	68	82	150
血沈	1	184	214	398
血清蛋白	2	24,458	34,276	58,734
酵素	8	65,918	92,774	158,692
T-BiL	1	11,525	17,021	28,546
CRP	1	11,445	16,702	28,147
アミノ酸窒素	7	38,503	53,225	91,728
電解質・金属	12	65,353	87,081	152,434
血糖・糖代謝	2	6,261	2,712	8,973
心筋マーカー	5	10,331	7,391	17,722
薬物	2	9	26	35
尿薬物スクリーニング	1	68	10	78
エタノール	1	47	2	49
パラコート定性	1	1	0	1
アプトテスト	1	0	10	10
梅毒検査	1	3,569	679	4,248
脂質抗体	1	6	0	6
HBs抗原	1	3,594	693	4,287
HCV抗体	1	3,617	686	4,303
HBs抗体	1	129	65	194
HIV抗体	1	3,589	674	4,263
透析液	5	1,785	0	1,785
血液ガス	1	389	1,007	1,396
尿定性	1	4,495	3,170	7,665
尿沈渣	1	4,449	3,138	7,587
妊娠反応	1	78	1	79
髄液検査	3	180	276	456
穿刺液・その他	2	198	208	406
インフル-A,B	1	3,450	418	3,868
マイコ-IgM	1	11	9	20
レジオネラ	1	836	108	944
肺炎球菌	1	843	114	957
その他感染症	4	1,610	301	1,911
血液型	1	1,419	451	1,870
直接クームス	1	5	37	42
間接クームス	1	7	48	55
抗体スクリーニング	1	1,419	451	1,870
不規則抗体	1	0	6	6
交差試 R	1	325	721	1,046
交差試 F	1	93	262	355
交差試 P	1	19	146	165
T&S	1	1	3	4
細菌培養塗抹	2	4,643	4,083	8,726
総　件　数		330,285	403,468	733,753

●放射線科（2018年度）

人員について

４月より診療放射線技師２名（正規職員）が入職し、技師41名（嘱託職員２名を含む）、医学物理士２名、補助員１名の44名の体制となった。各種認定についてはＸ線CT、放射線治療、MRIなど各モダリティにおいてもスキルアップを目的に取得を目指している。

機器、業務について

アイソトープ検査においては塩化ラジウム内用療法の増加に対応するため海匝保健所へ使用量の変更申請を行った（４月）。血管撮影領域ではTAVI（経カテーテル大動脈弁治療）対応のため、手術室15番ハイブリッド手術室の改装工事が行われた（７月）。それに伴いハートチームが結成され、当科より血管撮影担当技師･CT担当技師が加わり、チーム医療に貢献している。PETセンターにおいては半導体検出器搭載のPET/CTを導入頂き、非常に鮮明な画像が得られている。東京医科歯科大学より核医学専門医の入職が予定されている（９月）。

放射線治療装置更新について

更新を予定していた放射線治療装置は年度内に稼働することが不可能であった。原因は本館１階の放射線治療室に存在する磁場（約１ガウス）によると推測されている。度重なる想定外の困難にくじけることなく、理事長先生・院長先生・磯貝先生・事務局長・各課長のご指導・ご協力を頂きつつ稼働に向けてひとつひとつ課題点を解決していきたい（2019年７月）。

他職種との連携について

血管撮影室の安全で効率的な運営を目的として、神田先生（循内）を議長に血管撮影室運営会議が発足され各部署･職種より活発な意見交換が得られている（５月）。救急外来と合同勉強会を開催し、造影剤副作用時の対応について協議・情報の共有を行った。医師、看護師、技師合わせて53名の出席が得られた（６月）。

（診療放射線技師長　宮﨑孝）

2018年度　放射線科業務年報（人数）

	一般撮影		CT				MRI			治療				血管					RI			PET	合計
		歯科CT	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	ﾘﾆｱｯｸ	ﾘﾆｱｯｸ1	組織内	腔内	第1	第2	第1心カテ	第2心カテ	ope15	第1	第2	RI治療		
平成30年04月	8,671	14	805	507	720	1,478	359	426	395	648	265	0	0	19	29	86	88	0	48	112	1	169	14,840
平成30年05月	9,483	33	1,049	510	794	1,467	420	505	438	845	290	0	5	36	35	79	84	0	60	107	2	153	16,395
平成30年06月	9,378	34	1,018	481	774	1,489	453	539	460	674	327	0	11	31	36	88	89	0	70	141	1	155	16,249
平成30年07月	9,724	43	1,064	488	803	1,545	417	540	438	523	284	0	12	29	33	81	79	11	64	134	2	146	16,460
平成30年08月	9,917	40	1,042	496	807	1,628	479	568	535	604	317	0	7	32	25	85	92	5	60	128	2	187	17,056
平成30年09月	8,855	14	907	467	721	1,456	409	491	448	627	282	0	6	19	32	69	79	6	62	119	3	120	15,192
平成30年10月	9,962	27	982	596	896	1,538	449	547	480	721	317	0	9	39	39	81	91	10	85	134	3	137	17,143
平成30年11月	9,506	32	940	574	815	1,476	462	522	487	770	268	0	5	35	38	92	90	10	59	131	0	139	16,451
平成30年12月	9,230	39	941	484	785	1,460	417	503	450	812	295	0	7	42	40	88	94	5	52	128	0	145	16,017
平成31年1月	9,834	23	1,014	561	769	1,647	393	476	386	633	281	0	9	24	37	79	87	8	53	119	3	118	16,554
平成31年2月	9,169	33	924	534	743	1,371	373	453	383	596	319	0	3	25	34	77	94	4	66	98	1	137	15,437
平成31年3月	9,408	46	912	492	805	1,483	399	523	417	781	348	0	11	26	36	83	97	8	52	115	1	144	16,187
合　計	113,137	378	11,598	6,190	9,432	18,038	5,030	6,093	5,317	8,234	3,593	0	85	357	414	988	1,064	67	731	1,466	19		
	113,515		45,258				16,440			11,912				2,890					2,216			1,750	193,981
月平均	9,428	32	967	516	786	1,503	419	508	443	686	299	0	7	30	35	82	89	6	61	122	2		
	9,460		3,772				1,370			993				241					185			146	16,165
前年度比			96%	115%	104%	102%	104%	106%	97%	94%	102%		137%	98%	91%	98%	128%	79%	113%	107%			
	103%		102%				102%			96%				105%					106%			98%	102%

●臨床工学室（2018年度）

2018年度ISO「質」目標として、①安全な医療提供体制の強化、②医療の質の向上、③業務量の平均化を掲げた。各部署でインシデント削減に向けた新たな取り組みを行い、再発防止に努める事とし、特に患者誤認・転倒転落に重点を置いた。医療機器安全使用の為の教育研修を企画開催し、診療技術局主催研修会への積極的な参加とスタッフの能力向上を図る目的で、最新知識・技術習得と業務・研究成果の発信を行う事とした。医療機器管理に関して、医療法を踏まえた機器管理研修会を計画した。業務改善、会議開催数・時間の適正化などで超過勤務時間削減を図り、有給休暇取得について職員間で平均化を目指すなど働き方改革に取り組んだ。結果、インシデント発生件数は10件から11件へ微増となったが、患者誤認、転倒転落は０件で大きなインシデントは発生していない。また、数多くの医療機器安全研修会を開催し、各種学術大会へ座長の派遣や計６演題の研究成果を報告した。医療機器の保守管理は計画通り滞りなく実施しており医療の質向上に寄与した。働き方改革については、有給休暇の公平な取得は達成できたが、様々な要因で超過勤務時間の削減が今一歩であり、今後も継続した取り組みが必要である。

（臨床工学室　髙木 誠）

臨床工学室　業務（治療）実績

臨床工学室 人工透析センター　　2018.04.01 ～ 2019.03.31　（件）

血液浄化療法名	症例数		施行件数	
	他病棟症例数	総症例数	他病棟施行数	総施行数
血液透析（HD）	101	729	222	56,342
血液透析（CAPD併用）	0	8	0	351
血液透析＋リクセル	0	7	0	996
血液透析濾過（HDF）	0	0	0	0
血液透析濾過（OHDF）	0	16	0	1,092
血液濾過（HF）	1	10	2	59
体外限外濾過（ECUM）	0	0	0	0
持続緩除式血液透析濾過（CHDF）	112	112	570	570
持続緩除式血液透析（CHD）	9	9	58	58
持続緩除式血液濾過（CHF）	0	0	0	0
血漿交換（PE）	0	3	0	24
二重膜濾過血漿交換（DFPP）	0	7	0	31
選択的血漿成分吸着（PA）	0	1	0	9
直接血液灌流（DHP）	0	1	0	1
エンドトキシン吸着（PMX-DHP）	17	17	28	28
白血球除去（L-CAP）	0	0	0	0
顆粒球吸着（G-CAP）	0	3	0	17
腹水濃縮再静注（CART）	0	2	0	3
末梢血幹細胞採取（PBSCH）	0	8	0	9
総　数	240	933	880	59,590

人工透析センター保守業務実績　（件）

	始業点検	使用中点検	終業点検	合　計
水処理装置（個人用RO含む）	832	1,872	－	2,704
透析液溶解・供給装置	624	1,872	624	3,120
透析装置（個人機含む）	855	－	231	1,086
血液浄化装置	740	－	－	740
合　計	3,051	3,744	855	7,650

機器調整・修理件数　（件）

水処理装置	2
透析液溶解・供給装置	11
透析装置（個人機含む）	79
血液浄化装置	10
計	102

透析液環境検査　（検体）

E　T　検　査	425
細　菌　検　査	270
計	695

臨床工学室　ＭＥ機器管理室　　2018. 04. 01 ～ 2019. 03. 31　（件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	件 数
血管撮影室業務（心臓カテーテル検査、心臓内電気生理検査、ペースメーカ関連業務）		179	179	188	171	184	157	181	187	188	173	175	189	2,151
IABP	導入件数	13	5	9	10	7	6	5	12	10	4	6	12	99
	使用中点検	41	36	16	34	34	17	13	40	26	17	29	57	360
PCPS ECMO	導入件数	3	2	3	3	2	0	2	4	1	2	0	1	23
レスピレーター	使用後点検	125	134	123	123	113	90	117	115	118	120	108	102	1,388
	使用中点検	254	257	319	271	302	221	236	261	211	256	234	248	3,070
高気圧酸素治療件数		19	40	16	17	13	17	27	8	9	0	3	0	169
ペースメーカー関連業務	病棟点検	41	42	50	57	46	47	50	38	52	45	36	45	549
	外来点検	158	168	161	179	162	202	173	162	163	200	167	188	2,083
各種ME機器	点検	74	50	73	51	73	52	70	93	32	94	50	94	806
	修理	16	30	26	24	41	21	41	14	29	40	26	39	347
ラジオ波焼灼療法		4	4	2	3	7	4	5	3	3	5	6	5	51
合　　計		927	947	986	943	984	834	920	937	842	956	840	980	11,096

臨床工学室　中央手術室　　2018. 04. 01 ～ 2019. 03. 31　（件）

依　　頼	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心臓外科	9	10	12	18	7	11	10	14	9	10	6	15	131
泌尿器科	34	49	39	41	38	37	49	41	41	40	44	41	494
(ESWL)	(2)	(2)	(2)	(6)	(6)	(5)	(6)	(1)	(6)	(2)	(3)	(4)	(72)
婦人科	1	1	4	6	13	12	13	9	9	8	4	4	84
耳鼻咽喉科	7	3	5	2	3	1	4	8	3	1	5	2	44
歯口科		2	1		1								4
整形外科	2	3			2	2	3	3	7	8		1	31
外科	18	21	27	21	27	12	26	18	22	24	23	11	250
脳外科	5	1	6	4	2	3	4	1	4	3	3	2	38
眼科	1	1	2	2	5	5	2	1	1	4	5	2	31
形成外科	2	3	6	6	7	5	5	2	2	5	3		46
腎内科					1			1					2
循環器内科				1			1	1	1			1	5
麻酔科	6	10	3	6	13	7	5	9	6		11	5	81
精神神経科									1				1
皮膚科	1			1	1					4			7
その他										14	18	20	52
合　　計	86	104	105	108	120	95	122	108	106	107	104	84	1,301

中央手術室　医療機器修理　（件）

修理点検件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
院内修理	15	21	19	8	17	24	9	12	12	16	10	20	183

中央手術室　医療機器点検　（件）

定期点検機器	点検数
電気メス	31
除細動器	12
人工心肺一式	72
生体情報モニタ	180
麻酔器	50
IABP	4
シリンジポンプ	129
輸液ポンプ	4
天吊機器	106
フロン使用機器	24
その他点検	6
各種医療機器設備（毎月点検）	1,366
超音波メス等（納品時点検）	5
合　計	1,989

●神経精神科（2018年度）

神経精神科臨床心理（2018年度）

神経精神科　臨床心理業務月報　2018年度　総計

	面接				心理査定				心理療法		予診	集団療法	個別支援	合計	(17年度)	(16年度)	(15年度)
	本人	家族	関係者	電話相談	知能査定	性格査定	その他	査定処理	本人	家族							
外来	22	11	5	52	177	138	215	806	1,127	55	65	14	4	2,691	(2,622)	(2,114)	(1,585)
入院	26	10	0	1	25	22	27	67	242	11	−	58	66	555	(592)	(650)	(563)
デイケア	197	4	12	8	−	−	−	−	−	−	−	115	7	343	(396)	(439)	(658)
合計	245	25	17	61	202	160	242	873	1,369	66	65	187	77	3,589	(3,610)	(3,203)	(2,806)
(17年度)	(226)	(22)	(23)	(62)	(141)	(171)	(185)	(832)	(1,481)	(44)	(82)	(266)	(75)	(3,610)			
(16年度)	(277)	(50)	(13)	(36)	(124)	(191)	(132)	(720)	(1,317)	(22)	(33)	(227)	(61)	(3,203)			
(15年度)	(408)	(40)	(9)	(33)	(122)	(120)	(100)	(412)	(1,157)	(41)	−	(317)	(47)	(2,806)			

	リエゾン				緩和ケア		地域支援	会議	カンファレンス	情報処理	教育・研修	職員メンタルヘルス		その他	合計
	心理面接	カンファレンス	コンサルテーション	ラウンド延べ人数	心理面接	カンファレンス						本人	関係者		
合計	7	73	5	698	7	24	30	417	1,164	2,886	111	254	198	619	6,493
(17年度)	(223)	(82)	(63)	−	(0)	(29)	(41)	(435)	(1,027)	(2,587)	(109)	(240)	(102)	(673)	(5,611)
(16年度)	(50)	(64)	(48)	−	(0)	(17)	(25)	(254)	(824)	(2,429)	(169)	(199)	(97)	(713)	(4,889)
(15年度)	(59)	(52)	(64)	−	(0)	(25)	(16)	(243)	(976)	(2,604)	(170)	(147)	(94)	(809)	(5,259)

精神保健福祉士（PSW）

ケースワーク　2018年度　　（総員９名）

月	ｹｰｽﾜｰｸ合計	実施方法					紹介経路				援助手段			
		新規	継続	入院	外来	その他	職員	本人	家族	その他	面接	訪問	電話	文書
４月	657	141	516	224	419	14	410	127	51	69	229	180	221	27
５月	647	155	492	207	422	18	398	130	41	78	225	183	220	19
６月	601	140	461	177	410	14	351	126	50	74	214	148	222	17
７月	646	124	522	202	429	15	353	166	55	72	206	173	247	20
８月	606	114	492	201	389	16	369	139	34	64	213	145	237	11
９月	553	132	421	199	341	13	323	132	57	41	181	129	226	17
10月	637	104	533	207	416	14	411	141	50	35	179	174	256	28
11月	594	117	477	172	404	18	338	153	68	35	155	164	256	19
12月	575	109	466	163	396	16	321	158	54	42	181	155	224	15
１月	635	120	515	220	396	19	353	175	59	48	187	165	266	17
２月	525	96	429	188	325	12	299	136	55	35	162	138	205	20
３月	539	121	418	192	325	22	309	138	56	36	191	134	193	21
合計	7,215	1,473	5,742	2,352	4,672	191	4,235	1,721	630	629	2,323	1,888	2,773	231

月	援助内容											
	受診	入院	退院	療養	経済	就労	住宅	家族	生活	心理	人権	その他
４月	57	45	137	133	22	43	5	21	181	4	7	2
５月	61	36	151	117	13	33	3	8	206	7	8	4
６月	62	24	94	132	23	29	4	12	210	3	5	3
７月	47	40	100	129	44	40	7	17	207	5	5	5
８月	62	41	111	116	27	47	5	14	165	4	4	10
９月	67	46	103	94	13	35	3	8	159	3	2	20
10月	60	39	115	114	23	43	0	18	210	3	3	9
11月	52	45	95	103	35	33	0	20	196	2	5	8
12月	65	44	89	106	22	32	4	11	192	6	3	1
１月	69	42	91	93	35	33	14	27	212	6	9	4
２月	54	38	94	79	28	25	16	19	166	3	3	0
３月	58	50	84	96	26	10	6	24	171	4	7	3
合計	714	490	1,264	1,312	311	403	67	199	2,275	50	61	69

グループワーク　2018年度

	実施回数	参加患者数
4月	25	204
5月	31	228
6月	26	152
7月	27	172
8月	24	112
9月	21	122
10月	25	139
11月	27	173
12月	27	173
1月	19	132
2月	21	167
3月	7	50
合計	280	1,824

関連業務　2018年度

	業　務　内　容												
	情報処理	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
C1	記録（カルテ、ケース記録、DC個人記録）	777	747	704	722	671	596	685	675	655	677	626	583	8,118
C2	各種文書（届出書類等）	13	21	23	27	19	41	25	14	15	22	15	8	243
C3	資料作成・整理	56	43	67	66	68	60	61	74	61	62	69	81	768
C4	統計	27	17	10	9	6	4	18	14	24	26	28	32	215
C5	その他（患者等の情報交換を含む）	245	260	236	224	233	198	226	214	224	226	201	220	2,707
	院内関係業務													
C6	ケースカンファレンス	259	269	303	276	316	209	274	249	210	222	215	194	2,996
C7	各種会議	62	74	63	75	56	66	57	57	56	62	62	54	744
C8	各種行事	1	1	2	2	4	1	2	4	1	1	3	0	22
C9	院内教育・実習指導	0	5	0	0	1	0	2	28	0	0	3	0	39
C10	院内研修・研究	6	9	4	10	9	16	22	21	14	16	11	11	149
C11	院内リハビリ	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
C12	管理	16	16	14	18	19	15	19	16	12	16	20	19	200
C13	その他（関連業務の情報交換含む）	148	164	158	150	131	128	128	133	151	168	127	166	1,752
	地域関係業務（準備・片付け等含む）													
C14	関係機関連絡調整	203	269	238	235	223	231	246	244	244	288	232	278	2,931
C15	関係機関主催会議	8	10	8	10	9	7	12	7	6	10	7	7	101
C16	関係機関主催行事	0	0	1	0	0	2	0	0	1	2	0	0	6
C17	教育・実習指導	0	1	1	1	0	3	0	7	0	0	0	0	13
C18	研修・研究・学会	6	3	2	1	9	7	3	7	5	3	7	9	62
C19	社会資源開拓（職場開拓含む）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C20	ボランティア養成・支援	2	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	1	9
C21	精神保健福祉士協会（全国・県等）	0	6	7	1	0	3	2	2	0	2	0	1	24
C22	その他（関連業務等の情報交換含む）	63	90	67	63	65	62	57	59	61	77	64	85	813
		1,895	2,007	1,908	1,890	1,839	1,651	1,839	1,825	1,740	1,882	1,692	1,749	21,917

デイケアセンター（2018年度）

2018年度デイケア在籍者統計（2018年4月1日～ 2019年3月31日）

男女比

男性	89
女性	96
合　計	185

年　齢	男性	女性	合計	%
10 代	9	14	23	12.4%
20 代	10	13	23	12.4%
30 代	19	14	33	17.8%
40 代	19	24	43	23.2%
50 代	15	16	31	16.8%
60 代	13	8	21	11.4%
70 代	3	7	10	5.4%
80 代	1	0	1	0.5%
合　計	89	96	185	100%
平均年齢	43.0	41.9	42.4	

通所期間	男性	女性	合計	%
6 ヶ月以内	7	5	12	6.5%
1 年以内	12	13	25	13.5%
1 年	14	17	31	16.8%
2 年	11	10	21	11.4%
3 ～ 5 年	15	12	27	14.6%
5 ～ 10 年	20	31	51	27.6%
10 年以上	10	8	18	9.7%
合　計	89	96	185	100%
平均通所期間	4年 9 ヶ月	4年 2 ヶ月	4年 5 ヶ月	

診断名	(ICD10)	男性	女性	合計	%
器質性健忘症候群	F04	1	1	2	1.1%
器質性精神障害	F06	0	1	1	0.5%
統合失調症	F20	51	49	100	54.1%
統合失調感情障害	F25	2	2	4	2.2%
躁病	F30	0	1	1	0.5%
躁うつ病	F31	8	12	20	10.8%
うつ病	F32	8	1	9	4.9%
不安障害	F40・F41	0	4	4	2.2%
強迫性障害	F42	0	0	0	0.0%
PTSD	F43.1	0	0	0	0.0%
適応障害	F43.2	0	3	3	1.6%
身体表現性障害	F45	1	0	1	0.5%
摂食障害	F50	0	3	3	1.6%
パーソナリティ障害	F60	0	2	2	1.1%
知的障害	F70・F71	1	3	4	2.2%
広汎性発達障害	F84	10	6	16	8.6%
多動性障害	F90	2	2	4	2.2%
その他		5	6	11	5.9%
合　計		89	96	185	100%

住所地

海匝郡市	旭市	53
	銚子市	37
	匝瑳市	21
	小　計	111
香取郡市	香取市	20
	香取郡	18
	小　計	38
山武郡市	東金市	0
	山武市	10
	山武郡	11
	小　計	21
その他の千葉県		3
茨城県	鹿嶋市	1
	神栖市	8
	その他の茨城県	2
	小　計	11
その他の都道府県		1
合　計		185

2018年度デイケア退所者統計（2018年4月1日～ 2019年3月31日）

男女比

男性	34
女性	27
合　計	61

年　齢	男性	女性	合計	%
10 代	5	6	11	18.0%
20 代	5	1	6	9.8%
30 代	9	6	15	24.6%
40 代	5	4	9	14.8%
50 代	8	6	14	23.0%
60 代	2	4	6	9.8%
70 代	0	0	0	0.0%
80 代	0	0	0	0.0%
合　計	34	27	61	100%
平均退所時年齢	38.8	40.7	39.6	

通所期間	男性	女性	合計	%
6 ヶ月以内	5	4	9	14.8%
1 年以内	5	1	6	9.8%
1 年	9	5	14	23.0%
2 年	1	4	5	8.2%
3 ～ 5 年	8	7	15	24.6%
5 ～ 10 年	3	5	8	13.1%
10 年以上	3	1	4	6.6%
合　計	34	27	61	100%
平均通所期間	3年 8 ヶ月	3年 4 ヶ月	3年 6 ヶ月	

住所地

海匝郡市	旭市	14
	銚子市	13
	匝瑳市	7
	小　計	34
香取郡市	香取市	10
	香取郡	6
	小　計	16
山武郡市	東金市	0
	山武市	2
	山武郡	3
	小　計	5
その他の千葉県		3
茨城県	鹿嶋市	0
	神栖市	3
	その他の茨城県	0
	小　計	3
その他の都道府県		0
合　計		61

診断名	(ICD10)	男性	女性	合計	%
器質性健忘症候群	F04	0	0	0	0.0%
器質性精神障害	F06	0	0	0	0.0%
統合失調症	F20	17	16	33	54.1%
統合失調感情障害	F25	1	0	1	1.6%
躁病	F30	0	0	0	0.0%
躁うつ病	F31	5	5	10	16.4%
うつ病	F32	1	0	1	1.6%
不安障害	F40・F41	0	0	0	0.0%
強迫性障害	F42	1	0	1	1.6%
PTSD	F43.1	0	0	0	0.0%
適応障害	F43.2	2	2	4	6.6%
身体表現性障害	F45	0	1	1	1.6%
摂食障害	F50	0	0	0	0.0%
パーソナリティ障害	F60	1	0	1	1.6%
知的障害	F70・F71	0	0	0	0.0%
広汎性発達障害	F84	5	1	6	9.8%
多動性障害	F90	0	0	0	0.0%
その他		1	2	3	4.9%
合　計		34	27	61	100%

退所転機

終了	23
中断	38
合　計	61

退所理由

就労	10
就学	5
社会資源利用	4
社会内適応	2
終了その他	1
精神科入院	22
他科入院	0
症状再燃	0
参加意欲低下	11
対人関係問題	0
問題退所	1
死亡	2
中断その他	3
合　計	61

神経精神科OTセンター（2018年度）

利用者

	入院	外来	合計
男性	69	15	84
女性	93	20	113
合計	162	35	197

年齢

	入院	外来	合計
10 代	15	20	35
20 代	11	3	14
30 代	21	3	24
40 代	29	4	33
50 代	31	2	33
60 代	34	2	36
70 代	17	1	18
80 代	4	0	4
90 代	0	0	0
合計	162	35	197

疾患分類別

ICD-10		入院	外来	合　計	
F0	症状性を含む器質性精神障害	4	0	4	(2.0%)
F1	精神作用物質使用による精神および行動の障害	6	0	6	(3.0%)
F2	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	86	14	100	(50.8%)
F3	気分障害	39	3	42	(21.3%)
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	9	10	19	(9.6%)
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	3	1	4	(2.0%)
F6	成人の人格および行動の障害	0	0	0	(0.0%)
F7	精神遅滞	0	0	0	(0.0%)
F8	心理発達の障害	5	5	10	(5.1%)
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	8	2	10	(5.1%)
G4	てんかん	2	0	2	(1.0%)
合　計		162	35	197	(100.0%)

10 代の利用者が微増し児童思春期グループのプログラムを週 1 から週 2 に増やした

●臨床栄養科（2018年度）

◆基本方針：食の安全性・満足度の向上　栄養管理業務の充実

◆質目標

1．食の安全性の向上

異物混入対策について、職員教育や意識の向上を図る

ATP検査の利用度アップと汚れにたいする意識を高める

2．栄養指導業務効率化

指導媒体（資料）の見直し・新規作成

指導内容を精査し、効率よく分かりやすい指導を目指す

3．業務の質の向上（働き方改革）

ポジションごとの問題点を洗い出し、コミュニケーションを密にしながら改善していく

業務に対する職員の意識を高める

給食管理

入院患者の平均年齢は年々上昇している。患者の高齢化に対応するため、「食べやすい」食種の検討を行っていった。「やわらか食」の提供を開始した。

毎年2回、患者食アンケートを行っている。患者さんからは概ね良い評価を頂き、患者満足度は向上した。

個別の意見について対応可能なものは、科内で協議し改善を行っていった。

栄養管理

栄養介入件数は、3,079件となり昨年度を大きく上回った。病棟カンファへの積極的な参加やリンクナースとの連携を密にした結果である。

栄養指導件数は、3,973件と昨年度を上回った。栄養指導料収入も増収となった。

特に、診療報酬の一番高い「糖尿病透析予防指導」の件数が大きく増加した。

指導枠の組み合わせも工夫し効率よく指導が出来るように改善を行っていった。

周術期センターにおいては、対象となる診療科が徐々に増えそれに伴って栄養指導の依頼件数も増加した。

来年度以降も拡大していくのでしっかり対応していきたい。

チーム医療・地域医療連携

ＮＳＴ、糖尿病、緩和、褥瘡等のチーム医療の一員として、カンファや回診に参加し他職種と連携を行っていった。栄養状態改善の為に栄養科として何が出来るのかを常に考え取り組んでいる。

糖尿病サポートチームでは、地域イベントへの参加を通して東総地区の糖尿病改善に努めている。

1　入院患者食数

	一般食									特別治療食												検査食	合計	その他				
										加算									非加算									
	普通食	全粥食	7分粥食	5分粥食	3分粥食	流動食	嚥下食	離乳食	調乳	糖尿病食	心疾患食	膵炎食	腎臓病食	透析食	腎臓病食 蛋白制限	濃厚流動 経管	計	比率（%）	濃厚流動 経管	濃厚流動 経口	高血圧食			特養	養護	シルバーケア	ケアハウス	デイケア
2018年4月	11,633	9,336	2,468	5,713	192	472	2,625	39	912	4,764	3,354	311	127	864	1,036	0	10,456	21.9%	2,840	576	357	75	47,694	4,635	3,018	8,553	3,065	326
5月	11,952	9,304	2,723	6,493	329	649	2,793	100	972	5,283	3,345	168	11	1,126	2,003	0	11,936	23.2%	3,102	583	419	110	51,465	4,833	3,100	8,185	3,272	324
6月	12,816	9,726	2,831	5,975	424	579	3,096	93	879	3,682	2,441	213	140	1,016	2,233	0	9,725	19.0%	3,901	662	229	140	51,076	4,320	2,948	7,960	3,214	290
7月	14,491	11,183	2,312	6,221	278	433	3,136	91	687	4,701	2,924	212	254	805	2,153	0	11,049	20.3%	3,410	639	354	98	54,382	4,640	2,977	8,641	3,301	275
8月	14,799	7,137	1,972	8,695	417	458	3,132	125	882	4,397	3,299	250	193	1,096	2,434	0	11,669	21.3%	4,016	740	608	175	54,825	4,664	3,118	8,899	3,059	288
9月	14,045	6,635	2,671	9,674	168	475	2,913	62	909	3,981	2,693	203	116	912	1,493	0	9,398	18.2%	3,485	646	446	139	51,666	4,478	3,070	8,370	3,010	215
10月	14,555	6,959	2,638	10,450	124	450	3,282	106	1,353	4,710	2,541	130	51	707	2,238	0	10,377	18.9%	3,544	646	364	149	54,997	4,474	3,048	8,494	3,052	284
11月	13,990	7,047	2,133	8,878	217	367	3,018	112	675	3,995	3,061	159	230	1,064	2,065	0	10,574	20.4%	3,659	718	237	155	51,780	4,346	2,915	8,352	2,988	303
12月	14,350	7,053	2,193	8,727	209	383	3,066	68	690	690	3,727	228	204	789	1,822	0	10,762	20.3%	4,062	762	430	130	52,885	4,549	3,005	8,854	3,019	280
2019年1月	13,410	7,092	2,739	8,730	211	335	3,462	42	1,278	4,234	4,070	111	34	1,072	1,914	0	11,435	21.1%	4,202	592	593	174	54,295	4,617	3,038	8,672	2,990	283
2月	13,681	5,129	2,564	9,359	133	264	2,658	44	846	3,825	3,664	116	183	1,029	2,069	0	10,886	21.6%	3,805	476	450	201	50,496	4,104	2,865	8,223	2,740	260
3月	14,940	6,205	2,363	10,080	139	384	3,236	6	1,179	4,699	3,370	161	145	1,122	1,952	0	11,449	20.5%	4,638	530	534	162	55,845	4,329	3,211	8,988	3,230	285
小　計	164,662	92,806	29,607	98,995	2,841	5,249	36,417	888	11,262	52,263	38,489	2,262	1,688	11,602	23,412	0	129,716	20.5%	44,664	7,570	5,021	1,708	631,406	53,989	36,313	102,191	36,940	3,413
合　計	631,406																							232,846				

2　栄養指導件数（個別）

	糖尿病		高血圧 心疾患		脂質異常症		肥満		腎臓病・透析		肝臓病・膵炎		大腸がん		クローン病 潰瘍性大腸炎		マーゲンESD		嚥下食		周術その他	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来
2018年4月	12	43	18	8	0	2	1	5	10	75	1	2	13	0	0	1	20	0	0	0	3	35
5月	13	41	26	6	1	3	1	2	17	80	1	2	10	0	2	0	25	1	0	0	2	53
6月	6	42	20	4	0	6	0	1	17	87	0	0	10	0	0	1	23	1	4	0	6	69
7月	17	46	39	5	0	5	0	1	18	96	0	2	12	1	0	0	20	1	4	0	15	49
8月	9	40	24	5	3	9	1	4	18	79	0	3	11	1	1	0	26	1	4	0	7	61
9月	7	46	21	3	6	5	0	4	12	72	0	0	10	0	0	0	30	1	4	0	9	73
10月	15	63	18	12	6	7	0	7	14	85	1	1	8	0	1	0	23	2	4	0	4	59
11月	11	60	23	4	3	7	0	3	14	100	0	1	22	1	0	1	20	0	2	0	4	83
12月	13	56	18	5	4	7	1	3	11	80	2	1	20	0	0	0	21	0	5	0	8	60
2019年1月	6	44	17	7	1	6	0	5	10	102	2	2	9	0	0	0	25	2	3	0	7	65
2月	9	50	17	12	0	7	0	3	20	88	1	2	8	0	2	0	22	0	2	0	6	51
3月	8	55	21	4	1	7	0	5	10	80	1	1	12	1	1	0	20	0	1	0	3	69
小　計	126	586	262	75	25	71	4	43	171	1024	9	17	145	4	7	3	275	9	33	0	74	727
	712		337		96		47		1195		26		149		10		284		33		801	
合　計	3.687件																					

３　栄養指導件数（集団）

	入院		外来					
	糖尿病教室		糖尿病		DM外来教室		肥満妊婦	
	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数	回数	患者数
2018年4月	8	19	0	0	4	13	1	4
5月	4	8	0	0	2	6	1	6
6月	7	10	0	0	5	23	1	4
7月	7	16	0	0	4	7	1	2
8月	6	11	0	0	4	17	1	2
9月	4	4	0	0	3	8	1	4
10月	7	12	0	0	5	15	1	5
11月	2	4	0	0	2	10	1	6
12月	4	4	0	0	3	11	1	5
2019年1月	4	6	0	0	5	7	1	4
2月	7	10	0	0	3	4	1	5
3月	2	3	0	0	4	11	0	0
小　計	62	107	0	0	44	132	11	47
合　計	117回286人							

●医療連携福祉相談室（2018年度）

医療連携福祉相談室　相談係　2018年度年報（2018年４月１日～2019年３月31日）

１．主な業務について

医療連携福祉相談室業務の大半を占める退院調整では、早期介入のシステムが徹底されてきているが、患者さんの高齢化による合併症などの増加、近隣医療機関の診療体制などの影響もあり、転院待機に一定の時間を要している。一方で、周術期センターを経由することにより、手術予定の患者さんで社会的リスクが発見されたケースについては、入院前から経済問題や療養上の問題に関与する仕組みができ、在院日数短縮の効果も一部出てきている。

身寄りのない患者さんのケースも増加しており、市役所福祉課とも協議を重ね、「身元不明者または身元引受人がいない患者の死亡時対応フロー」が完成し、運用開始となった。

認知症疾患医療センター主催の各種研修会、難病相談支援センター主催の難病患者支援者講演会、香取海匝脳卒中地域連携の集い、退院支援委員会とケアマネジャー交流会、小児周産期スタッフと保健所・市町村交流の母子保健連絡会議など、実務につながる地域支援者との交流を積極的に行っている。2019年３月には地域医療連携懇談会において「アドバンス・ケア・プラニング」をテーマとした講演会も開催し、地域全体で各機関がこのテーマにどのように取り組んでいくかを考えていく機会を提供した。

児童虐待については、児童相談所に通告が必要な重篤なケースが増加している。出産前から社会的支援が必要な特定妊婦も増えており、特定妊婦が出産した乳児がすぐに乳児院へ入所できない場合、当院で一時保護委託を受けるルールの整備を行った。また高齢者虐待ケースも徐々に増加しており、早期発見の体制が整ってきている。

2018年10月にはMSW １名が付属の特別養護老人ホームに異動となり、人員削減の中でチームの協力体制を強化して業務を遂行してきた。今後は、関連施設全体の社会福祉士がより連携を密にしながら、患者さんの支援に対応できる体制を検討していきたい。

２．入院・外来ケース件数

	入　院	外　来	合　計
新規	2,269	526	2,795
再来	90	23	113
実件数	4,019	1,033	5,052
総件数	20,292	3,147	23,439

３．紹介経路（新規・再来、実件数のみ）

	本　人	家　族	知　人	医　師	看護師	院内職員	関係機関	その他	合　計
新　規	33	91	1	1,074	1,225	212	158	0	2,794
再　来	6	5	0	49	41	4	8	0	113
合　計	39	96	1	1,123	1,266	216	166	0	2,907

４．診療科別実件数（新規・再来、実件数のみ）

内科	1,640
脳神経外科	329
整形外科	285
外科	185
透析科	178
小児科	136
産科	78
泌尿器科	74
新生児科	74
形成外科	33
婦人科	26
皮膚科	16

眼科	14
心臓外科	8
救急救命科	6
耳鼻咽喉科	4
神経精神科	4
歯口科	2
リハビリテーション科	2
その他	13
合　計	3,107

5．MSW行動別業務集計　　総件数　56,924件

	面　接	電　話	文　書	訪　問	総件数	実件数
受診援助	313	641	31	0	985	107
入院援助	60	346	5	0	411	52
退院援助	9,427	31,589	185	8	41,209	3,364
療養上の問題調整	1884	2,633	45	13	4,575	517
経済問題調整	1,602	1,798	28	0	3,428	569
就労問題調整	5	5	6	0	16	3
住宅問題調整	0	0	1	0	1	0
教育問題調整	0	0	0	0	0	0
家族問題調整	830	5,453	1	0	6,284	439
日常生活援助	5	10	0	0	15	1
心理・情緒的援助	0	0	0	0	0	0
医療における人権擁護	0	0	0	0	0	0
ケースワーク小計	14,126	42,475	302	21	56,924	5,052

6．関連業務集計　　総件数　10,716件

関連業務		総件数
クライエント処遇会議	病棟ケースカンファレンス（ER、1-5、1-7、5東、5西、NICU、6東、6西、7東、7西、8東、8西、9東、9西、10東、10西、11東、11西）、小児科児童精神科カンファレンス、小児科発達チーム児童精神科カンファレンス、ロザリオ発達支援センターカンファレンス、心不全チームカンファレンス、HIVカンファレンス、緩和ケアチームカンファレンス、患者サポートカンファレンス	1,837
各種会議	旭匝瑳薬剤師会地域連携会議、地域医療支援病院運営委員会千葉県虐待対策研究会、がん相談支援専門部会、地域がん診療病院会議、HIV拠点病院会議、総合難病相談支援センター担当者会議、ケアマネジャー連絡会議、海匝在宅介護連携推進事業担当者会議、認知症疾患医療センター連携協議会、香取海匝地域難病相談支援センター運営会議、旭市高齢者支援連絡会議、旭市高齢者虐待担当者連絡会議、旭市犯罪被害者支援連絡協議会、香取海匝脳卒中地域連携の集い、千葉県脳卒中連携意見交換会、香取海匝地域・山武地域母子保健連絡会議、旭市要保護児童対策地域協議会、病床管理委員会、退院支援委員会、虐待防止委員会、行動制限委員会、クリニカルパス委員会、患者相談中央会議、病院まつり実行委員会、認知症初期集中支援チーム検討委員会、総合患者支援センター会議、患者図書委員会、介護保険連携会議、ボランティア委員会、健康づくり支援委員会、化学療法センター会議、認知症ケア加算会議、こんにちは編集会議、診療技術局代表者会議、診療技術局全体会議、診療技術局安全委員会、診療技術局教育委員会、診療技術局学術委員会、HIV委員会、患者相談支援連絡会議、入退院センター・周術期センター会議、緩和ケア病棟入棟審査会、高校生職業体験プログラム会議、ソーシャルワーカー会議、FAST（家族支援チーム）、等	2,552
研修・研究・学会	日本虐待防止医学会、全国自治体病院学会、緩和ケア病棟地域交流会、認知症対応力向上研修会、第3号喀痰吸引等研修、北総地区感染症講習会	261
教育・実習指導	旭中央病院附属看護学校講義	669
情報処理	日報、月報、年報、がん相談、難病相談、認知症相談業務集計　等	5,335
その他関連業務	がん患者サロン参加、等	62
小　　計		10,716

7．開催事業について

2018年度香取海匝脳卒中地域連携の集い

開催日	演題・講師	参加人数
第14回　2018年10月11日	「排尿障害のみかた」 旭中央病院　泌尿器科　部長　網谷 兆康 医師 「泌尿器科病棟看護師の立場から」 旭中央病院　土屋 和佳奈　看護師長	74名

2018年度認知症疾患医療センター会議関連

開催日	演題・講師	参加人数
第1回　2018年4月24日	認知症疾患医療連携協議会 1．認知症看護認定看護師の役割について 2．運転免許更新にかかる診断書の現状 3．認知症疾患医療センター１年間の実績を報告	34名
第2回　2018年6月19日	第3回認知症多職種事例検討会	83名
第3回　2018年10月1日	病院勤務の医療従事者向け認知症対応向上研修 旭中央病院　認知症疾患医療センター長　持田英俊	67名
第4回　2018年10月4日	認知症疾患医療連携協議会 1．ミニレクチャー「高齢者の口腔ケア」 2．初期集中支援チームの現状 3．認知症疾患医療センター３年間の実績を報告	28名
第5回　2018年12月18日	病院勤務の医療従事者向け認知症対応向上研修 旭中央病院　認知症疾患医療センター長　持田英俊	62名
第6回　2019年2月28日	認知症疾患医療連携協議会 1．かかりつけ医として認知症とどう取り組むか 2．旭中央病院の「精神科リエゾンチーム」の活動 3．報告事項 1）成年後見制度での診断書改訂と本人情報シートについて	41名

8．認知症の相談について

⑴　専門医療相談件数（月別）（電話による相談及び面接による相談、それぞれの件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電　話	518	387	476	456	497	320	473	493	336	369	424	313	5,062
面　接	81	73	105	88	118	62	109	102	93	121	81	64	1,097
合　計	599	460	581	544	615	382	582	595	429	490	505	377	6,159

⑵　専門医療相談のための地域包括支援センターとの連絡調整件数（月別）及びその他機関との情報収集・提供件数（月別）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センターとの連絡調整件数	9	6	15	30	13	14	24	7	4	9	4	9	144
その他機関との情報収集・提供件数	415	308	343	348	386	234	367	394	256	321	333	270	3,975
（うち他院の紹介件数）	64	32	36	24	44	28	32	22	25	32	33	34	406
合　計	424	314	358	378	399	248	391	401	260	330	337	279	4,119

9．難病相談について

① 相談件数

〔入院〕 実件数188件 、総件数1063件　　〔外来〕 実件数43件、総件数135件

② 相談を受けた患者様の疾患

球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、進行性核上性麻痺、パーキンソン病、重症筋無力症、多発性硬化症/視神経脊髄炎、クロウ・深瀬症候群、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、ミトコンドリア病、もやもや病、プリオン病、神経線維腫症、膿胞性乾癬、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、悪銭関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎/多発筋炎、全身性強皮症、成人スチル病、特発性拡張型心筋症、肥大型心筋症、再生不良貧血、特発性血小板減少性紫斑病、IgA腎症、黄色靱帯骨化症、後縦靭帯骨化症、特発性大腿骨頭壊死症、クッシング病、下垂体前葉機能低下症、サルコイドーシス、特発性間質性肺炎、肺動脈性肺高血圧症、網脈色素変性症、原発性胆汁性胆管、クローン病、潰瘍性大腸炎、筋ジストロフィー、類天疱瘡、ウェルナー症候群、好酸球性副鼻腔炎

③ 難病に関する講演・研修会の開催事業

演題等	対象者	参加者数	内容
喀痰吸引等研修（第3号）	香取・海匝地域の患者を担当するヘルパー等	6月：8名 11月：4名	香取・海匝地域の患者を担当するヘルパー等を対象とし、2018年6月と11月に喀痰吸引等研修（第3号）を行った。
難病患者支援者講演会	難病患者の支援に従事している関係者及び患者・家族	関係者（29名） 患者・家族（14名）	10月4日「コミュニケーション機器の基礎知識と導入ポイント」をテーマに、（株）日立ケーイーシステムズ・岡高志様と（株）みどりのまきば企画・玉浦正憲様を講師として講演会を開催した。

10. がん相談について

① 相談件数

〔入院〕 実件数651件、総件数3,263件　　〔外来〕 実件数257件、総件数729件

② 相談を受けた患者様の疾患

悪性黒色腫、悪性神経膠腫、悪性リンパ腫、胃がん、咽頭がん、横行結腸がん、口腔がん、後腹膜腫瘍、肝がん、肝細胞がん、肝門部胆管がん、基底細胞がん、原発不明がん、膠芽腫、甲状腺がん、骨肉腫、子宮がん、子宮頚がん、子宮体がん、歯肉がん、十二指腸乳頭部がん、小腸がん、食道がん、腎がん、膵がん、膵体部がん、髄膜腫、縦隔内血管肉腫舌がん、前立腺がん、退形成性星細胞腫、大腸がん、多発性骨髄腫、胆管がん、胆嚢がん、虫垂がん、直腸がん、乳がん、尿管がん、脳腫瘍、肺がん、肺腺がん、白血病、膀胱がん、盲腸がん、有棘細胞がん、卵巣がん

③ がん患者サロン

月１回、第３月曜日（14：00 ～ 16：00）に医療連携福祉相談室にて開催しています。

対象者は、当院に通院しているがん患者・家族です。

各回の参加者は10 ～ 15名であり、その内参加者は２～３名となっています。

今年度は、以下のミニレクチャーを開催しました。

①「がん患者さんが利用できる福祉制度について」（講師:社会福祉士） ②「いきいき生きる、がんとリハビリ」（講師：緩和ケアチーム理学療法士） ③「食事で免疫力を高めよう！」（講師：緩和ケアチーム管理栄養士）

また、12月にがん患者サロン合同でピアサポーターズサロンちばを開催しました。

・参加者数　合計135名(昨年より12名増）〔内訳〕男性57名・女性78名、患者本人109名・家族26名、初参加者24名（昨年より男性27名増、女性20名減）

・参加者の年代　30代以下1名、40代1名、50代19名、60代62名、70代50名、80代2名
・参加者の疾患　大腸がん、慢性骨髄性白血病、肺がん、子宮体がん、胃がん、肝臓がん、前立腺がん、甲状腺がん、卵巣がん、膵臓がん、胆管がん、乳がん

11. 家族支援チーム（FAST）について

2006年１月に設立された、院内における虐待対応チームです。名称はFamily Support Team：FASTの名称で活動しています。構成メンバーは医師、看護師、助産師、視能訓練士、歯科衛生士、臨床心理士、言語聴覚士、PSW、MSWです。虐待発見時の対応、定期会議（ケース検討、システム作り）、勉強会・講演会・イベントの開催、要保護児童対策地域協議会等への参加を行っています。

	身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	性的虐待	DV	特定妊婦	高齢者虐待	障害者虐待	計
2014年度	18	83	7	32	7	43			190
2015年度	17	72	10	16	4	59			178
2016年度	28	78	5	24	4	55			194
2017年度	22	76	11	17	5	65	4	2	202
2018年度	39	73	17	14	10	56	15	3	227

※高齢者虐待、障害者虐待については、2017年度より集計をとっている。

虐待種別

身体的虐待	39
ネグレクト	73
心理的	17
性的虐待	14
DV	10
特定妊婦	56
高齢者虐待	15
障害者虐待	3
計	227

（児童虐待のみ143）

被虐待児の性別

男	81
女	62
計	143

被虐待児の発達障害の有無

有り	46
無し	97
総計	143

発見時の被虐待児の年齢

新生児（出生後28日未満）	13
乳児（1歳未満）	24
幼児（1歳から6歳）	61
小学生（7歳から12歳）	25
中学生（13歳から15歳）	15
高校生（16歳から18歳）	5
総　計	143

児童虐待ケースの対応内容

児童相談所　通告	27
児童相談所　連携	40
市町村　通告	24
市町村　連絡	52
総　計	143

児童相談所通告ケースの種別

身体的虐待	9
ネグレクト	16
心理的	2
性的虐待	0
特定妊婦	11
計	38

児童虐待ケースの保護者の問題

経済的問題	51
精神疾患	36
DV	32
知的障害	12

12. 退院調整業務内訳

①　退院者数　1,994名

②　年齢別

	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代～	合計
在宅	2	5	6	23	41	80	97	130	36	420
施設	0	0	0	2	6	15	35	84	50	192
転院	3	4	7	33	54	146	284	480	159	1,170
死亡	0	1	2	0	6	31	50	80	42	212
合計	5	10	15	58	107	272	466	774	287	1,994

※退院後の療養先について

自宅への退院は「在宅」、介護老人保健施設や介護老人福祉施設などへの入所は「施設」、他の医療機関への転院は「転院」、退院調整中に死亡した場合は「死亡」としている

③　依頼元診療科

診療科	件　数
内科	1,159
整形外科	251
脳神経外科	285
透析科	107
外科	85
泌尿器科	49

診療科	件　数
形成外科	20
救命救急科	6
皮膚科	7
婦人科	4
心臓外科	9
耳鼻咽喉科	2

診療科	件　数
小児科	4
眼科	4
神経精神科	1
歯口科	1
総計	1,994

④　調整先

⑴　医療機関　1,170件

病　　院	住　　所	件 数
イムス佐原リハビリテーション病院	香取市	234
九十九里ホーム病院	匝瑳市	77
成田リハビリテーション病院	成田市	74
匝瑳市民病院	匝瑳市	57
渡辺病院	茨城県神栖市	52
東庄病院	香取郡東庄町	46
銚子市立病院	銚子市	39
兒玉病院	銚子市	34
たむら記念病院	銚子市	32
多古中央病院	香取郡多古町	31
本多病院	香取市	31
さんむ医療センター	山武市	29
東陽病院	山武郡横芝光町	29
鹿島病院	茨城県鹿嶋市	27
島田総合病院	銚子市	27
田辺病院	旭市	26
小見川総合病院	香取市	25
内田病院	銚子市	24
栗源病院	香取市	20
江畑医院	旭市	18
長谷川病院	八街市	18
白十字総合病院	茨城県神栖市	15
京友会病院	旭市	14
飯倉医院	旭市	14
宮本病院	茨城県稲敷市	10
県立佐原病院	香取市	9
浅井病院	東金市	9
季美の森リハビリテーション病院	大網白里市	8
神栖済生会病院	茨城県神栖市	8
髙根病院	山武郡芝山町	8
大栄病院	成田市	7
海上寮療養所	旭市	6
九十九里病院	山武郡九十九里町	6
三橋病院	千葉市中央区	6
新八街総合病院	八街市	5
守医院	匝瑳市	4
千葉みなとリハビリテーション病院	千葉市中央区	4
国立がん研究センター東病院	柏市	4
藤田病院	匝瑳市	3
成田富里徳洲会病院	富里市	3
千葉大学医学部附属病院	千葉市中央区	3

病　　院	住　　所	件 数
千葉リハビリテーションセンター	千葉市緑区	3
千葉県がんセンター	千葉市中央区	3
鹿島労災病院	茨城県鹿嶋市	3
清仁会病院	茨城県神栖市	3
東邦大学医療センター佐倉病院	佐倉市	2
富家千葉病院	千葉市稲毛区	2
下志津病院	四街道市	2
五井病院	市原市	2
船橋市立医療センター	船橋市	2
東京湾岸リハビリテーション病院	習志野市	2
東京ベイ浦安市川医療センター	浦安市	2
順天堂大学医学部附属順天堂医院	浦安市	2
国立がん研究センター中央病院	東京都江東区	2
大野診療所	茨城県鹿嶋市	2
鹿島神宮前病院	茨城県鹿嶋市	2
山野病院	香取市	1
東千葉メディカルセンター	東金市	1
中沢病院	富里市	1
聖隷佐倉市民病院	佐倉市	1
四街道さくら病院	四街道市	1
栗山中央病院	四街道市	1
松戸市立総合医療センター	松戸市	1
井上記念病院	千葉市中央区	1
三愛記念病院	千葉市中央区	1
千葉みなと病院	千葉市中央区	1
千葉メディカルセンター	千葉市中央区	1
総泉病院	千葉市若葉区	1
津田沼中央総合病院	習志野市	1
印西総合病院	印西市	1
東船橋病院	船橋市	1
千葉県済生会習志野病院	習志野市	1
東京ベイ・浦安市川医療センター	浦安市	1
館山病院	館山市	1
小山記念病院	茨城県鹿嶋市	1
茨城リハビリテーション病院	茨城県守谷市	1
宗仁会病院	茨城県取手市	1
神立病院	茨城県土浦市	1
江戸川共済病院	東京都江戸川区	1
五反田リハビリテーション病院	東京都品川区	1
蒲田リハビリテーション病院	東京都大田区	1
多摩北部医療センター	東京都東村山市	1

病　　院	住　　所	件 数
築地神経科クリニック	東京都中央区	1
東京女子医科大学病院	東京都新宿区	1
東邦大学医療センター大森病院	東京都大田区	1
陽和病院	東京都練馬区	1
霞ヶ関南病院	埼玉県川越市	1
埼玉回生病院	埼玉県三郷市	1
春日部厚生病院	埼玉県春日部市	1
聖ヨゼフ病院	神奈川県横須賀市	1
小田原市立病院	神奈川県小田原市	1
イムス太田中央総合病院	群馬県太田市	1
依田窪病院	長野県小県郡名川町	1
草津総合病院	滋賀県草津市	1
倉敷第一病院	岡山県倉敷市	1
中山医学大学付属医院	台湾	1
合　　計		1,170

(2)　施設　192 件

施　　設	住　　所	件 数
介護老人保健施設シルバーケアセンター	旭市	73
特別養護老人ホーム東風荘	旭市	10
特別養護老人ホーム花園	匝瑳市	8
特別養護老人ホーム東総園	旭市	7
特別養護老人ホーム白寿園	旭市	5
ケアハウス希望の里	匝瑳市	4
障害者支援施設しおさいホーム	匝瑳市	4
介護老人保健施設とよさと	銚子市	4
特別養護老人ホームやすらぎ園	旭市	3
障害者支援施設聖マリア園	旭市	3
特別養護老人ホーム松籟の丘	銚子市	3
介護老人保健施設シオン	銚子市	3
住宅型有料老人ホームグットヴィレッジ	山武郡横芝光町	3
特別養護老人ホーム恵天堂	旭市	2
ケアハウスやすらぎ園	旭市	2
介護老人保健施設ミス・ヘンテ記念ケアセンター	匝瑳市	2
介護老人保健施設なぎさ	銚子市	2
特別養護老人ホームシオン銚子	銚子市	2
小規模多機能型施設やわら	銚子市	2
介護老人保健施設夢プラスワン	香取市	2
救護施設風の郷厚生園	香取市	2
多古ケアハウス	香取郡多古町	2
特別養護老人ホームマリンピア神栖	茨城県神栖市	2
グループホームふれ愛	旭市	1
グループホームスウィートホームうなかみ	旭市	1
医療型障害児入所施設聖母療育園	旭市	1
特別養護老人ホーム東風荘松里館	旭市	1
養護老人ホーム　東総園	旭市	1
グループホーム天鼓	匝瑳市	1
サービス付き高齢者向け住宅アウル	匝瑳市	1
ミス・ヘンテ記念ケアセンター	匝瑳市	1
養護老人ホーム瑞穂園	匝瑳市	1
グループホームかすが苑	銚子市	1
ケアハウスマリンピア銚子	銚子市	1
ケアハウス第２かすが苑	銚子市	1
養護老人ホーム猿田の丘なでしこ	銚子市	1

施　　設	住　　所	件 数
救護施設猿田の丘なでしこ	銚子市	1
介護付有料老人ホームエクセルシオール佐原	香取市	1
グループホームいきいきの家くりもと	香取市	1
介護老人保健施設おおくすの郷	香取市	1
特別養護老人ホーム九十九里ホーム山田	香取市	1
特別養護老人ホーム水都苑	香取市	1
特別養護老人ホーム杜の家	香取市	1
特別養護老人ホーム福楽園	香取市	1
特別養護老人ホーム笹川	香取郡東庄町	1
サービス付高齢者住宅園芸シニアハウス宝の里	香取郡神崎町	1
特別養護老人ホーム吉祥苑	山武郡横芝光町	1
有料老人ホームグッドヴィレッジ	山武郡横芝光町	1
特別養護老人ホーム三愛	山武郡横芝光町	1
特別養護老人ホーム九十九里園	山武郡九十九里町	1
介護老人保健施設二川苑	山武郡芝山町	1
介護老人保健施設ハートビレッジ	山武市	1
介護老人保健施設日向の里	山武市	1
高齢者共同住宅グループリビングあや	山武市	1
老人保健施設ケアセンター浅井	東金市	1
介護老人保健施設成田富里徳洲会苑	成田市	1
特別養護老人ホーム杜の家なりた	成田市	1
ケアハウスはつらつの里	千葉市若葉区	1
救護施設松風園	千葉市緑区	1
無料低額宿泊所エスエスエス末広荘	千葉市中央区	1
無料低額宿泊所エスエスエス八千代荘	八千代市	1
無料低額宿泊所エスエスエス市原荘	市原市	1
障害者支援施設神栖啓愛園	茨城県神栖市	1
有料老人ホーム浮間舟渡ロマンヒルズ	東京都板橋区	1
介護付有料老人ホームメディカルホームまどか草加	埼玉県草加市	1
合　　計		192

(3)　自宅退院　420件

(4)　調整中に死亡退院　212件

連携係

本年度も紹介・逆紹介を通じた二人主治医制の推進、及び地域完結型医療の構築に向けて業務を行なった。

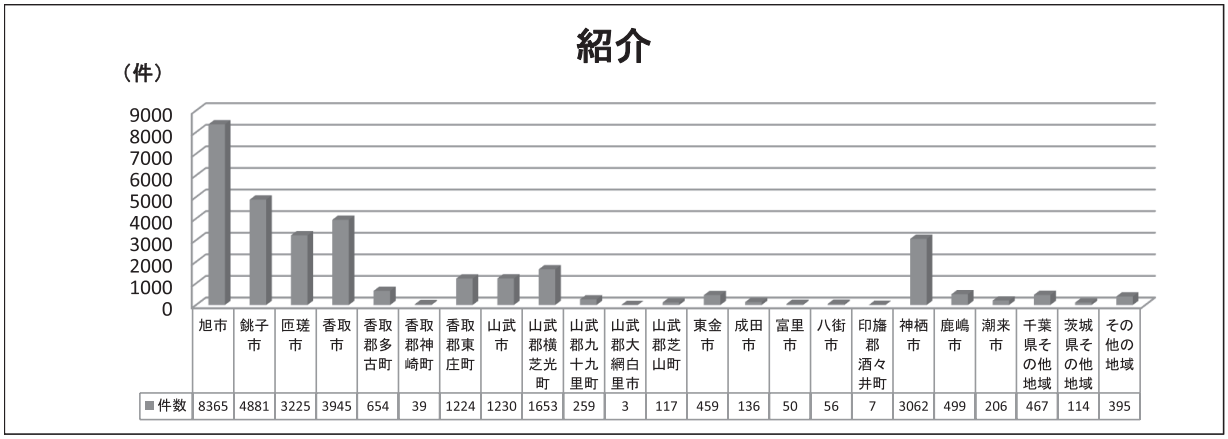
年度計画の中で医療機関等との交流会を年２回実施することを目標に掲げており、当地域の医師を主な対象とした地域医療者（医師）懇談会を以下のとおり開催した。説明会及び懇親会を通じて、院内外医師及び広く地域医療者同士の交流が深化していると感じている。

①2018年７月24日（火）第10回開催：主な内容「理事長、新任病院長挨拶」「旭中央病院の診療態勢」。院外からのご出席65機関89名（院内から101名出席）。

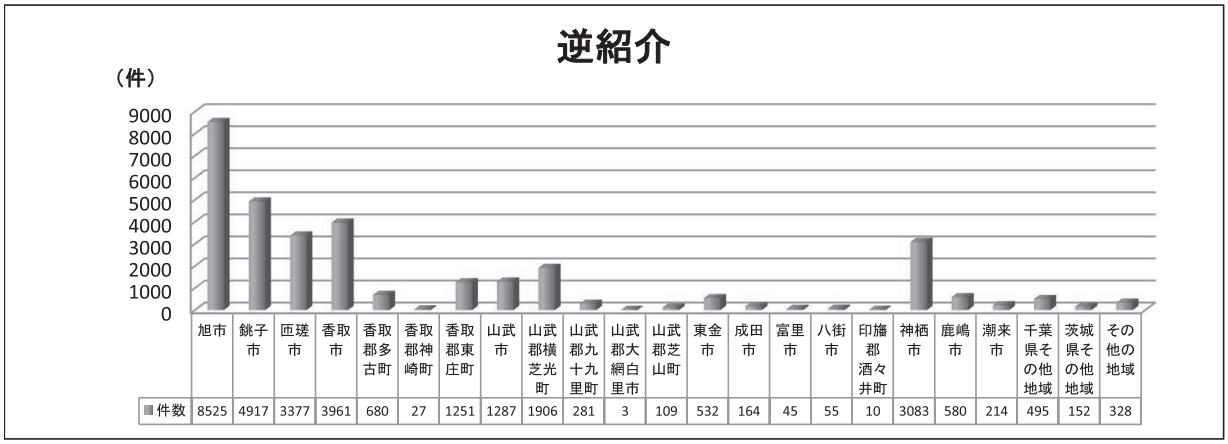
②2019年２月26日（火）第11回開催：主な内容「病院長挨拶」「当院におけるTAVIの導入について」「千葉県共用がん地域医療連携パスについて」。院外からのご出席51機関73名（院内から102名出席）。

ほかにも、2019年３月11日（月）に「人生の最終段階における意思決定支援について考える」をテーマに、ケアマネジャーや看護師等を主な対象とした地域医療連携懇談会を開催し、院内外から202名（院外155名、院内47名）のご出席を頂き講演２題とシンポジウムを実施した。

2018年度　紹介・逆紹介患者数　居住地別件数



	旭市	銚子市	匝瑳市	香取市	香取郡多古町	香取郡神崎町	香取郡東庄町	山武市	山武郡横芝光町	山武郡九十九里町	山武郡大網白里市	山武郡芝山町	東金市	成田市	富里市	八街市	印旛郡酒々井町	神栖市	鹿嶋市	潮来市	千葉県その他地域	茨城県その他地域	その他の地域
件数	8365	4881	3225	3945	654	39	1224	1230	1653	259	3	117	459	136	50	56	7	3062	499	206	467	114	395



	旭市	銚子市	匝瑳市	香取市	香取郡多古町	香取郡神崎町	香取郡東庄町	山武市	山武郡横芝光町	山武郡九十九里町	山武郡大網白里市	山武郡芝山町	東金市	成田市	富里市	八街市	印旛郡酒々井町	神栖市	鹿嶋市	潮来市	千葉県その他地域	茨城県その他地域	その他の地域
件数	8525	4917	3377	3961	680	27	1251	1287	1906	281	3	109	532	164	45	55	10	3083	580	214	495	152	328

2018年度　紹介・逆紹介患者数　居住地別件数と比率

		都道府県	市町村	紹介件数	全体に占める比率	逆紹介件数	全体に占める比率
診療圏	二次保健医療圏	千葉県	旭市	8,365	26.9%	8,525	26.7%
		千葉県	銚子市	4,881	15.7%	4,917	15.4%
		千葉県	匝瑳市	3,225	10.4%	3,377	10.6%
		千葉県	香取市	3,945	12.7%	3,961	12.4%
		千葉県	香取郡多古町	654	2.1%	680	2.1%
		千葉県	香取郡神崎町	39	0.1%	27	0.1%
		千葉県	香取郡東庄町	1,224	3.9%	1,251	3.9%
		香取海匝二次保健医療圏　小計		22,333	71.8%	22,738	71.2%
	山武地区	千葉県	山武市	1,230	4.0%	1,287	4.0%
		千葉県	山武郡横芝光町	1,653	5.3%	1,906	6.0%
		千葉県	山武郡九十九里町	259	0.8%	281	0.9%
		千葉県	山武郡大網白里市	3	0.0%	3	0.0%
		千葉県	山武郡芝山町	117	0.4%	109	0.3%
		千葉県	東金市	459	1.5%	532	1.7%
		山武地区　小計		3,721	12.0%	4,118	12.9%
		千葉県	成田市	136	0.4%	164	0.5%
		千葉県	富里市	50	0.2%	45	0.1%
		千葉県	八街市	56	0.2%	55	0.2%
		千葉県	印旛郡酒々井町	7	0.0%	10	0.0%
		茨城県	神栖市	3,062	9.9%	3,083	9.6%
		茨城県	鹿嶋市	499	1.6%	580	1.8%
		茨城県	潮来市	206	0.7%	214	0.7%
千葉県　その他　地域				467	1.5%	495	1.5%
茨城県　その他　地域				114	0.4%	152	0.5%
その他の地域				395	1.3%	328	1.0%
合　　計				31,046	100%	31,982	100%

2018年度　登録医・カルナコネクト　加入医療機関数　市町村別一覧表

市町村	医科		歯科		合計	
	登録医	カルナ	登録医	カルナ	登録医	カルナ
旭市	21	18	23	21	44	39
匝瑳市	18	18	8	7	26	25
銚子市	24	19	26	20	50	39
香取市	31	26	8	7	39	33
東庄町	2	2	1	1	3	3
多古町	2	2	0	0	2	2
神崎町	0	0	1	1	1	1
山武市	5	3	1	1	6	4
横芝光町	5	5	0	0	5	5
九十九里町	1	1	0	0	1	1
成田市	1	1	0	0	1	1
東金市	1	1	0	0	1	1
四街道市	1	0	0	0	1	0
神栖市	12	11	6	6	18	17
鹿嶋市	3	2	2	2	5	4
鉾田市	1	1	0	0	1	1
加入数合計	128	110	76	66	204	176

（2019年3月31日現在）

2018年度　訪問件数一覧表

訪問年月	件数
2018年4月	15
5月	17
6月	10
7月	28
8月	25
9月	16
10月	8
11月	13
12月	38
2019年1月	21
2月	56
3月	12
年度合計	259

（単位：件）

紹介患者係

2017年３月より「地域医療支援病院」となり、初診時・再診時の選定療養費負担額が上がったことも要因なのか、受診する際にかかりつけ医からの紹介状持参が、患者さんにとってのメリットであることが周知されてきたかと思われます。

かかりつけ医の相談だけではなく、大学病院への受診方法や予約手続きも年々増えています。

センターからの紹介状発送件数も2018年度は22,305件（前年度＋531）となっています。

又、2017年度は年間15件であったセカンドオピニオン相談も、2018年度は年間44件の対応を行なっています。

2018年度紹介患者センター利用者数　（単位・名）

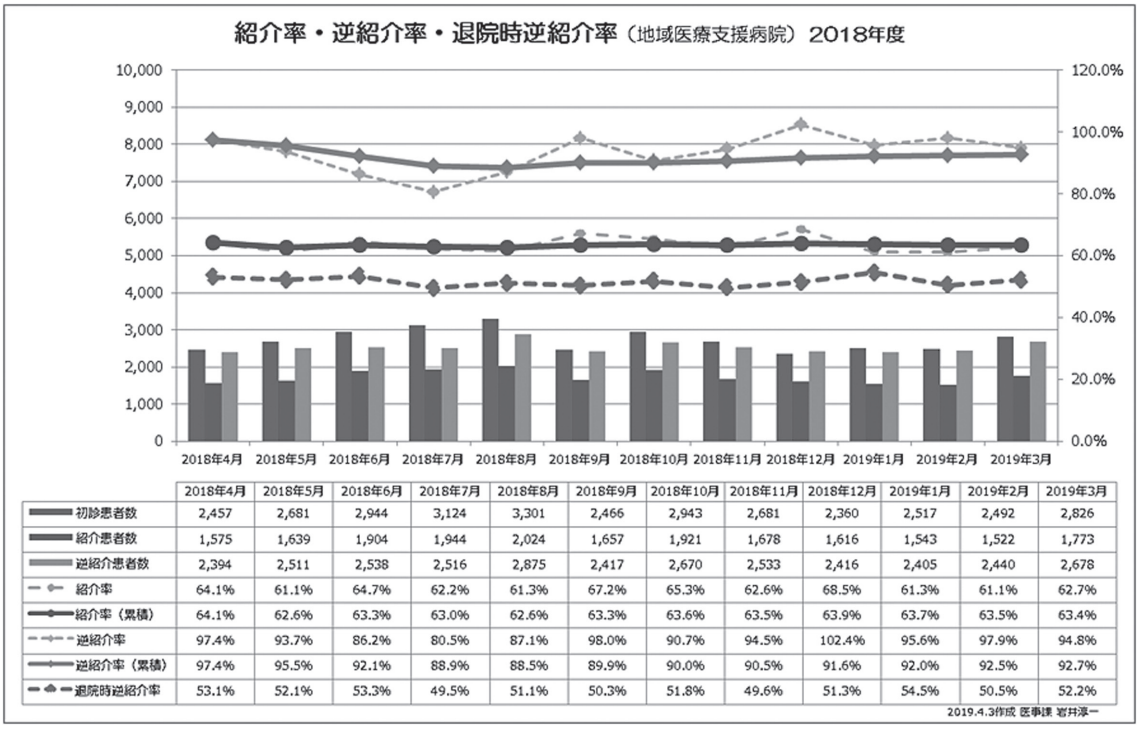
2018・4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019・1月	2月	3月	計
109	116	89	115	96	81	92	81	59	75	118	121	1,152

2018年度紹介状発送件数　（単位・件）

2018・4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019・1月	2月	3月	計
1,710	1,921	1,770	1,796	2,102	1,741	1,986	1,863	1,873	1,674	1,740	2,129	22,305

2018年度セカンドオピニオン相談件数　（単位・件）

2018・4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019・1月	2月	3月	計
2	0	3	1	5	2	7	5	3	3	6	7	44



	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	2018年10月	2018年11月	2018年12月	2019年1月	2019年2月	2019年3月
初診患者数	2,457	2,681	2,944	3,124	3,301	2,466	2,943	2,681	2,360	2,517	2,492	2,826
紹介患者数	1,575	1,639	1,904	1,944	2,024	1,657	1,921	1,678	1,616	1,543	1,522	1,773
逆紹介患者数	2,394	2,511	2,538	2,516	2,875	2,417	2,670	2,533	2,416	2,405	2,440	2,678
紹介率	64.1%	61.1%	64.7%	62.2%	61.3%	67.2%	65.3%	62.6%	68.5%	61.3%	61.1%	62.7%
紹介率（累積）	64.1%	62.6%	63.3%	63.0%	62.6%	63.3%	63.6%	63.5%	63.9%	63.7%	63.5%	63.4%
逆紹介率	97.4%	93.7%	86.2%	80.5%	87.1%	98.0%	90.7%	94.5%	102.4%	95.6%	97.9%	94.8%
逆紹介率（累積）	97.4%	95.5%	92.1%	88.9%	88.5%	89.9%	90.0%	90.5%	91.6%	92.0%	92.5%	92.7%
退院時逆紹介率	53.1%	52.1%	53.3%	49.5%	51.1%	50.3%	51.8%	49.6%	51.3%	54.5%	50.5%	52.2%

センター等

●健診センター（2018年度）

トピックス

健診センターでは、保有する健診システムのサーバー保守期限が終了することや、当該メーカーによる次期システム開発状況などから電子カルテ更新に先駆けて、システム更新を行うことにした。

健診システム選定は、医療情報室の協力により2017年８月より開始し、数社の提案に基づいて検討を行い、次期健診システムに「日立ヘルゼアネクスト」を採用することにした。稼動開始を2018年４月と設定し、日立･健診センター（医療情報室）間で詳細仕様について打合せを行い、電子カルテ更新を考慮し当面は電子カルテと連携せずに稼動することにした。関連する他部門の協力により、部門システムとのCSV連携構築もスムーズに行うことができ、予定通り2018年４月１日運用開始することができた。オーダー入力を健診システムと電子カルテに行う必要や、一部作業は日常業務と平行しながら行う必要があり､運用初日の受診者への「人間ドック結果報告書」が完成した際にはスタッフ一同安堵した。

人間ドックでは医師の指示により保健師・看護師が今回の結果と問診などを参考にしながら、保健指導に積極的に関与する必要がある。新しい試みとして、健診で要精密検査や要治療と判定された受診者に医療機関の受診を促す目的で、人間ドック結果報告書に医療機関宛の「精密検査及び治療の御依頼状と受診状況調査票」を同封し、受診する際に提出するよう依頼し、受診行動の把握につとめ、場合によっては電話等によるフォローを行うことにした。

2018年度の利用者は１日ドック2,025名（前年度比３％減）、２日ドック（前年度比1.5％減）であった。2014年度との比較では、１日ドック（190人、10.4％増）、２日ドック（124人、9.1％減）であった。当センターの特徴である継続受診については、2018年度の全受診者3,262名に占める継続者は2,868名（87.9％）と高い比率となっている。受診者の年代別構成は、40 ～ 59歳までの受診者比率（33.4％）に対し60歳～ 79歳の受診者比率（61.4％）と人間ドック利用者の高齢化がみられる。40 ～ 59歳は職場健診が重視され、少ないと考えられる。また国保財政や健保財政が厳しいことから、ドック受診助成・補助金の減額、定年等による健康保険種別変更などの理由により、１日ドックに対する需要が増し、２日ドック利用者の減少が考えられる。

今後の課題　当院では80歳以上の方や自立歩行が困難で介助を必要とする方からの申込みがあり、高齢化が進む社会的背景から今後ますます増加すると考えられ、提供するドック検査項目、安全対策について検討する必要がある。また受診者の中にはドック受診前後に外来を受診されている方、人間ドックでの経過観察指示をされた方などもいる。人間ドックには生活習慣病の予防・増悪阻止と悪性腫瘍などの早期発見という目的がある。当院２日ドックにはPET検診、肺ドック、脳ドック、乳がん検診などのオプション検査が充実していること、さらに保健師・看護師による保健指導、管理栄養士による栄養講和、健康運動指導士による運動指導などのプログラムが用意されていることをアピールし、２日ドック利用を啓発する必要がある。生活習慣病予防や早期介入、地域医療機関との連携を具体的なものとし、受診者の健康寿命延伸に寄与できる体制づくりがのぞまれる。

（紫村治久）

2018年度　健診センター　性別受診者数

コース種別	月／性別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1日ドック	男性	94	98	100	101	113	86	118	87	95	105	90	103	1,190
	女性	65	90	66	65	78	60	60	82	59	54	75	81	835
	小計	159	188	166	166	191	146	178	169	154	159	165	184	2,025
2日ドック	男性	68	61	85	84	77	66	98	72	68	54	37	34	804
	女性	24	43	41	48	38	34	41	52	41	22	28	21	433
	小計	92	104	126	132	115	100	139	124	109	76	65	55	1,237
合　計	男性	162	159	185	185	190	152	216	159	163	159	127	137	1,994
	女性	89	133	107	113	116	94	101	134	100	76	103	102	1,268
	合　計	251	292	292	298	306	246	317	293	263	235	230	239	3,262

2018年度　健診センター　年代別受診者数

	1日ドック		2日ドック		計	
年　代	男性	女性	男性	女性	人	(%)
40歳未満	45	26	20	9	100	3.1
40 ～ 49歳	143	108	68	29	348	10.7
50 ～ 59歳	300	193	154	95	742	22.7
60 ～ 69歳	460	359	313	196	1,328	40.7
70 ～ 79歳	221	138	226	89	674	20.7
80歳以上	21	11	23	15	70	2.1
小　計	1,190	835	804	433	3,262	
総　計	2,025		1,237		3,262	

2018年度　継続受診者数

コース種別	受診者数	継続受診者数	率
1日ドック	2,025	1,804	89.1
2日ドック	1,237	1,064	86.0
総　計	3,262	2,868	87.9

2018年度　健診センター　脳ドックコース別受診者数

コース ＼ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
オプションコース	61	62	67	71	69	42	54	57	54	38	36	32	643
単独脳ドックコース	16	16	20	34	43	30	18	15	25	21	20	26	284
計	77	78	87	105	112	72	72	72	79	59	56	58	927

2018年度　健診センター　企業健診実施状況

受託企業数　　20 社

	男性	女性	計
受診者	78	113	191

2018年度　健診センター　オプション検査件数

検査項目 ＼ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
HCV抗体	50	40	45	50	33	27	35	22	30	19	13	18	382
HIV抗体	17	13	16	15	15	8	7	7	9	10	5	13	135
子宮頸癌	4	1	8	9	16	9	15	18	20	15	16	8	139
子宮体癌	15	16	15	17	12	5	9	14	14	9	15	12	153
脳検診	61	62	67	71	69	42	54	57	54	38	36	32	643
肺癌検診	19	21	29	24	21	19	31	26	21	18	16	5	250
乳癌検診	17	30	30	28	22	19	19	27	24	13	17	15	261
腫瘍マーカー	148	177	186	190	171	121	165	119	160	121	114	146	1,818
甲状腺機能検査	31	42	34	36	29	23	29	32	38	17	30	34	375
骨密度検査	17	27	26	20	22	17	17	20	22	9	11	16	224
麻酔（内視鏡）	9	10	14	15	8	7	11	9	12	10	11	3	119
血液型	18	23	19	13	16	12	11	7	11	9	5	0	144
RF	5	5	3	0	0	4	10	6	6	2	3	0	44
CRP	6	5	3	0	4	4	9	5	6	2	3	3	50
歯科検診	4	5	7	4	5	1	1	5	5	1	2	2	42
PET	28	21	21	25	17	6	11	7	18	10	7	20	191
内臓脂肪面積測定	36	49	56	45	42	39	69	55	37	29	38	43	538
ﾍﾘｺﾊﾞｸﾀｰ・ﾋﾟﾛﾘIgG抗体	43	40	53	46	39	43	45	37	48	30	31	48	503
合　計	528	587	632	608	541	406	548	473	535	362	373	418	6,011

2018年度　健診センターで発見された癌症例

病　　名	症例数	男性	女性
胃癌	8	7	1
食道癌	2	2	0
十二指腸癌	2	2	0
大腸癌	1	0	1
小腸悪性リンパ腫	1	0	1
肝内胆管癌	1	0	1
膵臓癌	1	0	1
肺癌	3	2	1
腎臓癌	1	1	0
膀胱癌	2	2	0
前立腺癌	15	15	0
子宮がん	1	0	1
合　計	38	31	7

2018年度　人間ドック成績一覧

A；異常なし　　B；所見あるも心配なし　　C；軽度異常あり生活習慣改善を要す

D1；要医療（E；現在治療中を含む）　　D2；要精密検査

ドック全受診者成績

	40歳未満				40歳～ 49歳				50歳～ 59歳				60歳～ 69歳			
受診者数	100				348				742				1,328			
異常なし（A+B）	14				16				19				13			
新判定 / 症例	A+B	C	D1（E）	D2	A+B	C	D1（E）	D2	A+B	C	D1（E）	D2	A+B	C	D1（E）	D2
肥満	89	5	3	3	292	22	20	14	649	55	19	19	1,216	78	11	23
呼吸器疾患	95	0	0	5	324	5	2	17	667	9	1	64	1,144	59	14	110
高血圧	86	12	1	1	245	51	51	1	439	99	198	6	649	170	501	7
高コレステロール	92	8	0	0	305	35	0	8	638	94	0	10	1,163	145	0	20
高中性脂肪	87	7	0	6	296	36	0	16	619	104	0	19	1,167	134	0	27
高尿酸	92	6	0	2	318	25	0	5	712	28	0	2	1,275	50	0	3
心電図異常	93	1	0	6	307	24	2	15	596	100	4	42	1,020	192	22	93
食道疾患	87	7	4	0	285	45	12	0	605	109	13	1	999	269	46	2
胃疾患	72	26	0	0	239	98	3	0	396	317	11	1	434	854	13	8
十二指腸疾患	96	2	0	0	329	9	3	0	698	29	1	2	1,262	51	1	2
胆石・胆嚢ポリープ	74	20	0	2	223	90	0	1	453	215	0	9	798	391	1	20
肝機能異常（脂肪肝含）	68	26	0	6	190	144	0	12	359	350	0	30	708	568	0	38
糖尿病	56	35	2	7	168	119	25	36	249	304	75	114	281	566	251	230
血液疾患	89	6	2	3	292	20	10	26	684	24	4	30	1,210	61	2	55
便潜血	97	0	1	2	316	0	2	27	691	1	6	37	1,210	0	4	98
前立腺疾患	14	0	0	0	76	0	0	0	350	0	0	1	574	0	0	31
婦人科	27	2	0	2	73	15	9	16	196	15	13	19	443	25	14	18
乳房疾患	9	0	0	0	27	0	1	1	88	1	1	3	190	3	0	1
その他の疾患	14	41	5	40	16	127	63	142	19	264	152	307	716	248	136	228
合　計	1,337	204	18	85	4,321	865	203	337	9,108	2,118	498	716	16,459	3,864	1,016	1,014

	70歳～ 79歳				80歳以上				総　計			
受診者数	674				70				3,262			
異常なし（A+B）	2				0				64			
新判定 / 症例	A+B	C	D1（E）	D2	A+B	C	D1（E）	D2	A+B	C	D1（E）	D2
肥満	640	20	1	13	69	1	0	0	2,955	181	54	72
呼吸器疾患	521	53	10	90	48	3	3	16	2,799	129	30	302
高血圧	256	111	302	5	19	9	42	0	1,694	452	1,095	20
高コレステロール	611	54	0	9	64	5	0	1	2,873	341	0	48
高中性脂肪	612	53	0	9	65	5	0	0	2,846	339	0	77
高尿酸	644	28	1	1	69	1	0	0	3,110	138	1	13
心電図異常	446	158	14	55	36	25	3	6	2,498	500	45	217
食道疾患	513	123	23	2	57	13	0	0	2,546	566	98	5
胃疾患	153	489	10	8	18	49	2	1	1,312	1,833	39	18
十二指腸疾患	637	22	0	3	67	2	1	0	3,089	115	6	7
胆石・胆嚢ポリープ	376	213	0	14	41	16	0	5	1,965	945	1	51
肝機能異常（脂肪肝含）	389	257	0	16	45	19	0	2	1,759	1,364	0	104
糖尿病	106	274	167	127	10	30	23	7	870	1,328	543	521
血液疾患	601	35	2	36	56	9	0	5	2,932	155	20	155
便潜血	589	0	0	74	65	0	0	5	2,968	1	13	243
前立腺疾患	294	0	0	31	29	0	0	4	1,337	0	0	67
婦人科	183	5	6	5	18	0	0	0	940	62	42	60
乳房疾患	80	5	0	4	15	0	0	0	409	9	2	9
その他の疾患	427	69	56	122	44	6	9	11	1,236	755	421	850
合　計	8,078	1,969	592	624	835	193	83	63	40,138	9,213	2,410	2,839

ドック男性受診者成績

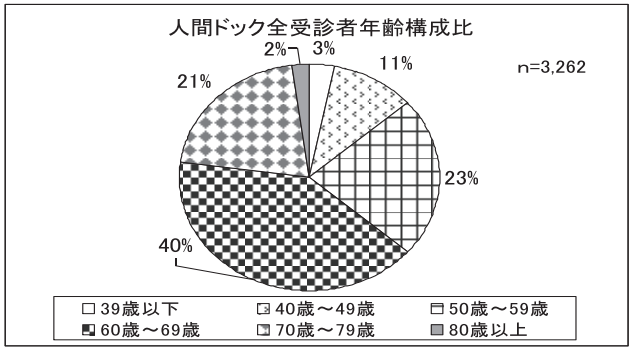
	40歳未満				40歳～ 49歳				50歳～ 59歳				60歳～ 69歳			
受診者数	65				211				454				773			
異常なし(A+B)	10				8				6				2			
新判定 / 症例	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2
肥満	59	4	2	0	174	15	17	5	389	38	13	14	705	48	7	13
呼吸器疾患	63	0	0	2	195	3	1	12	397	9	0	48	630	51	9	83
高血圧	58	5	1	1	138	34	38	1	239	62	149	4	321	97	349	5
高コレステロール	58	7	0	0	179	26	0	6	409	43	0	2	712	51	0	10
高中性脂肪	52	7	0	6	165	30	0	16	356	81	0	17	637	112	0	24
高尿酸	60	4	0	1	186	22	0	3	432	21	0	1	734	37	0	2
心電図異常	61	1	0	3	183	15	2	11	356	68	3	27	567	130	18	57
食道疾患	56	5	3	0	158	39	11	0	353	81	12	1	551	182	34	1
胃疾患	48	16	0	0	145	59	3	0	244	192	9	1	224	525	8	5
十二指腸疾患	64	0	0	0	198	8	1	0	424	24	0	1	729	37	1	1
胆石・胆嚢ポリープ	47	13	0	1	121	61	0	1	247	146	0	4	412	257	1	11
肝機能異常（脂肪肝含）	42	18	0	5	101	99	0	10	204	235	0	13	356	379	0	25
糖尿病	31	27	2	5	86	77	19	29	133	184	59	78	141	312	176	144
血液疾患	60	3	0	2	194	6	0	11	429	16	1	8	696	47	1	29
便潜血	64	0	0	1	192	0	1	16	421	1	2	26	691	0	2	71
前立腺疾患	14	0	0	0	76	0	0	0	350	0	0	1	574	0	0	31
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾患	10	28	3	24	8	80	39	84	6	156	102	190	705	48	7	13
合　計	847	138	11	51	2,499	574	132	205	5,389	1,357	350	436	9,385	2,313	613	525

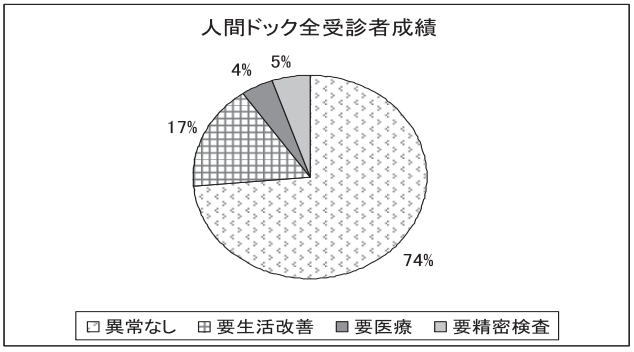
	70歳～ 79歳				80歳以上				総　計			
受診者数	447				44				1,994			
異常なし(A+B)	0				0				26			
新判定 / 症例	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2
肥満	425	14	0	8	43	1	0	0	1,795	120	39	40
呼吸器疾患	321	46	9	71	27	3	2	12	1,633	112	21	228
高血圧	156	82	205	4	10	3	31	0	922	283	773	15
高コレステロール	417	25	0	5	43	1	0	0	1,818	153	0	23
高中性脂肪	401	40	0	6	41	3	0	0	1,652	273	0	69
高尿酸	425	20	1	1	43	1	0	0	1,880	105	1	8
心電図異常	282	114	10	41	19	17	3	5	1,468	345	36	144
食道疾患	331	90	18	2	34	10	0	0	1,483	407	78	4
胃疾患	91	337	8	5	13	29	1	1	765	1,158	29	12
十二指腸疾患	420	19	0	3	42	1	1	0	1,877	89	3	5
胆石・胆嚢ポリープ	226	152	0	4	25	10	0	4	1,078	639	1	25
肝機能異常（脂肪肝含）	248	176	0	11	22	17	0	2	973	924	0	66
糖尿病	69	162	130	86	5	16	20	3	465	778	406	345
血液疾患	389	31	1	26	32	8	0	4	1,800	111	3	80
便潜血	384	0	0	55	41	0	0	3	1,793	1	5	172
前立腺疾患	294	0	0	31	29	0	0	4	1,337	0	0	67
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾患	425	14	0	8	43	1	0	0	1,197	327	151	319
合　計	5,304	1,322	382	367	512	121	58	38	23,936	5,825	1,546	1,622

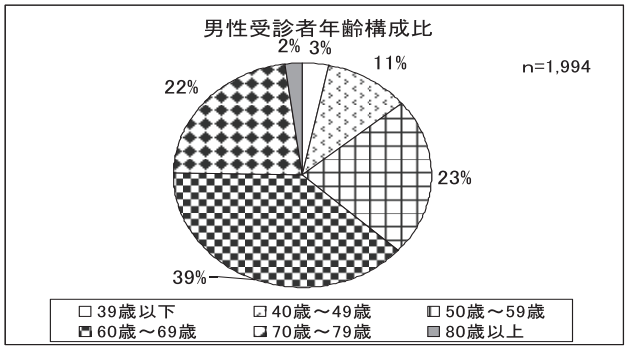
ドック女性受診者成績

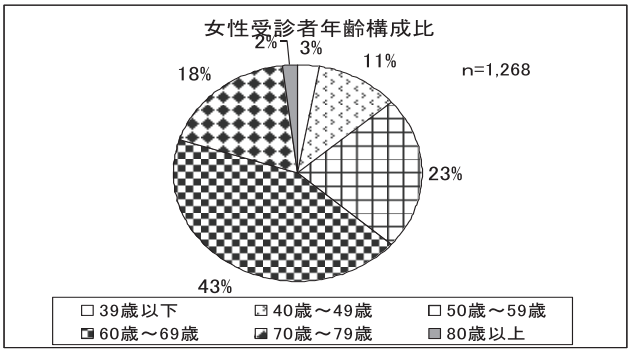
	40歳未満				40歳～ 49歳				50歳～ 59歳				60歳～ 69歳			
受診者数	35				137				288				555			
異常なし(A+B)	4				8				13				11			
新判定 / 症例	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2
肥満	30	1	1	3	118	7	3	9	260	17	6	5	511	30	4	10
呼吸器疾患	32	0	0	3	129	2	1	5	270	0	1	16	514	8	5	27
高血圧	28	7	0	0	107	17	13	0	200	37	49	2	328	73	152	2
高コレステロール	34	1	0	0	126	9	0	2	229	51	0	8	451	94	0	10
高中性脂肪	35	0	0	0	131	6	0	0	263	23	0	2	530	22	0	3
高尿酸	32	2	0	1	132	3	0	2	280	7	0	1	541	13	0	1
心電図異常	32	0	0	3	124	9	0	4	240	32	1	15	453	62	4	36
食道疾患	31	2	1	0	127	6	1	0	252	28	1	0	448	87	12	1
胃疾患	24	10	0	0	94	39	0	0	152	125	2	0	210	329	5	3
十二指腸疾患	32	2	0	0	131	1	2	0	274	5	1	1	533	14	0	1
胆石・胆嚢ポリープ	27	7	0	1	102	29	0	0	206	69	0	5	386	134	0	9
肝機能異常（脂肪肝含）	26	8	0	1	89	45	0	2	155	115	0	17	352	189	0	13
糖尿病	25	8	0	2	82	42	6	7	116	120	16	36	140	254	75	86
血液疾患	29	3	2	1	98	14	10	15	255	8	3	22	514	14	1	26
便潜血	33	0	1	1	124	0	1	11	270	0	4	11	519	0	2	27
前立腺疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	27	2	0	2	73	15	9	16	196	15	13	19	443	25	14	18
乳房疾患	9	0	0	0	27	0	1	1	88	1	1	3	190	3	0	1
その他の疾患	4	13	2	16	8	47	24	58	13	108	50	117	11	200	129	215
合　計	490	66	7	34	1,822	291	71	132	3,719	761	148	280	7,074	1,551	403	489

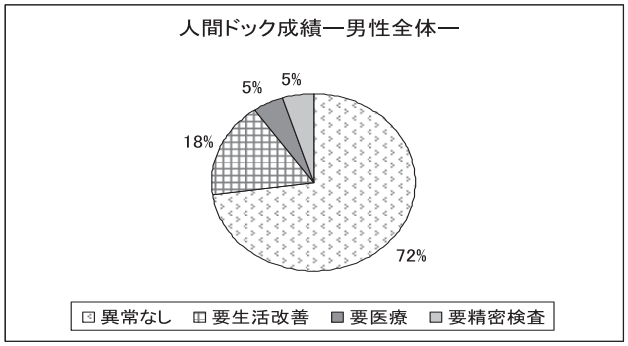
	70歳～ 79歳				80歳以上				総　計			
受診者数	227				26				1,268			
異常なし(A+B)	2				0				38			
新判定 / 症例	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2	A+B	C	D1 (E)	D2
肥満	215	6	1	5	26	0	0	0	1,160	61	15	32
呼吸器疾患	200	7	1	19	21	0	1	4	1,166	17	9	74
高血圧	100	29	97	1	9	6	11	0	772	169	322	5
高コレステロール	194	29	0	4	21	4	0	1	1,055	188	0	25
高中性脂肪	211	13	0	3	24	2	0	0	1,194	66	0	8
高尿酸	219	8	0	0	26	0	0	0	1,230	33	0	5
心電図異常	164	44	4	14	17	8	0	1	1,030	155	9	73
食道疾患	182	33	5	0	23	3	0	0	1,063	159	20	1
胃疾患	62	152	2	3	5	20	1	0	547	675	10	6
十二指腸疾患	217	3	0	0	25	1	0	0	1,212	26	3	2
胆石・胆嚢ポリープ	150	61	0	10	16	6	0	1	887	306	0	26
肝機能異常（脂肪肝含）	141	81	0	5	23	2	0	0	786	440	0	38
糖尿病	37	112	37	41	5	14	3	4	405	550	137	176
血液疾患	212	4	1	10	24	1	0	1	1,132	44	17	75
便潜血	205	0	0	19	24	0	0	2	1,175	0	8	71
前立腺疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	183	5	6	5	18	0	0	0	940	62	42	60
乳房疾患	80	5	0	4	15	0	0	0	409	9	2	9
その他の疾患	2	55	56	114	1	5	9	11	39	428	270	531
合　計	2,774	647	210	257	323	72	25	25	16,202	3,388	864	1,217

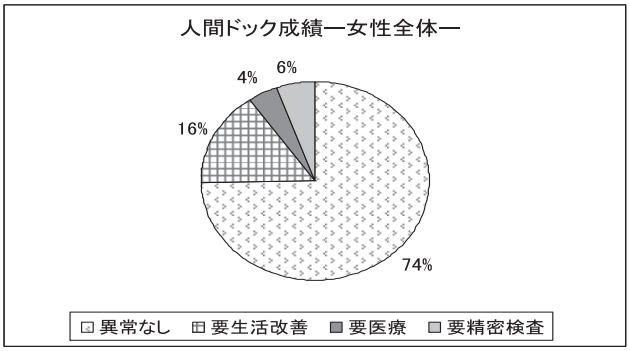

人間ドック全受診者年齢構成比
n=3,262
2%
3%
11%
21%
23%
40%
□39歳以下
□40歳～49歳
□50歳～59歳
□60歳～69歳
□70歳～79歳
□80歳以上

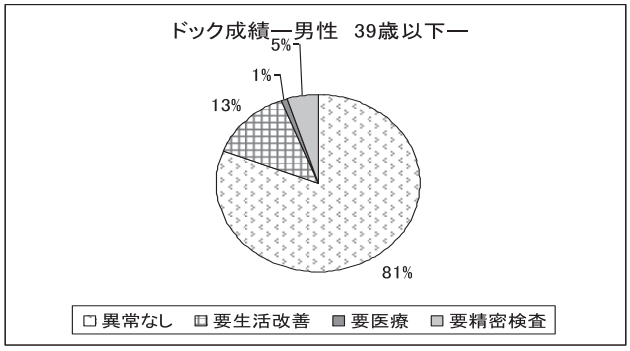

人間ドック全受診者成績
4%
5%
17%
74%
□異常なし
□要生活改善
□要医療
□要精密検査

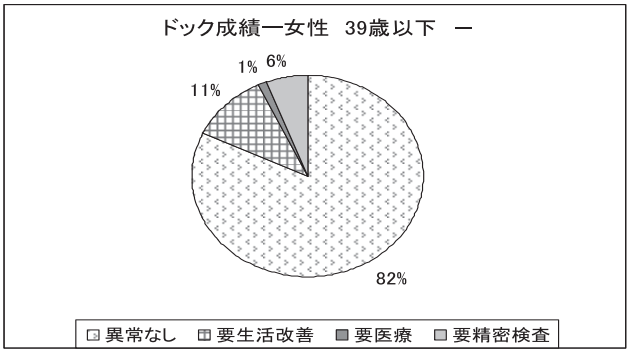

男性受診者年齢構成比
n=1,994
2%
3%
11%
22%
23%
39%
□39歳以下
□40歳～49歳
□50歳～59歳
□60歳～69歳
□70歳～79歳
□80歳以上

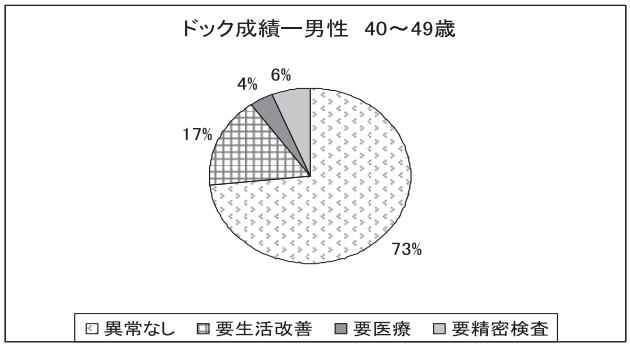

女性受診者年齢構成比
n=1,268
2%
3%
11%
18%
23%
43%
□39歳以下
□40歳～49歳
□50歳～59歳
□60歳～69歳
□70歳～79歳
□80歳以上

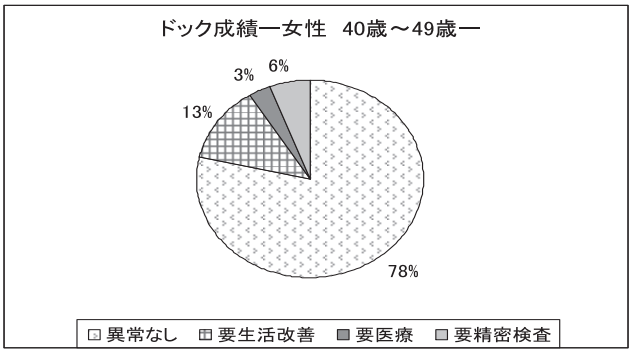

人間ドック成績―男性全体―
5%
5%
18%
72%
□異常なし
□要生活改善
□要医療
□要精密検査

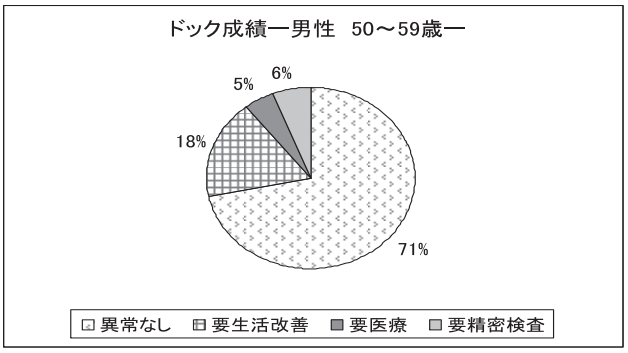

人間ドック成績―女性全体―
4%
6%
16%
74%
□異常なし
□要生活改善
□要医療
□要精密検査

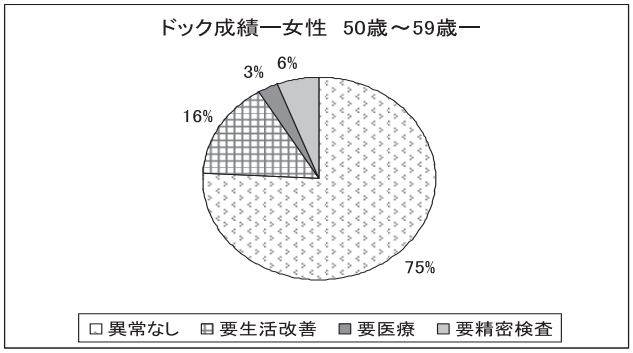

ドック成績―男性　39歳以下―
5%
1%
13%
81%
□異常なし
□要生活改善
□要医療
□要精密検査

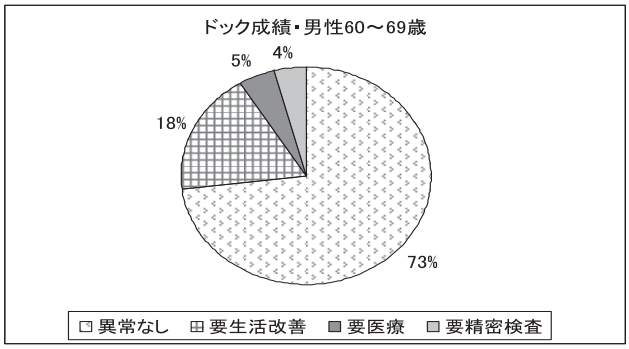

ドック成績―女性　39歳以下　―
1%
6%
11%
82%
□異常なし
□要生活改善
□要医療
□要精密検査

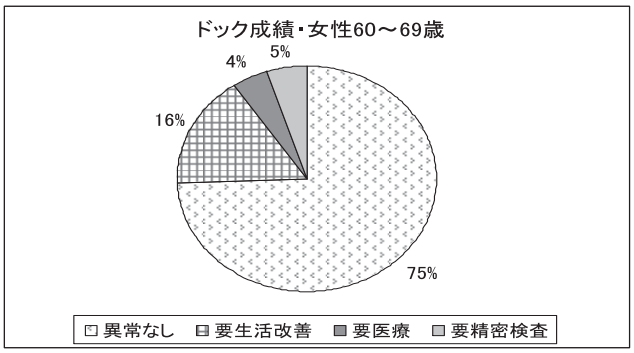

ドック成績―男性　40～49歳
4%
6%
17%
73%
□異常なし
□要生活改善
□要医療
□要精密検査

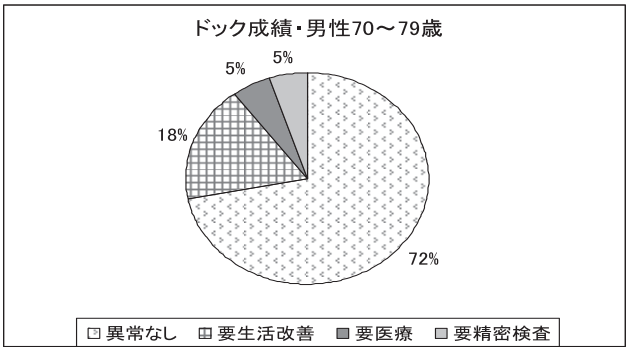

ドック成績―女性　40歳～49歳―
3%
6%
13%
78%
□異常なし
□要生活改善
□要医療
□要精密検査

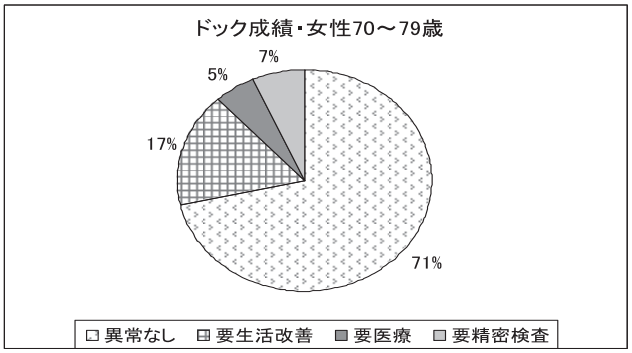

ドック成績―男性　50～59歳―
5%
6%
18%
71%
異常なし
要生活改善
要医療
要精密検査

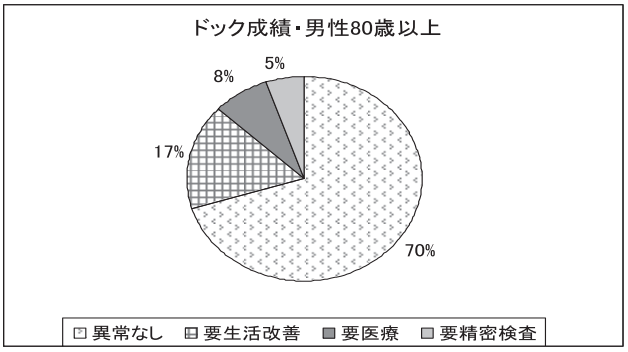

ドック成績―女性　50歳～59歳―
3%
6%
16%
75%
異常なし
要生活改善
要医療
要精密検査

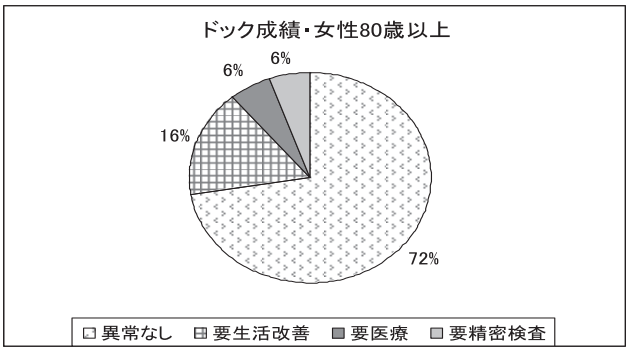

ドック成績・男性60～69歳
5%
4%
18%
73%
異常なし
要生活改善
要医療
要精密検査


ドック成績・女性60～69歳
4%
5%
16%
75%
異常なし
要生活改善
要医療
要精密検査


ドック成績・男性70～79歳
5%
5%
18%
72%
異常なし
要生活改善
要医療
要精密検査


ドック成績・女性70～79歳
7%
5%
17%
71%
異常なし
要生活改善
要医療
要精密検査

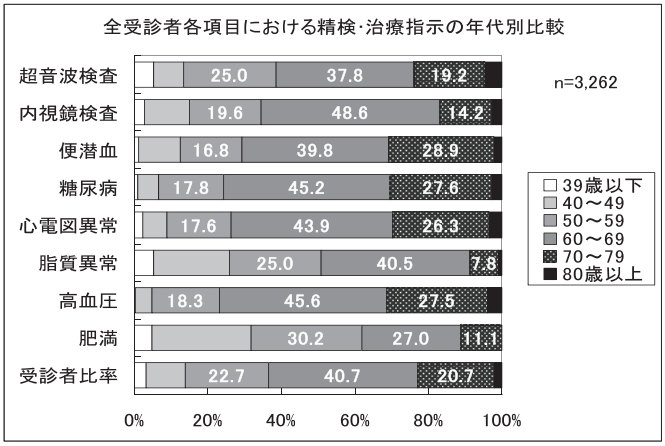

ドック成績・男性80歳以上
8%
5%
17%
70%
異常なし
要生活改善
要医療
要精密検査


ドック成績・女性80歳以上
6%
6%
16%
72%
異常なし
要生活改善
要医療
要精密検査

全受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

（人）

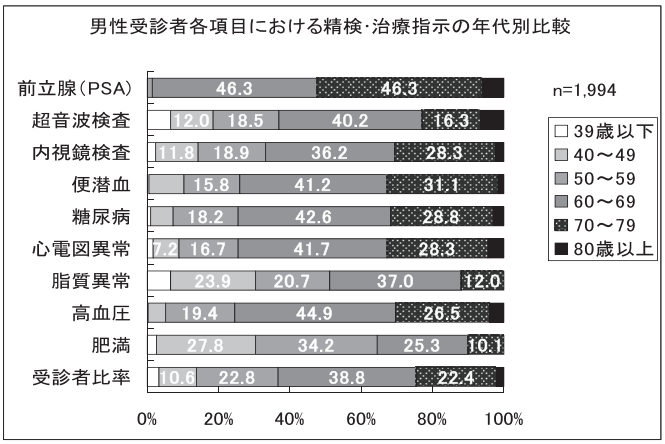
	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
全受診者	100	348	742	1328	674	70	3262
肥満	6	34	38	34	14	0	126
高血圧	2	52	204	508	307	42	1115
脂質異常	6	24	29	47	9	1	116
心電図異常	6	17	46	115	69	9	262
糖尿病	9	61	189	481	294	30	1064
便潜血	3	29	43	102	74	5	256
内視鏡検査	4	18	29	72	21	4	148
超音波検査	8	13	39	59	30	7	156



男性受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

（人）

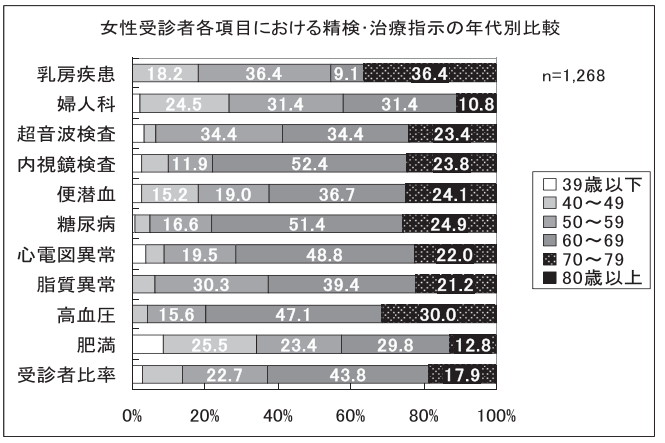
	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
男性受診者	65	211	454	773	447	44	1994
肥満	2	22	27	20	8	0	79
高血圧	2	39	153	354	209	31	788
脂質異常	6	22	19	34	11	0	92
心電図異常	3	13	30	75	51	8	180
糖尿病	7	48	137	320	216	23	751
便潜血	1	17	28	73	55	3	177
内視鏡検査	3	15	24	46	36	3	127
超音波検査	6	11	17	37	15	6	92
前立腺(PSA)	0	0	1	31	31	4	67



女性受診者の各項目における精検・治療指示の年代別比較

（人）

	39歳以下	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	全体
女性受診者	35	137	288	555	227	26	1268
肥満	4	12	11	14	6	0	47
高血圧	0	13	51	154	98	11	327
脂質異常	0	2	10	13	7	1	33
心電図異常	3	4	16	40	18	1	82
糖尿病	2	13	52	161	78	7	313
便潜血	2	12	15	29	19	2	79
内視鏡検査	1	3	5	22	10	1	42
超音波検査	2	2	22	22	15	1	64
婦人科	2	25	32	32	11	0	102
乳房疾患	0	2	4	1	4	0	11



●PET画像診断センター（2018年度）

PET画像診断センターの撮像機器はPET/CT 1台、SPECT/CT 1台、SPECT単体装置1台からなり、実施検査については非常勤医師による読影が行われてきた。2018年度のトピックはなにより8月下旬にPET/CT装置が更新されたことに尽きる。新機体であるGE社製Discovery MI®は検出器に半導体を備え、画像再構成法も新しい手法を用いた最新鋭の装置であり、画質および病変検出感度が格段に向上している。同装置の導入は国内16台目、県内2台目とのことである。従来のPET/CT装置と比べたら異次元といっても過言ではない診断能を活かし、院内の検査依頼、近医からの機器利用ともさらなる促進を期待したい。

2018年度のFDG-PET/CT検査の実施件数（合計1,746件）、シンチおよびSPECT（/CT）検査の実施件数（合計2,214件）の内訳を表1、2に示す。

表1　FDG-PET/CT検査数

	診療	ドック
旧機体（2018年4月～8月）	697	113
新機体（2018年9月～3月）	858	78

注：機器更新に伴うボランティアの試験的検査は除外した

表2　シンチおよびSPECT（/CT）検査数

検査名	件数	検査名	件数
骨シンチ	671	腎動態シンチ（^{99m}Tc-DTPA）	14
ガリウムシンチ	155	副腎髄質シンチ	13
肺血流シンチ	24	ソマトスタチン受容体シンチ	12
肺換気シンチ	21	副甲状腺シンチ	12
心筋血流シンチ（^{99m}Tc-MIBI）	275	唾液腺シンチ	19
心筋血流シンチ（^{201}TlCl）	194	リンパ管シンチ（^{99m}Tc-HSA）	11
心筋MIBGシンチ	200	センチネルリンパ節シンチ（^{99m}Tc-フィチン酸）	109
脳血流シンチ（^{123}I-IMP）	198		
脳DATシンチ	236	その他	50

注1：肺換気・血流同時シンチ、心筋2核種同時シンチについては製剤毎にカウントした
注2：年間施行件数が10件以下の検査（甲状腺シンチ、心筋ピロリン酸シンチ、消化管出血シンチ、肝アシアロ受容体シンチ、副腎皮質シンチなど）については「その他」に集約した

●入退院センター（2018年度）

●2018年度質目標に対する振り返り

1．業務の質向上

① 患者、家族が満足する案内説明の実施

前年度の患者満足度が91％高い評価だったため、これを維持できるよう90％以上の満足度維持を目標とした。同場所に周術期センターが加わったことで窓口での対応が複雑化しているため、慎重かつ丁寧な対応に心がけた。また待ち時間が伸びている傾向に対して入院時、入院書類確認をセンターから病棟に移行したことで待ち時間がそれまでの時間の半分まで短縮することができた。

今後も維持向上できるよう引き続き活動していく。

2．経営の質向上

② 入院により発生する患者のリスクの早期抽出

センター経由面談対象の内科患者に対して入院前療養支援情報・計画書に沿った情報収集と作成を行い、社会的問題、ADL等を拾い上げ入院前から病棟と情報共有し早期退院に繋げるよう努めた。院内目標の在院日数12日は2018年度３月時点の平均在院日数は13.6と前年度よりやや上昇みられた。

③ 周術期センターとの円滑な連携

将来的に周術期センターと業務統合をする上で、業務のスリム化として内科入院患者の入院前薬剤鑑別導入や皆が同じように効率的面談ができるよう面談の標準化に向けて進めている。

●2018年度　入退院センター業務報告

病棟別入院予約集計

年度		2018 年度	前年度比較
対象日数		244	2
1－5病棟	腎臓内科	324	▲20
1－7病棟	緩和ケア		
5－東病棟	産婦人科	245	21
5－西病棟	婦人科（外科・乳腺）	529	▲4
6－東病棟	呼吸器内科･アレルギー膠原病･総内・感染	235	16
6－西病棟	泌尿器科	1,650	▲114
7－東病棟	整形外／心臓外	351	18
7－西病棟	循内／心臓外	989	31
8－東病棟	脳外科	202	▲52
8－西病棟	呼吸・アレルギー膠原病・総合内科	37	1
9－東病棟	消化器内／外科	520	80
9－西病棟	外科	568	▲125
10－東病棟	消化器内科	898	8
10－西病棟	小児科／他科	125/107	16/29
11－東病棟	眼・形成外・歯口・皮膚科	1,163	88
11－西病棟	血液内科／耳鼻	370	▲31
計		8,397	233

科別入院予約、入院集計

年度		2018 年度	前年度比較
入院予約受付件数		8397	43
	内科	2902	154
	外科	1188	▲ 56
	整形外科	272	▲ 16
	心臓外科	80	34
	眼科	664	▲ 59
	形成外科	270	112
	歯口科	105	▲ 12
	皮膚科	120	64
	耳鼻科	270	▲ 8
	泌尿器科	1652	▲ 117
	脳外科	209	▲ 45
	婦人科	413	▲ 12
	産科	131	5
	小児科	120	11
	麻酔科	1	1
目的	検査	579	155
	治療	2735	▲ 32
	手術	5056	▲ 107
入院日	日時指定	8294	73
	未定	103	▲ 30
看護師情報集面談数		2417	774
入院日受付件数（センター経由のみ）		7097	187
1 日の受付件数 （入院予約＋入院件数＋ ERW-B 書類説明）		≒ 60	6

●周術期センター（2018年度）

周術期センターは2016年６月にオープンし、徐々に対象診療科を拡大し、2018年４月泌尿器科、９月婦人科、2019年３月整形外科の介入を開始し、1289名の周術期管理を行なってきました。体調管理、精神的フォロー、禁煙支援など複数回受診される方を合わせるとのべ1809名にセンターを受診していただきました。今年度より看護師２名が常勤となり毎日稼働となったことで、より多くの患者に対応できるようになりました。

患者満足度調査においては、カテゴリー平均点8.69と高評価をいただきました。対象となる患者が増加しても患者一人一人に目を向け、心を開き、耳を傾けていきたいと思っております。今後、手術を受けるすべての患者を対象としていく予定で準備を進めています。手術を受ける患者及びその家族が、周術期を安心して過ごせ、安全に手術が受けられるようみなさんと協力しあっていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

（茂木鈴枝）

－周術期センター介入患者数まとめ－

●集計期間：2016/6/7～2019/3/31時点

≪介入症例拡大の経緯≫
①2016/6～週1日稼働
外科（胃・肺・食道）

②2017/8～週２日稼働
外科（大腸）

③2018/4～週5日稼働
泌尿器科（4月～）
婦人科　（9月～）
整形外科（3月～）

●OPEN～のべ介入患者数

合計：**2745**名

●年度別のべ介入患者数

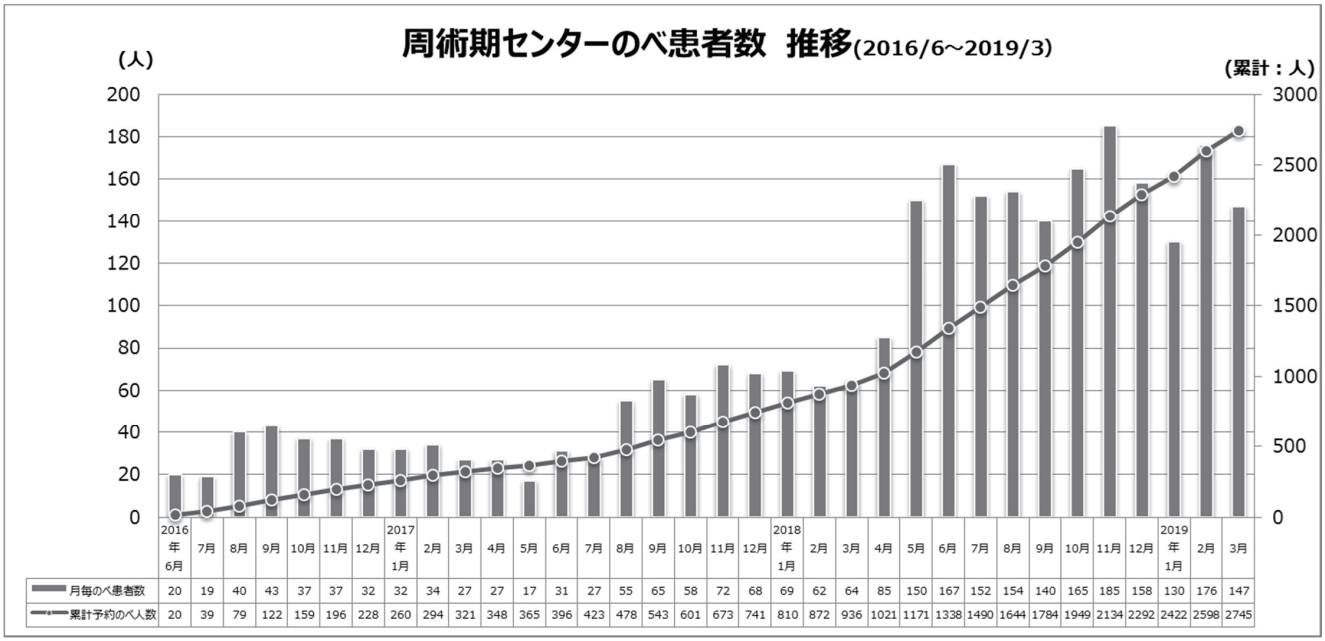
2016年度：　321名
2017年度：　615名
2018年度：1809名

●周術期センター介入 OPEN～実患者数

合計：　**1289**名

科別内訳

	外科	泌尿器科	婦人科	整形外科	計
2016年度	209				209
2017年度	330				330
2018年度	515	186	44	5	750
計	1054	186	44	5	1289



	2016年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019年1月	2月	3月
月毎のべ患者数	20	19	40	43	37	37	32	32	34	27	27	17	31	27	55	65	58	72	68	69	62	64	85	150	167	152	154	140	165	185	158	130	176	147
累計予約のべ人数	20	39	79	122	159	196	228	260	294	321	348	365	396	423	478	543	601	673	741	810	872	936	1021	1171	1338	1490	1644	1784	1949	2134	2292	2422	2598	2745

【算出条件】
のべ患者数：周術期センター患者リスト統合データより算出
　　のべ患者1予約＝1患者としてカウント
実患者数：同一患者で複数回OPEを実施している患者は、OPE1回につき実患者1でカウント
　　センター受診前の入院キャンセル、オペ中止はカウント除外（延期はカウント）

企画情報局

●経営企画室（2018年度）

１．アクションプランに基づく取組

2018年度のアクションプランに基づき、主に以下の事項について取組を行った。当室が事務局機能を担い取組を推進したもの、また、各種のプロジェクトに参加、支援したものがあるが、2018年度特筆すべき点は、2017年度に引き続き周術期センター拡大への取組である。周術期センターに関しては外科（胃癌・呼吸器疾患・食道癌・大腸癌）に加え、４月から泌尿器科（全身麻酔症例）および血管外科、７月から肝胆膵外科、９月から婦人科（悪性腫瘍症例）、２月から整形外科（脊椎手術症例）、３月からは心臓外科まで拡大した。また、効率的な術前体制の推進として、これまで２泊３日で実施していた手術を入院当日に手術行い１泊２日とするフローへ変更する取組みを実施。鼠径ヘルニア（外科：12月～開始）、前立腺生検（泌尿器科：３月～開始）、円錐切除（婦人科：４月～開始予定）の症例を対象とし平均在院日数の短縮に努めた。今後は更に円滑な業務運営を行なう為、2019年４月をもって入退院センターと合併することとなり、名称を「入院手術サポートセンター」とすることとなった。

新たなる展開への検討では、患者及び当院双方にとって有益な事業の検討を行なう利便サービス向上検討会議を発足させた。検討の結果、コンビニ、フードコート、敷地内薬局、夜間対応自動販売機、郵便局等のサービス機能が必要とされ、これらを行なう法人の設立が必要との結論に至った。

消費税増税への対応では、消費税増税対策会議を発足させ、購入時期、契約方法等増税による経過措置への対応を検討した。この結果、12,849千円の節税効果が得られる計画を実施することとなった。

市生涯活躍のまち構想への協力では、「旭市生涯活躍のまち推進協議会」や応募事業者の評価等に協力した。この結果、最優秀事業者にイオンタウン(株)が決定した。

⑴　当室が事務局機能を担い取組を推進した案件

①　周術期センターの拡大及び効率的な術前体制の推進

・対象診療科拡大及び入退院センターとの合併を検討
・当日入院、当日手術等の実施

②　新たなる展開への検討

・患者及び当院双方にとって有益な事業の検討
・消費税増税への対応
・市生涯活躍のまち構想への協力

⑵　各種プロジェクトに参加した案件

①　医療安全の推進（安全な組織文化の醸成）
②　DPC特定病院群の維持（Ⅱ群）

２．上記以外の取組

アクションプラン以外については、主に以下の点について取組を行った。

地方独立行政法人の中期計画、年度計画の運営事務局として、2018年度年度計画の進捗状況の把握および評価委員会への報告と、これに基づき2019年度の年度計画案を策定し、理事会および評価委員会の承認を得た。またISO推進事務局として2019年２月に外部審査を受審、不適合は無く完了した。

新たな取組みとしては、今後少子化による若年労働者の減少により、物流等に関わる当院職員のみならず委託業者社員の確保が困難になることが予想される。この為、業務に支障を来すことがないよう将来を見据えた改革を行なう為、物流改革プロジェクトを発足させ検討を行うこととなった。

2018年度はコンサルタントの選定、院内委託業務調査、院内委託業者ヒアリング、先進的な物流施設の視察や2019年度の計画策定を行なった。

⑴　地方独立行政法人としての対策

・2018年度、年度計画の進捗状況の管理および報告
・2019年度、年度計画の策定

⑵　ISO推進事務局

・内部監査実施
・更新審査受審
・ISO推進委員会の開催

⑶　物流改革プロジェクト

・院内委託業務調査
・院内委託業者ヒアリング
・先進的な物流施設の視察
・2019年度の計画策定

⑷　経営分析

・経営管理会議、管理運営委員会等への各種分析資料の提出
・診療科別原価計算の実施、報告

⑸　業務改善の研究

・RPA（Robotic Process Automation）の研究

●医療情報室（2018年度）

① 電子カルテ更新調整

昨年度において次点であったＩＢＭを選択した経緯について述べたとおりであるが、これを受けて富士通グループ企業の一斉撤退命令が下りたと思われる、同時期に関連企業の撤退が各社より通達され、代替ベンダの奔走に明け暮れる日々となった。さらに、カルテベンダ変更によりシステムの根幹が全て切り替わる事から、もともと作業依頼レベルに対して認識相違があった日鉄テックスエンジが撤退を表明したことに伴って、カルテベンダ変更にあたってのサポート要員も同時に入れ替わることが確定した。また、全国的にも過去のカルテデータの提供にあたってはシビアと評判であった富士通からのデータ抽出作業においては「データ加工を行わない」という建前のもと、”データ隠蔽と内部加工”と思われる対応がとられ、いつになったら最後になるのか解らない”小出し見積り”攻撃を仕掛けられつづけた事に伴い、カルテデータ抽出の富士通委託をあきらめ、データ構造に精通した職員を期間限定で招き入れることで急場を凌ぐこととなった。

② スタッフの離脱

技術差の穴埋めが当面の課題とされてきたスタッフ面において、ＩＢＭプロジェクト開始以降は「あきらかな能力差」となって業務遂行を行う必要に迫られ、中堅ポジションにいたスタッフが２名辞めていくこととなった。以降、職員３名（うち、１名は臨時職員）にて補充を行うも、実務的な部分を担えない点からの戦力ダウンは否めない。

■医療情報室活動概要

□スタッフ（2019. 3. 現在）

職　　員：13名（医師1名、看護師2名、事務9名、臨時1名）
協力会社：13名（住金13名）
※住金は13名のうち　平日：日勤４、準夜１、深夜１の６名体制の交代勤務
休日：日勤１、準夜１、深夜１の３名体制の交代勤務

■活動実績（件数は2018年度の数）

□主催委員会（システム導入に伴う機能別ワーキング類を除く）

・医療情報システム委員会（2018年度実績６回）
・富士通連絡会議（毎週火曜日夕刻）

□他部署事務局委員会（メンバー参加として）

・診療情報管理委員会
・外来勉強会
・ＩＳＯ推進委員会
・紹介患者センタープロジェクトチーム会議

□教育・勉強会など

・6/15　INTERROP TOKYO
・6/21　医療情報学連合大会 新潟（３日間）
・7/13　国際モダンホスピタルショウ
・8/10　データ提出加算の届出に関する研修会
・9/26　メディカルケアステーション勉強会
・9/28　VMWareプライベートセミナー
・10/22　自治医科大学病院視察（ＩＢＭ電子カルテシステム・保守サービス）
・11/13　vFORUM 2018 TOKYO
・1/22　ROBOTEX EXPO
・1/27　医療情報技師障害セミナー
・2/28　医療機関における安心安全な電波利活用促進シンポジウム
・3/19　松下記念病院 視察（ロボット搬送システム）
・3/19　大阪国際がんセンター（ＲＦＩＤ物流システム）

□電子カルテ事業の安定稼働関連保守

・システム停止トラブル対応（診療向けにシステム停止告知を伴ったもの）

⇒電子カルテ遅延・停止や連動停止など	６件
医事システム停止	１件
ヤギー障害	１件
スマートホン障害	１件
ＣＯＭＥＤＩＸ遅延	１件
薬剤管理システム停止	１件
検体検査システム停止	１件

事　務　局

●総務人事課（2018年度）

これまで総務課と人事課に分かれていたが、改組により2018年４月より総務人事課となった。

アクションプランに掲げられた「働き方改革」について担当事務局として、まずは現状把握等に取り組んだ。

2018年４月からの法令改正等を受け、監事監査は、これまでの決算監査、業務監査に加え2018年10月に特別監査が実施された。

医師の確保は順調に進み、2019年４月には前年同月比20名増の273名となる見込みである。

公用車の管理では、各部署の協力のもと、使用効率アップの徹底を図っている。

また、図書の管理については、以下のとおりである。

① 購入資料：単行初／212冊、学術雑誌／105誌、電子ジャーナル契約数／513誌
② 契約データベース：Clinical Key、Cochrane Library、DynaMed、UpToDate、医学中央雑誌、メディカルオンライン+eBooks
③ 相互貸借:院外外注（院内所蔵分含む）／1,933件、当院受付け／631件
④ 図書室利用実習：図書室資料の使い方・図書室の使い方／３回、医学中央雑誌検索講習／４回

●経理課（2018年度）

＜2018年度の部署方針と実施成果＞

１.「地方独立行政法人会計基準に関する知識の向上と定着化」

適切、かつ確実な会計処理の習得を念頭に取り組み、知識と能力の向上を図った。

人繰りの関係で外部セミナーへの職員参加が難しい状況にあったため、ISO外部審査での指導をもとに、課内勉強会による知識の習得と共有化に努めた。

２.「人材の育成・強化」、「業務遂行能力の向上」

次の意識づけを行い、職員のレベルアップと、よりスムーズな業務運営をめざした。

① チャレンジ目標への主体性を持った取り組み
② 習得した知識の実践活用と、守備範囲の拡大
③ 相互牽制、チェック機能の強化による事務の精度向上

＜2018年度決算について＞

当年度は19億9,100万円の純損益を計上することができた。

●医事課（2018年度）

2018年度医事課の部署方針と実績

部署方針

・収入の確保
・患者満足度（接遇）の向上
・適正な体制及び人員確保

取り組み内容と実績

・収入の確保

看護局との協同でパスの導入・見直しを行い平均在院日数の短縮を図り一定の効果は確認できた。

ＤＰＣ特定病院群・総合入院体制加算・地域医療支援病院の維持を目的に対策を実施している（DPC特定病院群算定期間2019年９月まで）

・患者満足度（接遇）の向上

外部の研修に参加及び毎月勉強会を実施し患者満足度の向上に努めている。

・適正な体制及び人員確保

各科にて相互に補完できる体制を構築し業務効率の向上を目指す（働き方改革）

●施設課（2018年度）

主要事業

1．看護師宿舎建築工事（8階建・１階託児所２～８階単身166戸・8,253.61㎡）

整備班

2018年度・排水処理量

本館 下水道放流	本館以外附属含む 汚水処理場処理	合　計
105,356㎥	125,191㎥	230,547㎥

2018年度・廃棄物処理量

一般可燃物	不燃物	医療廃棄物	感染性医療廃棄物	合　計
696,710kg	4,380kg	38,149kg	474,531kg	1,213,770kg

節水及びゴミの削減にご協力お願い致します。

エネルギー班

・電気・重油・ガス使用量削減

エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）で、エネルギー管理指定工場などは、「エネルギー消費原単位年平均１パーセント改善目標」となっています。

旭中央病院全体のエネルギーの使用に係わる原単位変化は、2013年度原油換算9,129klから2018年度原油換算7416kl（-1,713kl）となり対2013年度比81.2％空調・照明等を中心に、省エネルギー対策を実施した結果大幅な削減を達成しました。

これは、当課のみならず病院職員の省エネへの意識が高まり、御協力の下達成出来たものと考えます。

これからも、節電等省エネに御協力をお願い致します。

内訳	2013年度	2018年度	2013年度差
電気	28,199千kwh	24,521千kwh	－3,678千kwh
重油	475kl	248kl	－227kl
ガス	1,244千㎥	766千㎥	－478千㎥

●契約課（2018年度）

1．2018年度の方針

2018年度の部署方針は、2017年度の方針を継続し、診療材料費・経費及び資産購入費を削減し病院経営基盤の安定強化に繋げるとした。

2．部署質目標と成果

上記部署方針を実現するため下記質目標とその目標値を設定し、努力した結果、総額14億2,100万円の費用削減が達成できたので、下記のとおり報告する。

診療材料費・経費及び資産購入費の削減を継続し、病院経営改善を継続する

（ ）内は目標値

① 器具備品費・開発費の削減（器具備品費６億円、開発費１億円）

納入実績や対抗機種等を詳細に調査し交渉を重ねた結果、見積額に対し、器具備品費は６億4,800万円、開発費は５億8,300万円、合計12億3,100万円の削減ができた。

② 委託費等の削減（5,000万円）

見積りを精査し、契約方法の見直しや業務内容を効率的に組み替えるとともに交渉を重ねた結果、見積額に対し、5,600万円の削減ができた。

③ 診療材料費の削減（5,000万円）

単価契約見積り合せによる削減、安価材料の同等品採用及びベンチマークシステムを活用し価格交渉を重ね、１億800万円の削減ができた。

④ 修繕費の削減（3,000万円）

見積りを精査し、交渉を重ねた結果、2,600万円の削減ができた。

●広報患者相談課（2018年度）

○スタッフ数（患者相談係・広報係）13名

○2018年度の方針と評価

〈部署方針〉

①当課扱い未収額の減額、②課内で３名以上のスキルアップを目指す、③当院最新医療の市民等への情報提供、④ホームページを検索しやすくし、市民が情報にアクセスしやすくする

〈評価〉

①本年度は、入院費用債務保証商品の採用、外国人受診患者へのパスポート及び在留カードの提示依頼、不法滞在者の通報案内、医療通訳の試験実施、夜間臨戸訪問の開始、未収金多額市との打合せと、未収額を減額するべく対応を実施してきたが、飲酒運転事故や不法滞在外国人の受診による不払い等により、未収金額累計額は前年度比2,405千円の増額となった。

②知的財産管理技能検定３級、医療事務技能審査試験、PRプランナー資格認定検定試験PRプランナー補・準PRプランナーに各１名ずつ合格した。

③市民健康講座（年４回）、季刊広報誌「こんにちは」等を活用し、新しい治療、今年度より充実した診療内容等について、情報発信を行った。

・４月より保険適応になった「ロボット支援腹腔鏡下胃切除術」（６月市民健康講座、こんにちは夏号）

・2019年４月より導入予定の「TAVI（経カテーテル大動脈弁植え込み術）」（６月、９月市民健康講座、こんにちは夏号）

・指導医着任（８月）に伴い診療が強化された「脊椎手術」について（３月市民健康講座）

④・「研修医サイト」リニューアル　公開日：2018年11月30日（前回2014年）

デザインの更新と写真の差し替え。

・「本院サイト」リニューアル　公開日：2019年１月17日（前回2011年）

今年度の方針に沿って、また最近増えてきたモバイル利用者に対応するためにレスポンシブデザインにしてリニューアルした。リニューアル後のアクセス件数は前年に比べて約1.7倍増であった。

医療安全管理推進室

●医療安全管理推進室（2018年度）

□部門目標

2018年度の当室の基本方針は、「１．患者確認の徹底」「２．チームSTEPPS導入と推進」「３．医療安全対策地域連携の実施（地域連携加算の取得)」「４．医療安全研修会参加率向上」とした。

□具体的な活動

１．患者確認の徹底‥①ネームバンド装着の徹底、②患者・家族と一緒に確認の徹底、③指差し呼称の徹底、④患者確認ルールの周知。

２．チームSTEPPS導入と推進‥①１回/月の研修会開催、②3wordsの決定と公表、③各部署へのサポートと進捗状況の確認、④病院まつり、ひろば等での広報。

３．医療安全対策地域連携の実施(地域連携加算の取得)‥①医療安全対策加算Ⅰ施設との相互チェックと職員へのフィードバック、②医療安全対策加算Ⅱ施設のチェックの実施。

４．医療安全研修会参加率の向上‥①各部署での参加状況の把握と管理、②研修会DVDの回覧とイントラネットへの掲載、③ｅ-ラーニングの視聴促進、④参加率の発信（中間・最終)。

□活動実績

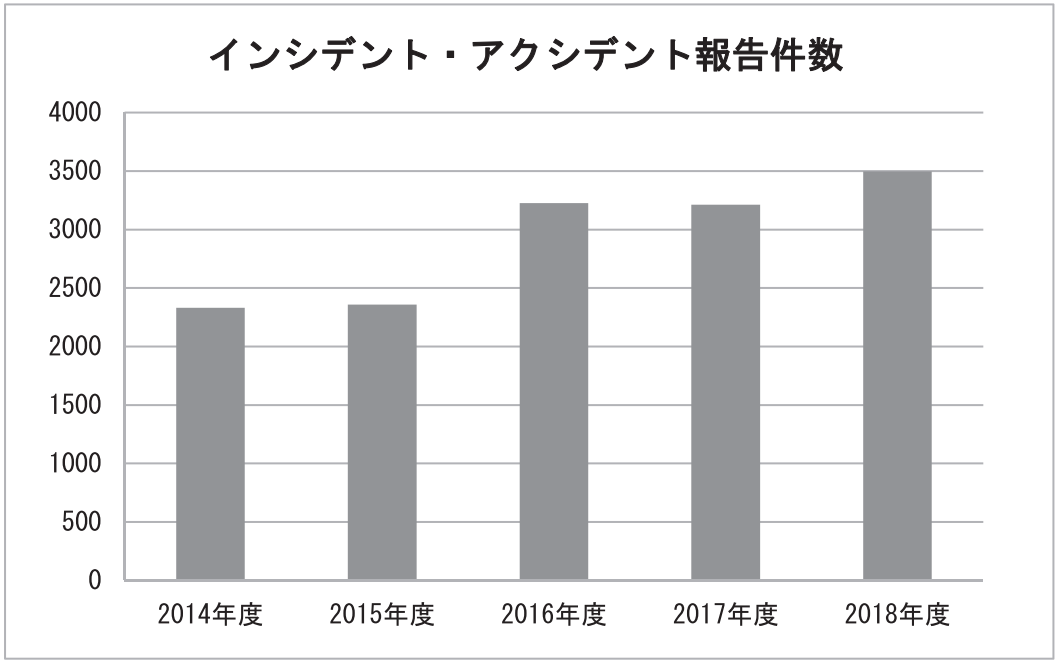
１．患者確認の徹底‥「目標:30%減」は達成できなかったが、患者確認ワーキンググループが患者確認マニュアル（詳細マニュアル）を作成し、院内に配布した。今後は、さらに各部署での周知徹底を図る。

２．チームSTEPP導入と推進‥チームSTEPPS研修会を計画どおり１回/月開催し、969名の職員が受講した。また、チームSTEPPS推進プロジェクトチーム（BeeAct）のメンバーが２人ずつペアになって出前のミニ講座を行うなど、活発に活動できており、多くの職員にチームSTEPPSを知ってもらうことができた。

３．医療安全対策地域連携の実施‥医療安全対策加算Ⅰ施設との相互チェック､加算Ⅱ施設（２施設）のチェックを実施した。指摘事項３件あり、２件は完了済み、もう１件（病棟看護師による配薬セット業務の見直し）は、現在進行中である。

４．医療安全研修会参加率向上‥「目標：２回/年以上参加率:80%以上」は達成できた。一方、一部の部門･部署の参加率が低かったため、次年度は参加率の低い部門・部署への働きかけを行う。

今後も、患者さんの安全を守るため、チーム一丸となって取り組んでいきたい。



■医療安全管理研修会＜2018年度＞

［院　内］

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
＜主催；教育委員会、医療安全推進委員会、他＞				
4月2日（月）	新採用職員	新採用者オリエンテーション	「医療安全管理」講師：医療安全管理推進室長　糸林　詠	123名
4月23日（月） 24日（火）	全職員	平成30年度　第1回医療安全研修会	1．「チームSTEPPS開始宣言」 病院長　野村　幸博 2．「医療安全文化調査の結果報告とチームSTEPPS導入」 講師：医療安全管理推進室　医療安全管理者　白土　てる子	1716名 （3回×2日間）
5月17日（木）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第2回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 医療安全管理推進室副室長　小池　大助	68名
5月22日（火）	セーフティマネージャー、SMワーキングメンバー	平成30年度　第1回セーフティマネージャー全体会議	1．医療安全管理推進室からの報告 2．2018年度セーフティマネージャーワーキング活動等について	116名
6月14日（木）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第3回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 循環器内科部長　櫛田　俊一	77名
7月9日（月）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第4回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 10階西病棟副師長　大島　誠	77名
8月15日（水）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会（＊1日2回開催）	第5・6回チームSTEPPS研修会（＊1日2回開催） 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 医療安全管理推進室副室長　小池　大助	合計110名
9月12日（水）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第7回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 循環器内科部長　櫛田　俊一	70名
9月28日（金）	セーフティマネージャー SMワーキングメンバー、他	平成30年度　第2回セーフティマネージャー全体会議	1．医療安全管理推進室からの報告 2．セーフティマネージャーワーキング活動報告（2018中間報告）	134名
10月18日（木）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会（＊1日2回開催）	第8・9回チームSTEPPS研修会（＊1日2回開催） 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 10階西病棟副師長　大島　誠	合計110名
11月12日（月）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第10回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 医療安全管理推進室副室長　小池　大助	74名
11月21日（水）	薬剤師、看護師、診療技術局職員、他	平成30年度　医薬品／医療機器安全管理研修会	Ⅰ.「医療安全に必要な電気の基礎について」日本光電（株） Ⅱ.「当院におけるハイアラート薬管理について」薬剤局　渡辺晴美	214名
12月7日（金）	全職員	第19回リスクマネージメント大会	1．「医療安全活動 優秀表彰」 2．「チームSTEPPSのスキルを活用してみよう」（発表BeeActメンバー）、他	177名
12月12日（水）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第11回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 循環器内科部長　櫛田　俊一	76名
1月21日（月）	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第12回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 10階西病棟副師長　大島　誠	75名

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
1月29日(火)	全職員 近隣施設医療従事者	平成30年度　リスクマネジメント講演会	「抑制しない看護とは ～高度急性期医療の場での抑制しない看護へのチャレンジ～」 講師：金沢大学附属病院 前 副病院長／看護部長 小藤　幹恵 氏	233名(院内) 44名(院外) (合計277名)
2月22日(金)	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第13回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 循環器内科部長　櫛田　俊一	71名
3月8日(金)	セーフティマネージャー SMワーキングメンバー、他	平成30年度　第3回セーフティマネージャー全体会議	1．医療安全管理推進室からの報告 2．セーフティマネージャーワーキング活動報告（2018最終報告）	192名
3月14日(木)	医師、看護師、他	チームSTEPPS研修会	第14回チームSTEPPS研修会 講師：チームSTEPPS推進プロジェクトチーム 循環器内科部長　櫛田　俊一	76名
＜主催；診療局＞				
4月2日(月)	新研修医	新研修医オリエンテーション	「医療安全について」 講師：医療安全管理推進室副室長　小池　大助	33名
4月4日(水)	新研修医	「Safe Masterインシデント管理システム操作説明」	「Safe Masterインシデント管理システム操作説明」、他 講師：医療安全管理推進室・白土／梅原、放射線科・板橋	33名
7月14日(土)	初期臨床研修医	中心静脈穿刺技術研修	シミュレーターを用いた中心静脈穿刺技術研修 指導者：外科医師・循環器内科医師、他	14名
＜主催；看護局＞				
4月11日(水) 12日(木)	新人看護師	新人看護師安全研修会	「安全管理　基礎講習」 講師：医療安全管理推進室　医療安全管理者 白土てる子、他	合計83名 (2日間)
4月16日(月) 17日(火)	新人看護師	新人看護師安全研修会	「輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理」 講師：テルモ株式会社／看護局リスク委員会	合計77名 (2日間)
9月20日(木)	看護補助員	看護補助員マイスター研修	「安全な移乗」 主催：看護局リスク委員会 講師：リハビリテーション科　理学療法士　平野いづみ、 作業療法士　伊藤　巧	30名
10月4日(木) 5日(金)	新人看護師、他	看護局医療安全研修会 ＊2日間に分かれて研修	「多重課題・時間切迫シミュレーション」 リスク委員会・教育委員会共催	合計80名 (2日間)
11月26日(月) 30日(金)	新人看護師	倫理・安全確保の技術研修 ＊2日間に分けて開催	「身体拘束患者の看護」	合計81名 (2日間)
1月17日(木)	看護補助員	看護補助員マイスター研修	「危険予知トレーニング」 主催：看護局リスク委員会	29名
＜主催；薬剤局＞				
6月 6日(水) 13日(水)	薬剤師	薬剤局安全研修会	「薬剤局輸液勉強会」 講師：株式会社　大塚製薬　岩崎　龍之介 氏	合計45名 (2日間)
6月21日(木)	薬剤師	薬剤局安全研修会	「薬剤師のための接遇研修会」 講師：DSファーマプロ、大日本住友製薬（株）担当者	7名(院内) 33名(院外) (合計40名)
＜主催；診療技術局＞				
8月7日(水)	診療技術局スタッフ	診療技術局安全研修会	第1部　災害時における診療技術局の対応 臨床工学室　佐藤　和樹 第2部　DMATについて　放射線科　小澤　友昭	46名
8月29日(水)	診療技術局スタッフ	診療技術局安全研修会	「移動に関する研修会」 リハビリテーション科　作業療法士　林	14名

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
＜主催；事務局＞				
11月21日(水)	事務職員	事務部安全研修会	「手話研修会」 講師：歯口科歯科技工士（千葉県登録手話通訳者）外口　晴久	17名
12月11日(火) 12日(水) 13日(木)	事務職員	事務局医療安全研修会	「クレーム対応研修」 講師：広報患者相談課　岩井　幸子、大橋　政斗、 安藤　洋和	合計79名 (3日間)

[院　外]

開催日	対象者	研修名	研修内容	参加者数
5月19日(土)	希望者	2018年度　第１回患者安全推進地域フォーラムin北里	「医療安全に役立つチームのあり方」、他 講師：亀田総合病院　産婦人科部長　鈴木　真 先生、他 主催：公益財団法人日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会	4名
6月23日(土) 24日(日)	各安全部会 希望者	平成30年度　医療安全管理者養成研修会	1.「ヒューマンエラーと医療安全」 2.「苦情・クレーム対応　ロールプレイ」、他 主催：公益社団法人　千葉県国民健康保険直営診療施設協会	11名
7月20日(金)	医療従事者 (多職種)	千葉県看護協会　利根地区部会研修会 (医療安全担当者地区交流会)	「医療安全の推進におけるチームステップスを実践していこう」 講師：亀田総合病院　産婦人科部長　鈴木　真 先生	40名(院内) 51名(院外) (合計91名)
9月1日(土) ～2日(日)	医師、看護師	第５回チーム医療研修会	「チームＳＴＥＰＰＳとレジリエンスの融合」、他 主催：(公財）日本医療機能評価機構　教育研修事業部 認定病院患者安全推進課	4名
10月11日(木)	薬剤師	千葉県病院薬剤師会東部支部・旭匝瑳薬剤師会合同研修会	「調剤過誤対策　～ヒューマンエラーの視点から～」 講師：DSファーマプロモ株式会社　中川　真一郎 氏	10名
11月11日(日)	医療安全管理者、他看護師	千葉県看護協会 第14回　医療安全大会	「地域連携で支える医療安全」病院間連携 「何故、医療安全の推進に地域連携が必要か ～医療安全対策地域連携加算の趣旨と医療安全対策の動向～」、他 講師：上尾中央総合病院　特任副院長　長谷川　剛 先生、他	1名
11月24日(土) ～25日(日)	SMワーキングメンバー、他	第13回　医療の質・安全学会	「クリニカル・ガバナンスの確立を目指して ～質・安全学を基軸とする医療への移行～」 学会長：名古屋大学大学院医学系研究科　長尾　能雅 先生	6名
11月27日(火)	医療安全管理者	2018年度第２回施設・環境・設備安全セミナー	「経験から学ぶ環境改善のヒント」 主催：(公財）日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会　施設・環境・設備安全部会	1名
2月2日(土)	医療安全管理者、看護師	千葉県看護協会 第14回医療安全担当者中央交流会	1.「医療安全対策地域連携加算に期待すること」 講師；関東信越厚生局　四言　一二三 氏 2.「利根･山武地区連携医療安全担当者連絡会議について」 講師；旭中央病院　医療安全管理者　白土　てる子	2名
3月9日(土)	医療安全管理者	患者安全推進全体フォーラム	「減災ー患者とスタッフの安全を守る」、他 講師；東京都立広尾病院　減災対策支援室　副室長 医師・博士（工学）中島　康 氏、他 主催：(公財）日本医療機能評価機構 認定病院患者安全推進協議会	1名

TQMセンター

●TQMセンター（2018年度）

2018度の方針・概要

TQMセンター運営の基本理念は2010年開設以来一貫して「医療の質を高める組織作り」と「内部コミュニケーションの充実」である。これに基づき、(1)医療の質指標(quality indicator, QI）の分析、(2）QC活動、(3）院内横断活動部門の支援、(4）病院評価への参画の４つを活動の柱としている。

2018年度は、４項目について以下の点を目標・方針とした。

⑴QI分析；今年度からQI推進会議を年４回開催し、QIの周知、PDCAサイクルを回転させる

⑵QC活動；活動者へQCマニュアルの配布、各ステップのミニレクチャー

⑶横断活動支援；チーム医療充実に向けた取り組み・活動支援、豆知識講座の拡充

⑷病院評価；患者満足度調査と外来待ち時間調査の実施、分析、改善状況と効果の確認

2018年度の活動

⑴ QI分析（図1-1 ～ 1-4;QIレポート2018年度から抜粋）

他施設との比較

ａ．日本病院会QIプロジェクト

ｂ．京都大学QIP

ｃ．がん登録QI研究

ｄ．全国自治体病院協議会　医療の質の評価・公表等推進事業

⑵ QC活動

2010年度に開始したQC活動は、2018年度は13サークルの参加があった(表１)。５月のキックオフミーティングから１月の発表会まで、アドバイザー協力の元にサークル活動を継続した。2019年１月23日（木）に発表会を開催、191名が参加、院外からの参加もあった（図２)。口演発表８サークル、紙面発表５サークルが報告を行った（表２)。最優秀賞「待つのならなくして見せようフソクヤク」(薬剤局・内科外来合同)、優秀賞「皮下注抜いたらあかんわ」(1-7病棟）が受賞した。

⑶ 横断活動支援

Ａ．2011年度から継続している院内横断活動の紹介として、(感染対策委員会、褥瘡対策委員会、NST委員会、クリニカルパス委員会、緩和ケアチーム、呼吸サポートチーム、フットケアチーム、家族支援チーム、薬剤局、リハビリテーション科、糖尿病グループ、病院まつり実行委員会) 12グループの活動を横断活動ジャーナルにて６回発行した。

Ｂ．2015年２月から、患者さんの健康維持・病気の予防と対応に関する知識の普及、院内滞在時間の有効活用を目的として豆知識講座を開催している。2018年度は講座実施回数70回、総受講者数5,120名であった。

⑷ 病院評価

Ａ．患者満足度調査

2015年度から実施している患者満足度調査（外来（表３）・入院（表４））を6月に実施した。外来ではこれまでどおり駐車場、待ち時間についての満足度が低かった。病院全体の評価については、前年よりも向上していた。入院でも病院全体の評価は、外来同様向上していた。

Ｂ．待ち時間調査（表５）では、予約外診察待ち時間平均60分、予約診察待ち時間平均40分で、2017年度と同様に推移している。

・結果を各部署にフィードバックし、課題となった項目の対策・実施計画を検討していただき、結果をあわせて掲載した患者満足度調査冊子を発行した。

図1-1　退院後６週間以内の救急医療入院率

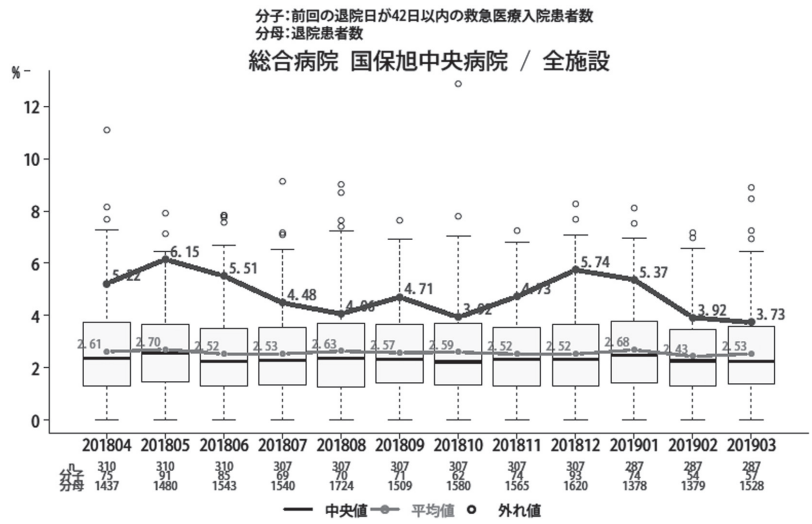


図1-2　入院患者の転倒・転落発生率

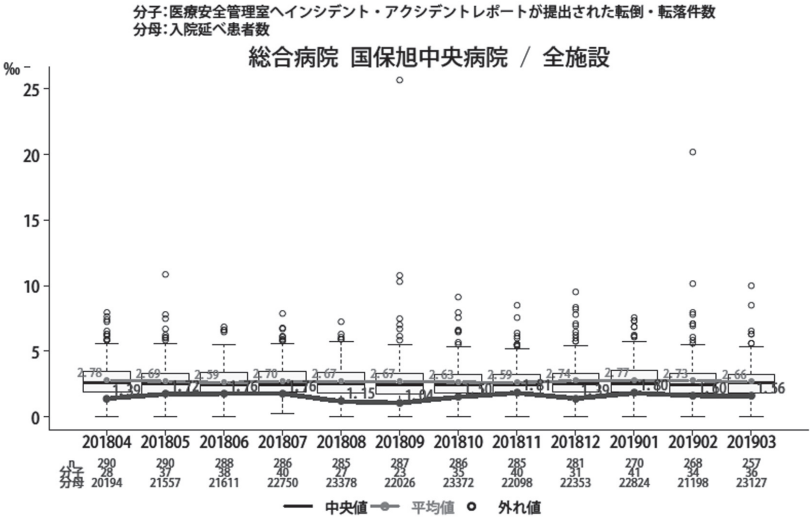


図1-3　救急車・ホットラインの応需率

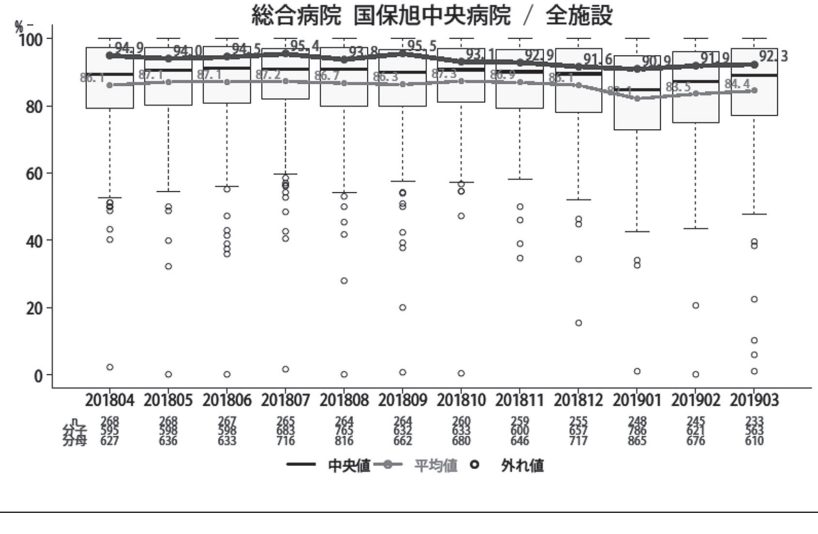


図1-4　糖尿病患者の血糖コントロール

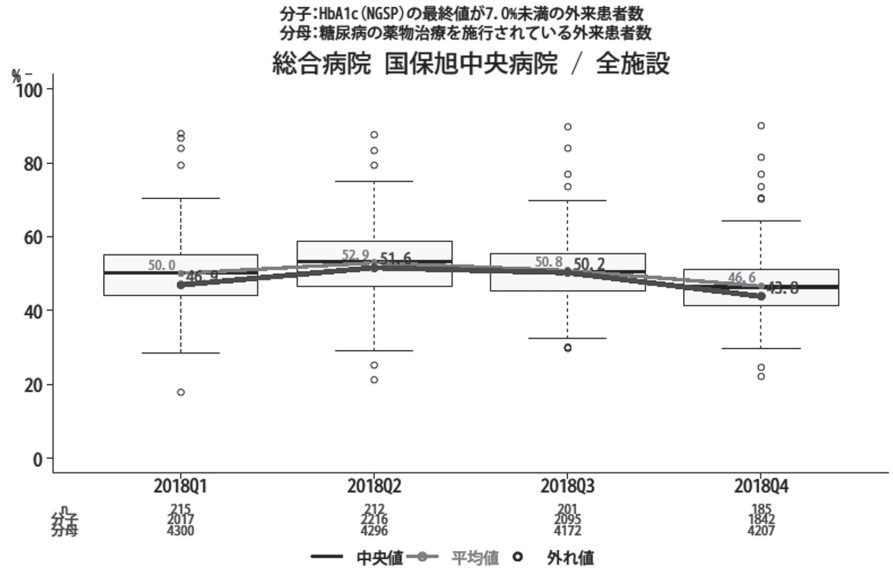


図2　QC活動　9年間の
活動サークル数と発表会参加人数の変化

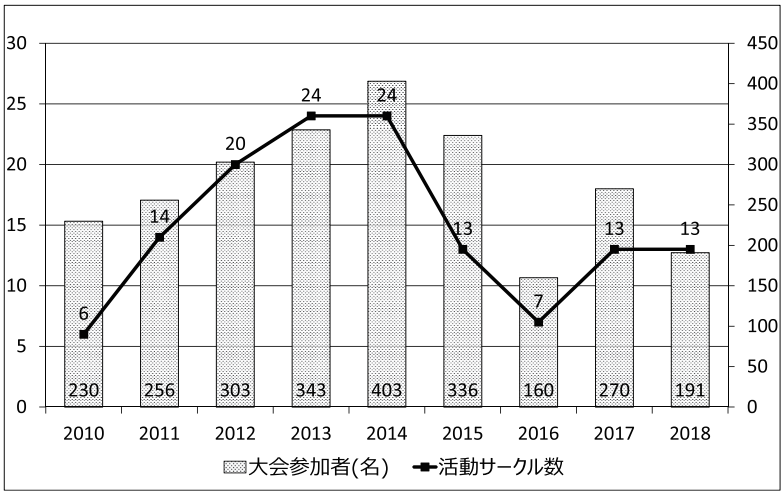


表1. 2018年度QC活動参加サークル一覧

No.	参加部署	サークル名	テーマ
1	薬剤局・内科外来合同	待つのなら　なくしてみせよう　フソクヤク	院内処方における不足薬の削減
2	11西病棟・歯口科 栄養科合同	生もの　いつになったら食べていいの？	造血器腫瘍に対して化学療法を受けた患者さんにおける食事指導の見直し
3	看護局合同	いきものがたり	私たち、きらきらして看護しています
4	7西病棟	ハートの救世主	心電図モニターのテクニカルアラームを減らす ～患者の命を守るため～
5	リハビリテーション科 7東病棟合同	7東転倒減らし隊	7東病棟における転倒件数の低減
6	シルバーケアセンター	長寿（く）フレッシュ	通所リハビリにおける自主トレーニングを自発的に取り組む利用者を増やそう
7	1-7病棟	皮下注抜いたら　あかんわ	せん妄患者の持続皮下注自己抜去の減少
8	リハビリテーション科 8西・栄養科合同	君の摂取量は。 ～全全全量～	8階西病棟における低栄養患者のエネルギー摂取量を増加させる
9	救命救急センター病棟	SGL～災害だよ！全員集合！～	災害時の連絡方法の改善
10	9西病棟・中央滅菌室	迷ヨーを探せ !～さがし物は何ですか～	9西病棟における滅菌器械の定数管理を維持する
11	救命救急センター病棟 精神科・透析合同	ユウジとヘイジ それが大事～災害支援ナースからの贈り物～	災害支援看護師における、活動を還元出来ていない状況を改善する
12	10西病棟	朝までぐっすりおやすみマントマン	朝のシーツ交換件数を減らす
13	リハビリテーション科 スキンケア相談室合同	ひふみん	リハビリ場面におけるスキントラブルの低減

表2. 2018年度QC活動発表大会　表彰サークル

授賞	
最優秀賞 （参加部署） テーマ	待つのなら　なくしてみせよう　フソクヤク 薬剤局・内科外来合同 院内処方における不足薬の削減
優秀賞 （参加部署） テーマ	皮下注抜いたら　あかんわ 1-7病棟 せん妄患者の持続皮下注自己抜去の減少
オーディエンス賞 （参加部署） テーマ	7東転倒減らし隊 リハビリテーション科・7東病棟合同 7東病棟における転倒件数の低減

表3 2018年6月実施 外来患者満足度調査点数グラフ 全外来

◆医師の診察について◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 医師の診察時間	今年度	1,968	5.62	0.45	5.75(5.38)
	昨年度	1,725	5.18		
2 悩みや病状、検査結果、治療内容などについての説明	今年度	1,943	5.87	0.30	
	昨年度	1,626	5.57		
◆職員の言葉づかい、態度、身だしなみについて◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0		
1 医師	今年度	2,008	7.16	0.34	6.34(6.09)
	昨年度	1,757	6.82		
2 看護職員	今年度	1,979	7.44	1.36	
	昨年度	1,713	6.08		
3 インフォメーション、総合受付、会計職員	今年度	1,966	6.88	new	
4 外来事務職員	今年度	1,900	6.70	0.08	
	昨年度	1,592	6.62		
5 薬局職員	今年度	1,733	6.50	0.66	
	昨年度	1,255	5.84		
6 検査室（採血・心電図・超音波・内視鏡など）職員	今年度	1,860	6.80	0.33	
	昨年度	1,441	6.46		
7 放射線（レントゲン・CT・MRI・PETなど）職員	今年度	1,777	6.74	0.48	
	昨年度	1,320	6.26		
8 リハビリテーション（理学・作業療法など）職員	今年度	1,531	6.45	0.64	
	昨年度	1,002	5.80		
9 売店職員	今年度	1,763	4.63	new	
10 警備員	今年度	1,785	5.28	new	
11 電話交換職員（病院への電話に最初に対応する）の応対	今年度	1,702	5.60	0.25	
	昨年度	1,282	5.35		
12 受付、待合、検査室などで声を掛けやすい	今年度	1,896	5.91	0.32	
	昨年度	1,525	5.59		
◆待ち時間について◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0		
1 受付から診察まで	今年度	1,960	-1.80	-3.36	0.6(3.33)
	昨年度	1,757	1.56		
2 診察終了から会計まで	今年度	1,928	0.61	-2.75	
	昨年度	1,723	3.36		
3 お薬を受け取るまで	今年度	1,714	-0.74	-3.29	
	昨年度	1,279	2.55		
4 検査室（採血・心電図・超音波・内視鏡など）	今年度	1,793	2.02	-2.45	
	昨年度	1,578	4.47		
5 放射線（レントゲン・CT・MRI・PETなど）	今年度	1,708	2.93	-1.79	
	昨年度	1,410	4.72		
◆駐車場について◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0		
1 1台当たりの駐車スペース	今年度	1,717	1.01	new	1.01
◆施設・設備について◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0		
1 自動受付機の操作方法	今年度	1,749	6.82	new	6.52(6.44)
2 自動精算機の操作方法	今年度	1,738	6.90	new	
3 院内の案内表示	今年度	1,739	5.54	-0.21	
	昨年度	1,821	5.74		
4 院内の清潔さ	今年度	1,763	6.82	-0.32	
	昨年度	1,784	7.13		
◆診察順番の呼び出しについて◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0		
1 呼び出し方法（受付番号+姓）	今年度	1,767	6.49	0.23	6.07(6.01)
	昨年度	1,618	6.25		
2 呼び出し放送の音量	今年度	1,732	5.65	-0.12	
	昨年度	1,595	5.77		
◆相談・支援体制について◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0		
1 相談したい部署の案内表示はわかりやすいですか？	今年度	1,588	4.19	new	4.6
2 相談された部署の対応は役立ちましたか？	今年度	1,514	5.00	new	
◆全体的なことについて◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0		
1 病院の公式ホームページ	今年度	1,464	3.76	-0.18	5.77(6.1)
	昨年度	1,333	3.95		
2 二人主治医制や紹介状の持参の推進	今年度	1,553	3.51	-2.47	
	昨年度	1,481	5.98		
3 今後も当院を利用したい	今年度	1,767	7.85	0.44	
	昨年度	1,579	7.42		
4 当院を家族・知人に紹介したい	今年度	1,704	6.23	0.13	
	昨年度	1,524	6.10		
5 患者さん誤認防止のための本人確認	今年度	1,699	7.05	-0.20	
	昨年度	1,543	7.25		
6 プライバシーへの配慮	今年度	1,674	5.96	new	
7 この病院についての総合的な評価	今年度	1,714	6.05	0.14	
	昨年度	1,541	5.91		

表4-1　2018年6月実施　入院患者満足度調査点数グラフ　全病棟

◆医師の診察について◆

	時期	回答数	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	764	8.35	0.34	7.58(7.49)
	昨年度	787	8.02		
2 入院中の診察、治療方針、経過、検査、手術などの説明	今年度	762	7.84	0.41	
	昨年度	796	7.43		
3 担当医に対する信頼感	今年度	762	7.94	0.09	
	昨年度	788	7.85		
4 悩みや相談に対する適切な応対	今年度	746	7.45	0.12	
	昨年度	776	7.33		
5 医師から看護師・事務職員などへの連絡	今年度	754	7.33	0.16	
	昨年度	793	7.17		
6 プライバシーへの配慮	今年度	751	7.63	-0.12	
	昨年度	786	7.75		
7 退院後の注意事項などに関する説明	今年度	734	7.24	-0.08	
	昨年度	760	7.32		
8 地域の医療機関への紹介に関する説明	今年度	650	6.88	-0.18	
	昨年度	268	7.07		

◆看護職員について◆

	時期	回答数	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	762	8.20	0.32	7.64(7.51)
	昨年度	799	7.88		
2 相談しやすい雰囲気	今年度	757	7.95	0.30	
	昨年度	790	7.65		
3 ナースコールを押されてから訪室までの時間	今年度	733	7.13	0.01	
	昨年度	712	7.12		
4 患者さんが頼んだことに対しての確実な対応	今年度	749	7.73	0.07	
	昨年度	805	7.65		
5 看護職員の説明	今年度	735	7.89	0.22	
	昨年度	796	7.66		
6 看護職員同士の連絡	今年度	740	6.83	-0.14	
	昨年度	761	6.97		
7 プライバシーへの配慮	今年度	736	7.62	-0.06	
	昨年度	780	7.68		
8 退院後の注意事項などに関する説明	今年度	725	7.48	0.11	
	昨年度	772	7.37		
9 看護に対しての全体的な満足度	今年度	744	7.91	0.30	
	昨年度	785	7.62		

◆その他職員について◆

1【放射線職員（レントゲン・CT・MRI・アイソトープ・PETなど）】	時期	回答数	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	530	7.55	0.23	7.42(7.34)
	昨年度	494	7.32		
b 対応や説明	今年度	527	7.25	0.05	
	昨年度	492	7.20		
c プライバシーへの配慮	今年度	510	7.45	-0.05	
	昨年度	483	7.51		

2【検査室職員（心電図・超音波・内視鏡検査など）】	時期	回答数	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	462	7.77	0.20	7.65(7.56)
	昨年度	566	7.57		
b 対応や説明	今年度	454	7.55	0.12	
	昨年度	563	7.42		
c プライバシーへの配慮	今年度	439	7.63	-0.07	
	昨年度	554	7.69		

表4-2 2018年6月実施 入院患者満足度調査点数グラフ 全病棟

3【リハビリテーション職員（理学・作業療法など）】	時期	回答数	−5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	224		8.27			0.44	7.71(7.33)
	昨年度	173		7.83				
b 対応や説明	今年度	218		8.16			0.58	
	昨年度	171		7.58				
c プライバシーへの配慮	今年度	216		7.93			0.26	
	昨年度	170		7.68				
d リハビリの量(回数・時間など)	今年度	218		6.95			0.16	
	昨年度	162		6.79				
e リハビリの質(内容)	今年度	213		7.23			0.44	
	昨年度	162		6.79				

4【医療連携福祉相談室職員】	時期	回答数	−5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	116		7.86			-0.30	7.82(7.94)
	昨年度	100		8.16				
b 対応や説明	今年度	115		7.80			0.09	
	昨年度	98		7.71				
c プライバシーへの配慮	今年度	113		7.81			new	

5【栄養士】	時期	回答数	−5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	129		8.06			-0.02	8.01(7.99)
	昨年度	101		8.08				
b 対応や説明	今年度	127		8.01			0.12	
	昨年度	98		7.89				
c プライバシーへの配慮	今年度	124		7.97			new	

6【薬剤師】	時期	回答数	−5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	357		8.09			-0.11	8.04(8.15)
	昨年度	345		8.20				
b 対応や説明	今年度	352		8.00			-0.10	
	昨年度	326		8.10				
c プライバシーへの配慮	今年度	341		8.03			new	

7【電話交換職員（病院への電話に最初に対応する）】	時期	回答数	−5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、応対	今年度	233		7.02			0.53	7.27(6.49)
	昨年度	188		6.49				
bプライバシーへの配慮	今年度	216		7.51			new	

8【病棟清掃担当者】	時期	回答数	−5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	598		7.86			0.49	7.78(7.37)
	昨年度	537		7.37				
bプライバシーへの配慮	今年度	569		7.70			new	

9【シーツ交換担当者】	時期	回答数	−5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	513		7.74			0.02	7.73(7.72)
	昨年度	522		7.72				
bプライバシーへの配慮	今年度	492		7.71			new	

◆病院食について◆	時期	回答数	−5.0	0	5.0	10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 提供時間	今年度	671		6.48			new	5.73
2 温度	今年度	670		6.31			new	
3 食事内容	今年度	671		4.39			new	
病院食に満足したか(昨年度の質問内容)	昨年度	689		4.36				

表4-3 2018年6月実施 入院患者満足度調査点数グラフ 全病棟

◆施設設備について◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 院内の案内表示	今年度	610	6.52	0.78	5.47(5.09)
	昨年度	688	5.74		
2 院内の飲食スペース・施設					
a 本館1階売店	今年度	585	6.16	0.84	
	昨年度	625	5.32		
b 本館12階売店	今年度	524	5.77	0.52	
	昨年度	533	5.25		
c 本館1階コーヒーショップ	今年度	521	6.50	new	
d 展望ラウンジ	今年度	516	6.71	0.33	
	昨年度	503	6.38		
3 院内放送の音量	今年度	603	5.96	0.04	
	昨年度	675	5.92		
4 病棟、病室の静けさ	今年度	665	5.87	0.19	
	昨年度	729	5.69		
5 病棟、病室のにおい	今年度	671	6.52	0.09	
	昨年度	734	6.44		
6 病棟、病室の温度設定	今年度	672	6.01	0.41	
	昨年度	734	5.61		
7 病棟、病室の清潔さ	今年度	673	7.49	0.11	
	昨年度	541	7.38		
8 トイレ、洗面所、入浴シャワー室の清潔さ	今年度	673	7.57	0.21	
	昨年度	717	7.36		

◆相談・支援体制について◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 相談したい部署の案内表示はわかりやすいか	今年度	364	5.90	new	6.36
2 相談された部署の対応は役立ったか	今年度	330	6.82	new	

◆入退院手続きについて◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 [入院のご案内]冊子は役立ったか	今年度	676	6.99	-0.17	7.65(7.67)
	昨年度	662	7.15		
2【入退院センター職員】	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0		
a 言葉づかい、態度、身だしなみ	今年度	540	8.10	-0.05	
	昨年度	489	8.15		
b 対応や説明	今年度	534	8.03	-0.02	
	昨年度	491	8.05		
cプライバシーへの配慮	今年度	522	7.93	new	
3 病棟での入院手続きの説明	今年度	653	7.49	0.00	
	昨年度	610	7.49		
4 病棟での退院手続きの説明	今年度	636	7.36	-0.15	
	昨年度	593	7.51		

◆周術期センターについて◆ 対象：6西病棟、9東病棟、9西病棟	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 職員の説明はわかりやすかったか	今年度	83	8.38	new	8.39
2 看護師と面接したことで、安心して手術をうけることができたか	今年度	82	8.40	new	

◆全体的なことについて◆	時期	回答数	−5.0 0 5.0 10.0	前年度差	カテゴリー平均（昨年度）
1 入院中に必要な情報が、充分入手できた	今年度	610	6.53	0.42	7.66(7.7)
	昨年度	729	6.11		
2 安心して入院生活が送れた	今年度	643	7.66	0.18	
	昨年度	749	7.48		
3 今後も当院を利用したい	今年度	643	8.10	-0.62	
	昨年度	747	8.72		
4 当院を家族・知人に紹介したい	今年度	625	7.40	-0.38	
	昨年度	745	7.78		
5 患者さん誤認防止のための本人確認	今年度	617	8.46	-0.20	
	昨年度	744	8.66		
6 この病院についての総合的な評価	今年度	633	7.80	0.33	
	昨年度	749	7.47		

表5　2018年6月　患者待ち時間調査　実績

調査実施期間　　；2018年6月　外来診療日(21日間)
調査対象延べ患者数　　；43,909名
測定内容　　；以下の7箇所の調査時間に該当した患者人数と、全時間帯・全診療科の待ち時間を測定した。
　　；○測定開始　●測定終了

	測定箇所　＼　指標No.	1	2	3	4	5	6-1	6-2
総合受付	受付機 受付時刻							
各科外来	外来到着確認機　受付時刻	○	○				○	○
	診察予約時刻	↓	○　↓				↓	↓
	診察開始時刻	●	●　●				↓	↓
	診察終了時刻			○		○	↓	↓
	会計可能時刻			●	○	↓	↓	↓
集中会計	会計終了時刻				●	↓	●	↓
薬窓口	薬引換時刻					●		●

	1.予約外患者 外来到着時刻から診察開始		2.予約患者 予約時刻から診察開始		3.診察終了から会計可能		4.会計可能から会計終了		5.診察終了から薬引換（院内処方患者）		院内滞在時間 6-1.外来到着から会計終了		院内滞在時間 6-2.外来到着から薬引換（院内処方患者）	
	対象数	平均(分)	対象数	平均(分)	対象数	平均(分)	対象数	平均(分)	対象数	平均(分)	対象数	平均(分)	対象数	平均(分)
総計	**10,274**	**65.5**	**24,190**	**40.1**	**32,196**	**21.8**	**35,384**	**3.5**	**1,413**	**35.9**	**38,606**	**109.5**	**1,529**	**122.2**
内科	2,277	90.7	11,489	47.7	12,944	19.7	13,413	5.1	672	38.6	13,937	130.5	724	140.0
小児科	519	78.5	760	40.5	1,026	15.6	1,607	2.0	71	33.0	1,924	96.8	92	84.0
外科	280	74.6	1,458	41.6	1,696	29.2	1,914	4.2	85	32.2	1,892	115.6	87	116.5
乳腺センター	164	52.9	256	30.8	306	17.5	307	2.0	19	34.4	507	93.0	19	117.6
整形外科	618	86.0	1,142	33.2	1,700	30.1	1,723	2.3	28	37.8	1,988	114.4	30	124.7
脳外科	634	48.3	189	31.6	787	26.6	793	2.6	21	53.0	836	98.3	21	131.9
泌尿器科	378	55.9	1,287	43.3	1,478	32.7	1,576	2.1	211	26.2	1,997	117.0	226	123.3
眼科	163	53.5	1,411	56.0	1,922	21.8	2,198	2.7	24	44.4	2,069	140.4	26	147.2
皮膚科	1,799	42.9	208	19.3	1,668	25.3	1,682	2.3	52	32.8	1,969	85.9	52	73.2
耳鼻科	701	47.7	854	25.4	1,478	21.6	1,501	3.8	21	31.9	1,566	86.0	18	86.9
歯口科	255	46.8	1,388	17.3	1,472	10.8	1,826	1.6	46	26.7	2,244	69.9	54	86.4
産科	111	42.8	621	28.5	714	26.4	724	2.0	2	43.5	804	79.3	2	98.0
婦人科※1	2,187	65.9	-	-	1,843	19.3	1,864	2.1	2	37.5	2,197	95.7	2	90.5
神経科	51	53.7	2,032	24.0	2,051	25.2	2,224	1.9	143	42.2	2,425	74.9	158	97.3
麻酔科	2	88.5	191	21.1	138	24.5	326	4.4	7	25.4	329	133.1	8	69.8
心臓外科	1	24.0	195	44.8	190	9.1	229	4.4	2	40.0	227	115.1	2	86.5
形成外科	134	60.0	695	22.2	783	15.9	862	3.0	7	30.6	860	79.4	8	78.6
リハビリ※2	-	-	-	-	-	-	615	2.0	0	-	835	81.3	0	-

※1.婦人科は、時間予約を取っていないので(日付予約)、指標2は算定する事が出来ない。
※2.リハビリ科は、紙カルテで診察後、電カルへ事後入力の為、指標1,2,3を算定する事が出来ない。
※3.指標2に於いて、予約時刻に遅れて到着した場合は外来到着時刻から診察開始までの時間となる。
※4.各測定箇所で最短時間と最長時間の科を次の色で示す。　最長科　最短科

地域医療支援センター

●地域医療支援センター（2018年度）

千葉県策定の「香取海匝保健医療圏地域医療再生計画」に基づき、医療提供体制の強化や地域医療の質の向上などを図るため、2012年３月に地域医療支援センターを開設しています。

地域医療支援ユニットの一つであるスキルセンターでは、トレーニング室や模擬病室等の施設、および医療用シミュレータや検査・診断用機器等を活用した医療従事者の教育訓練支援や、中高生の職業体験支援などを行っています。

また、今一つの支援ユニットである臨床研究支援センターでは、倫理審査委員会事務局支援、院内コーディネーター（CRC）やデータマネージャー（DM）による臨床研究支援､並びに治験施設支援機関（SMO）による治験業務支援を行っています。

〔トピックス〕

＜スキルセンター＞

・スキルセンターを利用して、看護局は看護学生対象の「病院見学･インターンシップ」を、医療情報室は中途採用職員対象の「電子カルテ操作講習」を開始する。
・内視鏡手術シミュレータなどを利用した個人トレーニング件数は、昨年度と比較して３倍になる。
・手技訓練用シミュレータの体験などができる高校生対象の「医師への夢応援セミナー ･ASAHI」が台風接近のおそれがあるため中止となる。

＜臨床研究支援センター＞

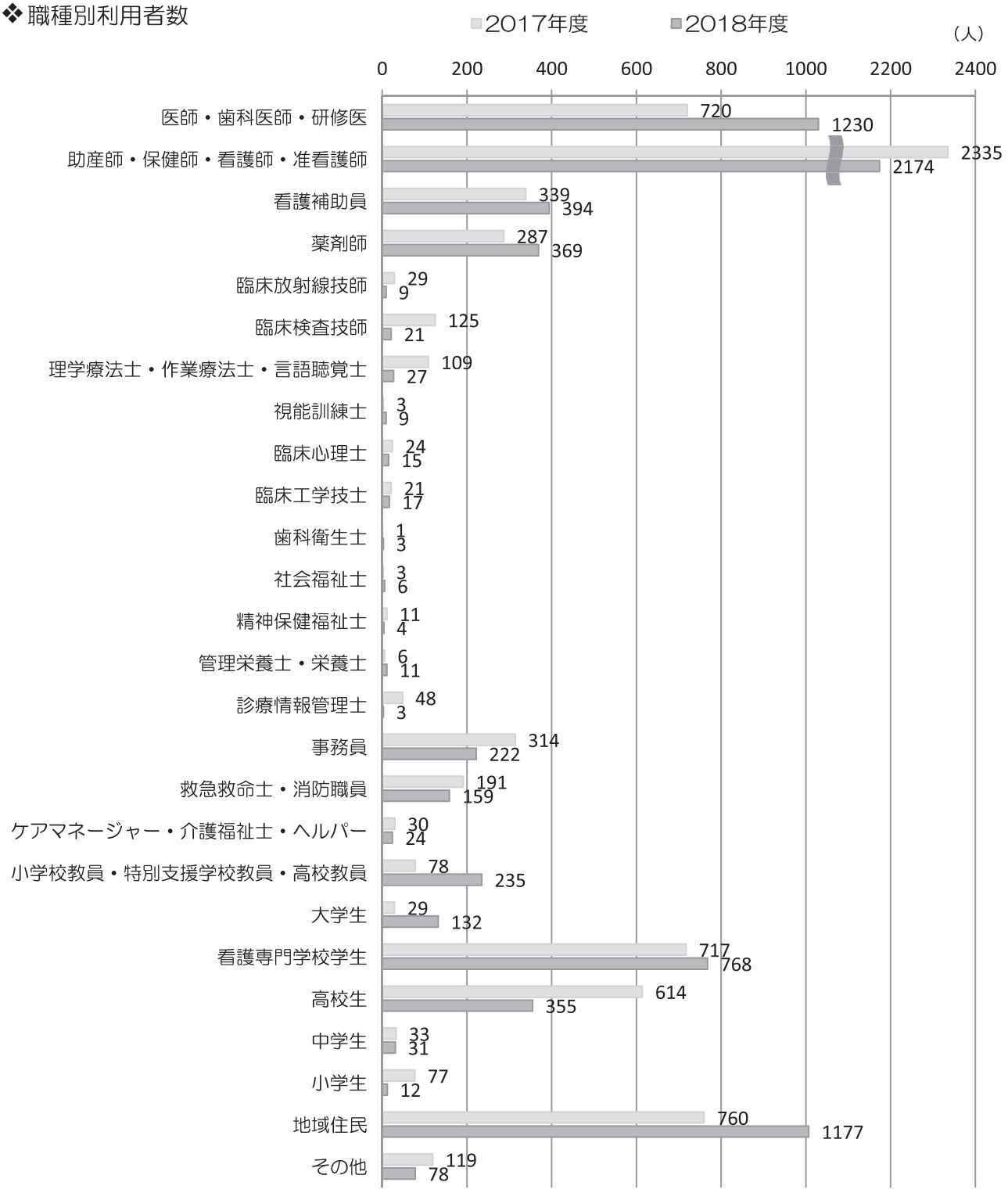
臨床研究法の施行（2018年４月１日付）に伴い、臨床研究の実施手続きが大きく変わりました。

・法の要求事項に対応した院内規程書・手順書を新たに制定するとともに、専用書式類の運用を開始。
・院内COI管理規程を改訂（COI管理基準の充実化）。
・法の適用を受ける院内既存研究（計19研究が該当）について、特定臨床研究への移行手続きを実施。

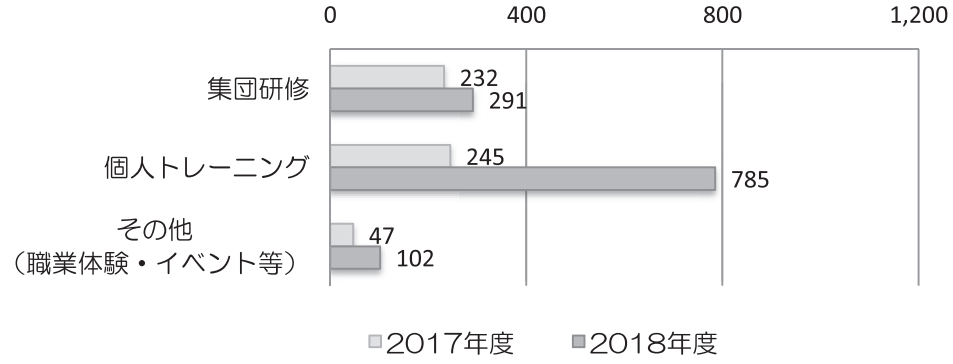
＜スキルセンター　施設およびシミュレータ機器等の利用状況（2018年度）＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
利用件数	120	99	83	94	105	109	91	119	90	81	80	107	1,178
利用者数 （講師・指導者を除く）	874	559	821	399	393	1,659	537	843	570	250	288	292	7,485
利用日数	29	31	30	31	31	30	29	30	30	29	28	31	359
利用者のうち 院外からの利用者数	11	104	313	161	169	1,277	129	106	129	53	75	79	2,606
利用件数のうちセンター外への機器等持出利用件数	2	4	6	7	2	10	2	3	4	3	3	0	46

❖職種別利用者数


2017年度
2018年度
（人）
0
200
400
600
800
1000
2200
2400
医師・歯科医師・研修医 720 1230
助産師・保健師・看護師・准看護師 2335 2174
看護補助員 339 394
薬剤師 287 369
臨床放射線技師 29 9
臨床検査技師 125 21
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 109 27
視能訓練士 3 9
臨床心理士 24 15
臨床工学技士 21 17
歯科衛生士 1 3
社会福祉士 3 6
精神保健福祉士 11 4
管理栄養士・栄養士 6 11
診療情報管理士 48 3
事務員 314 222
救急救命士・消防職員 191 159
ケアマネージャー・介護福祉士・ヘルパー 30 24
小学校教員・特別支援学校教員・高校教員 78 235
大学生 29 132
看護専門学校学生 717 768
高校生 614 355
中学生 33 31
小学生 77 12
地域住民 760 1177
その他 119 78

❖ 目的別利用件数

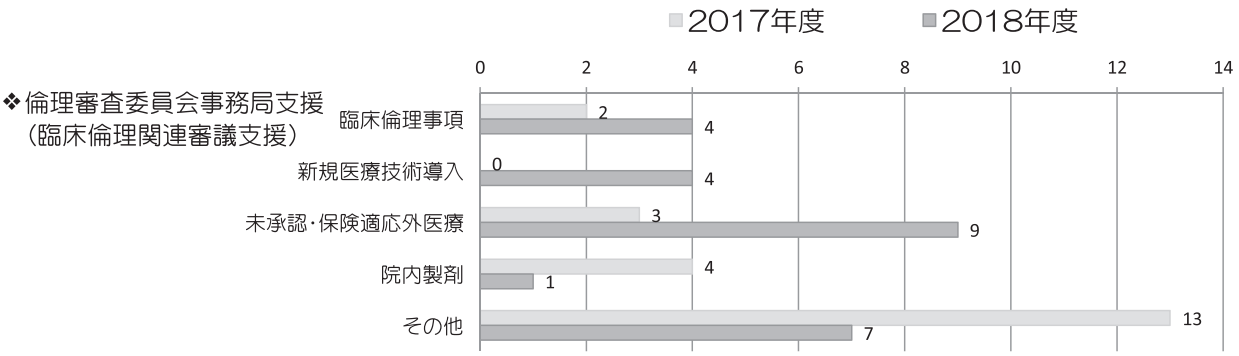


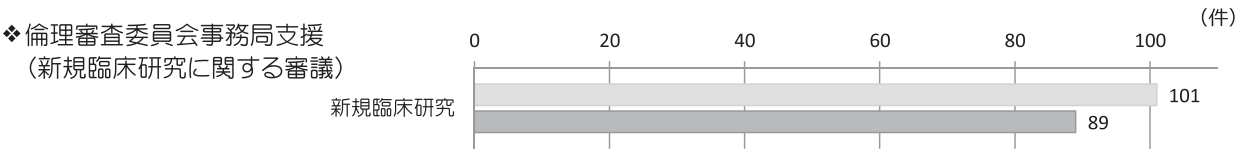
❖ 職種別利用内容

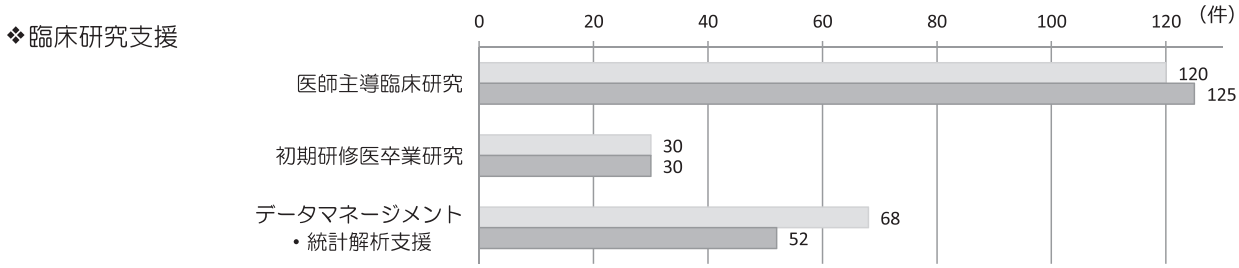
職　種	主な利用内容（教育、訓練、職業体験、イベントなど）
医　師 歯科医師 研修医	内視鏡手術，気道管理，気管切開，動脈注射，腰椎穿刺，中心静脈穿刺，移乗･嚥下，血管吻合，感染対策技術，縫合･結紮，小児手背静脈注射，血管内治療，一次救命処置，二次救命処置，外科医師ﾊﾝｽﾞｵﾝ，超音波検査，分娩介助，腰椎穿刺，甲状腺癌講習，救急蘇生法，多数傷病者への医療対応標準化ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ，小児二次救命処置
助産師 保健師 看護師 准看護師	感染管理，安全管理，自動車安全運転講習，輸液ﾎﾟﾝﾌﾟ･ｼﾘﾝｼﾞﾎﾟﾝﾌﾟの準備と管理，二次救命処置，点滴静脈内注射，ｲﾝｽﾘﾝ治療を正しく行うための基礎知識と技術，酸素吸入･吸引，呼吸のﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ，導尿･尿道留置ｶﾃｰﾃﾙ，手洗いﾃｽﾄ･ﾏｽｸﾌｨｯﾄﾃｽﾄ，DESIN-R評価とﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ材，一次救命処置，気管挿管の物品理解と介助，院内褥瘡対策の現状，診療計画書と予防対策，患者誤認防止のためのｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ，急変対応，電子ｶﾙﾃ操作講習，抑制勉強会，多重課題ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ，嘔吐処理ｾｯﾄの正しい使い方と感染防止，外傷初期看護ｾﾐﾅｰ，廃用症候群予防･安全な離床の介助，体位ﾄﾞﾚﾅｰｼﾞ･呼吸理学療法の介助，ｽｷﾝｹｱﾌｫｰﾗﾑ，看護倫理研修，身体拘束患者の看護，死後のｹｱ，ｸﾚｰﾑ対応，糖尿病のﾌｯﾄｹｱ，小児二次救命処置
看護補助員	一次救命処置，看護補助員の業務･役割，感染防止対策の重要性，正しいﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞとﾏｯﾄﾚｽ選択，患者の安全な移乗介助，環境整備，清潔のお世話，嘔吐処理，排泄のお世話，誤嚥を防ぐ食事介助技術，食事のお世話，洗面のお世話，ｸﾚｰﾑ対応，ｵﾑﾂ交換とｽｷﾝｹｱ，危険予知ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ，電子ｶﾙﾃ操作講習，業務上の倫理
薬剤師	一次救命処置，薬学実務実習における新評価方式，薬剤師のための接遇，ﾌｫｰﾐｭﾗﾘｰ作成のための新薬評価，大腸癌化学療法の副作用管理と薬剤師の介入，調剤過誤対策，感染症とＴＤＭ，関節ﾘｳﾏﾁの薬物療法，高齢者糖尿病の血糖管理とﾎﾟﾘﾌｧｰﾏｼｰ
理学療法士・作業療法士 言語聴覚士	構音訓練勉強会，一次救命処置
事務員	一次救命処置，電子ｶﾙﾃ操作講習，手話講習会，ｸﾚｰﾑ対応
救命救急士・消防職員	外傷病院前救護ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ，救急隊員のための病院前分娩介助教育ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ，多数傷病者への医療対応標準化ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ，一次救命処置
介護福祉士・ヘルパー	喀痰吸引等ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修，喀痰吸引等基本研修
小学校･特別支援学校教員	構音訓練勉強会
大学生	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ，ASAHIｸﾘﾆｶﾙｾﾐﾅｰ，一次救命処置
専門学校学生	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ，附属看護専門学校授業
高校生	性教育研修会，病院の仕事を知ろうASAHI，ふれあい看護体験，医師への夢応援ｾﾐﾅｰASAHI
中学生	職場体験学習
小学生	ゆめ･仕事ぴったり体験
地域住民	病院まつり「ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ、超音波検査、救命処置、内視鏡手術ｼﾐｭﾚｰﾀ体験」 匝瑳市よかっぺまつり「内視鏡手術ｼﾐｭﾚｰﾀ体験」

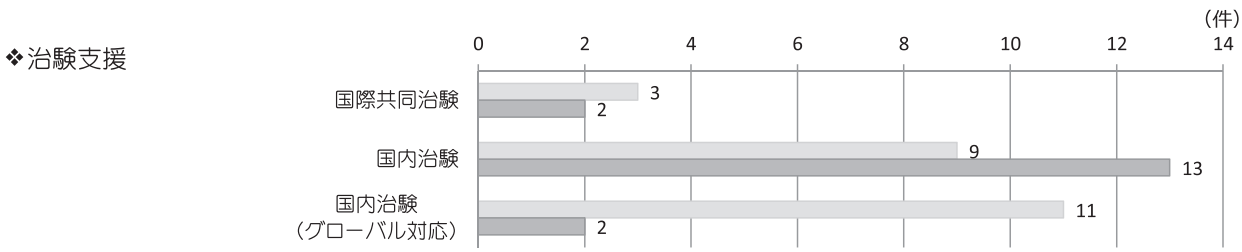
＜臨床研究支援センター　業務支援状況概略　（2018年度）＞

倫理審査委員会 事務局支援	臨床倫理関連に関する審議支援（25件） （内訳）　臨床倫理事項（4件）、新規医療技術導入（4件）、保険適応外医療（9件）、 院内製剤（1件）、その他（7件）
	新規臨床研究に関する審議支援（89件）
	第2回 生命・医療倫理セミナー〔外部講師招聘〕（受講者:290名、同DVDｾﾐﾅｰ:60名）
臨床研究支援	医師主導臨床研究（125件）、 初期研修医卒業研究 （30件）
	データマネージメント・統計解析支援（52件）
	研究デザイン・統計コンサルテーション〔外部講師招聘〕（計18回開催、延べ受講者110名）
	臨床研究セミナー〔外部講師招聘〕（計3回開催）（延べ受講者388名、同DVDｾﾐﾅｰ68名）
治験支援	国際共同治験（2件）、 国内治験（13件）、 国内治験（グローバル対応）（2件）









① 2018年度　倫理審査委員会開催状況

（2018年度：計6回開催）

開催日		審議事項	審議件数
第86回	2018/5/15	臨床倫理事項	1
		保険適応外医療	4
		その他	1
		臨床研究関連 新規申請（8件）、重篤有害事象（5件）、安全性情報（4件） 変更申請（11件）、年次報告（16件）、中止・中断・終了報告（25件）	69
第87回	2018/7/17	臨床倫理事項	2
		保険適応外医療	1
		その他	1
		臨床研究関連 新規申請（12件）、逸脱（1件）、重篤有害事象（6件）、 安全性情報（3件）変更申請（17件）、年次報告（20件）、 中止・中断・終了報告（8件）	67
第88回	2018/9/18	臨床倫理事項	1
		新規医療技術の導入	3
		保険適応外医療	1
		その他	3
		臨床研究関連 新規申請（15件）、逸脱（2件）、重篤有害事象（3件）、 安全性情報（1件）変更申請（22件）、年次報告（18件）、 中止・中断・終了報告（7件）	68
第89回	2018/11/20	院内製剤	1
		その他	1
		臨床研究関連 新規申請（20件）、逸脱（2件）、重篤有害事象（7件）、 安全性情報（3件）変更申請（13件）、年次報告（9件）、 中止・中断・終了報告（20件）	74
第90回	2019/1/15	保険適応外医療	1
		その他	1
		臨床研究関連 新規申請（14件）、逸脱（1件）、重篤有害事象（8件）、 変更申請（7件）、年次報告（5件）、中止・中断・終了報告（12件）	47
第91回	2019/3/19	新規医療技術の導入	1
		保険適応外医療	2
		臨床研究関連 新規申請（20件）、逸脱（3件）、重篤有害事象（4件）、 変更申請（15件）、年次報告（22件）、中止・中断・終了報告（15件）	79

② 2018年度　医師主導臨床研究実施状況〔当院単独研究（前向き）、多施設共同研究〕　（2019/3/31現在）

	対象疾患（対象患者）	診療科	デザイン	実施体制	開始時期	目標症例数	文書同意取得例数	実施症例数	備考	
1	関節リウマチ	アレルギー・膠原病内科	その他	当院単独	2013年5月	170	94	94		
2	ANCA関連血管炎	アレルギー・膠原病内科	RCT	多施設共同	2014年7月	10	3	3		
3	高尿酸血症	循環器内科	RCT	多施設共同	2015年1月	10	7	5	試験終了	2019年3月
4	統合失調症	神経精神科	RCT	多施設共同	2015年3月	12	4	2	試験終了	2018年10月
5	前立腺癌	泌尿器科	RCT	多施設共同	2015年5月	10	5	5		
6	深部静脈血栓症 肺塞栓症	循環器内科	OS	多施設共同	2015年5月	15	5	5		
7	直腸カルチノイド	消化器内科	OS	多施設共同	2015年5月	30	2	2	試験終了	2018年4月
8	白血病	血液内科	OS	多施設共同	2015年7月	50	オプトアウト方式	25		
9	関節リウマチ	アレルギー・膠原病内科	RCT	多施設共同	2015年7月	5	2	2		
10	膠原病	アレルギー・膠原病内科	OS	当院単独	2015年7月	60	23	23	試験終了	2018年4月
11	高IgE症候群	アレルギー・膠原病内科	OS	当院単独	2015年9月	21	10	10	試験終了	2018年4月
12	2型糖尿病	循環器内科	RCT	多施設共同	2015年9月	10	8	8		
13	肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2015年9月	2	0	0	試験終了	2018年6月
14	肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2015年9月	2	10	10	試験終了	2018年6月
15	肺癌関連	呼吸器内科	RCT	多施設共同	2015年9月	4	2	2		
16	肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2015年9月	10	1	1	試験終了	2019年3月
17	肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2015年9月	3	0	0	試験終了	2018年10月
18	肺癌	呼吸器内科	RCT	多施設共同	2015年11月	80（試験全体）	1	1	試験中止	2019年3月
19	肝疾患	外科	OS	多施設共同	2016年1月	1000（試験全体）	2	2	試験終了	2019年2月
20	骨髄異形成症候群	血液内科	その他	当院単独	2016年1月	30	53	53		
21	高安動脈炎 巨細胞性動脈炎	アレルギー・膠原病内科	後向き	多施設共同	2016年3月	100（試験全体）	オプトアウト方式	19		
22	2型糖尿病	糖尿病代謝内科	OS	多施設共同	2016年3月	17	10	10		
23	高血圧性脳出血	脳神経外科	OS	当院単独	2016年5月	150	103	102		
24	初回同種造血幹細胞移植	血液内科	IS	多施設共同	2016年5月	5（当院） 60（試験全体）	3	3		
25	大腸ポリープ	消化器内科	IS	当院単独	2016年5月	50	31	29	試験終了	2019年2月
26	大腸ポリープ	消化器内科	IS	当院単独	2016年5月	50	2	2	試験終了	2019年2月
27	肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2016年5月	35	1	1		
28	肺癌	呼吸器内科	OS	多施設共同	2016年5月	1000（試験全体）	17	16		
29	関節リウマチ	血液内科	IS	多施設共同	2016年7月	10	7	7		
30	Burkitt型急性リンパ性白血病	血液内科	IS	多施設共同	2016年7月	2	0	0	試験終了	2019年3月
31	後期高齢者	糖尿病代謝内科	RCT	当院単独	2016年7月	60	46	46		
32	神経精神科外来診療、デイケア治療プログラム、又は訪問支援活動の利用者の内、ケアマネジメント実施者	地域精神保健センター	OS	当院単独	2016年9月	期間中の対象者全員	144	138	試験終了	2019年4月
33	T細胞性急性リンパ性白血病	血液内科	IS	多施設共同	2016年9月	2	0	0	試験終了	2018年8月
34	T細胞性急性リンパ性白血病	血液内科	OS	多施設共同	2016年9月	2	0	0	試験終了	2018年8月
35	肺がん患者	呼吸器内科	IS	多施設共同	2016年9月	5	22	22		
36	静脈血栓塞栓症合併肺がん患者	呼吸器内科	OS	多施設共同	2016年9月	5	0	0		
37	急性冠症候群（ACS）患者 待機的冠動脈内ステント治療を要する冠動脈疾患患者	循環器内科	OS	多施設共同	2016年9月	250	465	226		
38	周産期心筋症	循環器内科	OS	多施設共同	2016年11月	1	1	1	試験終了	2019年2月
39	心不全患者	循環器内科	OS	当院単独研究	2016年11月	200	205	200	試験終了	2018年4月
40	非弁膜症性心房細動（NVAF）を有する後期高齢患者（75歳以上）	循環器内科	OS	多施設共同	2016年11月	100	49	49		
41	心臓リハビリテーション実施患者	循環器内科	OS	多施設共同	2017年1月	1000	オプトアウト方式	378		
42	成人T細胞白血病リンパ腫	血液内科	後向き	多施設共同	2017年1月	3	オプトアウト方式	5		
43	前立腺肥大を伴う過活動膀胱	泌尿器科	RCT	多施設共同	2017年3月	170（試験全体）	1	1		
44	精神神経症状、不安・ストレス関連症状を呈する患者	神経精神科	OS	多施設共同	2017年3月	30	0	0	試験終了	2018年8月
45	難治性統合失調症患者	神経精神科	OS	多施設共同	2017年3月	30	4	4		
46	脊椎手術患者	整形外科	OS	多施設共同	2017年3月	50,000（試験全体）	107	102		
47	慢性期の成人慢性骨髄性白血病患者	血液内科	OS	多施設共同	2017年3月	50（試験全体）	1	1		
48	慢性期の成人慢性骨髄性白血病患者	血液内科	OS	多施設共同	2017年3月	50（試験全体）	1	1		
49	症候性又は無症候性の静脈血栓塞栓症患者	循環器内科	OS	多施設共同	2017年3月	10	1	1		
50	症候性の末梢血管疾患患者 （大腿膝窩動脈領域）	循環器内科	OS	多施設共同	2017年5月	20	69	55		
51	20歳以上の悪性胸膜中皮腫症例	呼吸器外科	OS	多施設共同	2017年5月	対象期間中の全症例	0	0		

（OS：観察研究、 IS：介入研究、 RCT：ランダム化比較試験）

	対象疾患（対象患者）	診療科	デザイン	実施体制	開始時期	目標症例数	文書同意 取得例数	実施症例数	備考	
52	触知困難2cm以下の肺病変患者	呼吸器外科	IS	多施設共同	2017年5月	800（試験全体）	0	0	試験終了	2018年8月
53	・原発性マクログロブリン血症 ・IgM Monoclonal gammopathy of undetermined significance（MGUS）	血液内科	OS	多施設共同	2017年5月	40	10	10	試験終了	2019年4月
54	造血器悪性腫瘍患者	血液内科	OS	多施設共同	2017年5月	200（試験全体）	17	17		
55	非扁平上皮非小細胞肺癌	呼吸器内科	RCT	多施設共同	2017年5月	90（試験全体）	1	1		
56	非小細胞肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2017年5月	32（試験全体）	2	2		
57	非小細胞肺癌	呼吸器内科	OS	多施設共同	2017年5月	32（試験全体）	1	1		
58	大腿膝窩動脈疾患患者	循環器内科	OS	多施設共同	2017年7月	当院：20 試験全体：32	オプトアウト方式	36		
59	新規発症の ・急性骨髄性白血病（AML） ・骨髄異形成症候群（MDS） ・慢性骨髄単球性白血病（CMML）	血液内科	OS	多施設共同	2017年7月	当院：200 試験全体：4900	オプトアウト方式	75		
60	①動脈硬化性疾患にて手術を受けた患者 ②腹部大動脈瘤にて手術を受けた患者 ③自家静脈グラフトを用いたバイパス手術施行患者	血管外科	OS	多施設共同	2017年7月	①当院5例（試験全体30例） ②当院5例（試験全体50例） ③当院0例（試験全体20例）	30	29		
61	特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌	呼吸器内科	RCT	多施設共同	2017年7月	当院：2例 試験全体：170例	0	0		
62	非小細胞肺癌	呼吸器内科	OS	多施設共同	2017年7月	当院：2例 試験全体：30例	3	2		
63	非小細胞肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2017年7月	当院：2例 試験全体：35例	0	0	試験終了	2018年8月
64	非小細胞肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2017年7月	当院：2例 試験全体：36例	0	0		
65	高齢者成人脊柱変形由来腰痛患者	整形外科	OS	多施設共同	2017年7月	当院：100例 試験全体：1000例	文書説明・口頭同意	63		
66	関節リウマチ患者	アレルギー・膠原病内科	後向き	当院単独	2017年7月	200	オプトアウト方式	82		
67	たこつぼ型心筋症	循環器内科	後向き	当院単独	2017年7月	100	オプトアウト方式	172		
68	大腿膝窩動脈疾疾患患者	循環器内科	後向き	多施設共同	2017年7月	当院：30例 試験全体：600例	オプトアウト方式	34	試験終了	2018年6月
69	血液凝固異常症	血液内科	OS	多施設共同	2017年9月	当院：3例 試験全体：10000例	オプトアウト方式	6		
70	変形性股関節症、特発性骨頭壊死症など人工股関節全置換術が適応となる疾患	整形外科	OS	多施設共同	2017年9月	当院：33例 試験全体：806例	27	27		
71	脊椎疾患患者	整形外科	OS	多施設共同	2017年9月	当院：100例 試験全体：1000例	文書説明・口頭同意	139		
72	再生検を施行する肺がん患者	呼吸器内科	OS	多施設共同	2017年11月	2018/3/31までに同意が得られた患者を全て登録	オプトアウト方式	18		
73	自閉スペクトラム症	小児科	OS	多施設共同	2017年11月	3家族以上	3	3		
74	遊離皮弁移植施行患者	形成外科	OS	当院単独	2017年11月	10	4	4	試験終了	2018年4月
75	COPD患者	呼吸器内科	OS	多施設共同	2017年11月	当院：10例 試験全体：500例	アンケート回答	14		
76	症候性末梢動脈疾患患者	循環器内科	後向き	当院単独	2017年11月	150	オプトアウト方式	112	試験終了	2018年4月
77	ALアミロイドーシス	血液内科	後向き	多施設共同	2017年11月	試験全体：30例	オプトアウト方式	27	試験終了	2018年4月
78	破裂性腹部大動脈瘤	外科	OS	多施設共同	2018年1月	試験全体：2500例	オプトアウト方式	8		
79	日本脳炎ウイルス不顕性感染	小児科	OS	多施設共同	2018年10月から組み入れ開始	260	62	59		
80	ノカルジア症	感染症科	後向き	多施設共同	2018年1月	当院10例 試験全体：240例	オプトアウト方式	10	試験終了	2018年12月
81	肝細胞癌	消化器内科	後向き	多施設共同	2018年1月	当院4例	オプトアウト方式	5		
82	経皮経肝胆嚢ドレナージ	消化器内科	後向き	多施設共同	2018年1月	当院100例 試験全体：400例	オプトアウト方式	495		
83	統合失調症	神経精神科	後向き	多施設共同	2018年1月	試験全体：370例	オプトアウト方式	70	試験終了	2019年2月
84	骨髄異形成症候群	血液内科	OS	多施設共同	2018年1月	当院10例 試験全体：30例	9	9		
85	二次性副甲状腺機能亢進症	腎臓内科	OS	多施設共同	2018年3月	当院10例 試験全体：3000例	5	5		
86	十二指腸非乳頭部上皮性腫瘍	消化器内科	OS	多施設共同	2018年3月	当院5例 試験全体：330例	10	10		
87	大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症患者	内科	RCT	多施設共同	2018年3月	当院20例 試験全体：500例	0	0	試験終了	2018年10月
88	緩和ケア科死亡退院患者遺族	緩和ケア科	OS	多施設共同	2018年3月	当院80例 試験全体：15200例	アンケート回答	83		
89	切除不能肝細胞癌	消化器内科	OS	多施設共同	2018年3月	当院60例 試験全体：600例	13	13		
90	非小細胞肺癌	呼吸器内科	後向き	多施設共同	2018年3月	当院30例 試験全体：300例	オプトアウト方式	20	試験終了	2019年2月
91	健常人	整形外科	OS	多施設共同	2018年3月	7例	7	7	試験終了	2019年2月
92	当院での気管支鏡検査施行患者	呼吸器内科	RCT	当院単独	2018年3月	100例	80	77		
93	自家移植、同種移植（血縁者間移植、非血縁者間移植、臍帯血移植）を含む全ての造血幹細胞移植および細胞治療等における患者およびドナー	血液内科	OS	多施設共同	2018年5月		患者：1 ドナー：1	患者：1 ドナー：1		
94	腰椎疾患および骨粗鬆症	整形外科	OS	多施設共同	2018年5月	当院20例 試験全体：1000例	4	4		
95	鉄欠乏のうつ患者	神経精神科	RCT	当院単独	2018年6月	60例	0	0	試験終了	2018年10月
96	大腿膝窩動脈領域病変を有する慢性閉塞性動脈硬化症	循環器内科	OS	多施設共同	2018年5月	当院5例 試験全体：90例	0	0		
97	シスチン尿症	泌尿器科		当院単独	2018年7月	試験全体：100例	0	0		
98	アイカルディ・グチエール症候群	アレルギー・膠原病内科	OS	多施設共同	2018年9月	当院1例	0	0		
99	アイカルディ・グチエール症候群	アレルギー・膠原病内科	OS	多施設共同	2018年9月	当院1例	0	0		
100	精神科の主診断をもち、急性期の精神科治療を目的として入院する患者	地域精神保健センター	OS	多施設共同	2018年9月	当院30例 試験全体：624例	文書説明・口頭同意	20		
101	高齢者糖尿病患者	糖尿病代謝内科	IS	多施設共同	2018年9月	当院10例 試験全体：360例	0	0		

（OS：観察研究、 IS：介入研究、 RCT：ランダム化比較試験）

	対象疾患（対象患者）	診療科	デザイン	実施体制	開始時期	目標症例数	文書同意取得例数	実施症例数	備考	
102	フランシーン先端針を用いた超音波内視鏡ガイド下針生検（EUS-FNB）施行患者	消化器内科	OS	多施設共同	2018年9月	当院30例 試験全体：235例	4	4		
103	大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者	循環器内科	OS	多施設共同	2018年9月	当院20例 試験全体：2000例	1	0		
104	進行肝細胞癌患者	消化器内科	後向き	多施設共同	2018年9月	試験全体：100例	オプトアウト方式	13		
105	EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者（75歳以上）	呼吸器内科	IS	多施設共同	2018年10月	当院2例 試験全体：40例	0	0		
106	炎症性腸疾患 （潰瘍性大腸炎、クローン病）	消化器内科	OS	多施設共同	2018年11月	当院100例 試験全体：1000例	0	0		
107	橈骨動脈アプローチによる腸骨動脈ステント留置術施行患者	循環器内科	OS	多施設共同	2018年11月	当院10例 試験全体：150例	1	1		
108	難治性統合失調症患者 （2017032103研究にエントリーした3症例が対象）	神経精神科	OS	多施設共同	2018年11月	当院3例 試験全体：2000例	3	3		
109	再発又は難治性の多発性骨髄腫	血液内科	IS	多施設共同	2018年11月	当院2例 試験全体：47例	0	0		
110	ジェノタイプ2型HCV患者	消化器内科	OS	多施設共同	2018年11月	当院5例 試験全体：約80例	1	1		
111	EGFR遺伝子変異陽性未治療進行非扁平上皮非小細胞肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2019年1月	試験全体：66例	0	0		
112	悪性症候群	神経精神科	後向き	多施設共同	2019年1月	当院40例 試験全体：200例	オプトアウト方式	27		
113	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	血液内科	後向き	多施設共同	2019年1月	当院3例 試験全体：250例	オプトアウト方式	0		
114	成人発症スティル病	アレルギー・膠原病内科	後向き	多施設共同	2019年1月	試験全体：約100例	オプトアウト方式	23	試験終了	2019年4月
115	肝がん・非代償性肝硬変	消化器内科	後向き	多施設共同	2019年3月	当院2,400例 試験全体：122,000例	オプトアウト方式	0		
116	EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌	呼吸器内科	IS	多施設共同	2019年3月	当院 1例（年間） 試験全体：40例	0	0		
117	大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症	循環器内科	OS	多施設共同	2019年3月	当院30例 試験全体：1500例	9	8		
118	肝細胞癌	消化器内科	後向き	多施設共同	2019年3月	当院：70例 試験全体：500例	オプトアウト方式	0		
119	整形外科疾患	整形外科	後向き	多施設共同	2019年3月	当院：300例 試験全体：3,800例	オプトアウト方式	0		
120	関節リウマチ	アレルギー・膠原病内科	OS	多施設共同	2019年3月	当院：5例 試験全体：2,000例	0	0		
121	骨髄増殖性腫瘍	血液内科	後向き	多施設共同	2017年11月	当院3例 試験全体：350例	オプトアウト方式	3		
122	大腸癌	外科	IS	多施設共同	2012年1月	当院：5例 試験全体：200例	3	3		
123	結腸癌	外科	IS	多施設共同	2012年7月	当院：5例 試験全体：1200例	3	3		
124	下肢虚血患者	循環器内科	OS	多施設共同	2018年9月	当院5例 試験全体：200例	0	0		
125	大腸癌	外科	IS	多施設共同	2010年6月	当院10例 試験全体：1200例	8	8		

③ 2018年度　臨床研究セミナー等の開催状況

	講　師	演　題	区　分	開催日	受講者数
第2回 生命・医療倫理ｾﾐﾅｰ	慶應義塾大学 橲島 次郎 先生	人生の最終段階における治療の中止または不開始をめぐって ～倫理の立ち位置を考える～	倫理領域	2018/9/14	290名
第27回 臨床研究ｾﾐﾅｰ	東京医療保健大学大学院 比江島 欣愼 先生	医療統計学入門（応用編） ～観察研究と交絡バイアス～	倫理領域以外	2018/8/21	124名
第28回 臨床研究ｾﾐﾅｰ	慶應義塾大学 磯部 哲 先生	医療・医学研究と法 ～規制と支援の仕組みを考える～	倫理領域	2018/12/4	182名
第29回 臨床研究ｾﾐﾅｰ	中央大学 大橋 靖雄 先生	統計的エビデンスとパブリックヘルス	倫理領域以外	2019/2/12	82名

④ 2018年度　治験実施状況

（2019/3/31時点）

診療科			Phase	対象疾患	実施症例数/契約症例数	備考
1	内科	糖尿病代謝内科	Ⅲ	糖尿病性腎症	4 / 4	
2	内科	アレルギー・膠原病内科	Ⅲ	関節リウマチ	2 / 2	
	内科	アレルギー・膠原病内科	Ⅱ/Ⅲ	関節リウマチ	3 / 5	
3	内科	循環器内科	Ⅲ（国際共同治験）	慢性腎不全	3 / 8	
	内科	循環器内科	Ⅲ（国際共同治験）	慢性腎不全	2 / 3	
4	内科	血液内科	Ⅱ	急性骨髄性白血病	0 / 2	2018/4/18 治験終了
5	内科	腎臓内科	Ⅱ	掻痒症（透析）	7 / 10	2018/6/15 治験終了
	内科	腎臓内科	Ⅲ	腎性貧血（透析期）	3/6	
	内科	腎臓内科	Ⅱ	高リン血症	12/12	
	内科	腎臓内科	Ⅱ	高リン血症	1/10	
6	外科		医療機器	癒着防止システム	2 / 4	
7	泌尿器科		Ⅲ	前立腺がん	4 / 5	
8	整形外科		Ⅲ	骨粗鬆症	2 / 6	2018/7/10 治験終了
	整形外科		Ⅲ	慢性腰痛	4 / 8	
	整形外科		医療材料	骨補てん剤	5 / 10	
9	耳鼻咽喉科		Ⅲ	副鼻腔炎	4 / 8	2018/4/20 治験終了
10	産婦人科		Ⅲ	子宮頸管熟化不全	3 / 8	2018/10/10 治験終了
（計） 10診療科、 17治験						

附属施設・併設施設

●旭中央病院附属飯岡診療所（2018年度）

2018年度１年間の受診者数は5,262人（月平均439人）で直筋５年間の受診者数は大きな変動はない。現在、火曜日紫村　金曜日窪田学医師に加え、2019年４月から総合内科より鈴木洋輝医師が毎週水曜日の診療にあたっており、循環器疾患や総合的な診療の質向上が得られると期待している。受診者層は従来と変わりなく慢性期の高齢者が中心である。

●旭中央病院附属看護専門学校（2018年度）

Ⅰ　年間行事

	全　体　行　事	１学年　55回生	２学年　54回生	３学年　53回生
４月	6日(金)　始業 11日(水)　入学式 17日(火)　新入生歓迎会 19日(木)　千葉県下 看護学生体育大会 20日(金)　自治会総会	10日(火)　入学前オリエンテーション 11日(水)　入学式 12日(木)　入学後オリエンテーション 13日(金)　入学後オリエンテーション 17日(火)　新入生歓迎会 20日(金)　自治会総会 24日(火)　防災訓練 ＊感染症採血	17日(火)　新入生歓迎会 20日(金)　自治会総会 24日(火)　ケース発表参加 25日(水)　ケース発表参加	17日(火)　新入生歓迎会 20日(金)　自治会総会 24日(火)　ケース領域代表発表 25日(水)　ケース発表分科会
５月	25日(金)　学校運営会議		＊HBワクチン接種　① ＊健康診断	1日(火)　業者模擬試験 8日(火)～7/17(水)　臨地実習 ＊健康診断
６月	11日(火)　高校教員対象 学校説明会	28日(木)　看護技術試験	＊HBワクチン接種　②	27日(水)　業者模擬試験
７月	21日(土)　学校説明会 23日(月)　午前で終業 （夏季休暇　34日間）	17日(火)～20日(金) 基礎実習Ⅰ① （病棟3日間、学内1日）		
８月	25日(土)　学校説明会 27日(月)　始業 30日(木)　全校避難訓練 31日(木)　講師会議	29日(水)　看護技術試験 30日(木)　全校避難訓練	30日(木)　全校避難訓練	27日(月)　業者模擬試験 29日(水)　業者模擬試験 30日(木)　全校避難訓練
９月	21日(金)　彩花祭 22日(土)　病院祭合同開催		11日(火)　東大病理標本室見学	3日(月)～10/30領域別実習 25日(火)　業者模擬試験
10月	12日(金)　社会人入試 13日(土)　推薦入試 31日(水)　戴帽式	11日(木)　国際福祉機器展見学 26日(金)　生活援助技術試験 31日(水)　戴帽式	16日(火)　剖検慰霊祭参加 ＊実習前電子カルテ講習会	30日(火)　領域別実習終了 31日(水)　模擬試験
11月	2日(金)　戴帽式茶話会 ＊インフルエンザ予防接種 （全学年）	2日(金)　戴帽式茶話会 13日(火)～22日(木) 基礎実習Ⅰ② ＊胸部レントゲン撮影	2日(金)　戴帽式茶話会 5日(月)～12日(月) 基礎実習Ⅱ 15日(木)　千葉県看護学生研究発表会 16日(金)　業者模擬試験 ＊胸部レントゲン撮影	2日(金)　戴帽式茶話会 15日(木)　千葉県看護学生研究発表会 27日(火)～12月11日(火) 統合実習
12月	13日(木)　夜間防災訓練 （学生住宅入居者） 13日(金)　午前で終業 （冬季休暇 21日間）		13日(木)　実習座談会 ＊HBワクチン接種　③	13日(木)　実習座談会

	全　体　行　事	1学年　55回生	2学年　54回生	3学年　53回生
1月	7日(月)　始業 18日(金)　19日(土)　一次入試		15日(火)～2月20日(水) 領域別実習	8日(火)　業者模擬試験 11日(金)　就職用性格テスト・作文 11日(金)　ユニフォーム合わせ 16日(水)　職員採用面接 ＊入職者健診
2月	15日(金)　16日(土)　二次入試 26日(火)　予餞会	28日(木)　業者模擬試験	22日(金)　業者模擬試験 ＊HBs抗体検査	14日(木)　准看護師試験 17日(日)　108回看護師国家試験 20日(水)～21日(木) 看護局オリエンテーション 電子カルテ講習
3月	5日(火)　卒業式 15日(金)　午前で修了 （春季休暇 19日間）			22日(金)　国家試験合格発表 27日(水)　卒業後登校（就職関係）

Ⅱ　2019年度入学予定者　入試状況

	指定校推薦	社会人選考	一般一次	一般二次
試験日	10月13日 筆記・面接	10月12日　筆記 13日　面接	1月18日　筆記 19日　面接	2月15日　筆記 16日　面接
志願者数	37	10	65	24
受験者数	37	10	60	22
合格者数	35	5	15＋補10	6＋補1
入学者数	35（うち男性1）	5（うち男性1）	15（うち男性4）	5（うち男性1）

Ⅲ　2018年度末　学生在籍状況　　年度末在籍数　179人

	在籍数 4月	在籍数 3月末	在籍内訳	2018年度退学数
1年生	66	65	56回生（60）　55回生（5）	1
2年生	62	59	55回生（52）　54回生（7）	3
3年生	55	55	54回生（46）　53回生（8）　51回生（1）	0

Ⅳ　学校自己評価

本校は、2015年度から学校評価（学校自己点検・運営評価）を年に一度実施しています。

①　学校評価の概略

教育水準の維持・向上と看護教育の探求をめざし、学校運営、教育全般、地域広報などについて評価を行い、改善を図ります。

②　学校評価の実施

学校教育活動の改善に役立てるために、現段階では教員が年に一度行っています。

③　評価項目

Ⅰ学校経営　　Ⅱ管理運営　　Ⅲ教育課程　　Ⅳ教育活動

Ⅴ学生生活への支援　　Ⅵ入学・卒業対策　　Ⅶ教員資質向上　　Ⅷ広報・地域活動

④　評価尺度

4＝良い　　3＝やや良い　　2＝やや不十分　　1＝不十分

学校自己点検・評価

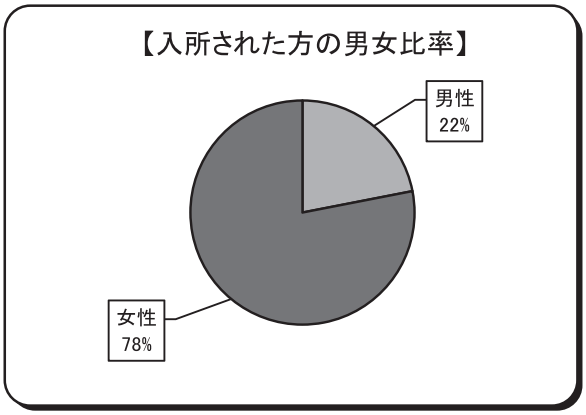
大		中項目	小項目	**2018年度平均値**	2017年度平均値	2016年度平均値
Ⅰ 学校経営	1	目標の策定	学校のビジョンを実現するための目標設定、その目標が教職員に理解されている。	**3.63**	3.42	3.13
	2	教育目標の設定と分析	目標に対する評価を実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげている。	**3.63**	2.81	3.13
	3	学校評価の実施	学校評価を実施し、評価結果を教職員に周知、外部公表する。評価結果を基に改善計画を策定する。	**2.88**	2.75	2.50
	4	学校づくりと教育内容の充実	教育理念に沿った学校づくりをするために、教育内容の充実に努めている。	**3.50**	3.42	3.13
	5	組織統一性	学校長のリーダーシップのもと、教職員が協力し合い、学校経営を行っている。	**3.75**	3.08	2.75
Ⅱ 管理運営	6	適正な予算執行の進行管理	予算計画・年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理を行っているか。	**3.63**	2.82	3.00
	7	法令順守・個人情報保護	学生・教職員の個人情報保護について、考慮しているか。	**3.38**	3.08	3.13
	8	教職員の確保	中長期計画とその目標に基づき、要員計画・採用計画を実施しているか。	**3.13**	2.73	2.50
	9	情報のシステム化	学生情報管理システムにより、効率的な情報管理がされているか。	**3.13**	2.73	2.00
	10	危機管理体制	災害時、非常時の危機管理体制を整え、計画的な訓練が実施されているか。	**3.63**	3.58	3.75
	11	施設設備・教材の妥当性	教育目標達成に必要な施設設備、教材を整え、活用しているか。	**3.00**	2.92	3.13
	12	図書室の整備	図書室は適切に整備され、利用率が高く、紛失図書が少ないか。	**2.25**	2.08	2.63
	13	学生意見の反映	学校運営などに学生の意見が反映されているか。	**2.63**	2.36	2.34
	14	厚生設備の整備	保健室の適切な整備、休息や情報収集・交換スペースが確保されているか。	**3.00**	2.58	2.50
Ⅲ 教育過程	15	教育課程の評価	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性のある内容になっているか。	**3.38**	2.83	3.13
			定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化に合ったものに修正しているか。	**3.38**	2.83	3.00
	16	授業計画書の妥当性	授業計画書(シラバス)は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか。	**2.75**	3.00	3.00
	17	単位認定の公平性	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しており、評価の公平性・妥当性が保たれているか。	**3.38**	3.33	3.38
	18	実習環境・指導体制の妥当性	実習目標に沿った病棟の選択および、学習環境・指導体制の整備がされているか。	**3.25**	3.25	3.13
	19	実習における倫理的配慮	実習病院が掲げる病院患者の権利の尊重に従い、患者・家族の同意を得たうえで実習を行っているか。	**3.75**	3.66	3.75
	20	学生指導上の倫理的配慮	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか。	**3.38**	2.92	3.13
Ⅳ 教育活動	21	時間割の妥当性	効果的な授業運営・学習の順序性の考慮をし、適切に時間割を調整しているか。	**3.13**	2.75	2.25
	22	指導方法・内容の妥当性	授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫し、改善しているか。	**3.00**	2.83	2.88
	23	不合格者への対応	不合格の原因分析を教員、学生を交えて分析し、対応策を講じているか	**3.13**	3.16	3.25
	24	授業担当者の妥当性	授業の一貫性を確保するために、1教科担当者数をできるだけ少なくし、複数の場合は担当者間の連携がとれているか。	**3.00**	3.08	2.88

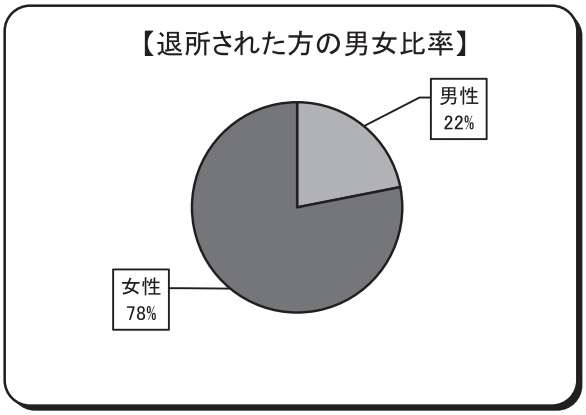
Ⅳ 教育活動	25	学生による授業評価		学生による授業評価を実施し、授業の改善に努めているか。	**3.50**	3.00	3.25
	26	インシデントの把握・分析		実習において学生が関係したインシデントを把握・分析し、改善策を講じているか。	**3.38**	3.25	2.75
	27	実習指導の役割分担と協働		実習指導者と教員の役割を明確にし、協働体制を整えているか。	**3.38**	3.25	3.13
Ⅴ 学生生活への支援	28	心身の健康管理		学生の心身面での健康管理体制が整っているか。	**3.50**	3.17	3.13
	29	学生相談の実施		学生生活、進学に関して相談に十分応じているか。	**3.25**	3.18	2.88
	30	学業継続の支援体制		カウンセラーの活用や休学者や長期欠席者への復学対策をしているか。	**3.75**	3.17	3.00
	31	卒業生支援		卒業生への支援体制はあるか。	**2.25**	2.45	2.75
	32	自主活動支援		学生のクラブ活動、自治会活動、ボランティア活動、ピア活動などの自主活動を推奨し支援しているか。	**3.25**	3.00	2.75
	33	保護者との連携		保護者と適切に連携しているか。	**3.25**	3.00	3.13
Ⅵ 入学・卒業対策	入学	34	学生募集と受け入れ	より多くの入学志願者を確保することに努め、定員は充足しているか。	**3.75**	3.08	3.00
		35	学生選抜の妥当性	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	**3.75**	3.00	3.25
		36	学校説明会	学校説明会、高校教員への学校説明会の時期・内容は適切か。	**3.75**	3.09	3.13
	教育の成果	37	国家試験対策	国家試験対策に個々の学生にあった指導援助を実施する等、教職員が一丸となって取り組んでいるか。	**3.25**	2.83	3.00
		38	中途退学の防止	中途退学者を少なくする努力をしているか。	**3.13**	2.27	2.75
		39	卒業生支援	卒業生への支援体制をもち、母体病院教育部会と連携しているか。	**2.75**	2.55	2.75
		40	卒業生の質向上	質の高い、適性を備えた卒業生を多く輩出するための努力を行っているか。	**3.38**	3.25	3.00
		41	就職先での評価	卒業生の就職病棟での評価を把握し、問題点を把握し、病院と改善策を策定しているか。	**2.13**	2.18	2.25
Ⅶ 教員資質向上	42	教員による授業研究評価		教員の授業・実習を他の教員が参観・講評する機会をもっているか。	**1.88**	1.75	1.63
	43	研修等の成果の共有		研修や出張、学会等に参加した学びを他の教員に還元する機会があるか。	**2.63**	2.17	2.13
	44	研究調査活動		教員が計画的に研究調査活動を実施しているか。	**1.63**	2.25	2.50
	45	臨床研修		幅広い臨床指導のために、病院内研修に積極的に参加しているか。	**1.88**	1.82	1.63
Ⅷ 広報地域	46	学校広報活動		学校の存在を広く周知するために、積極的な広報活動を展開しているか。	**3.13**	2.82	2.88
	47	ホームページ		ホームページは適時更新し、必要な情報を掲載するなど内容の充実に努めているか	**3.13**	3.00	2.50
	48	関係団体の事業協力		行事等において、母体病院と連携・協力関係が確保されているか	**3.50**	3.50	3.25
	49	施設開放		地域社会への貢献の一環として、学校施設の開放やボランティア活動をしているか。	**3.38**	2.75	2.13
	50	協力関係の確立		地域との協力関係が確立されているか。	**2.25**	2.33	2.00

●介護老人保健施設シルバーケアセンター（2018年度）

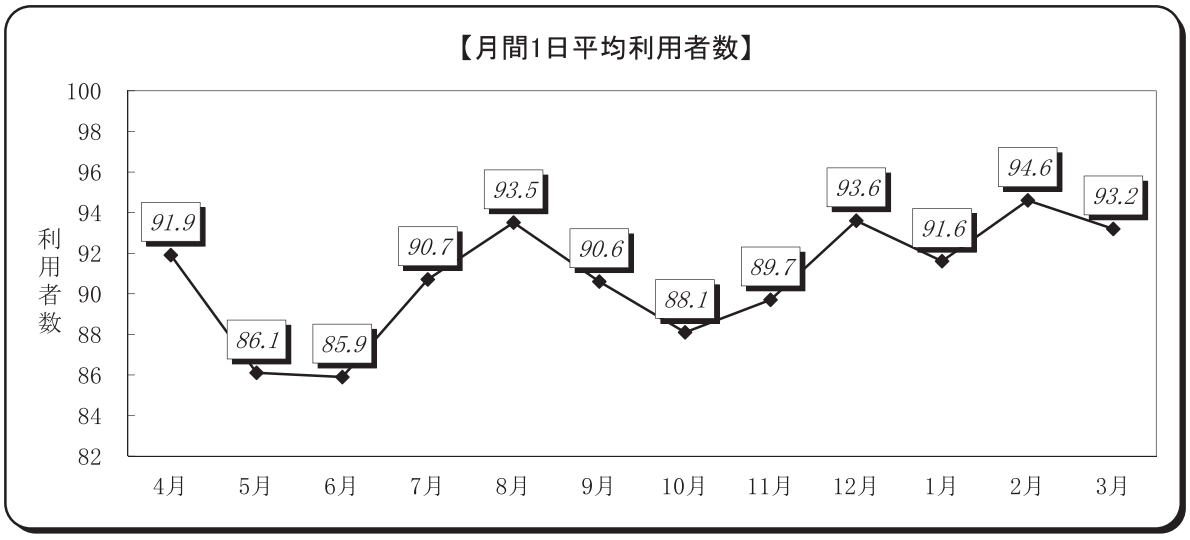
1.『介護老人保健施設』『短期入所療養介護』の利用状況

【入所された人数】男性147名　女性523名　合計670名　【退所された人数】男性147名　女性524名　合計671名

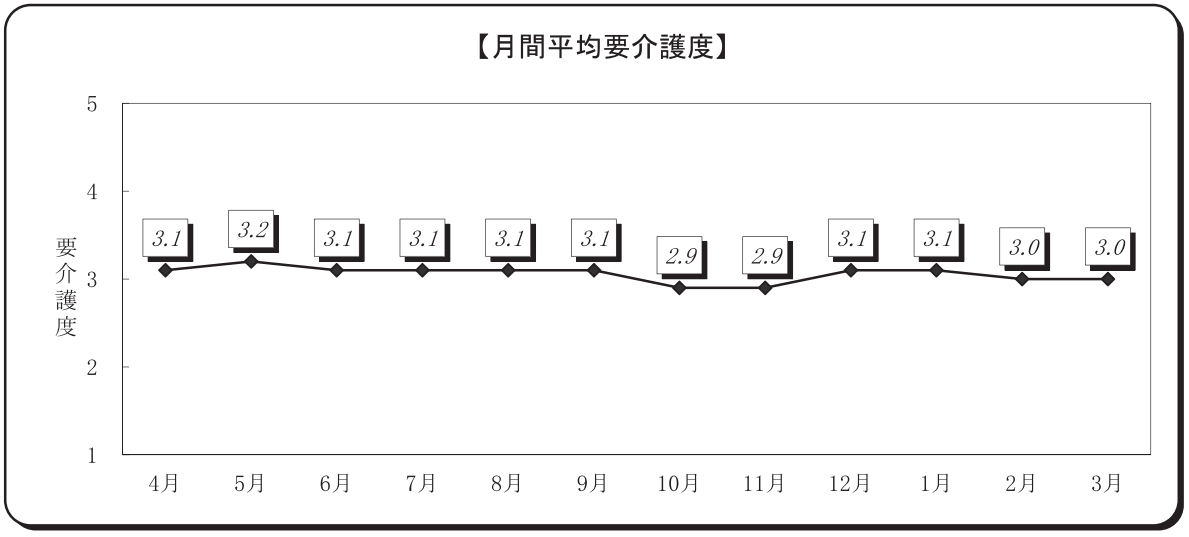




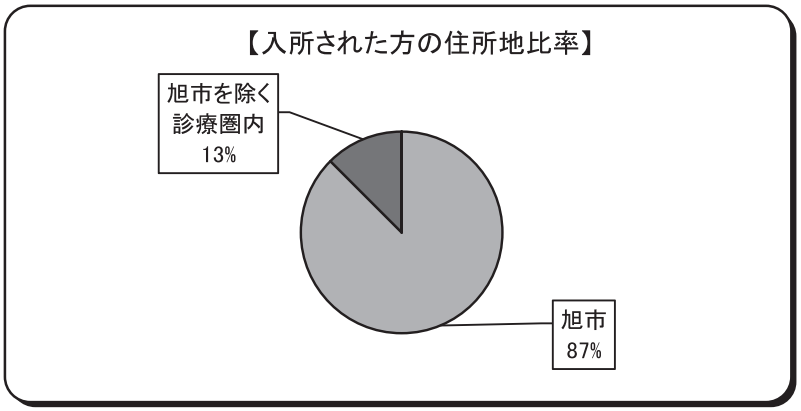
【年度内1日平均在所者数】90.8名



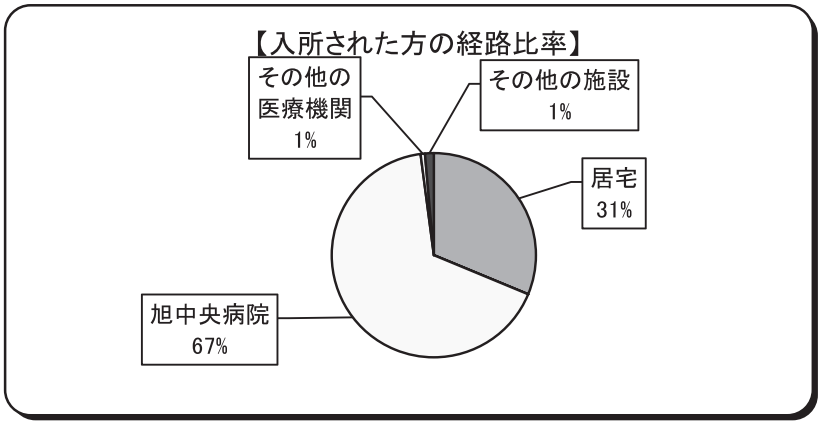
【老健年度内平均要介護度】3.09



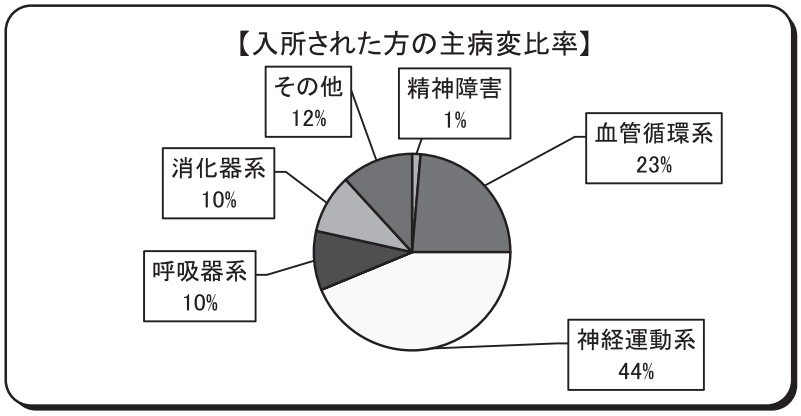
【老健入所された方の住所地】
旭市　126名
旭市を除く診療圏内　18名
診療圏外　0名



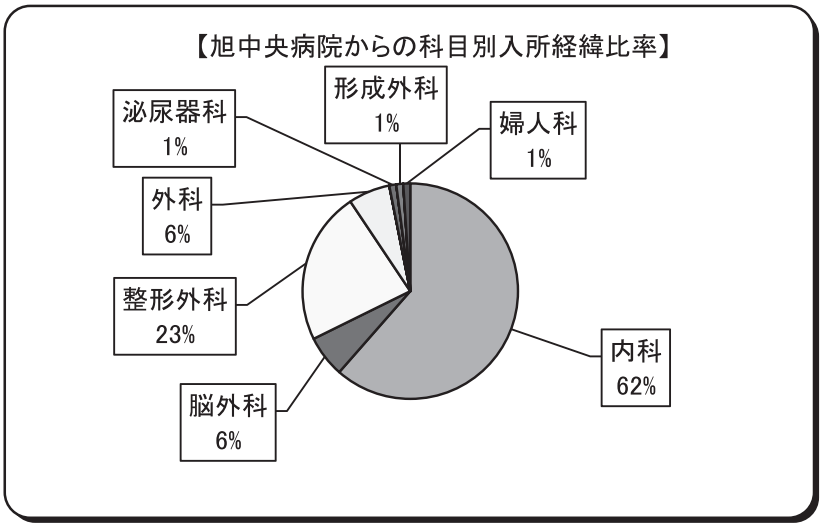
【老健入所された方の経路】
居宅　45名
介護保険施設　0名
旭中央病院　96名
その他の医療機関　1名
その他の施設　2名



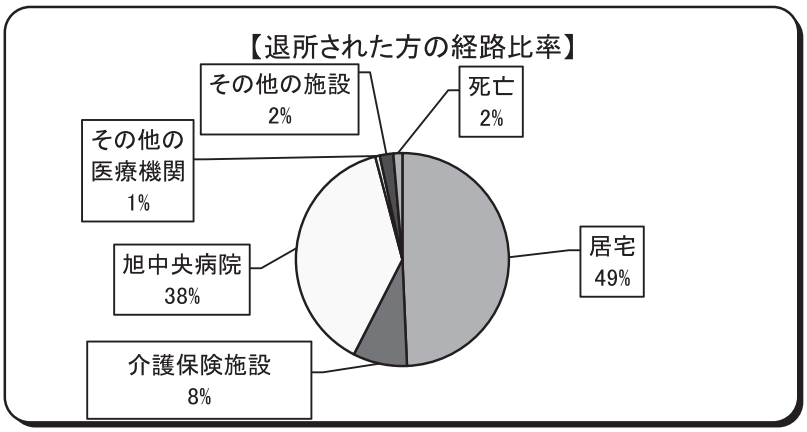
【老健入所された方の主病変】
精神障害系　2名
血管循環系　34名
神経運動系　63名
内分泌系　0名
呼吸器系　14名
消化器系　14名
その他　17名
上記の内特定疾病(2号被保険者)　1名
【2号被保険者＝40歳以上65歳未満の利用者】

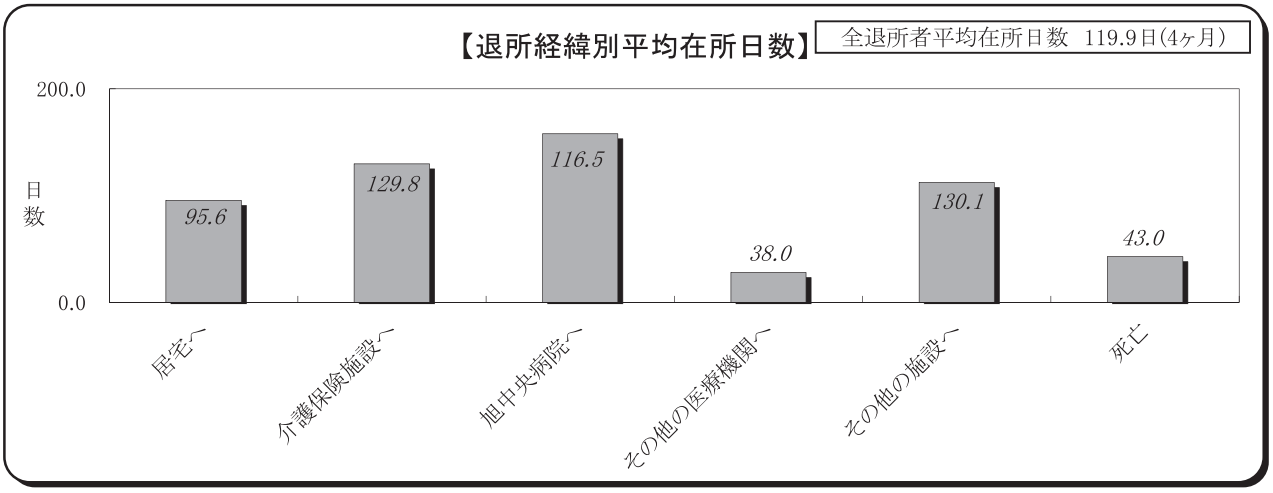


【旭中央病院からの科目別老健入所経緯】
内科　59名
脳外科　6名
整形外科　22名
外科　6名
眼科　0名
耳鼻科　0名
泌尿器科　1名
精神科　0名
心臓外科　0名
形成外科　1名
麻酔科　0名
皮膚科　0名
婦人科　0名

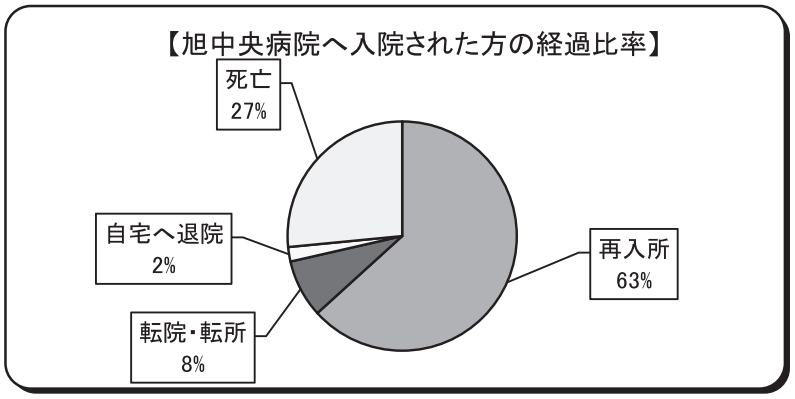


【老健から退所された方の経路】
居宅　72名
介護保険施設　12名
旭中央病医院　56名
その他の医療機関　1名
その他の施設　3名
死亡　2名



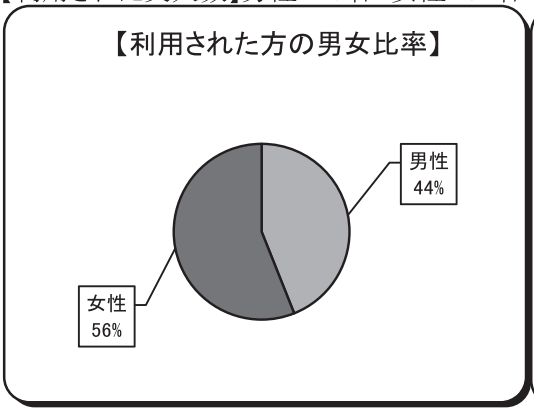


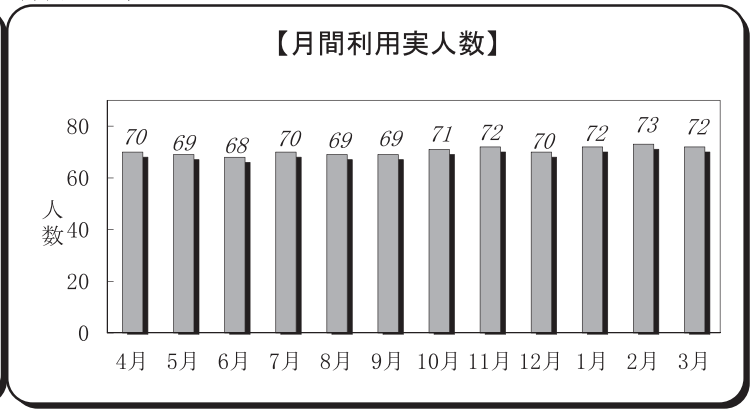
【老健から旭中央病院へ入院された方の経過】
当施設へ再入所　31名
他の医療機関・施設へ転院・転所　4名
自宅へ退院　1名
死亡　13名



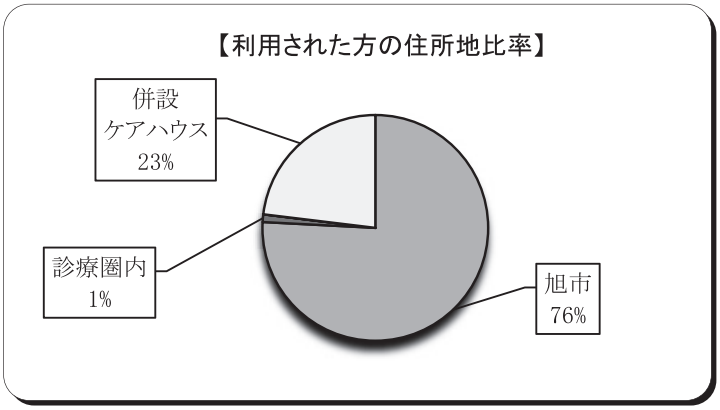
2.『通所リハビリテーション』の利用状況

【利用された実人数】男性　40名　女性　51名　合計　91名

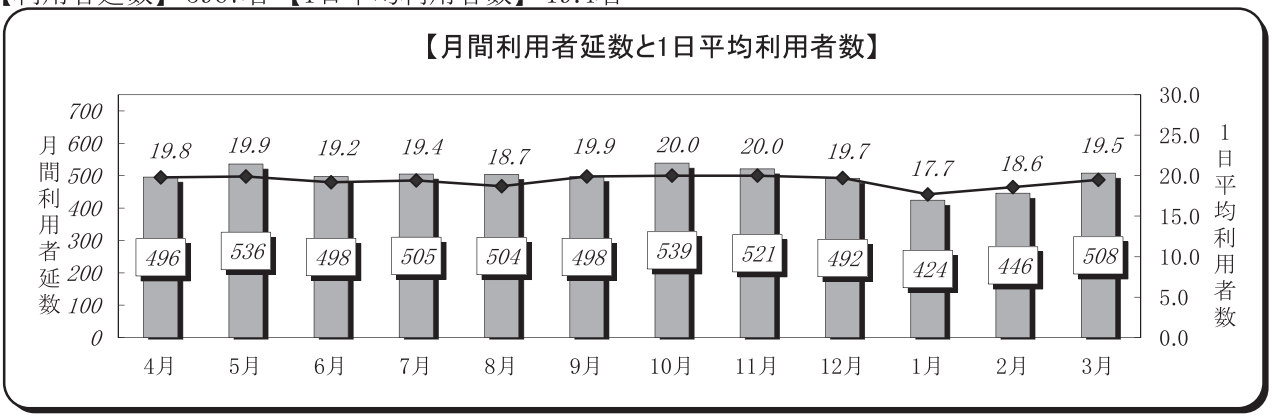




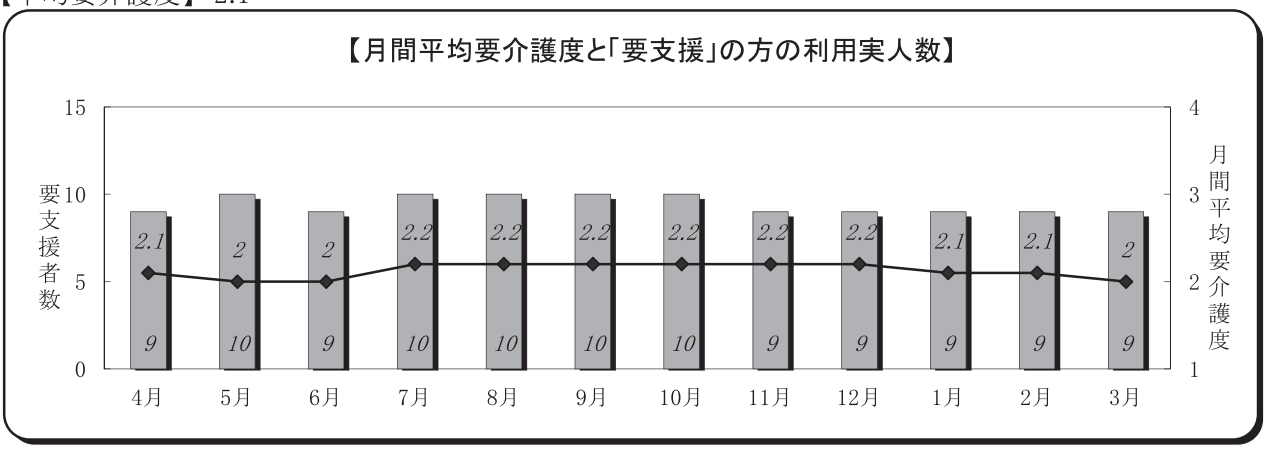
【利用された方の住所地】
旭市　69名
旭市を除く診療圏内　1名
診療圏外　0名
併設ケアハウス　21名



【利用者延数】 5967名 【1日平均利用者数】 19.4名

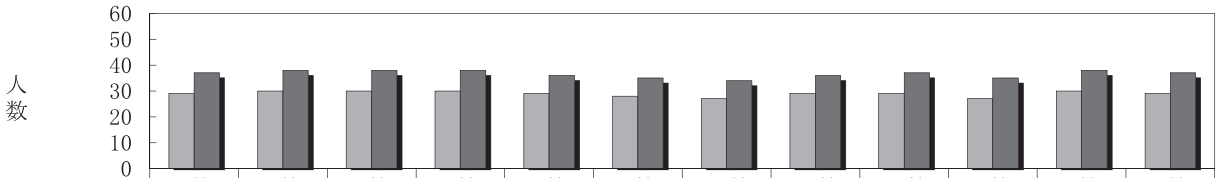


【平均要介護度】 2.1



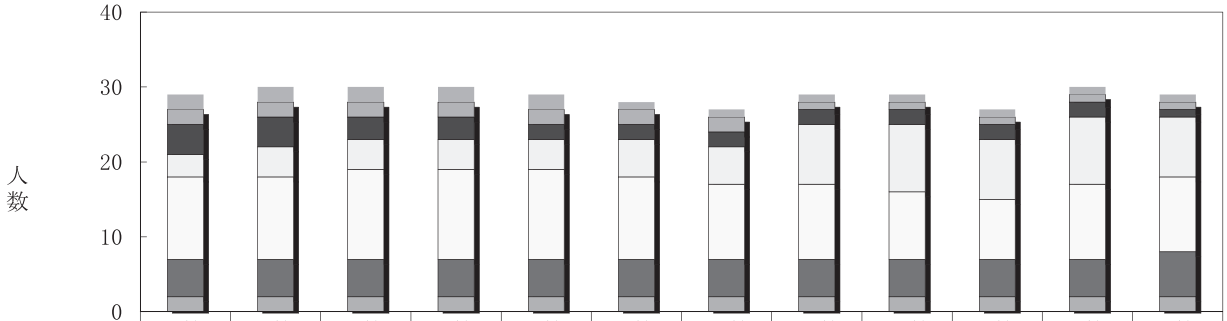
3.『居宅介護支援』の利用状況

【月間実績人数と契約人数】



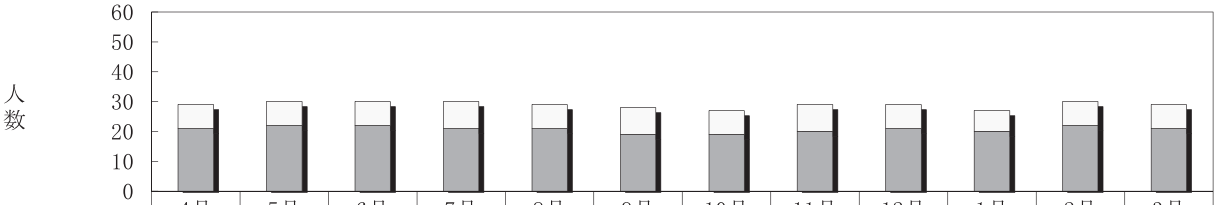
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績人数	29	30	30	30	29	28	27	29	29	27	30	29
契約人数	37	38	38	38	36	35	34	36	37	35	38	37

【介護度別の月間実績人数】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護5	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
要介護3	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1
要介護2	3	4	4	4	4	5	5	8	9	8	9	8
要介護1	11	11	12	12	12	11	10	10	9	8	10	10
要支援2	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

【住所地別の月間実績人数】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
併設ケアハウス	8	8	8	9	8	9	8	9	8	7	8	8
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旭市	21	22	22	21	21	19	19	20	21	20	22	21

〈集計注釈〉

①『介護老人保健施設』と『短期入所療養介護』における「利用人数」については、1人の方が複数回利用された場合はその回数で集計した。

②『通所リハビリテーション』における「利用された方の住所地」については、ケアハウスが併設であるため、その特殊性からケアハウスからの利用については単独で集計した。その他、実際の住所地と現在生活している場所の住所地が異なる方は、現在生活している住所地より集計した。

②『介護予防短期入所療養介護』と『介護予防通所リハビリテーション』の実績についてはそれぞれ『短期入所療養介護』と『通所リハビリテーション』へ包括した。

③「要介護度」については各月末時点での要介護度で集計した。

●養護老人ホーム東総園・特別養護老人ホーム東総園（2018年度）

■　主な行事及びクラブ活動

①　季節毎の行事

	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
春	お花見　買い物　ひな祭り　その他園外レクリエーション	
夏	お盆法要　納涼会　院内花火大会　歌謡ショー	
秋	敬老会（敬老の祝い）　保育園児の来園	
冬	忘年会　クリスマス会　新年会　節分	

②　クラブ活動

養護老人ホーム	特別養護老人ホーム
習字　華道　手芸	習字　手芸　生け花

■　養護・特養事業状況

①　職員の状況　（2019年３月31日現在）

職　種	養　護	特　養
※施設長	1	1
生活相談員 （社会福祉士）	1 (0)	1 （1）
事務職員	2	3
看護職員	1	5
介護職員 （介護福祉士）	8 (8)	24 (22)
管理栄養士	1	1
嘱託医	2	2
計	16	37
総人員	53	

※　両施設兼務

② 保険者 措置実施機関別利用者数 （2019年3月31日現在）

保険者名 措置実施機関	養護				特養			
	男	女	計	前年度	男	女	計	前年度
旭市	11	14	25	26	6	39	45	48
匝瑳市	0	1	1	1	0	0	0	0
銚子市	1	0	1	1	0	0	0	0
横芝光町	0	0	0	1	0	0	0	1
東庄町	0	0	0	0	0	0	0	0
香取市	0	1	1	1	0	1	1	1
多古町	0	1	1	1	0	0	0	0
成田市	1	1	2	2	0	0	0	0
八千代市	0	1	1	1	0	0	0	0
合計	13	19	32	34	6	40	46	50

③ 年齢構成 （2019年3月31日現在）

年齢別	養護			特養		
	男	女	計	男	女	計
64以下	0	0	0	0	0	0
65～69	0	0	0	1	0	1
70～74	4	2	6	0	0	0
75～79	4	0	4	2	1	3
80～84	3	4	7	0	10	10
85～89	2	5	7	0	8	8
90～94	0	5	5	3	10	13
95～	0	3	3	0	11	11
計	13	19	32	6	40	50
平均年齢	77.8	87.5	83.5	82.3	90.1	89.1
前年平均年齢	76.3	88.1	83.9	86.5	88.5	88.2

④ 月別要介護認定状況 （2018年４月１日～2019年３月31日）

	４月	５月	６月	7月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	3月	平均
養護	3.3	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.0	3.3
特養	4.0	4.0	4.0	3.9	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9

⑤　入退所状況　　（2018年４月１日～ 2019年３月31日）

入　所　経　路			退　所　経　路		
在宅から	養　護	特　養		養　護	特　養
独　居	3	2	入院先での逝去	2	1
同　居	0	0	園内での逝去	1	11
グループホーム	0	0	他の施設へ	2	1
ケアハウス	0	2	自宅（家族）復帰	0	0
	0	0	社会復帰	0	0
	0	0	病院	0	2
他の施設から　養護	0	2			
特養	0	0			
老健	0	5			
病院	0	0			
合　計	3	11		5	15

■　在宅支援事業状況（2018年4月1日～ 2019年3月31日)

①　短期入所生活介護

事業規模

	養　護	特　養
専用ベッド数	6床	2床
１日当たりの平均利用数	1.7人	1.4人
利用率 延べ利用者数／専用ベッド数×365日	28.7%	69.0%

利用状況

	利用人数	延べ日数	月平均利用日数
特　養	20	504	42.0日
養護（基準該当）	31	612	51.0日
生活管理（旭市）	4	17	1.4日

②　居宅介護支援（介護予防含む）

年間延べ人数	月平均人数
1,091	90.9

③　在宅介護支援センター（旭市受託）状況

介護相談	健康相談	介護保険の相談	医療相談	保健福祉 サービスの相談	その他の相談
0	0	74	0	17	0

●ケアハウス東総園（2018年度）

1．入退居状況

	退　居		退去居後	入　居		入居前（住所地）
2018年 4月	1名	男・81歳	入院	1名	女・90歳	自宅（旭市）
5月	1名	女・84歳	入院先にて死去	1名	女・87歳	自宅（旭市）
8月	1名	男・91歳	介護老人福祉施設	1名	女・87歳	自宅（旭市）
9月	1名	女・87歳	入院先にて死去	1名	男・88歳	シルバーケアセンター（旭市）
2019年 1月	1名	男・89歳	入院先にて死去	1名	男・65歳	自宅（旭市）
2月	3名	女・82歳 女・88歳 女・94歳	介護老人福祉施設 有料老人ホーム 入院先にて死去	3名	男・86歳 女・89歳 女・81歳	自宅（千葉市） シルバーケアセンター（旭市） 自宅（旭市）
計	8名 （男3名女5名）			8名 （男3名女5名）		

2．入院状況　延べ16名（2018年4月1日～2019年3月31日）

	病　　名	入　院　先
男性	肺炎	6東
女性	肺炎　心不全	8西
女性	心原性脳梗塞	5西
女性	右大腿骨転子部骨折	7東
女性	胆嚢穿孔	1－5
女性	胆管炎	11東
女性	胆管炎	10東
女性	胆嚢炎	5西
女性	後出血	9西
女性	胆管炎	11東
女性	急性胆管炎	9東
女性	低ナトリウム血症　小球性貧血	8西
女性	慢性硬膜下血腫	8東
男性	細菌性肺炎	6東
女性	うっ血性心不全	7西
女性	白内障	11東

3．介護度別要介護認定者（2019年3月31日現在・全入居者数40名）

要支援1	7名
要支援2	9名
要介護1	10名
要介護2	5名
要介護3	0名
要介護4	0名
合　　計	31名

4．市町村別入居状況（2019年３月31日現在）

市町村名等	入居者数
旭市	26名
銚子市	2名
その他（県内）	7名
その他（県外）	5名
合　　計	40名

5．年齢別・男女別入居者数（2019年３月31日現在）

	55～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計
男	1	1	1	2	4	2	0	11
女	0	0	1	0	7	8	13	29
計	1	1	2	2	11	10	13	40

	男	女	全体
平均年齢	79	87.13	85.1

6．2018年度実施行事

2018年4月	園外レク　季節のごはん
5月	季節のごはん
6月	季節のごはん　避難訓練
7月	季節のごはん
8月	納涼会
9月	敬老会　ケアフェス
10月	開園記念食事会　園外レク　ハロウィン仮装大会　健康チェック
11月	お好み焼きの会　運動会　避難訓練　健康チェック インフルエンザ予防接種
12月	忘年会　クリスマス会　年越しそばを食べる会　年忘れゲーム大会
2019年1月	新年会　新春レク
2月	節分メニュー　おでんの日
3月	ひなまつりメニュー　健康チェック　避難訓練（夜間想定） 鍋パーティー　春のごほうび会

※その他、病院コンサート・看護学校彩花祭など自主参加

7．クラブ活動（2019年３月現在）

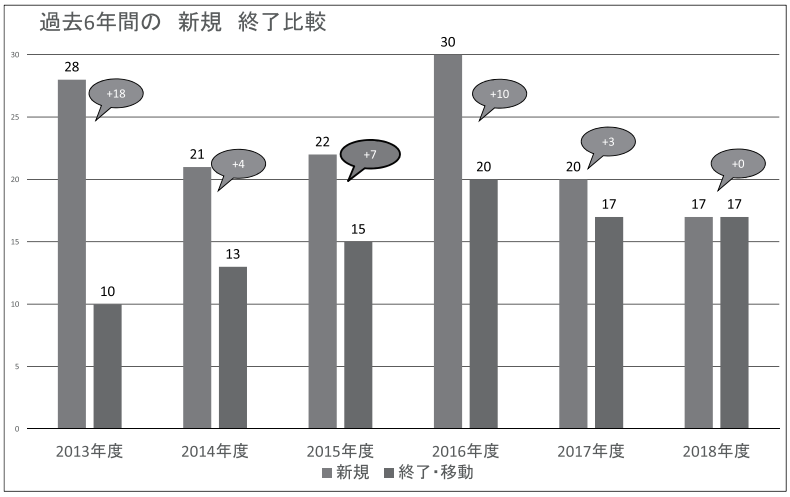
ラジオ体操
介護予防体操
カラオケ
ブレーメン（わくわく認知症予防の会）
マットでゴロトレ
からだラボ
書道・塗り絵
ゲーム
和みのヨーガ
うたおう会
アートセラピー
ピアダンス（ボランティア講師）
編み物（ボランティア講師）

●訪問看護ステーション 旭こころとくらしのケアセンター（AKK）（2018年度）

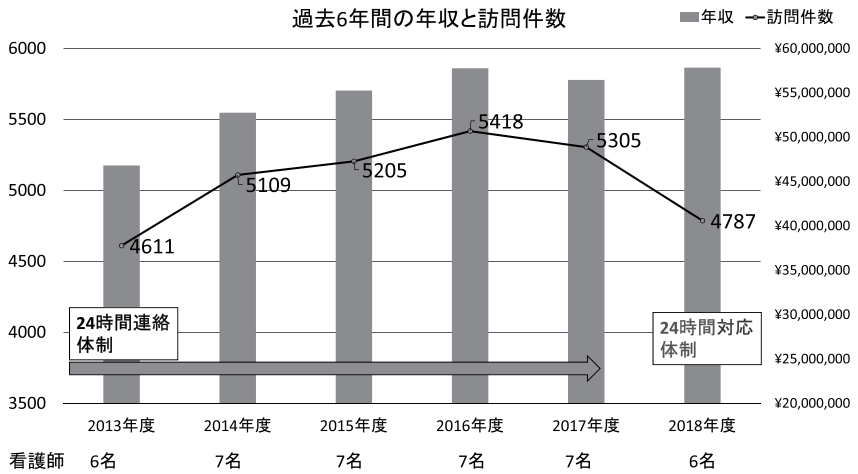
年度ごとの比較（2016～2018年度）

	2016年度	2017年度	2018年度
平均登録者数（最多）	135.4（143）	139.7（143）	140.4（144）
看護職員数	7	7	6
延べ訪問回数	6149	5828	5245
精神科訪問看護基本療養費算定数（算定率）	5418（88.1%）	5305（91.0%）	4787（91.2%）
複数名加算	323	107	44
退院支援指導加算	2	5	5
看護師一人当たりの受け持ち利用者数	19.3人	19.9人	23.4人
看護師一人当たりの年間訪問件数（精神科基本療養費算定）	878件（774件）	832件（757件）	874件（797件）

・登録者数は2016年度～ 3年間安定している。



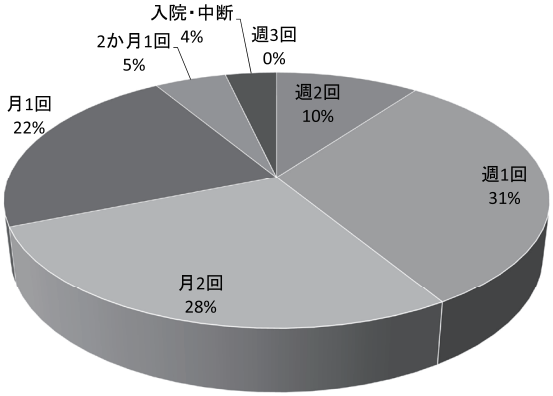
・2018年度は20件の新規依頼があり、導入が17件終了は17件である。



•看護師1名減のため訪問件数は減ったが、24時間対応体制加算の影響で収入は増加した。

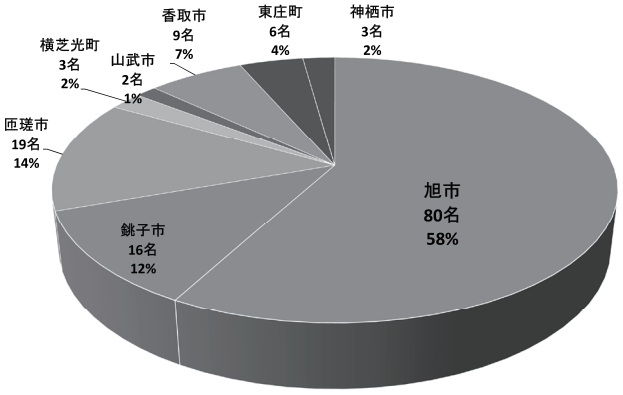
•看護師1名当たりの訪問件数　担当者数が増加している。

訪問頻度（2018年7月31日） n=138



マンパワーの不足を訪問頻度を減らして対応している。

訪問地域（2018年7月31日現在） n＝138



・旭市以外の訪問地域が48%でステーションからの移動時間が30分～以上の地域にもサービスの提供を行っている。

2018年度は、看護スタッフの減少もあり、訪問件数の大幅な減少と新規の受け入れに不安を抱える状態であった。利用者さんの訪問頻度の調整　安定した方の終了や他のステーションへの移動など調整を行い。受け入れ体制の維持に努めた。

近隣の精神障害に対応している訪問看護の状況より、重症者に対応できるステーションが少なく、旭中央病院の精神科救急入院料の算定率への貢献のためにも当ステーションの役割は大い。

今後、精神科訪問看護チーム（CMHT）との連携　と近隣の訪問看護ステーションとの連携協力体制など整備しサービスの質の向上を目指していきたい。

文責　　河口　成富

旭中央病院年報　2018

第 18 号

2019年12月20日　印刷
2019年12月25日　発行

発行所　総合病院　国保旭中央病院
千葉県旭市イ1326番地
http://www.hospital.asahi.chiba.jp/
発行者　吉　田　象　二
印刷所　佐原印刷株式会社